

第3期さいたま子ども・青少年のびのび^{ゆめ}希望プラン
策定に係る基礎調査報告書

令和6年3月

さいたま市

目 次

1. 調査の概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査の実施概要	1
3) 回収結果	2
2. 集計方法	3
1) 報告書の見方	3
3. 調査結果のまとめ	4
1) 未就学児保護者調査	4
2) 小学生保護者調査	4
3) 18歳未満調査	7
4) 青年調査	10
5) 妊婦調査	12
6) ひとり親調査	13
4. 調査結果詳細	15
1) 未就学児保護者調査	15
2) 小学生保護者調査	69
3) 18歳未満調査	85
4) 青年調査	115
5) 妊婦調査	142
6) ひとり親調査	163
資料編 調査票	185

1. 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、こども基本法に基づく市町村こども計画の位置づけとして、令和7年度から5年間を計画期間とする「第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」を策定するにあたり、基礎資料を得るため必要な調査等を行うことを目的としています。

2) 調査の実施概要

各調査について、さいたま市全域を対象地域としたアンケート調査を以下の要領で実施しました。

●調査期間

令和5年12月1日～12月26日

●調査基準日（無作為抽出をした日）

令和5年10月1日

●調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
未就学児保護者	令和5年4月1日現在の年齢が0～5歳の児童を無作為抽出し、その児童の保護者	8,000人
小学生保護者	各市立小学校の1～4年生から1クラス、5、6年生から1クラスを抽出し、その児童の保護者	6,497人
18歳未満	小学校5、6年生（各市立小学校の5、6年生から1クラスを抽出し、その児童本人）	2,810人
	中学生（各市立中学校から1クラスを抽出し、その生徒本人）	2,039人
	令和5年4月1日現在の年齢が15～17歳の人を無作為抽出	1,500人
青年	令和5年4月1日現在の年齢が18～39歳の人を無作為抽出	2,000人
妊婦	妊娠届提出者及び母親学級等参加者	1,000人
ひとり親	児童扶養手当受給者を無作為抽出	1,500人

●調査の種類と対象者

種類	配布・回収方法
未就学児保護者	郵送配布・郵送回収
小学生保護者	小学校を經由して配布・回収
18歳未満	小学校5、6年生：小学校を經由して配布・回収
	中学生：中学校を經由して配布・回収
	15～17歳：郵送配布・郵送回収
青年	郵送配布・郵送回収
妊婦	郵送配布・郵送回収
ひとり親	郵送配布・郵送回収

3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおりです。

●回収結果

種類	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
未就学児保護者	8,000	3,757	47.0%
小学生保護者	6,497	4,422	68.1%
18歳未満	6,349	3,067	48.3%
青年	2,000	493	24.7%
妊婦	1,000	569	56.9%
ひとり親	1,500	433	28.9%
全調査合計	25,346	12,741	50.3%

2. 集計方法

1) 報告書の見方

- ・図表中の「n」（number of case の略）は、各設問の回答者数を示し、比率算出の基数となります。複数回答の設問では、すべての比率を合計すると 100%を超える場合があります。
- ・調査結果の比率は、小数第 2 位を四捨五入して算出しています。そのため、すべての比率を合計したときに 100.0%にならないなど、各項目の比率と、その合計が一致しないことがあります。
- ・回答者数（n）が 50 未満の項目については、その比率が大きいものであっても、本文中ではふれていない場合があります。
- ・未就学児保護者調査、小学生保護者調査、妊婦調査には、以下の設問番号対応表の通り、共通の設問が含まれています。共通の設問については、未就学児保護者の調査結果において**共通設問**と表示し、各調査結果を比較しています。

【設問番号対応表】

	未就学児	小学生	妊婦
居住地区	1	1	
さいたま市居住年数	2	2	
子どもの生年月	3	3	
調査票の回答者	4	4	
調査票の回答者の配偶関係	5	5	
子育ての主な担い手	6	6	
理想の子どもの数	7	7	5
実際に持つ予定の（持った）子どもの数	8	8	6
理想より実際の子どもの数が少ない理由	9	9	7
保護者の就労状況	13	10	
フルタイムへの転換希望	13-1	10-1	
就労希望	13-2	10-2	
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無	25	18	
子どもの育てにくさ	26	19	
育てにくさを感じた時の相談先や解決方法の認知度	26-1	19-1	
乳児揺さぶられ症候群の認知度	27		33
虐待に関する通知義務の認知度	28	20	
家庭での教育方針	32	15	
子どもの教育やしつけについて	33	16	
望ましい子どもの姿	34	17	

3. 調査結果のまとめ

1) 未就学児保護者調査

2) 小学生保護者調査

① 子育ての担い手、家庭環境について

- 子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、未就学児・小学生の保護者ともに「父母ともに」が5割台、「主に母親」が4割台となっています。一方、「主に父親」は1%未満であり、未就学児については、母親の子育てへの関与が約9割である一方、父親は3割ほど少なくなっています。
- 子どもの人数は、未就学児・小学生の保護者ともに理想・実際双方で「2人」が約5割となっています。また、理想では「3人」が3割台で2番目に多いのに対し、実際は未就学児保護者で2割以上、小学生保護者で1割以上少なくなっています。理由としては、「子育てや教育にお金がかかり過ぎるから」が最も多くなっています。
- 未就学児の保護者で日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.3%で最も高くなっています。一方、「いずれもない」は23.1%となっています。
- 子育ての相談先については、9割が「いる／ある」と回答し、内訳は「祖父母等の親族」(81.7%)、「友人や知人」(71.2%)が特に高くなっています。

② 保護者の就労状況・就労環境について

- 未就学児の「母親」の就労状況は、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(29.3%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(24.3%)、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(20.3%)が2割台となっています。妊娠中についても、「働いていた」(64.4%)が6割を超えています。
- 小学生の「母親」の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が41.9%で最も高く、次いで「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.4%となっています。「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は未就学児保護者（19.7%）の約2倍となっています。
- 「父親」の就労状況は、未就学児・小学生の保護者ともに「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が8割台となっています。
- パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」が未就学児保護者（47.3%）、小学生保護者（58.3%）とも最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が未就学児保護者（35.6%）、小学生保護者（27.5%）となっています。
- 現在は就労していない「母親」の就労希望は、未就学児保護者が72.8%、小学生保護者が63.3%となっています。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は未就学児保護者（17.8%）に比べ、小学生保護者（30.5%）は1割ほど増加しています。希望する就労形態は、未就学児・小学生の保護者ともに「パートタイム、アルバイト等」が7割台となっています。
- 未就学児保護者の育児休業取得状況は、「母親」は「取得した」(55.3%)が5割を超え、「取得中」との合計が77.1%となっています。「父親」は「取得していない」(58.0%)が5割を超え、「取得

した」(20.8%)は約2割となっています。

- 育児休業後の職場復帰については、「復帰した」が87.3%、復帰のタイミングについては「年度初めの保育所入所時」(72.1%)が高くなっています。職場復帰の希望時期は、「1歳0か月以上～1歳6か月未満」(31.1%)が特に多くなっていますが、実際には「0歳6か月以上～1歳0か月未満」(34.4%)が「1歳0か月以上～1歳6か月未満」(33.1%)より高くなっています。復帰時期が希望と前後した理由については、「希望する保育施設等に入るため」(70.1%)、「希望する保育施設に入れなかったため」(68.2%)が7割前後を占め、職場復帰せず離職した理由で「保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった」(28.7%)が最も高くなるなど、保育施設等の状況に大きく左右されています。

③ 教育・保育サービス等の利用について

- 未就学児の平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が71.6%を占め、内訳は「認可保育所」(51.2%)、「幼稚園」(30.4%)が高くなっています。利用意向については、「認可保育所」(54.4%)、「幼稚園」(44.1%)に次いで、「幼稚園の預かり保育」(36.9%)、「認定こども園」(26.6%)が高くなっており、「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」は、利用意向が利用状況を2割以上上回っています。利用理由については、「子育てをしている方が現在就労している」(70.6%)、「子どもの教育や発達のため」(59.7%)が突出して多くなっています。
- 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」(47.7%)、「利用する必要がない」(44.1%)が4割台となっています。また、定期的な教育・保育事業を利用できない理由としては、「利用を希望する施設の利用要件に該当しないため」(33.5%)が最も高く、次いで「利用申込をしたが、不承諾となったため」(17.3%)など複数項目が1割台で並立しています。
- 教育・保育を選択するとき重視することは、「自宅からの距離」(78.8%)、「給食の有無」(72.5%)は「重視する」が7割を超えています。また、「保育士、教職員等の体制」、「施設、設備の充実度」、「教育・保育理念や内容」、「預かり時間の長さ」、「園庭の有無」、「利用料金」、「夏休み等の長期休業期間中の預かりの有無」なども「重視する」と「やや重視する」の合計が7割以上となっています。
- 地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が80.3%となっています。利用意向についても、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」(63.2%)が6割以上を占めています。
- 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」が土曜日(68.7%)、日曜・祝日(84.0%)とも過半数を占めています。幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」(47.3%)が最も多く、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(18.8%)との合計が66.1%となっています。
- この1年間に、未就学児の病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「あった」(89.9%)が約9割を占め、その際の対応は「母親が休んだ」が74.2%、「父親が休んだ」が45.1%となっています。病児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない」が71.4%となっており、理由としては「子どもの負担が大きいため」(72.4%)が最も高く、次いで「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗があるため」(52.0%)、「利用するための手続き等が煩雑であるため」(45.1%)などの順となっています。
- 不定期の教育・保育や宿泊を伴う一時預かり等の利用については、利用状況・意向とも「利用していない」「利用する必要はない」が7割台となっています。一方、短期入所生活援助事業を「利用したい」(20.0%)理由としては、「保護者や家族の病気」(71.6%)、「保護者や家族の育児疲れ・不安」

(67.7%) が7割前後を占めています。

- 来年度小学生になる未就学児保護者の、小学校就学後の希望する放課後の過ごし方は、低学年のうちには「放課後児童クラブ」(54.2%)、「自宅」(52.4%) が5割を超え、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(44.4%) も4割半ばとなっています。高学年では、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(71.5%)、「自宅」(68.7%) が低学年時に比べ2割前後増加する一方、「放課後児童クラブ」(26.2%) は半減しています。
- 小学生保護者の希望する放課後の過ごし方は、「自宅」(75.6%) が最も高く、「習い事・塾・スポーツ少年団など」(64.8%) も6割半ばとなっています。
- 放課後児童クラブの利用意向は21.0%、実際の利用率は17.0%となっています。利用理由は「現在就労しているため」(97.3%) が大半を占め、希望日数は「5日」(59.3%)、土曜・長期休業日(夏休み等)の利用は「ある」(87.5%) が過半数となっています。また、今後も継続して「利用したい」割合は88.9%となっています。一方、「現在就労していないため」(29.7%)、「就労しているが、放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため」(24.4%) などの理由で放課後児童クラブを「利用していない」割合は81.4%となっており、83.1%は「今後も利用しない」と回答しています。
- 月曜から土曜まで、定員を設けずに小学校内で過ごすことができる居場所の利用希望は、「利用したい」が66.1%で、「利用したくない」(32.3%) の約2倍となっています。希望日数は週当たり「3日」(32.1%) が最も高く、「2日」(24.4%)、「5日」(22.5%) も2割を超えています。また、土曜・長期休業日(夏休み等)(86.1%)、長期休業日(夏休み等)(78.7%) の利用希望も7割以上となっています。
- 放課後チャレンジスクールについては、参加状況は「参加していない」(90.9%) が約9割、参加意向は「参加を希望しない」(51.0%) がほぼ半数となっています。理由としては、「習い事・学習塾に通うため」がそれぞれ3割台で最も高くなっています。

④ 子育てに関する考え方・知識・情報について

- ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無については、未就学児・小学生保護者とも過半数が「はい」と回答していますが、未就学児保護者(70.9%) が約7割なのに対し、小学生保護者(59.7%) は1割ほど低くなっています。
- 子どもに育てにくさを感じるかについては、未就学児保護者(64.9%)、小学生保護者(59.9%) とも過半数が「感じない」と回答しています。「いつも感じる」「時々感じる」保護者のうち、相談先や解決方法を「知っている」割合は、小学生保護者(78.1%) が未就学児保護者(69.8%) より1割ほど高くなっています。
- 乳児揺さぶられ症候群の認知度は、未就学児保護者(95.3%)・妊婦(83.7%) とも、8割以上が「知っている」と回答しています。
- 虐待の通知義務の認知度は、未就学児(86.1%)・小学生保護者(85.4%) とも、8割以上が「知っている」と回答しています。
- 未就学児保護者の子育てに関する情報の入手先は、「友人や知人」(74.0%) が最も高く、次いで「その他のインターネットの情報」(68.8%)、「自分の親」(56.0%)、「保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生」(51.3%) などの順となっています。
- 家庭での教育については、未就学児・小学生保護者とも5項目すべてで「大切」と「まあまあ大切」を合わせた回答が9割を超えています。特に「他人を思いやる心を育む」「コミュニケーション能力を高める」は「大切」が8割以上を占めています。一方、「学力を伸ばす」については、小学生保護者(60.0%) に比べ、未就学児保護者(45.5%) は「大切」の割合が1割以上低くなっています。
- 子どもの教育やしつけについて、こころがけている(こころがけたい)ことは、未就学児・小学生

保護者とも「子どもの話を聞くようにする」が約9割で最も高く、未就学児保護者は「普段からよくほめるようにする」(81.1%)、小学生保護者は「自分でできることは、出来るだけ任せるようにする」(81.6%)が2番目となっています。未就学児保護者は「普段からよくほめるようにする」に加え、「本の読み聞かせをしたり、本の感想を話し合ったりする」(57.1%)、小学生保護者は「見る時間を決めてテレビを見るようにさせる」(54.5%)が他方に比べ高くなっています。

- 子どもの望ましいと考える姿については、未就学児・小学生保護者とも「してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する」「やりたいことに向かって心と体を十分にはたらかせる」が6割を超え、特に高くなっています。また、「しなければならぬことを諦めずにやり遂げる」は、小学生保護者(42.9%)が未就学児保護者(31.8%)に比べ、1割ほど高くなっています。

3) 18歳未満調査

① 家庭環境について

- 家の人のしつけについては、小学校高学年は「どちらかといえば、きびしいと思う」と「どちらかといえば、あまいと思う」が同率(33.8%)、中学生・高校生年代は「どちらかといえば、あまいと思う」が4割前後で最も高くなっています。
- 家の人との会話については、いずれも「よく話す」が6割を超え、「どちらかといえば、話す」との合計が9割を超えます。「よく話す」については、小学校高学年(76.0%)が最も高く、中学生(66.1%)、高校生年代(64.8%)を1割ほど上回っています。一方、話さない理由としては、いずれも「話をするのがめんどうだから」が最も高く、小学校高学年(32.3%)から高校生年代(40.9%)にかけ増加傾向にあります。話す機会をもっと持ちたいかについては、いずれも「今のままで気にならない」が最も高く、小学校高学年(47.7%)から高校生年代(67.2%)にかけ増加傾向にあります。一方、「もっと気軽にどんなことでも話すようにしたい」は小学校高学年(38.8%)で4割近いのに対し、高校生年代(18.0%)は約半数となっています。
- 家庭や家族の満足度については、小学校高学年・中学生・高校生年代いずれも「心や気持ちの面」「物の豊かさの面」とも過半数が「満足」と回答し、「どちらかといえば満足」との合計が8割以上となっています。
- 家にいるとき、楽しいと感じるのは、小学校高学年は「家族と会話をしているとき」(47.7%)、中学生は「自分の趣味(読書など)をしているとき」(46.2%)、高校生年代は「パソコンや携帯電話(スマートフォンも含む)でインターネット、メールやSNSをしているとき」(43.8%)が最も高くなっています。「家族と会話しているとき」「自分の趣味(読書など)をしているとき」はすべての年代で4割台を占める一方、「パソコンや携帯電話(スマートフォンも含む)でインターネット、メールやSNSをしているとき」は中学生・高校生年代に比べ、小学校高学年(21.5%)はおよそ半数となっています。また、「食事をしているとき」「寝ているとき」は、高校生年代で高くなっています。
- 家にいるとき、楽しくないと思うことは、小学校高学年は「家の人からよく注意されること(勉強、服装、家の手伝いのことなどで)」(36.1%)、中学生・高校生年代は「勉強すること」(44.0%、37.9%)が最も高くなっています。「勉強すること」はすべての年代で3割以上を占める一方、「家の人からよく注意されること(勉強、服装、家の手伝いのことなどで)」は小学校高学年・中学生(39.4%)に比べ、高校生年代(25.0%)は1割ほど低くなっています。

② 学校や日常生活について

- 学校生活の満足度については、小学校高学年は4項目すべて「満足している(よい)」が過半数を占

め、「どちらかといえば満足」との合計が8割以上となっています。中学生は「クラスメイトのこと」「部（クラブ）活動」で「満足している（よい）」が過半数を占め、「どちらかといえば満足」との合計は「学校生活のきまり」（78.6%）以外の3項目で8割以上となっています。高校生年代は「クラスメイトのこと」で「満足している（よい）」（52.7%）が過半数、「どちらかといえば満足」との合計（84.3%）が8割台となっています。一方、「学校生活のきまり」「学校の建物や設備」は、「どちらかといえば不満」「不満」の合計が小学校高学年・中学生で1割以上、高校生年代で2割以上となっています。

- 学校に行きたくないと思った経験については、「いつもそう思っている」は小学校高学年（5.5%）から高校生年代（11.3%）にかけ増加傾向にあります。また、「時々そう思うことがある」との合計は、すべての年代で4割台となっています。理由はすべての年代で「睡眠不足や体の疲れで」が最も高く、小学校高学年（37.6%）から高校生年代（55.5%）にかけ増加傾向にあります。また、「きらい（苦手）な授業や行事がある」も、すべての年代で3割台となっています。
- 放課後に過ごす場所は、すべての年代で「自分の家」が9割を超え突出して多くなっています。小学校高学年・中学生は「塾や習いごとの教室など」（45.6%、46.8%）が4割を超える一方、高校生年代（19.9%）は約半数であり、「学校（クラブ活動などを含む）」は逆に年代が上がるにつれ増加する傾向にあり、高校生年代は41.0%となっています。また、小学校高学年は「公園や広場など」（29.4%）が他の年代に比べ高くなっています。学校（仕事）が休みの日に過ごす場所は、すべての年代で「自分の家」が9割を超え突出して多くなっています。小学校高学年・中学生は「塾や習いごとの教室など」（31.3%、30.2%）も約3割となっていますが、放課後に比べ1割ほど低くなっています。一方、「ショッピングモールなどの商業施設」はすべての年代で2割台と、放課後に比べ高くなっています。
- 何でも話せるような仲の良い友達の数、小学校高学年・中学生は「10人以上」（35.0%、26.7%）、高校生年代では「2～3人」（28.1%）が最も高くなっています。年代が上がるにつれ「2～3人」が増加し、「10人以上」は減少する傾向にあります。
- 携帯電話（スマートフォンを含む）の所持率については、小学校高学年（63.1%）、中学校（89.4%）、高校生年代（98.8%）と、年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。使用頻度については、小学校高学年は「メールをしない」（47.1%）が半数近くを占めるのに対し、中学生・高校生年代は「友だちとの会話のほとんどは、携帯電話（スマートフォンを含む）などのメールやSNSを使っている」（40.9%、49.2%）が4割以上で最も高くなっています。一方、「メールよりも、家の電話や携帯電話で友だちと直接話すことが多い」はすべての年代で1割未満となっています。インターネット利用については、すべての年代で「よく利用する」が過半数を占め、小学校高学年（63.7%）から高校生年代（95.3%）にかけ、年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。その際、インターネットの中だけで付き合うような友達の有無については、すべての年代で「とくに決まった相手としての『友だち』はいない」が7割台となっています。
- 困りごとや悩みごとについては、中学生（65.7%）、高校生年代（69.5%）は「勉強や進路のこと」が最も多く、小学校高学年（33.1%）の約2倍となっています。小学校高学年は「困りごとや悩みごとはない」（44.2%）が「勉強や進路のこと」を上回っていますが、中学生（20.7%）、高校生年代（17.6%）では半減しています。
- 困ったり、悩んだりしたときの相談相手は、すべての年代で「親（保護者）」が最も高くなっていますが、小学校高学年（60.9%）に比べ、中学生（45.3%）、高校生年代（43.4%）は1割以上低下しています。一方、「友だち」は小学校高学年（24.0%）から高校生年代（35.9%）にかけ、年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。

③ 将来について

- 将来の「ゆめ」や「目標」を持っている割合は、小学校高学年（82.2%）が中学生（73.0%）、高校生年代（73.4%）に比べ、1割ほど高くなっています。また、各年代の8割前後は実現に向けた努力をしています。
- 「ゆめ」や「目標」を実現していくために、周りの大人から受けた手助けの内容については、すべての年代で『ゆめ』や『目標』を見つけたり、『ゆめ』の実現に向けて迷いやわからない事があつたときにしっかりアドバイスしてほしいが3割台で最も高く、次いで「大人の意見を押しつけないで、自分の考え方をきちんと聞いてほしい」が2割台、「静かに見守ってほしい」が1割台となっています。また、「お金の援助をしてほしい」は年代が上がるにつれ増加する傾向にあり、高校生年代（15.4%）は小学校高学年（6.5%）、中学生（8.0%）の約2倍となっています。

④ 地域への愛着・地域活動について

- 地域の行事や活動への参加状況については、小学校高学年・中学生は「1、2回程度参加した」（55.9%、56.1%）、高校生年代は「まったく参加していない」（60.5%）が過半数を占めています。年代が上がるにつれ「まったく参加していない」が増加する傾向にあります。
- 地域への愛着はすべての年代で7割を超えていますが、具体的な希望や要望については、いずれも「ない」が8割前後となっています。

⑤ 健康などについて

- 最近1か月のこころの状態について、「いつも」「たいてい」を合わせた割合は、中学生は「何をするのも大変だと感じましたか」（11.8%）、高校生年代では「神経過敏に感じた」（13.3%）が最も高くなっています。
- 自分の将来について考えた経験は、中学生（81.4%）、高校生年代（89.1%）とも、「ある」が8割台となっています。性やからだのしくみについて学校や家庭で教えてもらった経験は、中学生年代（70.8%）は約7割、高校生年代（82.8%）は約8割となっています。どちらも中学生年代に比べ、高校生年代は「ある」が1割ほど高くなっています。
- 35歳ごろ以降の妊娠のしやすさの変化については、中学生は「知らない」（68.0%）、高校生年代は「知っている」（60.9%）が過半数を占めています。高校生年代は中学生年代（26.8%）に比べ、認知度がおおよそ2倍になっています。

⑥ 非行について

- 非行に対し、「やめるように声をかける」「先生に知らせる」などの行動を取る割合は、中学生は「人をいじめる」（72.4%）、「物を盗む、万引きをする」（70.5%）、「違法・危険な薬物を使用する」（68.6%）、「喫煙（たばこを吸う）・飲酒（お酒を飲む）」（65.8%）の4項目で5割を超えています。高校生年代は「人をいじめる」（59.0%）、「違法・危険な薬物を使用する」（52.7%）、「物を盗む、万引きをする」（50.8%）の3項目で5割台となっていますが、9項目すべてで中学生を下回り、「学校や授業をさぼる」（73.0%）、「深夜遅くまで出歩く」（66.4%）、「無断で外泊する」（60.5%）、「出会い系サイト・アプリなどを利用する」（58.2%）の4項目は、「何もしない」が過半数となっています。「学校や授業をさぼる」「深夜遅くまで出歩く」については、中学生・高校生年代とも「何もしない」が何らかの行動をする割合を上回っています。
- 未成年が非行に走る原因については、中学生・高校生年代とも「家庭のぬくもりや家族同士のふれあい不足（欠如）していること」が6割台、「家庭で過保護、または放任し過ぎること」が5割台と高くなっています。

- サービスや施設の認知度は、中学生は「さわやか相談室」(91.2%)が最も高く、「児童センター」(71.3%)、「教育相談室」(68.4%)も過半数を占めています。高校生年代は「さわやか相談室」(85.2%)が最も高く、「児童センター」(66.8%)、「教育相談室」(62.5%)、「保健所・保健センターによる相談」(51.2%)が過半数となっています。「こころの健康センター・子どもの精神保健相談室」「さわやか相談室」「教育相談室」については、中学生が高校生を5ポイント以上上回っています。

利用(参加)状況については、中学生は「児童センター」が42.5%、「猿花キャンプ場」が28.3%、高校生は「児童センター」が46.2%、それ以外は2割未満となっています。

利用(参加)意向については、中学生は「児童センター」(12.6%)以外、高校生年代はすべての項目で1割未満となっています。

4) 青年調査

① 就労・将来について

- 転職については、「転職したいとは思わない」(44.8%)が最も高く、「転職したいと思うが、できない」(22.9%)と「すぐにでも転職したい」(7.7%)の合計(30.6%)を上回っています。理由は「労働条件(賃金や就労時間など)に不満があるため」(64.4%)が突出して多くなっています。また、就職については、「すぐにでも就職したい」(0.9%)、「いつかは就職したい」(5.7%)、「働きたいができない」(4.3%)の合計(10.9%)が「仕事をする必要はない」(0.9%)、「働きたくない」(4.8%)の合計(5.7%)を上回っています。就職していない理由は、「育児や介護などのため」(53.8%)が突出して多くなっています。
- 職場や働き方の希望については、「人間関係がよい職場」(84.2%)、「休暇がとれ、残業が少ない職場」(79.7%)が8割前後で特に高く、「収入が多い職場」(67.3%)も過半数を占めています。
- 将来の「夢」や「目標」については、「家族や友人などと円満に楽しく堅実な暮らしをしたい」(68.4%)が最も高く、「収入を増やし、豊かな生活をしたい」(56.2%)、「好きなことをしながら気ままに生活したい」(51.5%)も過半数を占めています。また、そのための行動としては、「資金をためている」(31.2%)が最も高く、次いで「独学で必要な勉強をしている」(26.8%)、「資格取得を目指している」(20.7%)の順となっています。一方、「特に何もしていない」は30.6%となっています。

② 余暇・結婚について

- 休日の過ごし方については、「テレビやビデオを見る」(59.0%)、「家族と買い物をする」(56.4%)、「家族とおしゃべりをする」(55.8%)が5割を超えています。「インターネットや携帯電話で友人とSNSやメールをしている」(47.1%)以下3項目が4割台、「ドライブや旅行などを楽しむ」(38.9%)以下4項目が3割台と、複数項目が並立しています。また、ふだん一緒に遊んだり、連絡しあったりすることが多い友人は、「中学校時代や高校時代の友人」(46.7%)、「大学・短大・専門学校等の友人」(45.4%)、「職場やアルバイト先の友人」(38.9%)などが高くなっています。
- 結婚については、「結婚している」(56.0%)が過半数を占め、婚姻年齢は「25~30歳」(65.7%)がおよそ3分の2を占めています。一方、「結婚はしていない」(41.0%)、「結婚していたが、死別・離別した」(2.6%)人の結婚希望については、「いずれは結婚したい」(54.9%)が過半数を占め、「結婚の予定はない」(36.7%)を2割ほど上回っています。「結婚の予定がない」理由としては、「必要性を感じないから」(30.4%)、「適当な相手にめぐりあわないから」(24.1%)などが高くなっています。
- 結婚希望者への支援については、「結婚生活や住宅の費用に関する支援」(58.4%)、「雇用環境の改

善支援」(54.4%)が5割を超えています。

- 結婚後の女性の生き方は、「結婚し子どもを持っても、仕事を出来る限り続けたい(けてほしい)」(40.2%)が最も高く、次いで「結婚や出産を機に一旦退職するが、子育て後には再び復職(就職)したい(してほしい)」(26.2%)、「結婚や出産を機に退職し、家事や育児に専念したり、趣味を大切にしたい(してほしい)」(14.6%)などの順となっています。
- 子どもの人数については、理想、実際とも「2人」が最も高くなっていますが、理想(58.4%)に比べ実際(43.8%)は1割ほど低く、「1人」(理想:7.3%、実際:26.0%)が高くなっています。人数が少なくなる理由は、「子育てや教育にお金がかかり過ぎるから」(55.4%)が突出して高くなっています。

③ 困りごと・悩みごとや相談先について

- 困りごとや悩みごとについては、「お金のこと」(53.3%)が最も高く、次いで「仕事のこと」(38.5%)、「家族のこと」(32.3%)、「健康のこと」(29.8%)などの順となっています。
- 困りごとや悩みごとの相談先は、「配偶者(パートナー)」(41.6%)が最も高く、次いで「母親」(23.3%)、「友人、職場の同僚」(17.4%)などの順となっています。相談場所の認知度は、「こころの健康センター」(33.7%)が最も高く、それ以外は1割未満となっています。

④ 地域への愛着・地域活動について

- 住んでいる地域については、「好きである」(37.1%)と「どちらかといえば好きである」(41.4%)の合計が78.5%となっています。
- 最近1年間の地域活動の参加経験は、「地域のお祭り」(37.9%)が最も高く、それ以外は1割未満となっています。一方、「参加したことがない」(49.1%)はほぼ半数を占めています。ボランティア活動の参加経験は、「環境・自然保護に関する活動」(18.5%)、「社会福祉に関する活動」(13.8%)を除き1割未満となっています。一方、「ボランティア活動に参加したことがない」(55.4%)は過半数を占めています。

⑤ 非行・価値観・社会一般について

- 「出会い系サイト・アプリ等」の利用については、「利用したこともないし、今後も利用しない」が66.9%となっています。一方、「利用したことがある」(21.1%)、「利用したことはあるが、今後は利用しない」(7.9%)人がトラブルにあった経験は、「トラブルにあったことがない」(76.9%)が7割以上となっています。
- 青少年が非行に走る原因は、「家庭のぬくもりや家族同士のふれあいが不足(欠如)していること」(74.8%)が最も高く、次いで「家庭で過保護、または放任し過ぎること」(63.7%)、「子どもの模範となるべき大人自身のモラルや規範意識が低下していること」(48.9%)などの順となっています。
- 自身に近い考え方については、「男性も女性も同じように家事や育児をするのは当然だ」(83.8%)が最も高く、次いで「結婚し、子どもを育てることだけが幸せな人生ではない」(79.1%)、「幸せについて自分の考え方と違って、その人が幸せになろうとするのを邪魔するのは良くない」(77.3%)などの順となっています。
- 社会のあり方については、「子育て支援や少子化対策を最優先とする社会になってほしい」(57.8%)、「犯罪の防止・災害への備えに努め、安心して暮らせる社会になってほしい」(50.5%)が5割を超え、「経済活動をもっと活性化し、だれもが希望する仕事に就ける社会になってほしい」(33.3%)

が続いています。

- サービスや施設の認知度は、「成人式」(94.5%)、「児童センター」(68.4%)が過半数を占め、「こころの健康センター」(39.1%)、「教育相談室」(35.9%)が3割台となっています。利用(参加)状況については、「成人式」(71.9%)が約7割、「児童センター」(48.4%)が5割弱、それ以外は2割未満となっています。利用(参加)意向については、「児童センター」(37.3%)、「成人式」(30.8%)が3割台、「教育相談室」(23.3%)が2割台となっています。

5) 妊婦調査

① 妊娠中・出産後の状況や支援体制について

- 妊娠中、不安に思う(思った)ことは、「自分の体やお腹の中の赤ちゃんのこと」(72.8%)が最も高く、次いで「出産後の育児のこと」(63.3%)、「経済的なこと」(55.2%)、「出産のこと」(54.8%)が5割を超えています。
- 妊娠や出産に関して相談するところがあるかについては、92.4%が「はい(ある)」と回答しています。内訳は「配偶者(パートナー)」(90.3%)が最も高く、次いで「親・兄弟・姉妹などの親族」(80.0%)、「友人・知人・子育て中の仲間」(65.6%)などの順となっています。相談方法については、「相談者に直接会う」(93.3%)が突出して高く、「電話」(43.7%)以下の2倍以上となっています。
- 妊娠・出産包括支援センターの認知度は、「知っているが、利用したことはない」(45.5%)が最も高く、次いで「知っており、利用している(利用したことがある)」(30.2%)、「知らない」(21.1%)の順となっています。利用満足度については、「満足した」(36.6%)と「まあ満足した」(56.4%)の合計(93.0%)が大半を占めています。
- 妊娠中のトラブルについては、「つわりがひどい」(52.7%)、「腰痛」(47.1%)が5割前後で高くなっています。一方、「特にトラブルはない」は11.1%で、大半の人が何らかのトラブルを抱えています。
- 飲酒・喫煙については、ほとんどの人が「なし(していない)」と回答しています。
- 妊婦健康診査の受診については、ほとんどの人が「はい(受ける予定、または受けている)」(96.0%)と回答しています。
- 分娩予約の時期は、「妊娠判定～妊娠15週ころ(妊娠初期)」(69.9%)が約7割となっています。分娩予約施設は「市内」(56.5%)が「市外」(43.3%)を1割ほど上回っています。「市外」を選んだ理由としては、「市外でも近い病院だから」(39.8%)、「里帰り出産のため」(30.7%)が3割台となっています。
- 出産前教室への参加については、初産婦の人は「さいたま市で行う教室に参加予定(している)」(49.1%)、「分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定(している)」(40.4%)の合計(89.5%)が大半を占めています。経産婦の人は「初産の時に参加済なので参加しない」(42.4%)が最も多く、「今まで参加したことはないが、今回も参加しない」(25.3%)との合計(67.7%)が6割以上となっています。
- 妊娠したことによる家族の対応の変化については、「家事を手伝ってくれるようになった」(63.4%)が最も高く、次いで「買い物や散歩など外出の際に付き添ってくれるようになった」(39.7%)、「出産・育児について勉強するようになった」(36.6%)などの順となっています。
- 妊娠期間中に必要なサポートについては、「経済的支援」(70.3%)、「出産後の育児に関する知識等の提供」(63.6%)が過半数を占め、「家事等の代行」(42.0%)が続いています。
- マタニティ・マークの認知度は、「知っている」(99.5%)が大半を占めています。また、使用につ

いても、「はい（使用したい）」（92.4%）が大半を占めています。

- 出産後、不安に思うかについては、「少し不安」（67.0%）と「とても不安」（17.0%）の合計（84.0%）が8割以上となっています。内容は、「配偶者（パートナー）等が不在の時など、自分ひとりで育児がうまくできるか」（71.8%）が最も高く、次いで「経済的にやっていけるか」（50.0%）、「仕事に復帰できるか」（40.6%）などの順となっています。
- 出産後の家事や育児などの支援については、「受けられる」が83.1%となっています。具体的には、「配偶者（パートナー）」（91.3%）、「親・兄弟姉妹などの親族」（84.6%）が8割以上を占める一方、それ以外は1割未満となっています。
- 出産後、配偶者や両親等に望むものについては、「話を聞き、相談にのってほしい」（65.0%）、「育児を同等に行ってほしい」（64.1%）、「配偶者（パートナー）や両親自身が健康であってほしい」（63.3%）、「自分（産婦）の体を気遣ってほしい」（62.9%）が6割台で並立し、「家事を同等に行ってほしい」（54.7%）も過半数を占めています。
- 出産後、家族以外からのサポートについては、「経済的支援」（70.1%）が最も高く、次いで「子どもの発育や発達、接し方など子育てのアドバイス」（50.8%）、「退院直後から、生活・育児支援を受けることのできる場」（47.3%）などの順となっています。

② 就労について

- 現在の就労状況は、「フルタイムで働いている（または産休中）」（65.7%）が最も高く、次いで「妊娠前から仕事はしていない」（13.2%）となっています。
- 妊娠中の職場の配慮については、「ある（あった）」が71.5%となっています。
- 出産後の就労については、「出産後も（継続して）働きたい」（67.3%）が最も高く、次いで「今は働いていないが、出産後の体調をみて働く予定」（13.4%）となっています。
- 育児休業の取得予定については、「1～2年」（71.0%）が最も高く、次いで「1年未満」（21.9%）となっています。

③ 教育・保育・子育て支援について

- 定期的な教育・保育の利用希望については、「認可保育所」（75.6%）が突出して高く、次いで「幼稚園」（40.9%）、「認定こども園」（37.8%）などの順となっています。
- 希望する母子保健サービスについては、「医療体制の充実」（54.0%）が最も高く、次いで「子育てに関する情報提供や学習機会の充実」（49.4%）、「育児不安や悩みに対する相談体制の充実」（43.6%）、「妊婦健康診査の充実」（42.4%）などの順となっています。
- 安心・安全な子育てに必要な地域での必要な取り組みは、「子育て中の親子が集まる場、遊べる場づくり」（54.8%）が最も高く、次いで「さまざまな施設等での相談機能の充実」（33.2%）、「子育て中の人と経験者が交流できる場や仕組みづくり」（29.9%）などの順となっています。
- 今後、地域の中でできることについては、「自治会などの地区活動への参加」（16.5%）、「子育てサークル等の自主活動への参加」（14.6%）、「先輩ママとしての体験や経験を話す」（12.1%）が1割台となっています。一方、「考えたことがない、わからない」は60.6%を占めています。

6) ひとり親調査

① 就労・生活状況について

- 現在の就業上の地位は、「常勤職員・正社員」（42.8%）が最も高く、次いで「臨時・パート」（33.6%）となっています。

- 転職の希望については、「現在の仕事を続けたい」(59.5%)が最も高くなっています。「仕事を変えたい」(27.9%)、「仕事をやめたい」(1.7%)理由としては、「収入がよくない」(73.9%)が突出して高く、「子どもと過ごす時間を増やしたい」(31.1%)が続いています。
- 取得している資格については、「簿記」(15.5%)が最も高く、次いで「ホームヘルパー」「パソコン関連の資格」(各9.9%)、「保育士」(6.5%)などの順となっています。資格の取得希望については、「パソコン関連の資格」(17.2%)が最も高く、次いで「簿記」(12.8%)、「医療事務」(12.2%)などの順となっています。
- 昨年1年間の総収入の収入源は、「あなたの仕事収入」(86.1%)が最も高く、次いで「児童手当・児童扶養手当等」(61.9%)、「離別した配偶者からの養育費」(27.3%)などの順となっています。金額は、就労による収入(26.8%)、総収入(25.4%)とも「200万円～300万円未満」が最も高くなっています。
- 現在特に困っていることは、「収入・生計の維持」(59.6%)が約6割を占め、それ以外は1割未満となっています。困っていることの相談相手は、「友人・知人」(52.2%)が最も高く、次いで「別居の家族・親族」(41.1%)、「職場の仲間や先輩」(29.3%)などの順となっています。

② 養育費について

- 子どもの養育費の相談相手は、「親族」(17.9%)、「弁護士」(13.7%)が1割台となっています。一方、「相談していない」は41.5%を占めています。
- 養育費の取り決めの状況については「取り決めている(文書あり)」(46.4%)、「取り決めている(文書なし)」(12.4%)との合計(58.8%)が6割弱となっています。一方、「取り決めている(文書なし)」(36.8%)理由としては、「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」(57.0%)が最も高く、「相手と関わりたくないから」(49.3%)も約5割を占めています。
- 子どもの養育費の受け取り状況については、「受けたことはない」(43.4%)が最も高く、次いで「現在も受け取っている」(37.2%)、「受けたことはあるが現在は受け取っていない」(12.9%)の順となっています。受け取っている(受け取っていた)養育費は、月額「2万円～4万円未満」(33.2%)が最も高くなっています。

③ 支援策について

- ひとり親世帯への必要な支援策は、「各種の手当や見舞い金の支給・貸与」(49.2%)が最も高く、次いで「親や子どもが病気になった時のヘルパー派遣」(27.9%)、「親の帰宅時間に合わせて子どもを預かってくれるなど、ひとり親世帯の特性に合った保育システム」(22.9%)などの順となっています。
- さいたま市のサービス(施策)の認知度は、「児童扶養手当」(96.1%)、「ひとり親家庭等医療費助成」(92.8%)が9割台、「就学援助制度」(85.9%)、「ひとり親家庭児童就学支度金制度」(82.0%)が8割台となっています。16項目中8項目で認知度が5割を超えています。利用状況は、「児童扶養手当」(88.9%)、「ひとり親家庭等医療費助成」(86.6%)が8割台で特に高く、「就学援助制度」(65.6%)、「ひとり親家庭児童就学支度金制度」(54.9%)が続きますが、それ以外の12項目は2割未満となっています。利用意向は、「児童扶養手当」(75.1%)、「ひとり親家庭等医療費助成」(73.4%)が7割台、「ひとり親家庭児童就学支度金制度」(57.3%)「就学援助制度」(56.1%)が5割台となっています。

4. 調査結果詳細

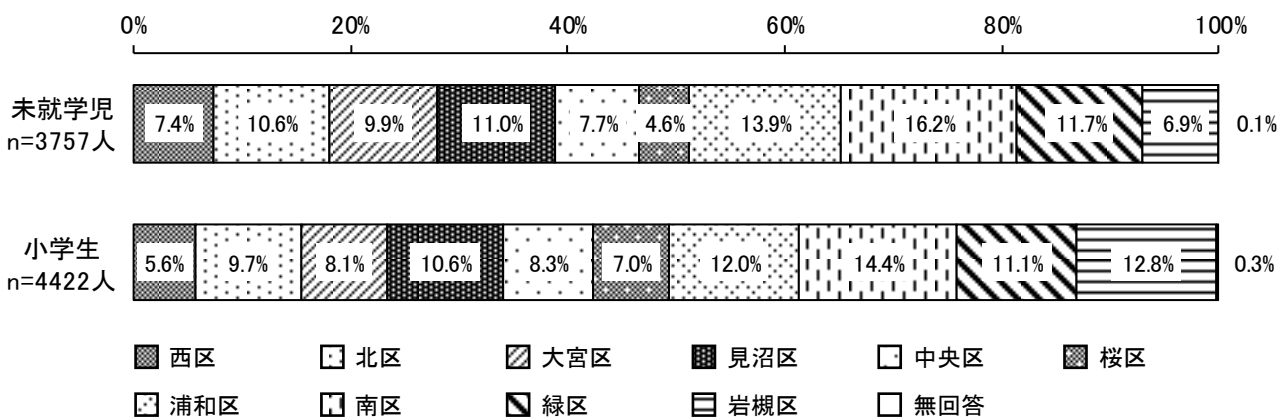
1) 未就学児保護者調査

1 居住地域について

共通設問 問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住地域について、未就学児は「南区」が16.2%と最も高く、次いで「浦和区」が13.9%、「緑区」が11.7%となっています。

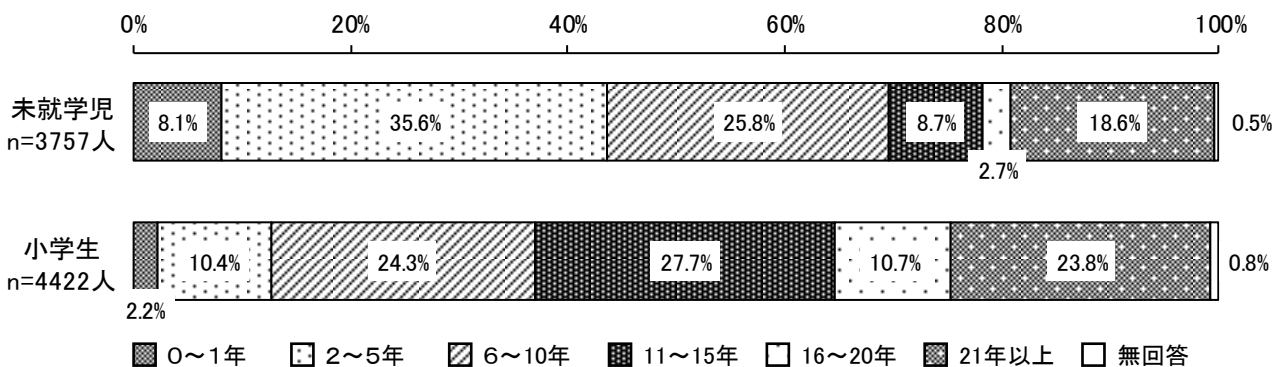
小学生は「南区」が14.4%と最も高く、次いで「岩槻区」が12.8%、「浦和区」が12.0%となっています。



共通設問 問2 さいたま市居住年数として当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住年数について、未就学児は「2～5年」が35.6%と最も高く、次いで「6～10年」が25.8%、「21年以上」が18.6%となっています。

小学生は「11～15年」が27.7%と最も高く、次いで「6～10年」が24.3%、「21年以上」が23.8%となっています。



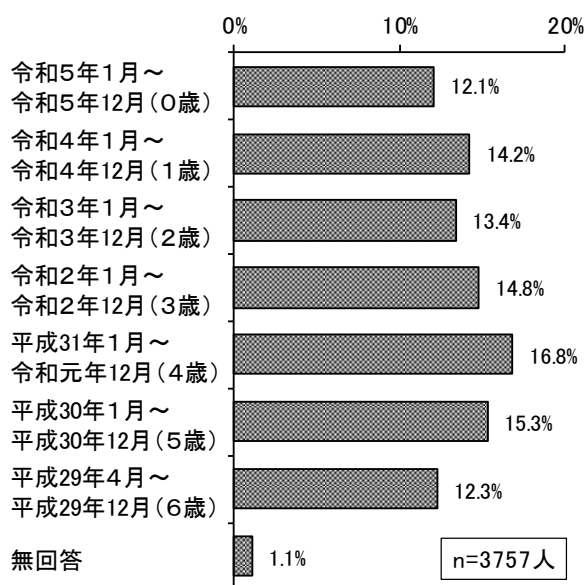
2 家族構成について

共通設問 問3 お子さんの生年月をご記入ください。
 (当てはまる番号に○をつけ、□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

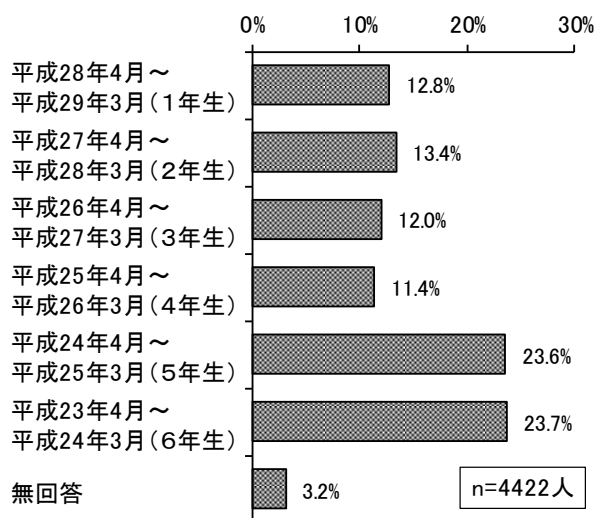
子どもの年齢(令和5年12月1日基準)について、未就学児は「4歳」が16.8%と最も高く、次いで「5歳」が15.3%、「3歳」が14.8%となっています。

小学生は「6年生」が23.7%と最も高く、次いで「5年生」が23.6%、「2年生」が13.4%となっています。

■未就学児



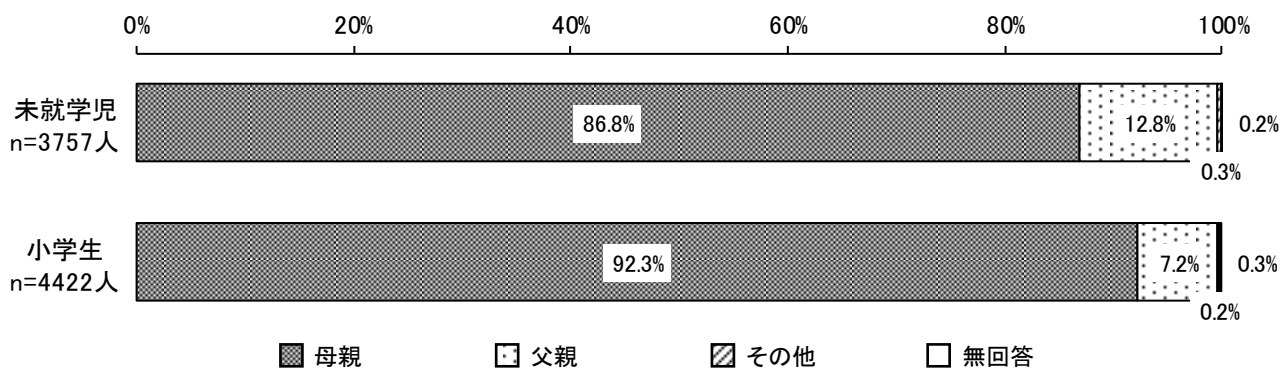
■小学生



共通設問 問4 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

回答者について、未就学児は「母親」が86.8%、「父親」が12.8%となっています。

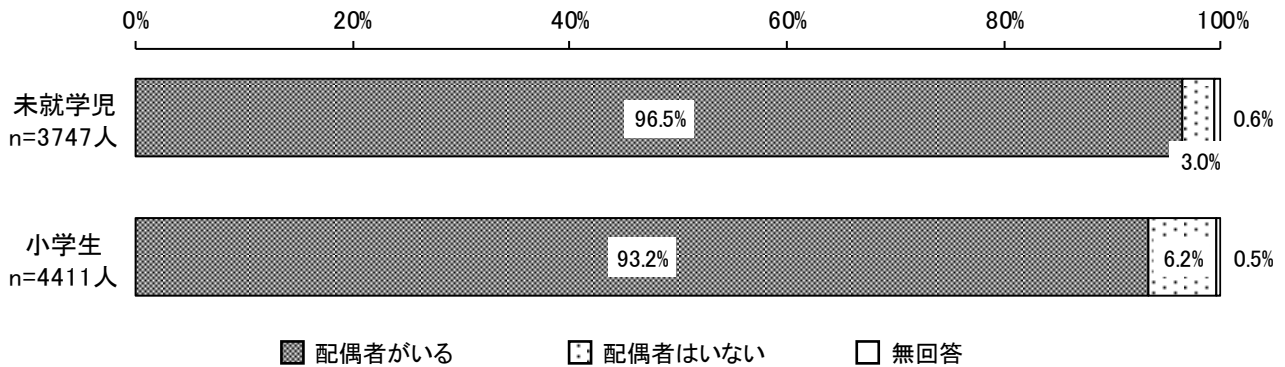
小学生は「母親」が92.3%、「父親」が7.2%となっており、未就学児・小学生保護者とも「母親」が8割以上を占めています。



共通設問 問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です。)

回答者の配偶関係について、未就学児は「配偶者がいる」が96.5%、「配偶者はいない」が3.0%となっています。

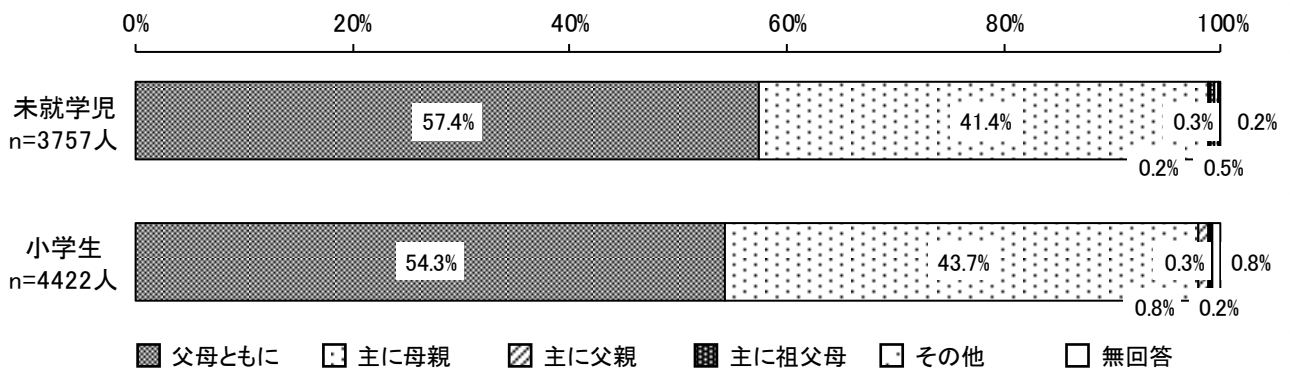
小学生は「配偶者がいる」が93.2%、「配偶者はいない」が6.2%となっており、未就学児・小学生保護者とも「配偶者がいる」が9割以上を占めています。



共通設問 問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
 お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育ての主な担い手について、未就学児は「父母ともに」が57.4%と最も高く、次いで「主に母親」が41.4%となっています。

小学生は「父母ともに」が54.3%と最も高く、次いで「主に母親」が43.7%となっています。未就学児・小学生保護者とも「父母ともに」と「主に母親」の合計が9割以上を占めています。

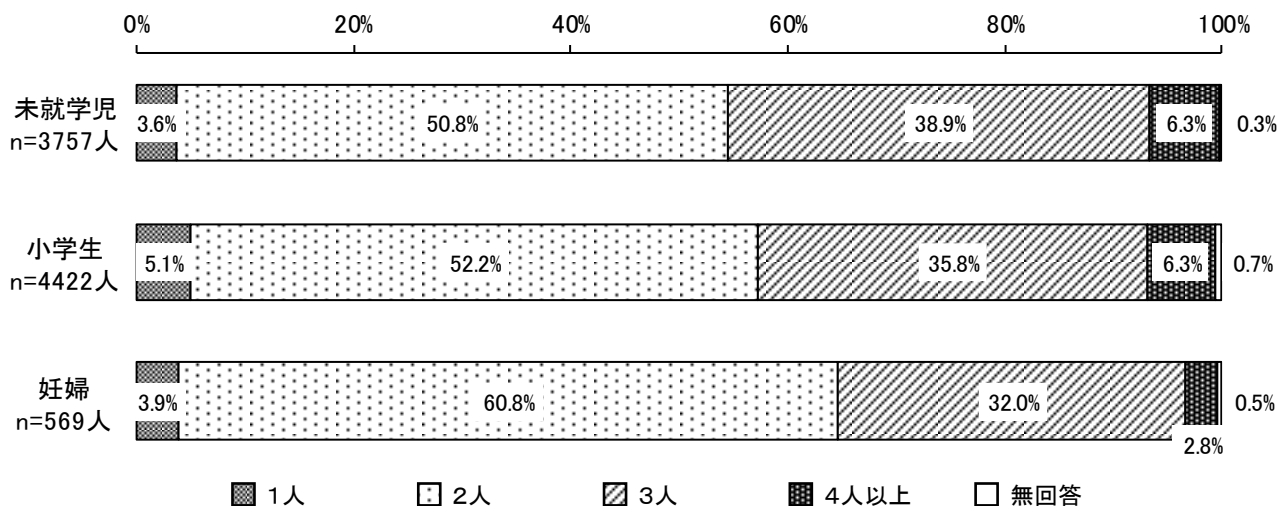


共通設問 問7 あなたにとって、理想の子どもは何人ですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

理想の子ども数について、未就学児は「2人」が50.8%と最も高く、次いで「3人」が38.9%となっています。

小学生は「2人」が52.2%と最も高く、次いで「3人」が35.8%となっています。

妊婦は「2人」が60.8%と最も高く、次いで「3人」が32.0%となっています。

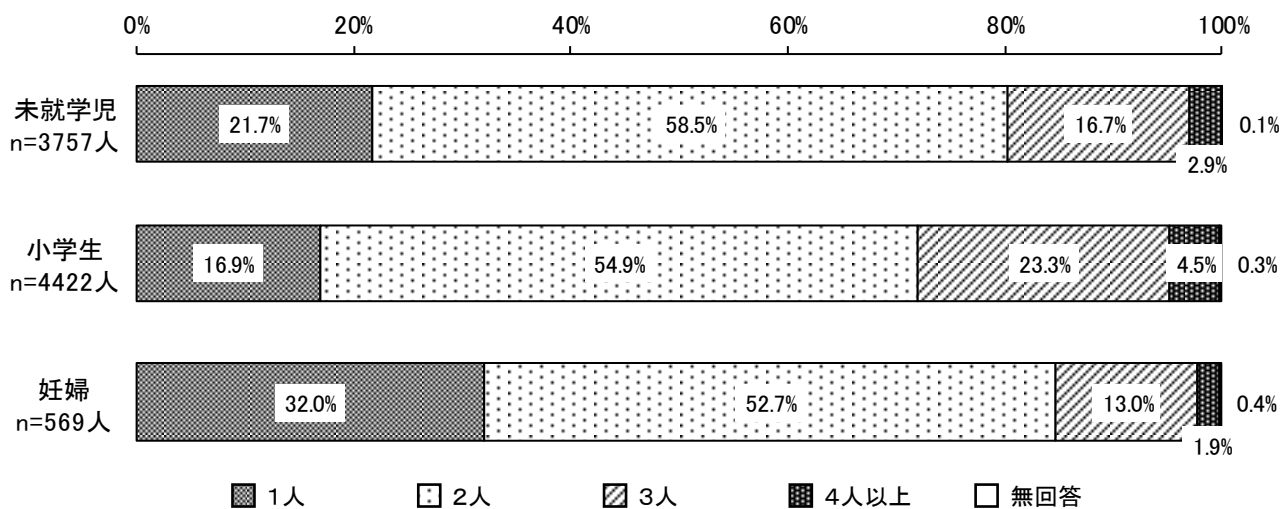


共通設問 問8 あなたは実際に持つ予定の(持った)子どもは何人ですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

実際の子ども数について、未就学児は「2人」が58.5%と最も高く、次いで「1人」が21.7%、「3人」が16.7%となっています。

小学生は「2人」が54.9%と最も高く、次いで「3人」が23.3%、「1人」が16.9%となっています。

妊婦は「2人」が52.7%と最も高く、次いで「1人」が32.0%、「3人」が13.0%となっています。

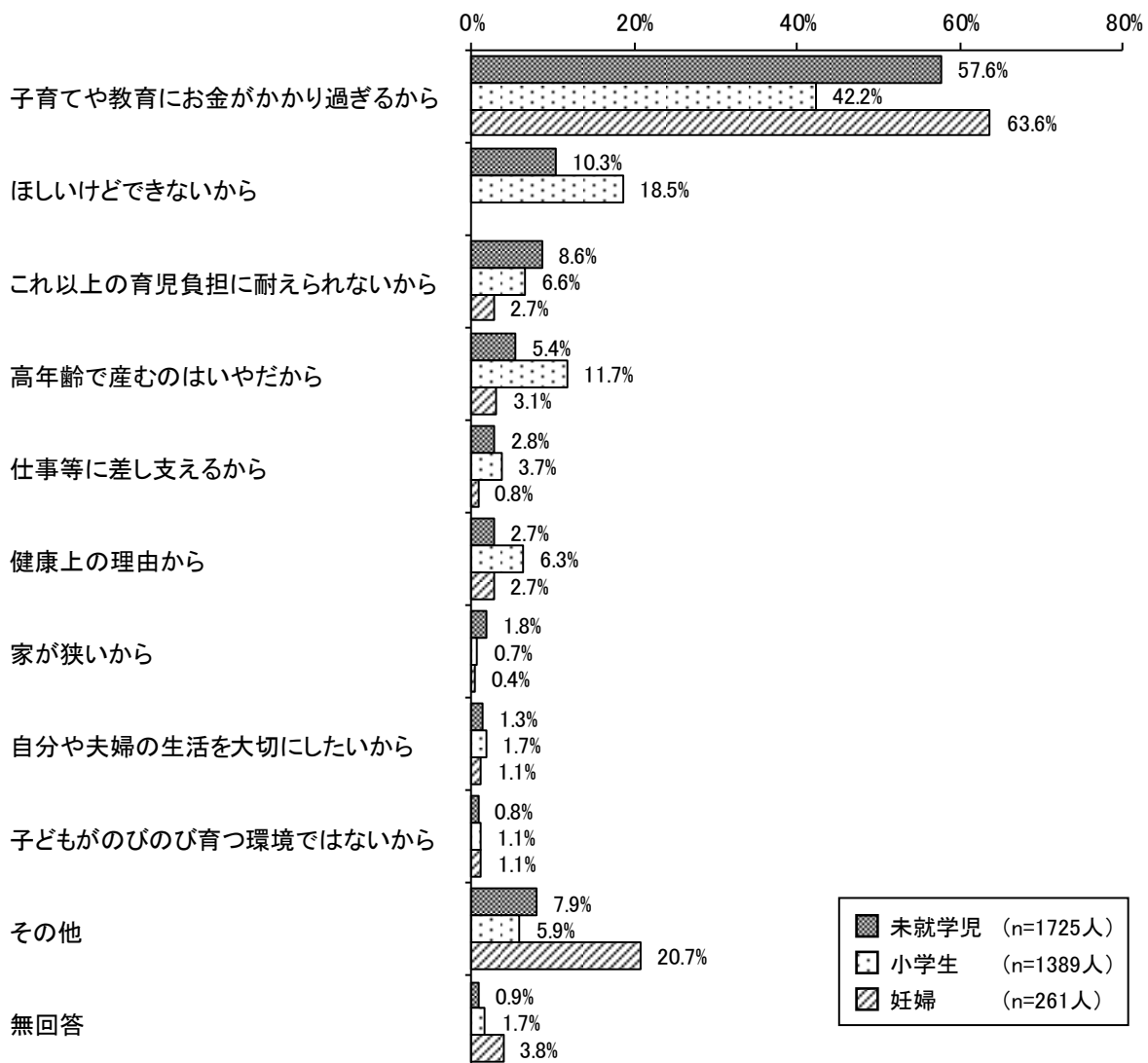


共通設問 問9 問7より問8で回答した人数が少ない方におたずねします。
 人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

理想より実際の人数が少ない理由として、未就学児は「子育てや教育にお金がかかり過ぎるから」が57.6%と最も高く、次いで「ほしいけどできないから」が10.3%、「これ以上の育児負担に耐えられないから」が8.6%となっています。

小学生は「子育てや教育にお金がかかり過ぎるから」が42.2%と最も高く、次いで「ほしいけどできないから」が18.5%、「高年齢で産むのはいやだから」が11.7%となっています。

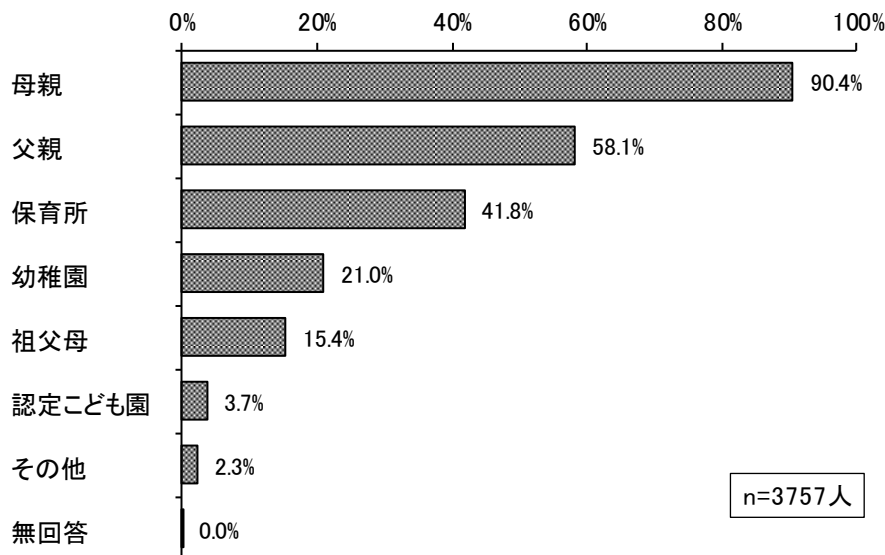
妊婦は「子育てや教育にお金がかかり過ぎるから」が63.6%と最も高く、次いで「高年齢で産むのはいやだから」が3.1%、「これ以上の育児負担に耐えられないから」が2.7%となっています。



3 子育ての担い手について

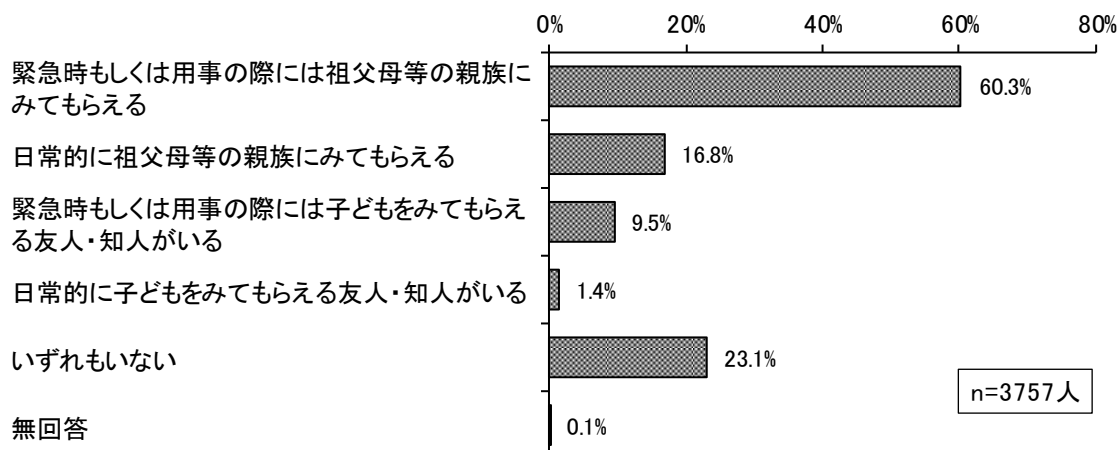
問 10 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたか、あるいはどの施設ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てに日常的に関わる人・施設については、「母親」が90.4%と最も高く、次いで「父親」が58.1%、「保育所」が41.8%、「幼稚園」が21.0%となっています。



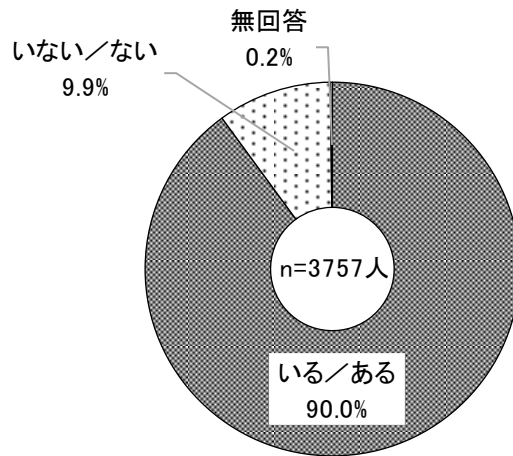
問 11 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.3%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が16.8%となっています。一方、「いずれもない」は23.1%となっています。



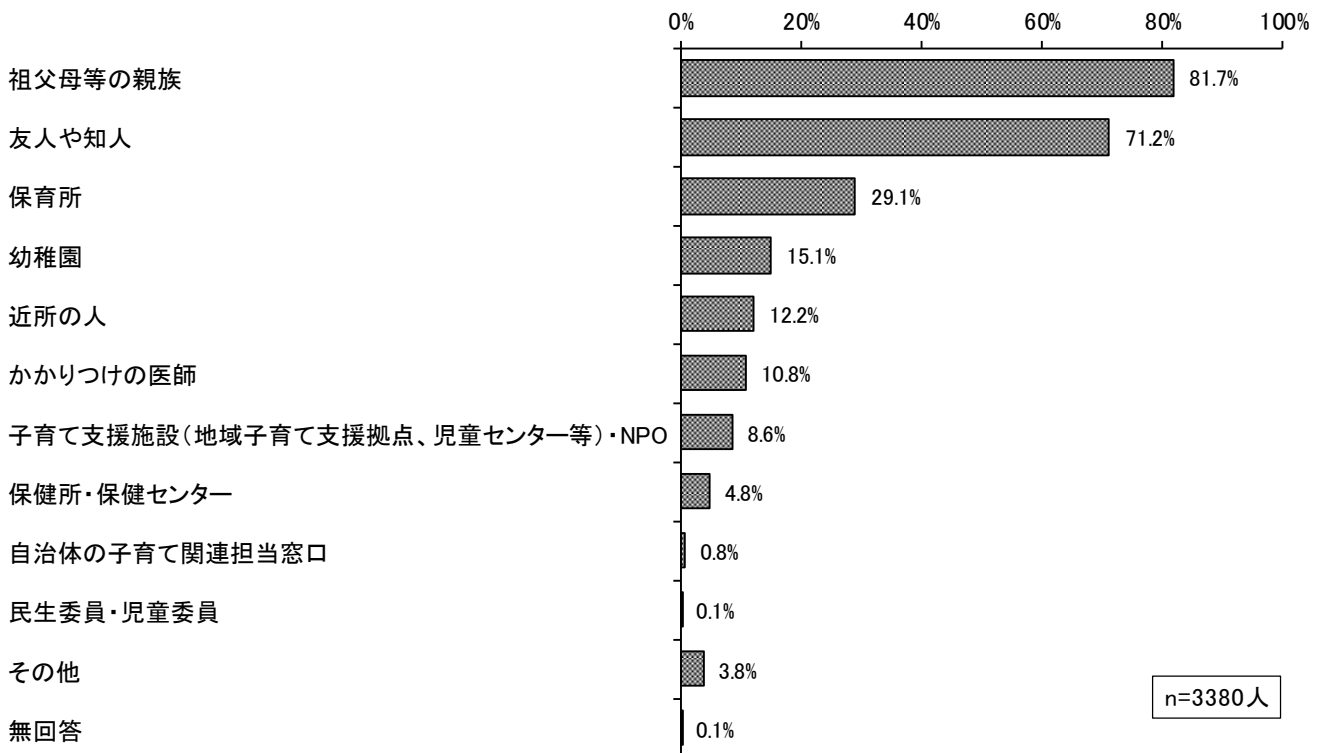
問 12 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

気軽に相談できる人及び場所については、「いる／ある」が90.0%、「いない／ない」が9.9%となっており、「いる／ある」が9割を占めています。



問 12-1 問 12 で「1. いる／ある」に○をつけた方におたずねします。
 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

相談先については、「祖父母等の親族」が81.7%、「友人や知人」が71.2%と突出して高く、次いで「保育所」が29.1%となっています。



4 保護者の就労状況について

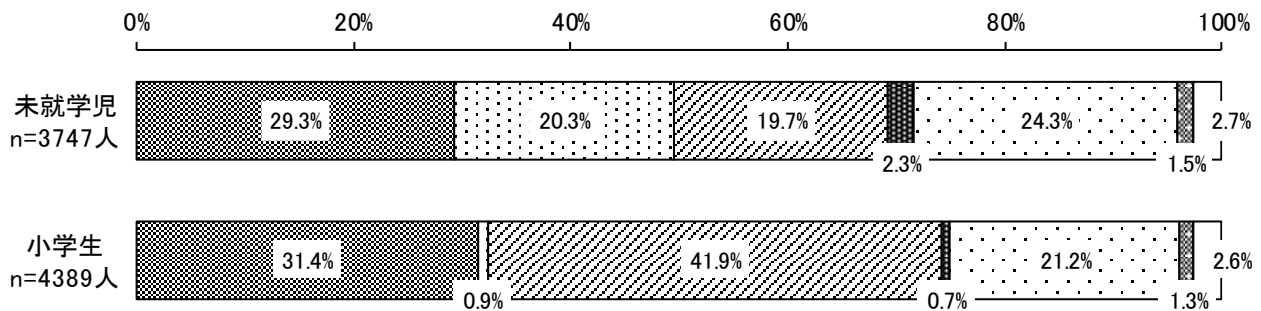
共通設問

問13 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおたずねします。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の就労状況について、未就学児は「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.3%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が24.3%となっています。また、産休・育休・介護休業中の方は、フルタイムとパートタイムの合計で22.6%となっています。

小学生は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が41.9%と最も高く、次いで「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.4%となっています。また、産休・育休・介護休業中の方は、フルタイムとパートタイムの合計で1.6%となっています。

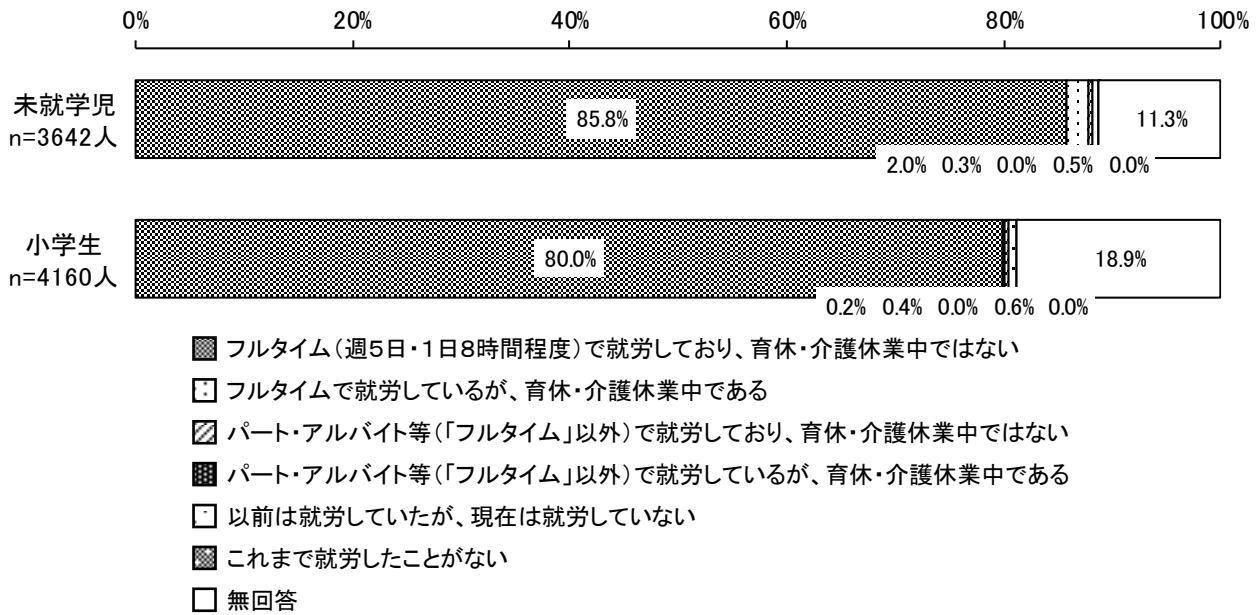


- フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親」の就労状況について、未就学児は「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が85.8%と突出して高くなっています。

小学生は「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が80.0%と突出して高く、未就学児・小学生保護者とも「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が8割以上を占めています。



共通設問

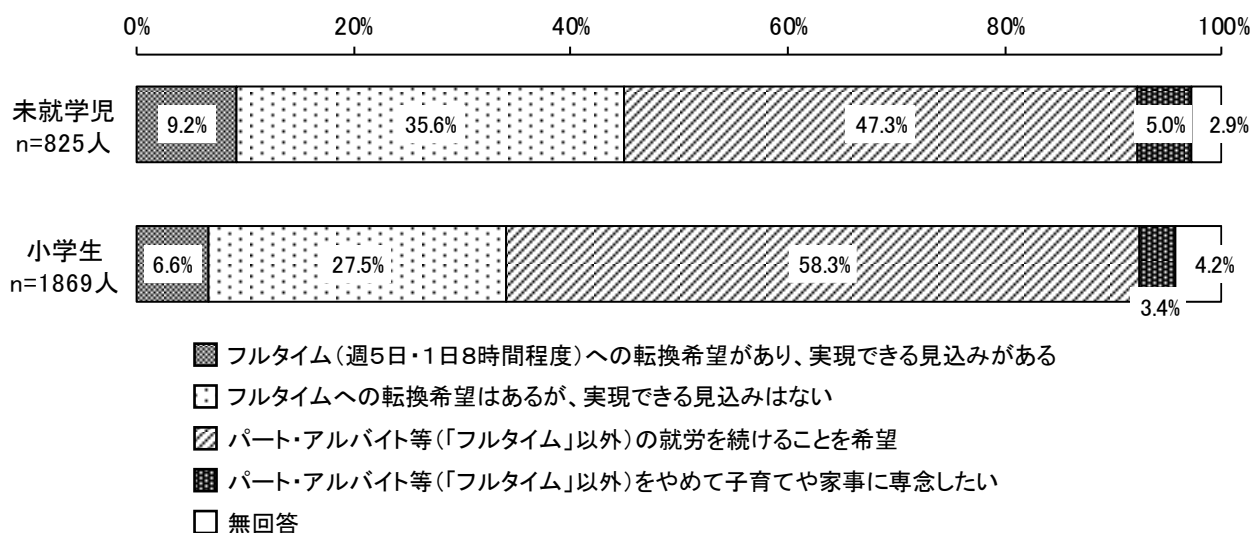
問13-1 問13の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におたずねします。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

母親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望について、未就学児は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が47.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が35.6%、「フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.2%となっています。

小学生は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が58.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.5%、「フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.6%となっています。



(2) 父親

父親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望について、未就学児は「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(4件)、小学生は「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」(8件)が最も多くなっています。

項目	未就学児 n=10人		小学生 n=16人	
	件数	構成比	件数	構成比
フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	10.0%	1	6.3%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	4	40.0%	3	18.8%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3	30.0%	8	50.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	2	20.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	4	25.0%
回答者数	10	100.0%	16	100.0%

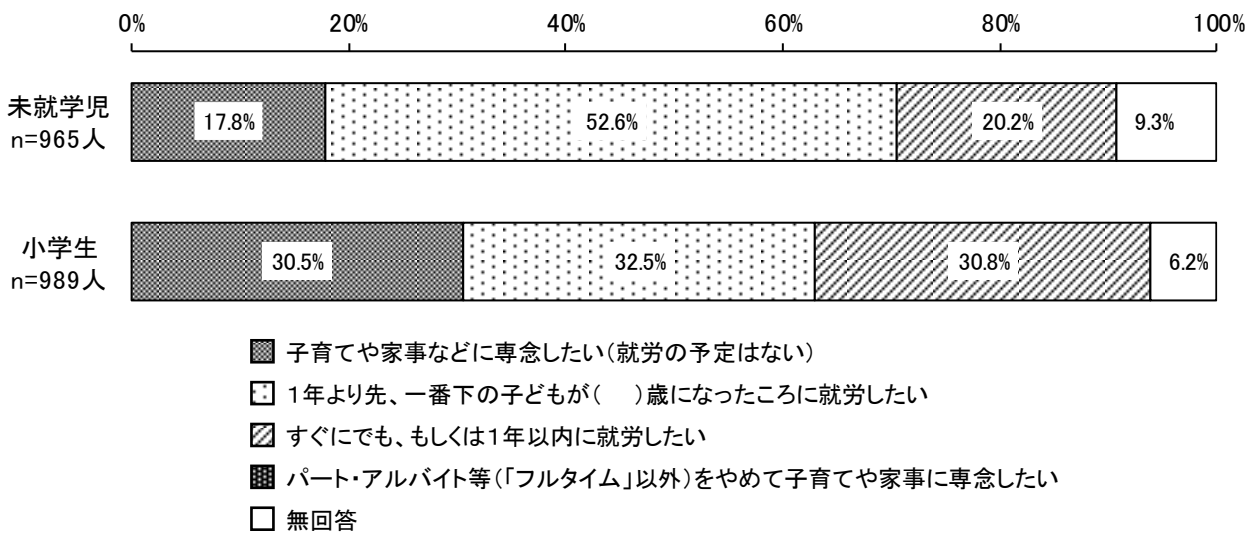
共通設問

問 13-2 問 13 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方におたずねします。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

(1) 母親の就労希望

未就労の母親の就労希望について、未就学児は「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」が52.6%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が20.2%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が17.8%となっています。

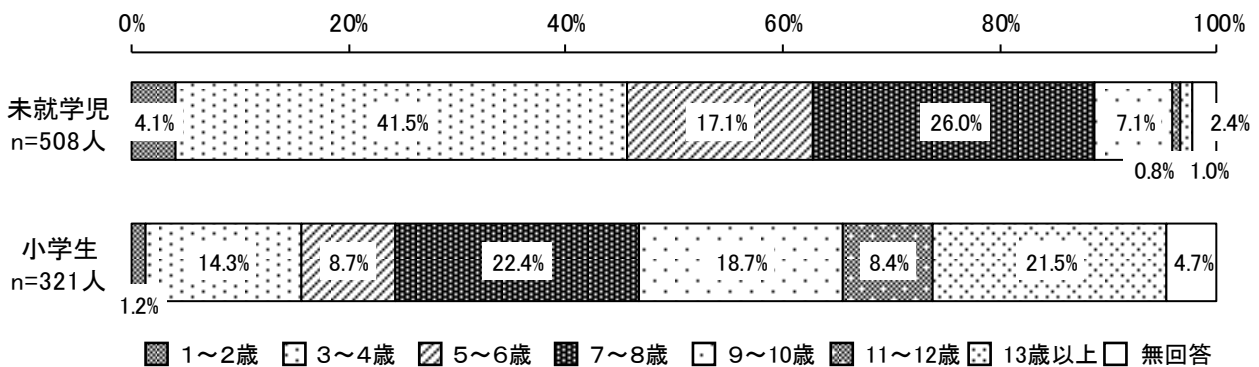
小学生は「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」が32.5%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が30.8%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が30.5%となっています。



■希望する就労時期(一番下の子どもの年齢)

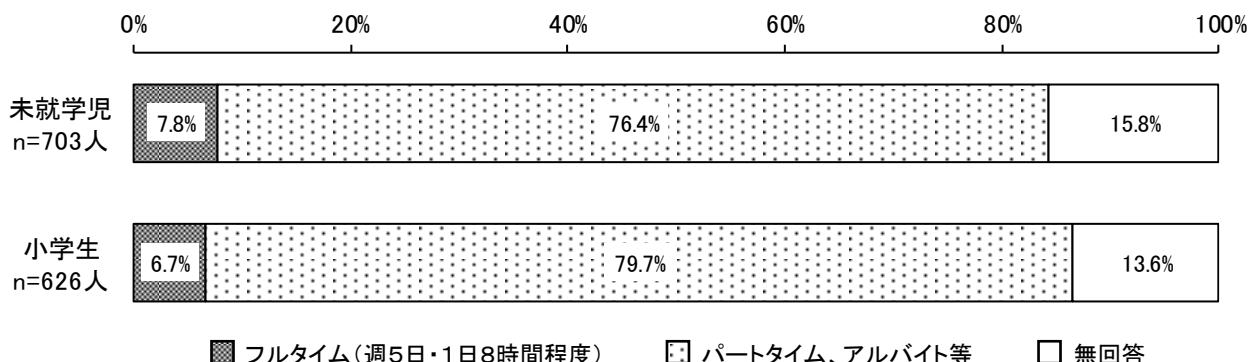
希望する就労時期について、未就学児は「3～4歳」が41.5%と最も高く、次いで「7～8歳」が26.0%となっています。

小学生は「7～8歳」が22.4%と最も高く、次いで「13歳以上」が21.5%となっています。



■希望する就労形態

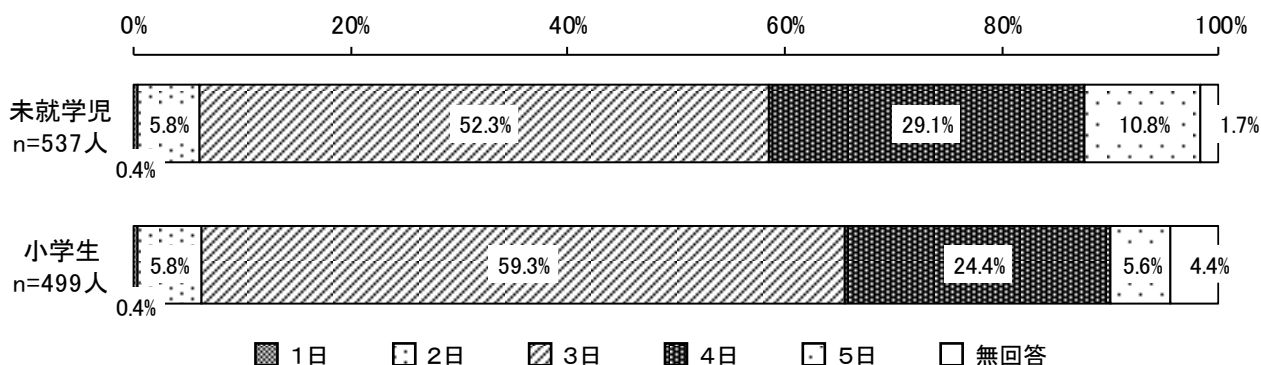
希望する就労形態については、未就学児・小学生とも「パートタイム、アルバイト等」(76.4%、79.7%)が「フルタイム(週5日・1日8時間程度)」(7.8%、6.7%)より圧倒的に高くなっています。



■パートタイム、アルバイト等による1週当たりの希望就労日数

1週当たりの希望勤務日数について、未就学児は「3日」が52.3%と最も高く、次いで「4日」が29.1%となっています。

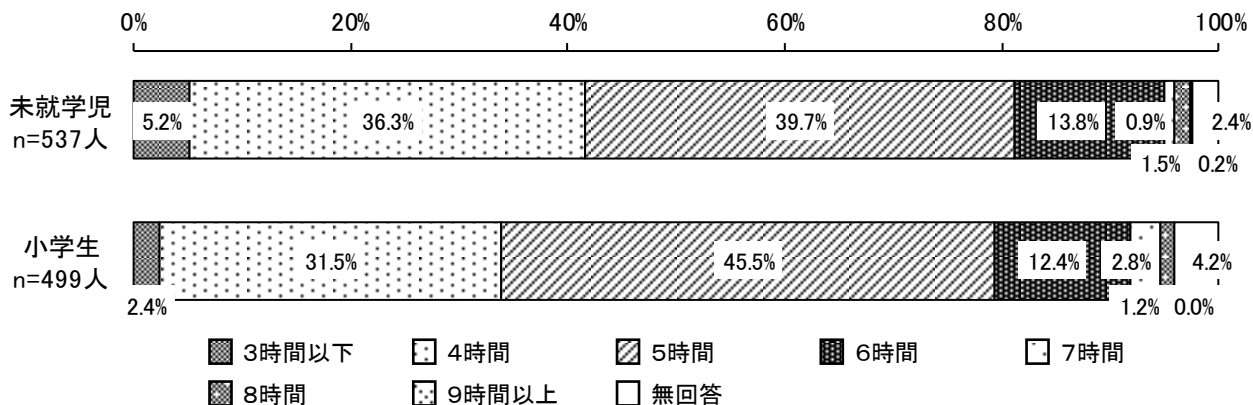
小学生は「3日」が59.3%と最も高く、次いで「4日」が24.4%となっています。



■パートタイム、アルバイト等による1日当たりの希望就労時間

1日当たりの希望勤務時間について、未就学児は「5時間」が39.7%と最も高く、次いで「4時間」が36.3%となっています。

小学生は「5時間」が45.5%と最も高く、次いで「4時間」が31.5%となっています。



(2) 父親の就労希望

未就労の父親の就労希望については、以下の通りとなっています。

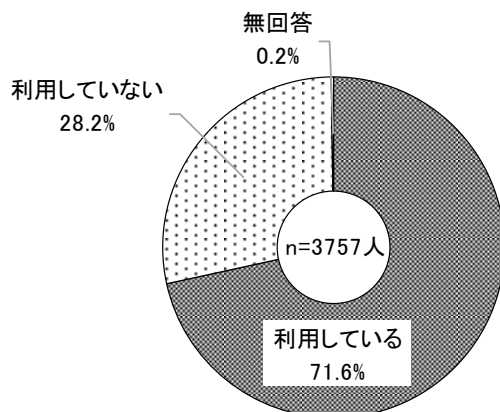
項目	未就学児 n=21人		小学生 n=25人	
	件数	構成比	件数	構成比
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	3	14.3%	7	28.0%
1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい	1	4.8%	1	4.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	13	61.9%	10	40.0%
無回答	4	19.0%	7	28.0%

5 平日の定期的な教育・保育の利用について

※ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用している幼稚園や保育所などを指し、具体的には、問14-1に示したものが含まれます。

問14 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育」を利用されていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

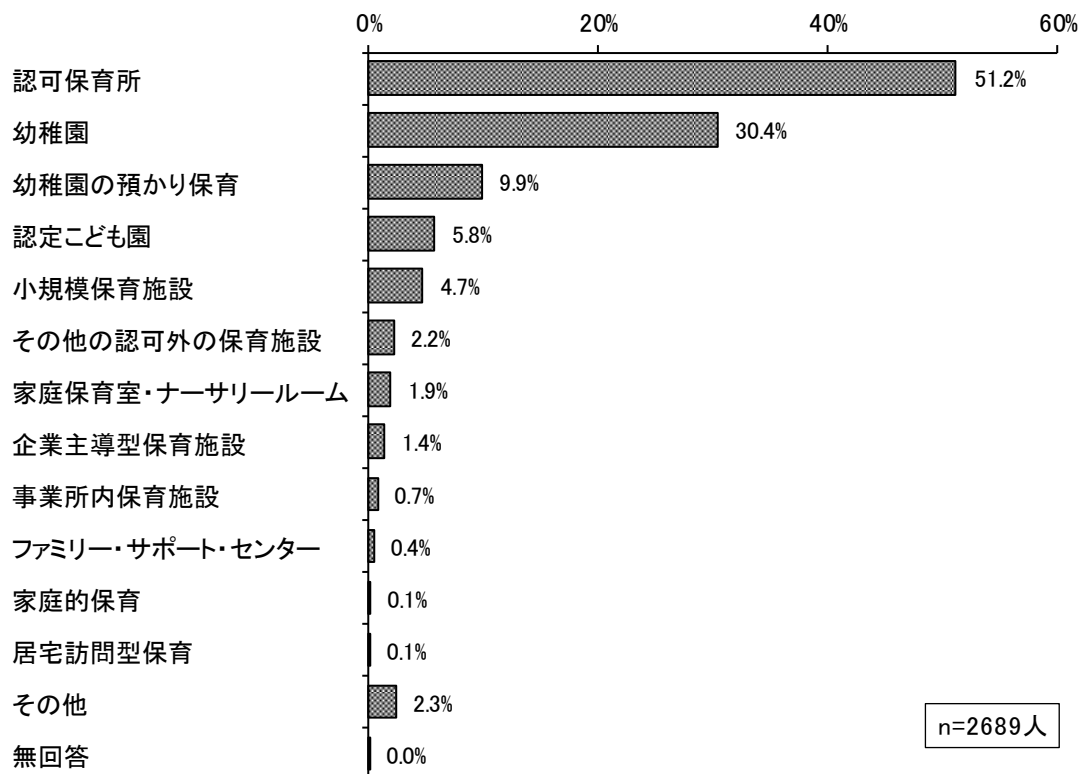
定期的な教育・保育の利用状況については、「利用している」が71.6%、「利用していない」が28.2%と、「利用している」が「利用していない」を大きく上回っています。



問14-1 問14で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。

お子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用している教育・保育事業については、「認可保育所」が51.2%と最も高く、次いで「幼稚園」が30.4%、「幼稚園の預かり保育」が9.9%となっています。



問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間何分（何時何分から何時何分まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。（一枠内に数字は一字）時間は、必ず（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

平日の教育・保育事業の利用状況について、1週当たりの日数は「5日」(94.2%)、1日当たりの時間は「7～10時間」(63.6%)が最も高くなっています。

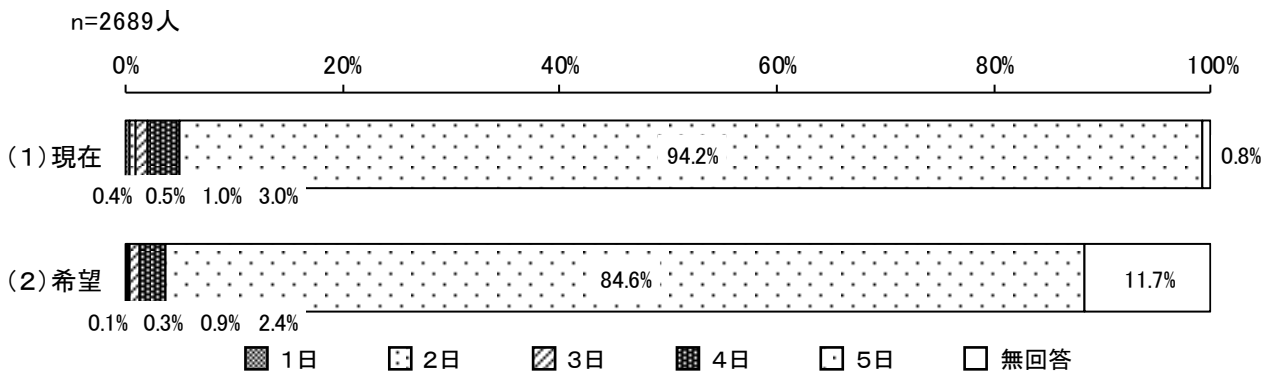
また、利用開始時間は「8時」(44.9%)と「9時」(36.1%)の合計が8割を超えています。一方、利用終了時間は「17時」(25.6%)、「18時」(23.9%)、「14時」(21.0%)などに分散しています。

(2) 希望

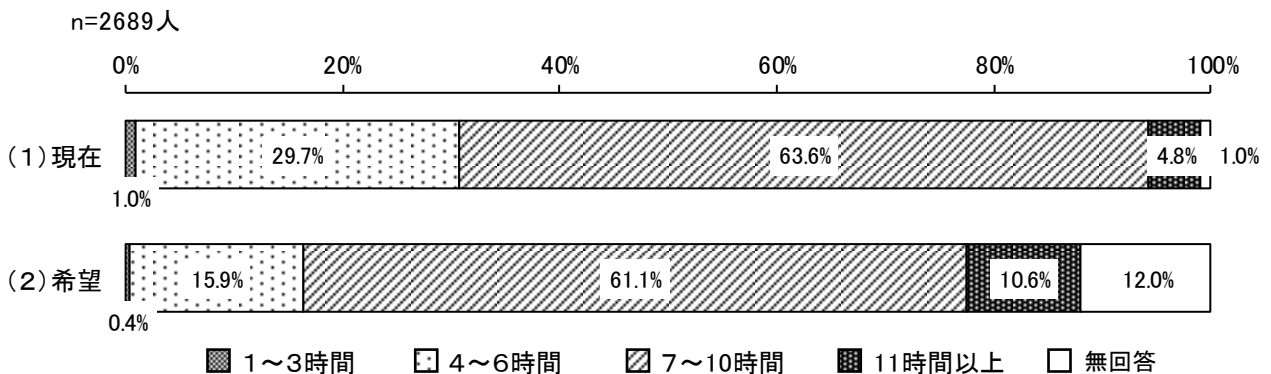
平日の教育・保育事業の利用希望について、1週当たりの日数は「5日」(84.6%)、1日当たりの時間は「7～10時間」(61.1%)が最も高くなっています。

また、利用開始時間は「8時」(41.4%)と「9時」(29.5%)の合計が7割を超えています。一方、終了時間は「17時」(24.1%)、「18時」(22.8%)、「16時」(16.6%)などに分散しています。

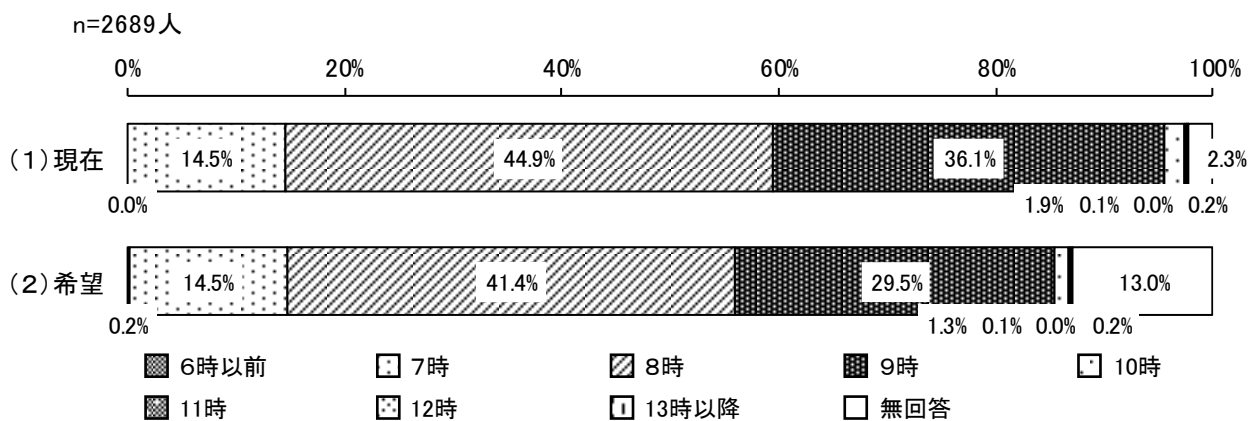
【1週当たりの日数】



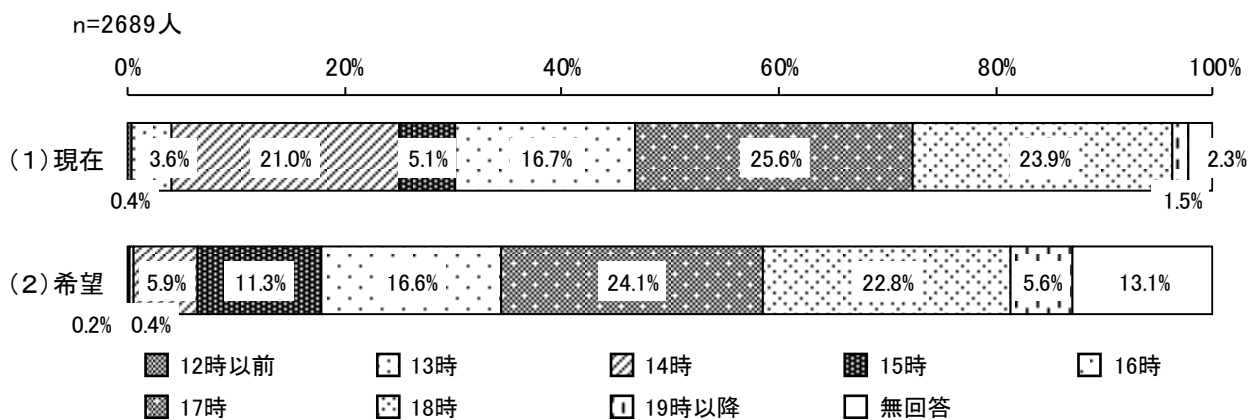
【1日当たりの時間】



【利用開始時間】



【利用終了時間】

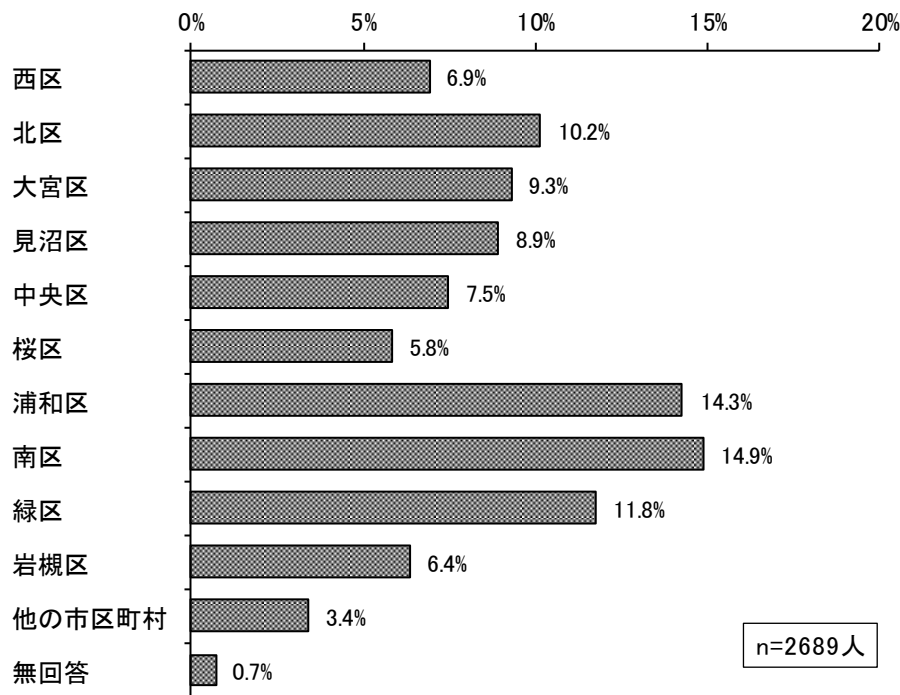


問 14-3 現在、利用している教育・保育の実施場所についておたずねします。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

「11. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。

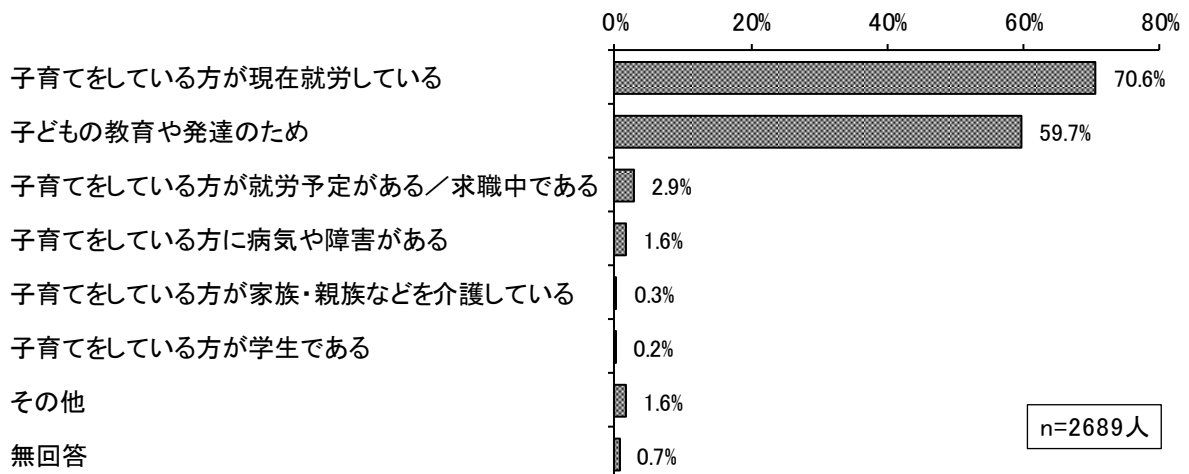
教育・保育事業の実施場所については、「南区」が14.9%と最も高く、次いで「浦和区」が14.3%、「緑区」が11.8%、「北区」が10.2%となっています。なお、「他の市町村」(3.4%)としては、上尾市、川口市、戸田市などが多くなっています。



問 14-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由についておたずねします。

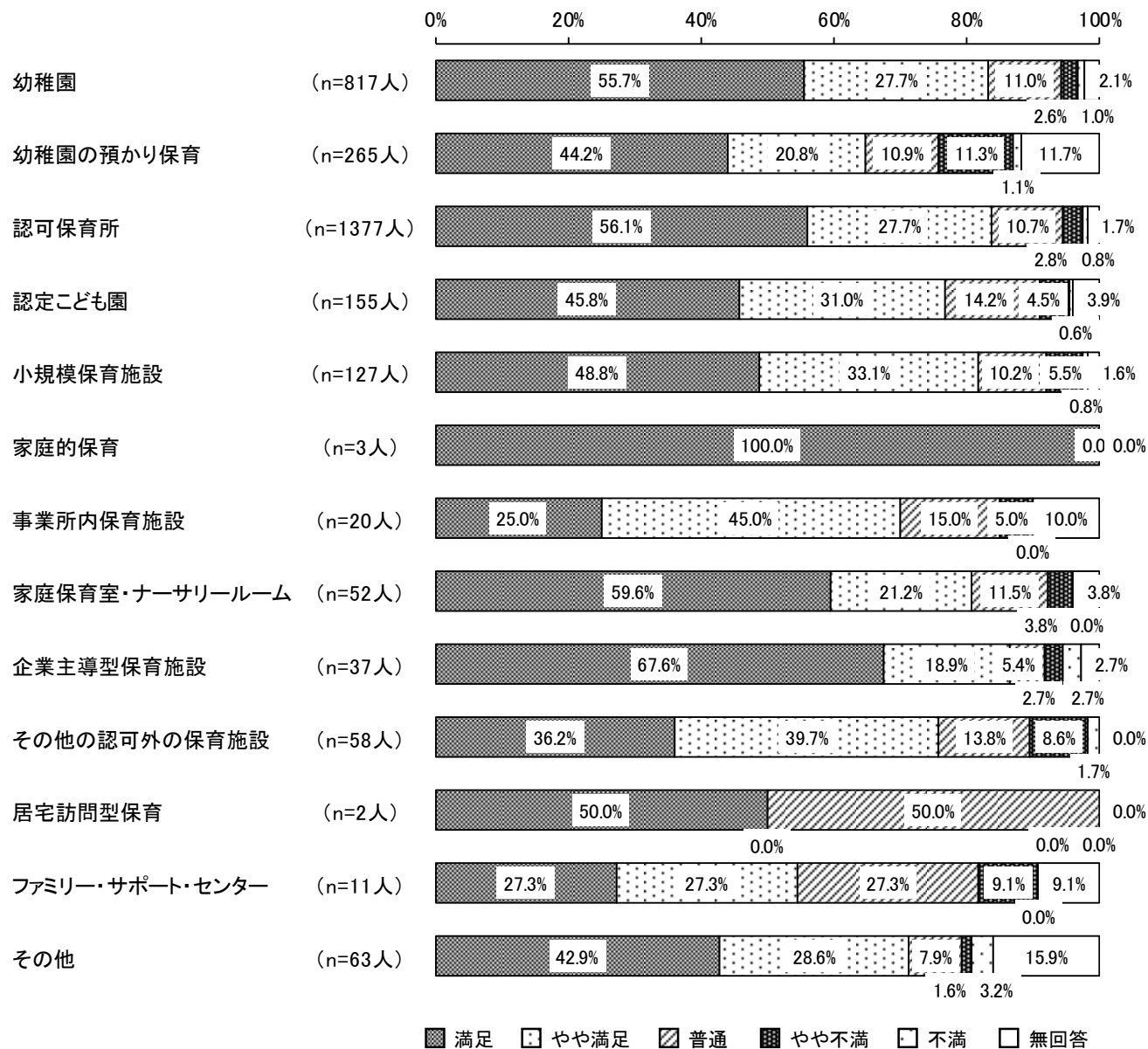
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労している」(70.6%)、「子どもの教育や発達のため」(59.7%)が突出して高くなっています。



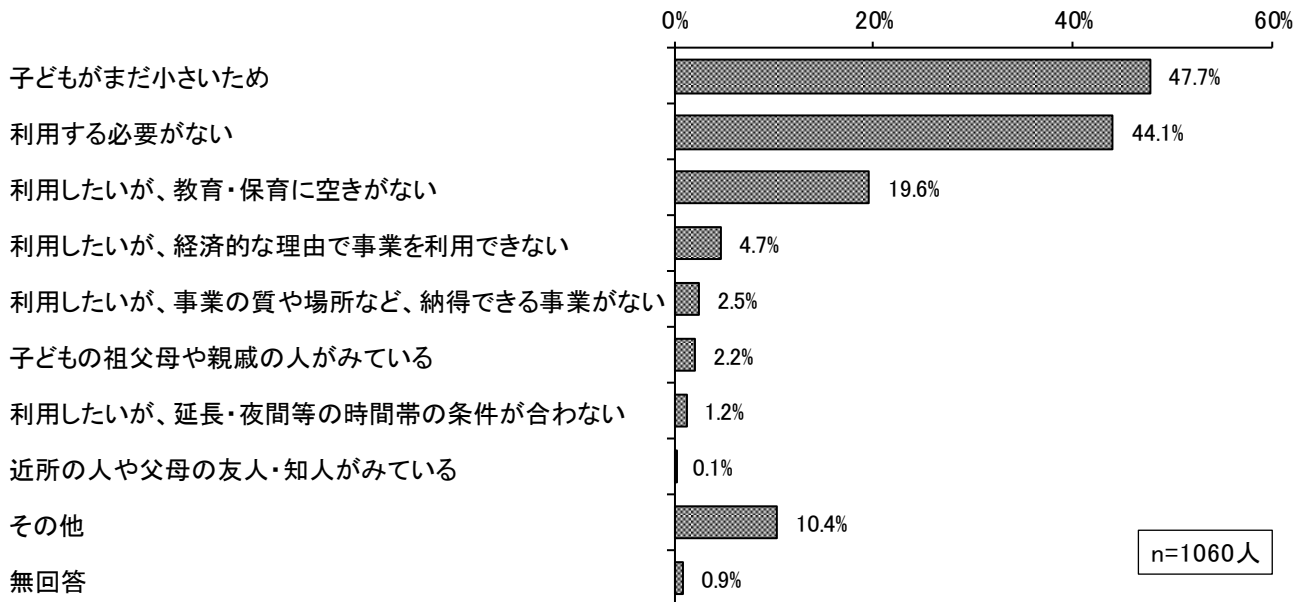
問 14-5 平日に定期的に利用している教育・保育の満足度についておたずねします。
 当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

現在利用している教育・保育の満足度について、「満足」と「やや満足」の合計は、「幼稚園」、「認可保育所」、「認定こども園」、「小規模保育施設」、「家庭的保育」、「その他の認可外の保育施設」などで7割以上となっています。



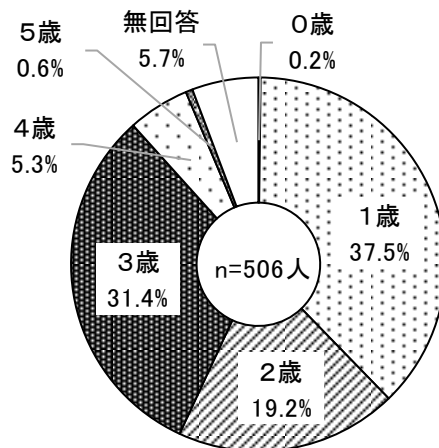
問 14-6 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方におたずねします。
 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

定期的な教育・保育事業を利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため」が 47.7%、「利用する必要がない」が 44.1%と特に高く、次いで「利用したいが、教育・保育に空きがない」が 19.6%となっています。



■希望する利用時期（子どもの年齢）

「子どもがまだ小さいため」事業を利用できない場合の、希望する利用時期については、「1歳」が 37.5%と最も高く、次いで「3歳」が 31.4%、「2歳」が 19.2%となっています。

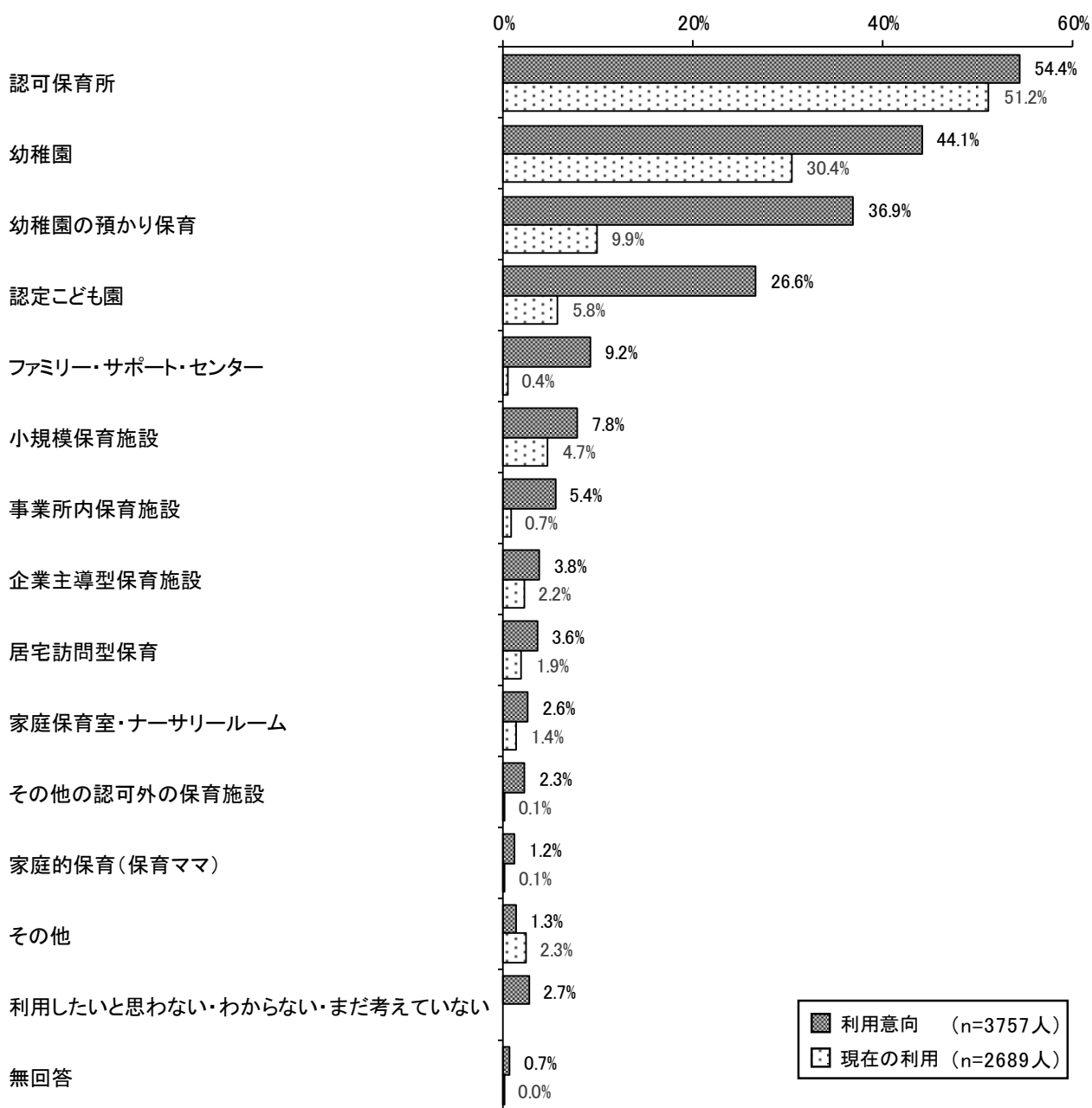


問15 すべての方におたずねします。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考えるものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

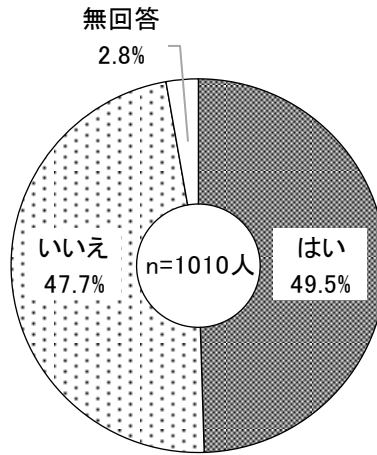
平日の定期的な教育・保育の利用意向については、「認可保育所」が54.4%と最も高く、次いで「幼稚園」が44.1%、「幼稚園の預かり保育」が36.9%、「認定こども園」が26.6%となっています。

現在の利用率との差については、「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」が2割以上、「幼稚園」が1割以上、利用意向より利用率が低くなっています。



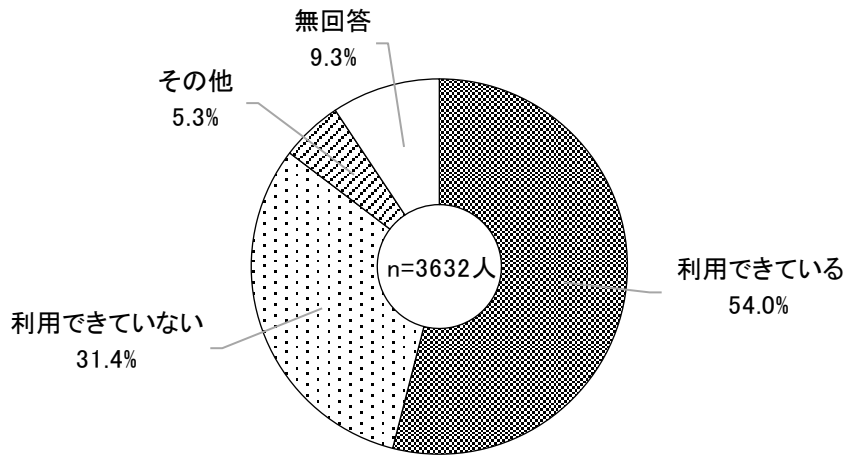
問 15-1 問 15 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、3～12にも○をつけた方におたずねします。
特に幼稚園の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

幼稚園の利用希望については、「はい」が49.5%、「いいえ」が47.7%となっています。



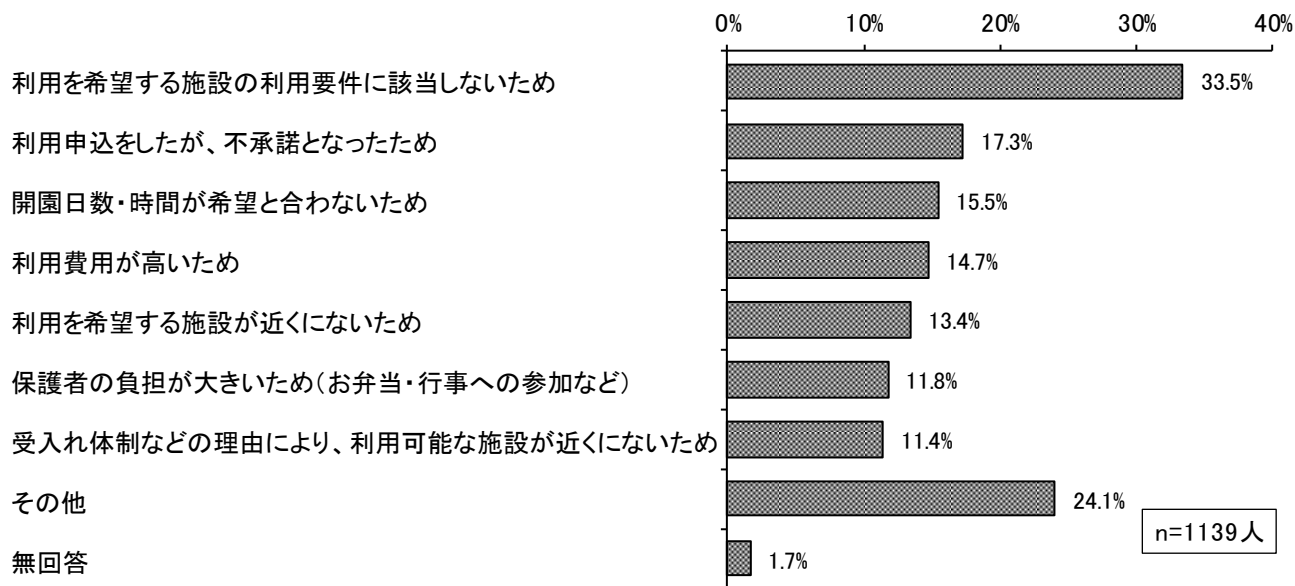
問 15-2 問 15 で「1. 幼稚園」～「13. その他」と回答した方におたずねします。
問 15 で選択した「定期的に」利用したいと考える教育・保育を利用できていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

希望する教育・保育を利用できているかについては、「利用できている」が54.0%、「利用できていない」が31.4%と、「利用できている」が「利用できていない」を上回っています。



問 15-3 問 15-2 で「2. 利用できていない」と回答した方におたずねします。
 利用できていない理由は何ですか。
 理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「定期的に」利用したいと考える教育・保育を利用できていない理由については、「利用を希望する施設の利用要件に該当しないため」が 33.5%と最も高く、次いで「利用申込をしたが、不承諾となったため」が 17.3%、「開園日数・時間が希望と合わないため」が 15.5%となっています。



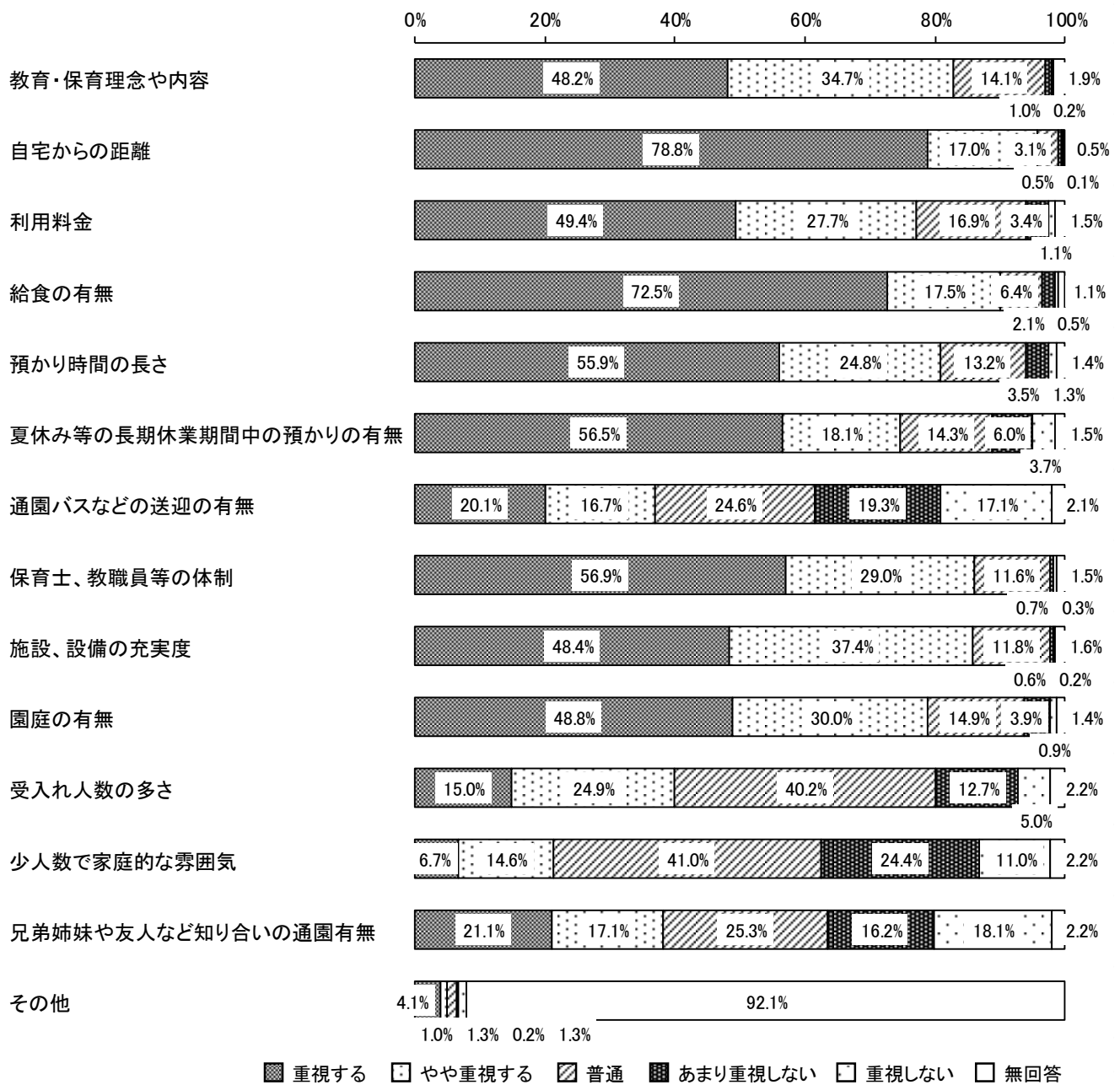
問 16 すべての方におたずねします。

教育・保育を選択するときに、重視することは何ですか。

当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

教育・保育で重視することについて、「重視する」は「自宅からの距離」が78.8%、「給食の有無」が72.5%と特に高くなっています。また、「重視する」と「やや重視する」の合計は、「保育士、教職員等の体制」「施設、設備の充実度」「教育・保育理念や内容」「預かり時間の長さ」「園庭の有無」「利用料金」「夏休み等の長期休業期間中の預かりの有無」も7割を超えています。

n=3757人

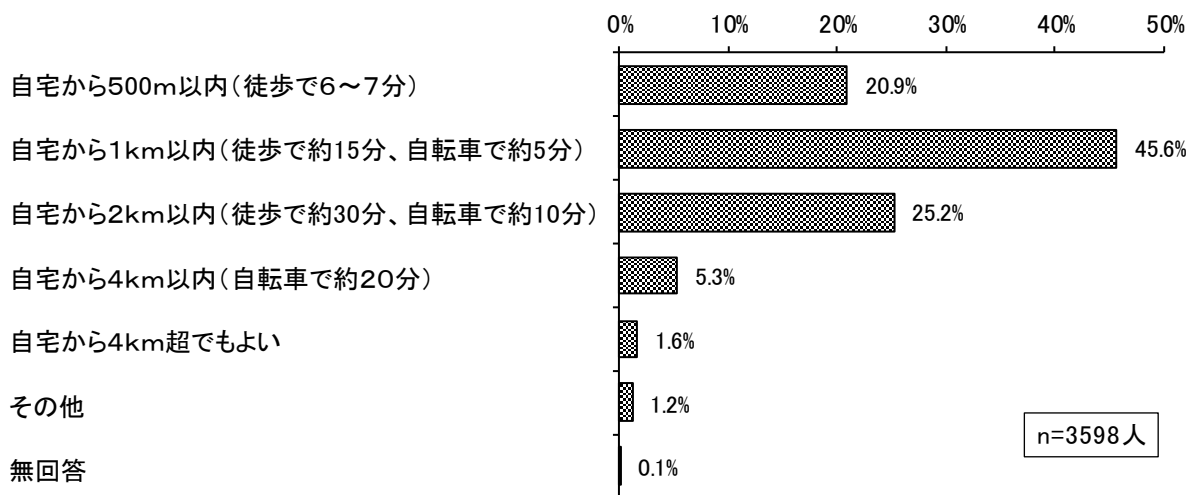


問 16-1 問 16 で「2. 自宅からの距離」を「重視する」、「やや重視する」と回答した方におたずねします。

利用できると考える教育・保育の利用先までの距離はどのくらいですか。

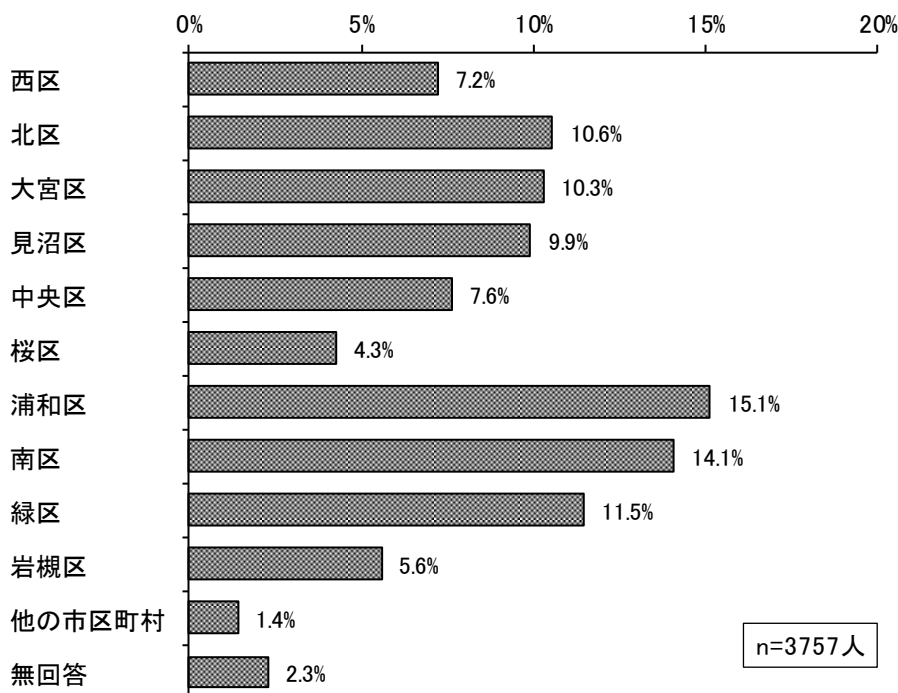
当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用可能な教育・保育施設までの距離については、「自宅から1km以内（徒歩で約15分、自転車で約5分）」が45.6%と最も高く、次いで「自宅から2km以内（徒歩で約30分、自転車で約10分）」が25.2%、「自宅から500m以内（徒歩で6～7分）」が20.9%となっています。



問 17 教育・保育を利用したい場所についておたずねします。当てはまる番号1つに○をつけてください。「11. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。

教育・保育を利用したい場所については、「浦和区」が15.1%と最も高く、次いで「南区」が14.1%、「緑区」が11.5%、「北区」が10.6%となっています。

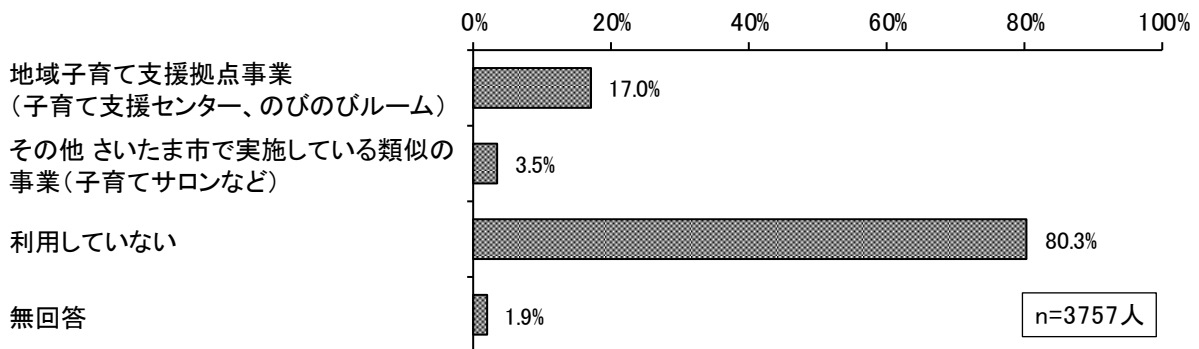


6 子育て支援事業の利用について

問 18 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「のびのびルーム」と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（一枠内に数字は一字）

事業の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター、のびのびルーム）」が17.0%、「その他 さいたま市で実施している類似の事業（子育てサロンなど）」が3.5%、「利用していない」が80.3%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数については、1週当たり「1回」（97件）、1ヶ月当たり「1～3回」（467件）が多くなっています。



■ 地域子育て支援拠点事業
(子育て支援センター、のびのびルーム)

項目	件数
1回/週	97
2回/週	45
3回/週	19
4回/週	11
5回/週	5
6回/週	3
7回/週	0
1～3回/月	467
4～10回/月	45
11回以上/月	5

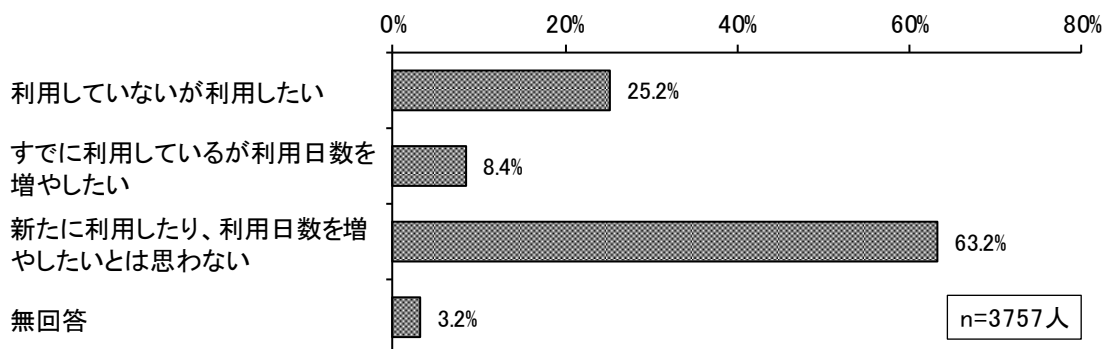
■ その他 さいたま市で実施している
類似の事業（子育てサロンなど）

項目	件数
1回/週	23
2回/週	1
3回/週	1
4回/週	1
5回/週	0
6回/週	0
7回/週	0
1～3回/月	109
4～10回/月	6
11回以上/月	0

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

地域子育て支援拠点事業の利用意向については、「利用していないが利用したい」（25.2%）と「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」（8.4%）の合計が 33.6%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 63.2%となっています。

利用日数については、新規利用・継続利用とも、1週当たり「1回」、1ヶ月当たり「1～3回」が最も多くなっています。



■利用していないが利用したい回数

項目	件数
1回／週	275
2回／週	55
3回／週	16
4回／週	3
5回／週	6
6回／週	0
7回／週	0
1～3回／月	655
4～10回／月	123
11回以上／月	6

■すでに利用しているが利用日数を増やしたい回数

項目	件数
1回／週	102
2回／週	35
3回／週	11
4回／週	6
5回／週	1
6回／週	0
7回／週	0
1～3回／月	112
4～10回／月	93
11回以上／月	3

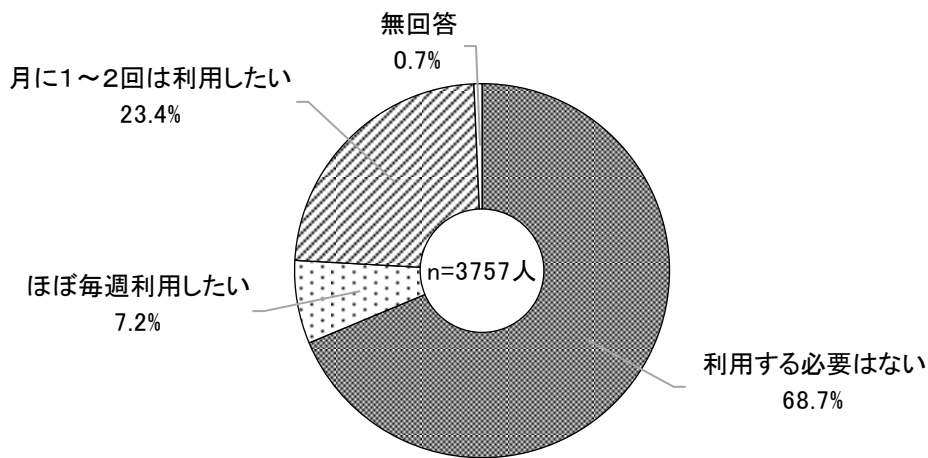
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育の利用について

問 20 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1 つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

(1) 土曜日

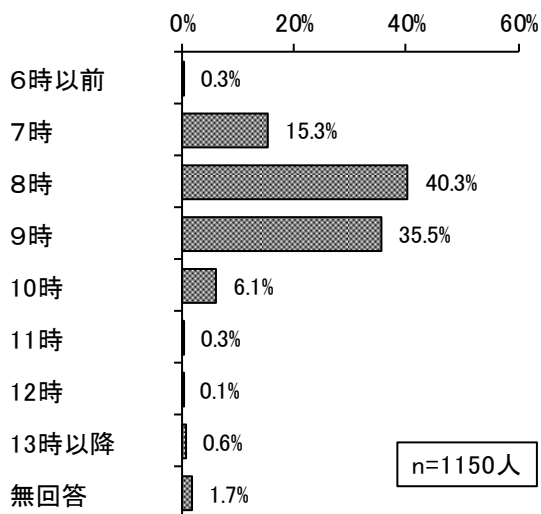
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」(7.2%)と「月に1～2回は利用したい」(23.4%)の合計が30.6%、「利用する必要はない」が68.7%となっています。

利用開始時間は、「8時」(40.3%)と「9時」(35.5%)の合計が75.8%、終了時間は、「17時」(27.1%)と「18時」(27.7%)の合計が54.8%と高くなっています。

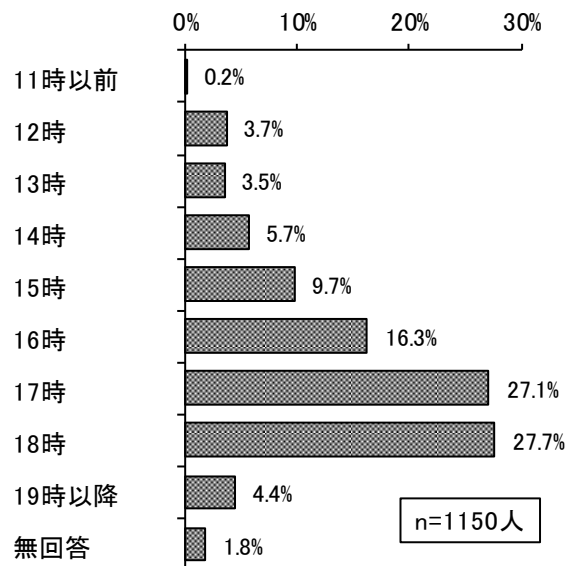


■希望する利用時間（ほぼ毎週利用したい、月に1～2回は利用したい）

【利用開始時間】



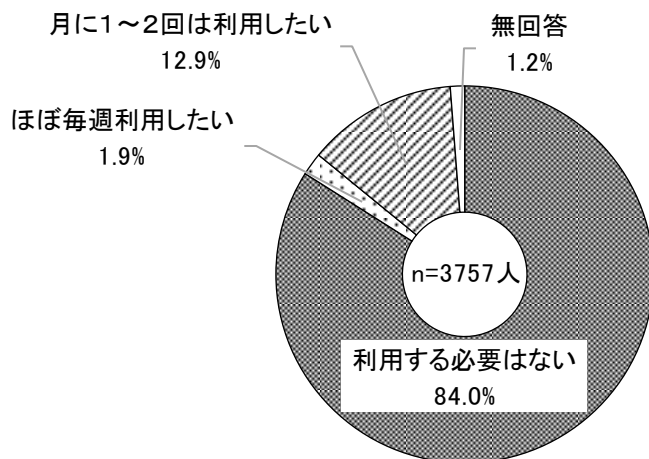
【利用終了時間】



(2) 日曜日・祝日

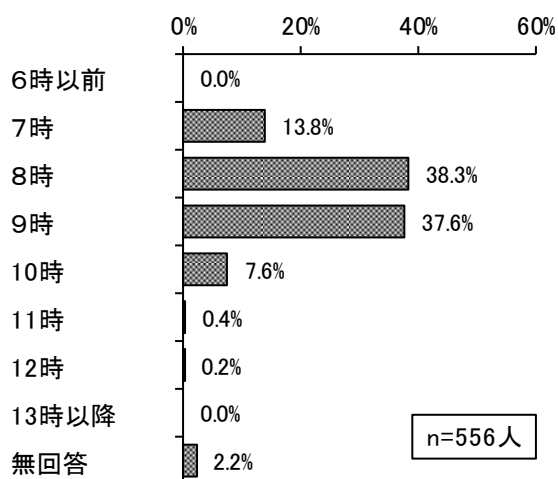
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」(1.9%)と「月に1~2回は利用したい」(12.9%)の合計が14.8%、「利用する必要はない」が84.0%となっています。

利用開始時間は、「8時」(38.3%)と「9時」(37.6%)の合計が75.9%、終了時間は「17時」(31.5%)と「18時」(29.3%)の合計が60.8%と高くなっています。

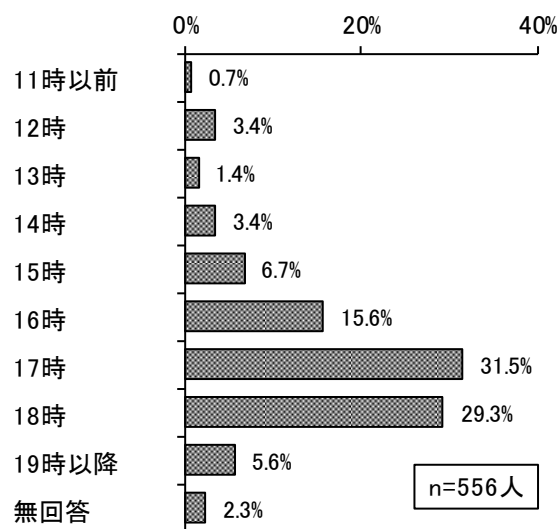


■希望する利用時間（ほぼ毎週利用したい、月に1~2回は利用したい）

【利用開始時間】



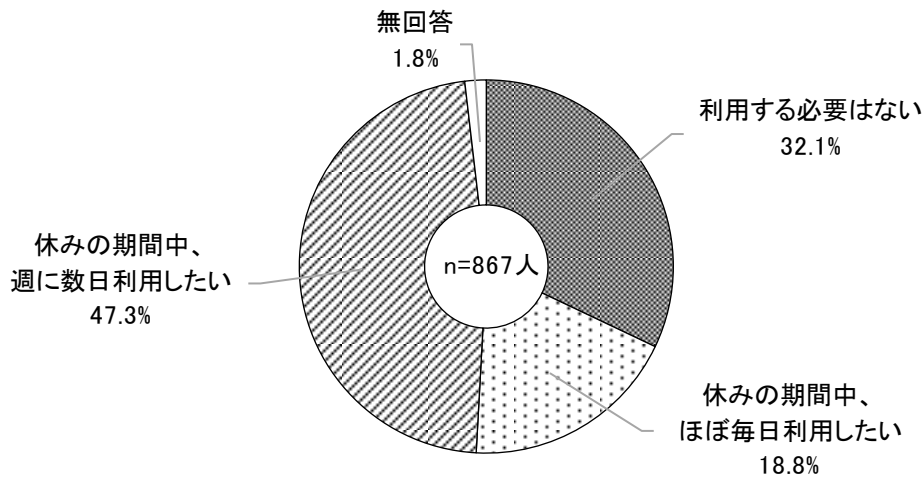
【利用終了時間】



問 21 「幼稚園」を利用されている方におたずねします。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字)

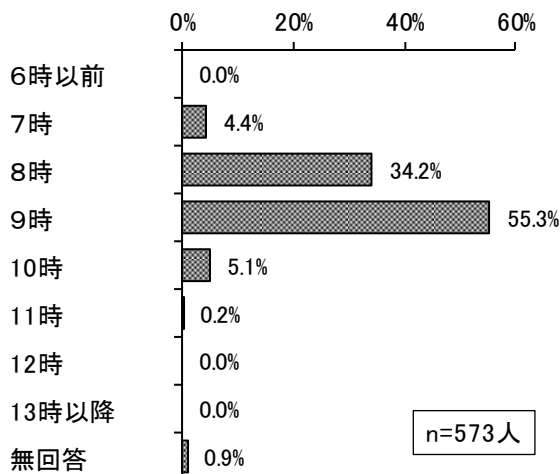
幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(18.8%)と「休みの期間中、週に数日利用したい」(47.3%)の合計が66.1%、「利用する必要はない」が32.1%となっています。

利用開始時間は、「8時」(34.2%)と「9時」、(55.3%)の合計が89.5%と特に高く、終了時間は「15時」(23.7%)、「16時」(23.6%)、「17時」(17.8%)、「14時」(16.4%)などに分散しています。

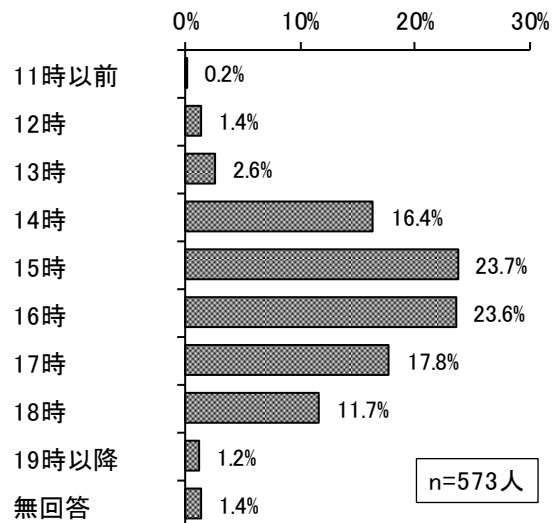


■希望する利用時間（休みの期間中、ほぼ毎日利用したい、週に数日利用したい）

【利用開始時間】



【利用終了時間】

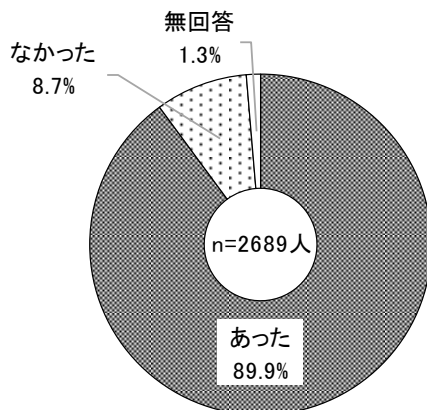


8 病気の際の対応について（平日の「定期的」教育・保育利用者限定）

問 22 平日の定期的な教育・保育を利用していると答えた保護者の方（問 14 で 1 に○をつけた方）におたずねします。利用していない方は、問 23 にお進みください。

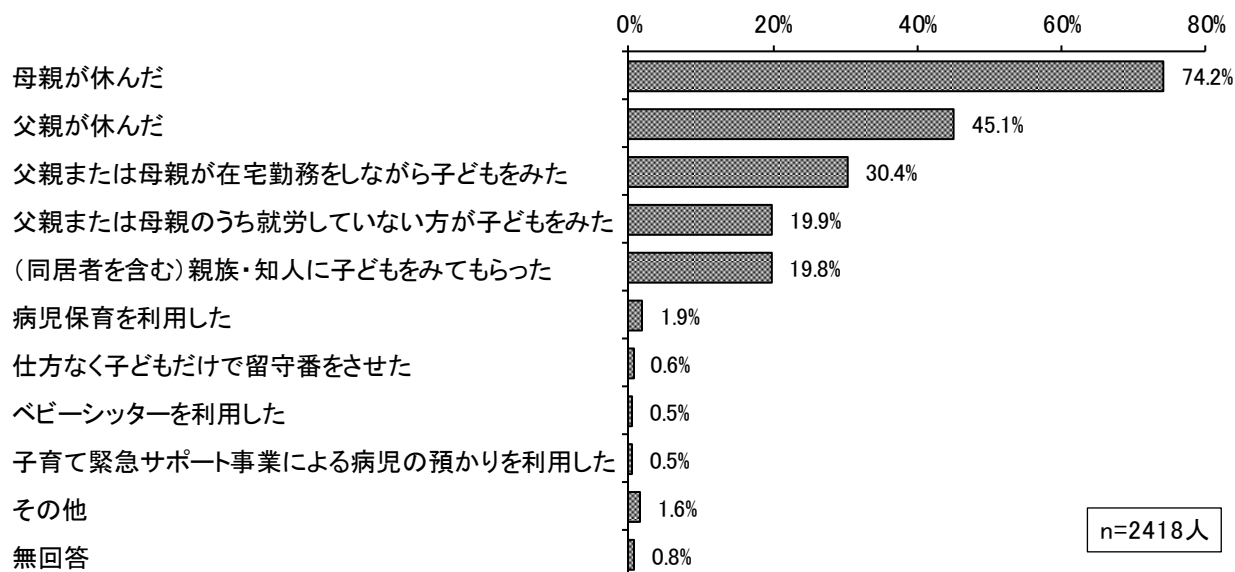
この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

この1年間に子どもの病気やケガで通常の教育・保育が利用できなかった経験は、「あった」が89.9%、「なかった」が8.7%と、「あった」が「なかった」を大きく上回っています。



問 22-1 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字）

通常の教育・保育が利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が74.2%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が45.1%、「父親または母親が在宅勤務をしながら子どもをみた」が30.4%となっています。



■ 対応日数

【父親が休んだ】

n=1091人

項目	件数	構成比
1日～3日	507	46.5%
4日～7日	332	30.4%
8日～10日	154	14.1%
11日～20日	59	5.4%
21日～30日	4	0.4%
31日以上	5	0.5%
無回答	30	2.7%

【母親が休んだ】

n=1793人

項目	件数	構成比
1日～3日	290	16.2%
4日～7日	440	24.5%
8日～10日	477	26.6%
11日～20日	370	20.6%
21日～30日	103	5.7%
31日以上	58	3.2%
無回答	55	3.1%

【父親または母親が在宅勤務】

n=735人

項目	件数	構成比
1日～3日	215	29.3%
4日～7日	200	27.2%
8日～10日	163	22.2%
11日～20日	90	12.2%
21日～30日	24	3.3%
31日以上	17	2.3%
無回答	26	3.5%

【親族・知人】

n=478人

項目	件数	構成比
1日～3日	203	42.5%
4日～7日	132	27.6%
8日～10日	78	16.3%
11日～20日	37	7.7%
21日～30日	7	1.5%
31日以上	6	1.3%
無回答	15	3.1%

【就労していない保護者】

n=480人

項目	件数	構成比
1日～3日	51	10.6%
4日～7日	83	17.3%
8日～10日	119	24.8%
11日～20日	103	21.5%
21日～30日	63	13.1%
31日以上	33	6.9%
無回答	28	5.8%

【病児保育】

n=47人

項目	件数	構成比
1日～3日	30	63.8%
4日～7日	9	19.1%
8日～10日	6	12.8%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	1	2.1%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	2.1%

【ベビーシッター】

n=12人

項目	件数	構成比
1日～3日	6	50.0%
4日～7日	2	16.7%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	1	8.3%
21日～30日	2	16.7%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	8.3%

【子育て緊急サポート事業】

n=12人

項目	件数	構成比
1日～3日	10	83.3%
4日～7日	1	8.3%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	8.3%

【子どもだけで留守番】

n=15人

項目	件数	構成比
1日～3日	10	66.7%
4日～7日	3	20.0%
8日～10日	1	6.7%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	6.7%

【その他】

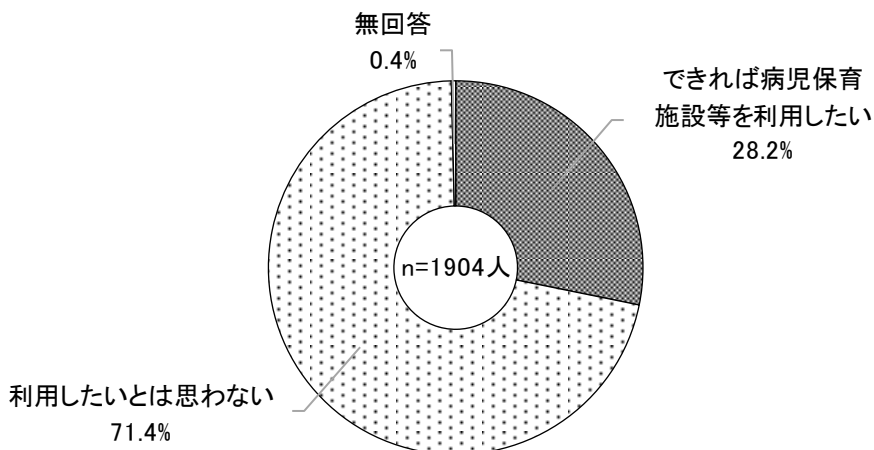
n=38人

項目	件数	構成比
1日～3日	5	13.2%
4日～7日	8	21.1%
8日～10日	6	15.8%
11日～20日	8	21.1%
21日～30日	3	7.9%
31日以上	4	10.5%
無回答	4	10.5%

問 22-2 問 22-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方におたずねします。その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

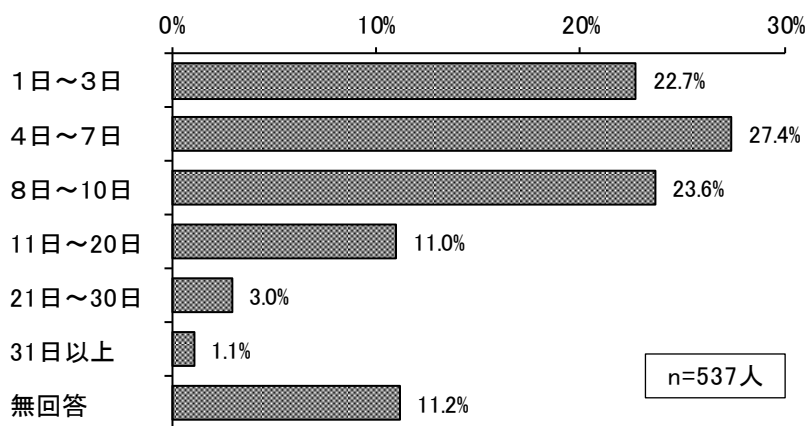
なお、病児等のための利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。[利用料：1日2,000円程度]

病児保育施設等の利用希望については、「できれば病児保育施設等を利用したい」が28.2%、「利用したいとは思わない」が71.4%となっています。



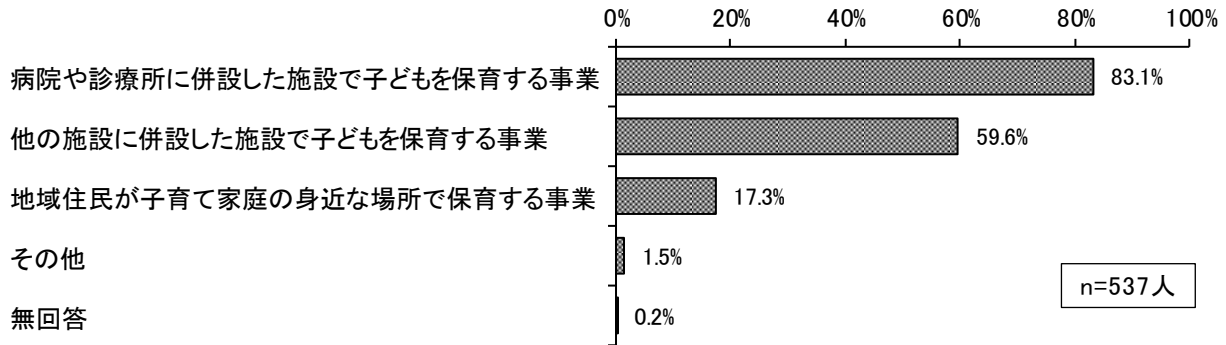
■病児保育施設等利用希望者の利用希望日数

病児保育施設等の利用希望日数については、「4日～7日」が27.4%と最も高く、次いで「8日～10日」が23.6%、「1日～3日」が22.7%となっています。



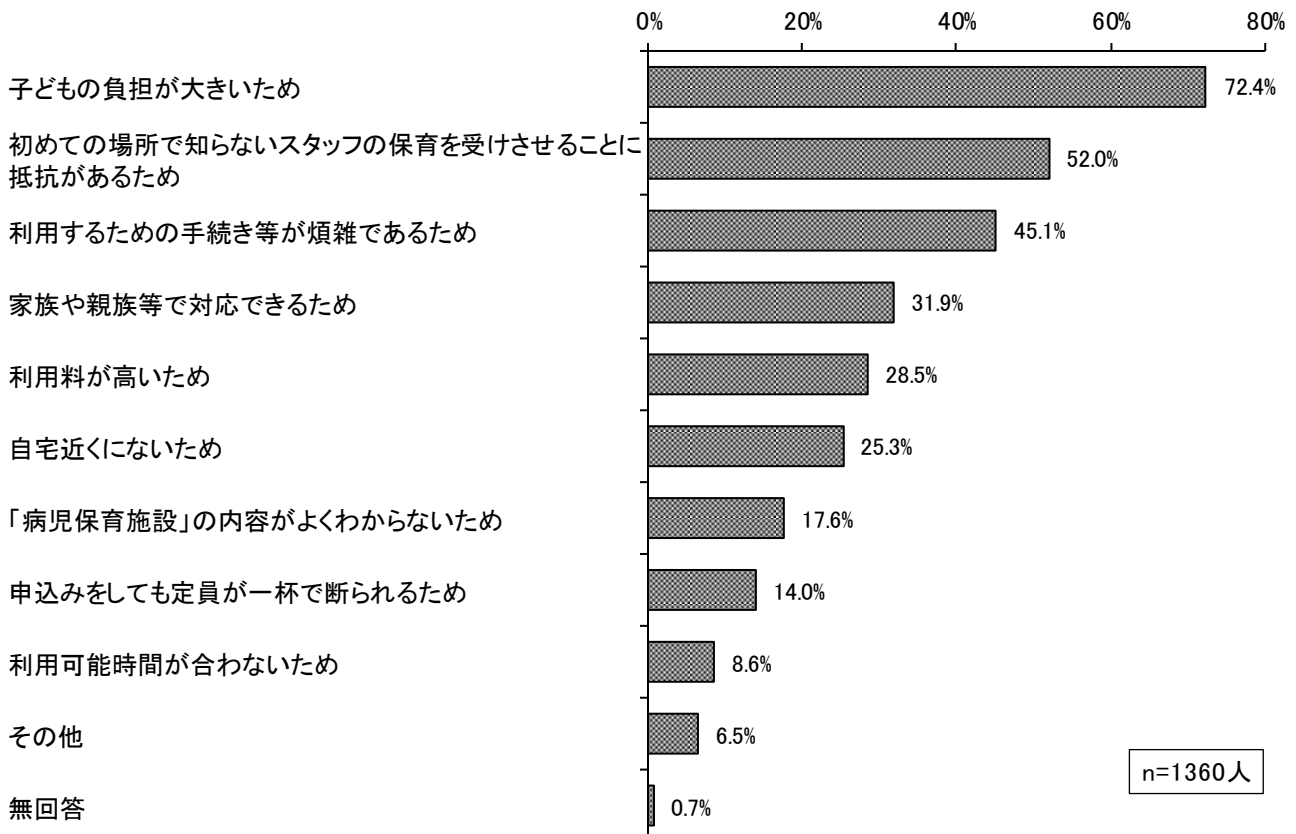
問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」に○をつけた方におたずねします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児保育施設等の望ましい事業形態については、「病院や診療所に併設した施設で子どもを保育する事業」が 83.1%、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 59.6%となっています。



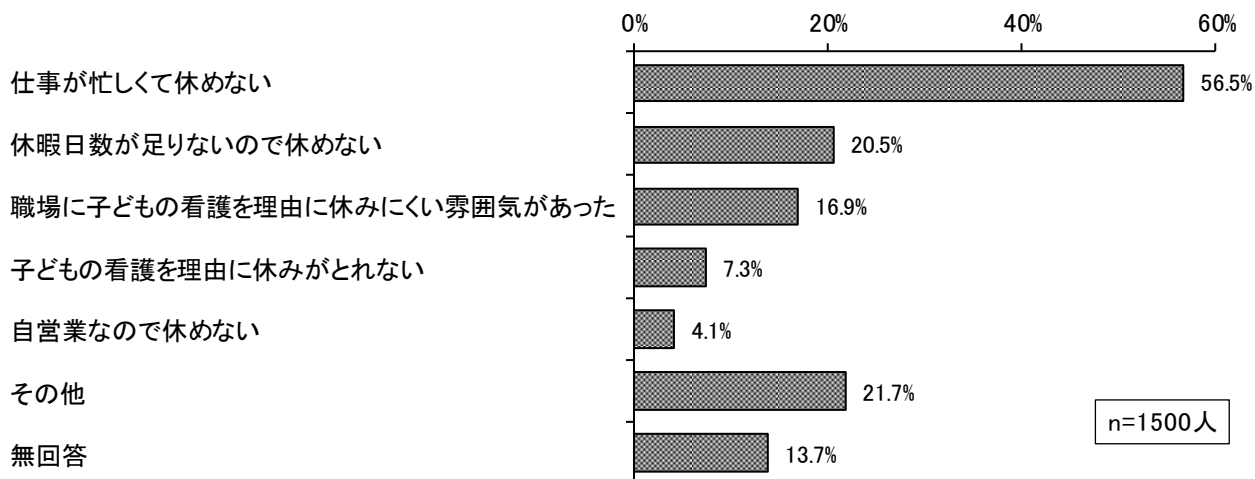
問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方におたずねします。利用したくない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

病児保育施設等を利用したいとは思わない理由については、「子どもの負担が大きいため」が 72.4%と最も高く、次いで「初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗があるため」が 52.0%、「利用するための手続き等が煩雑であるため」が 45.1%、「家族や親族等で対応できるため」が 31.9%となっています。



問 22-5 問 22-1で「ウ.」～「コ.」のいずれかに回答した方におたずねします。
仕事を休んで看ることが難しい理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

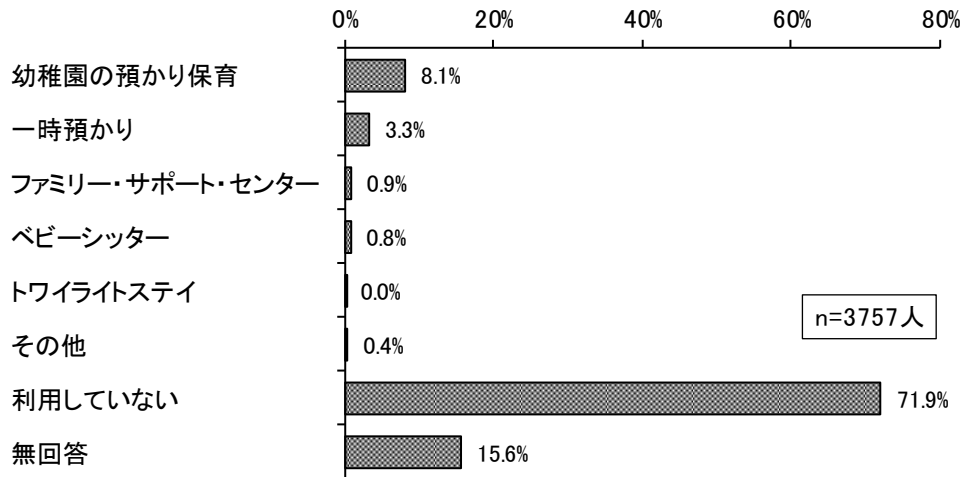
仕事を休んで看ることが難しい理由については、「仕事が忙しくて休めない」が 56.5%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 20.5%、「職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった」が 16.9%となっています。



9 不定期の教育・保育や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

不定期に利用している事業については、「幼稚園の預かり保育」(8.1%) 以下5事業とも1割未満となっており、「利用していない」が71.9%となっています。



■ 年間利用回数

【一時預かり】

n=124人

項目	件数	構成比
1日～3日	53	42.7%
4日～7日	23	18.5%
8日～10日	18	14.5%
11日～20日	14	11.3%
21日～30日	4	3.2%
31日以上	9	7.3%
無回答	3	2.4%

【幼稚園の預かり保育】

n=304人

項目	件数	構成比
1日～3日	81	26.6%
4日～7日	60	19.7%
8日～10日	68	22.4%
11日～20日	36	11.8%
21日～30日	19	6.3%
31日以上	31	10.2%
無回答	9	3.0%

【ファミリー・サポート・センター】

n=32人

項目	件数	構成比
1日～3日	14	43.8%
4日～7日	8	25.0%
8日～10日	4	12.5%
11日～20日	4	12.5%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	2	6.3%
無回答	0	0.0%

【トワイライトステイ】

n=1人

項目	件数	構成比
1日～3日	0	0.0%
4日～7日	1	100.0%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

【ベビーシッター】

n=30人

項目	件数	構成比
1日～3日	11	36.7%
4日～7日	8	26.7%
8日～10日	3	10.0%
11日～20日	5	16.7%
21日～30日	3	10.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

【その他】

n=15人

項目	件数	構成比
1日～3日	3	20.0%
4日～7日	4	26.7%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	6	40.0%
21日～30日	1	6.7%
31日以上	0	0.0%
無回答	1	6.7%

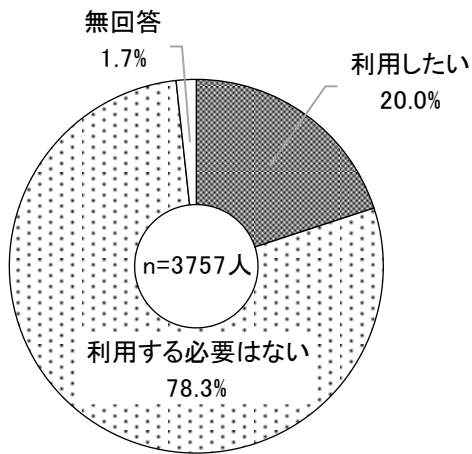
問 24 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合の短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁一字）

なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

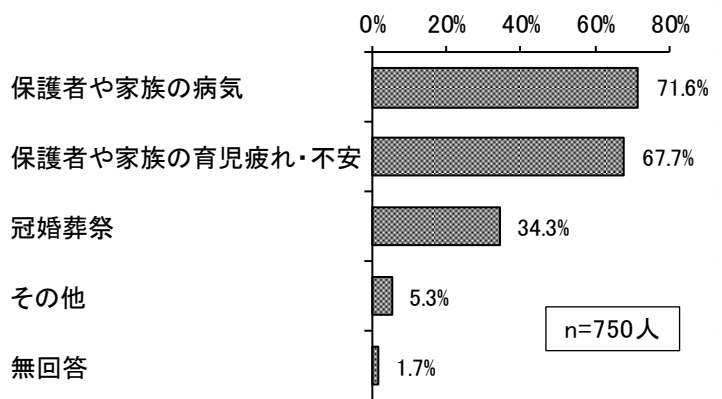
短期入所生活援助事業の利用希望については、「利用したい」が20.0%、「利用する必要はない」が78.3%と、「利用する必要はない」が「利用したい」を大きく上回っています。

利用したい理由については、「保護者や家族の病気」が71.6%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が67.7%と特に高くなっています。

■ 利用希望



■ 利用したい理由



■ 利用したい年間利用回数

【合計】

n=750人		
項目	件数	構成比
1日～3日	441	58.8%
4日～7日	172	22.9%
8日～10日	46	6.1%
11日～20日	43	5.7%
21日～30日	11	1.5%
31日以上	5	0.7%
無回答	32	4.3%

【冠婚葬祭】

n=257人		
項目	件数	構成比
1日～3日	244	94.9%
4日～7日	10	3.9%
8日～10日	0	0.0%
11日～20日	0	0.0%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	3	1.2%

【保護者や家族の育児疲れ・不安】

n=537人		
項目	件数	構成比
1日～3日	415	81.7%
4日～7日	50	9.8%
8日～10日	13	2.6%
11日～20日	15	3.0%
21日～30日	3	0.6%
31日以上	0	0.0%
無回答	12	2.4%

【保護者や家族の病気】

n=537人		
項目	件数	構成比
1日～3日	423	78.8%
4日～7日	74	13.8%
8日～10日	13	2.4%
11日～20日	8	1.5%
21日～30日	2	0.4%
31日以上	0	0.0%
無回答	17	3.2%

【その他】

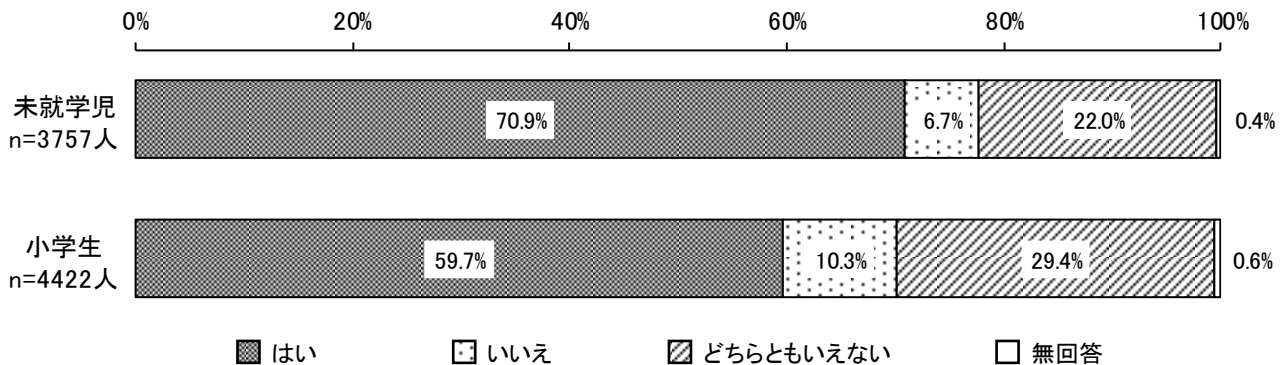
n=40人		
項目	件数	構成比
1日～3日	31	77.5%
4日～7日	4	10.0%
8日～10日	1	2.5%
11日～20日	1	2.5%
21日～30日	0	0.0%
31日以上	0	0.0%
無回答	3	7.5%

10 子育て環境、育児休業などについて

共通設問 問 25 あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間の有無について、未就学児は「はい」が70.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.0%、「いいえ」が6.7%となっています。

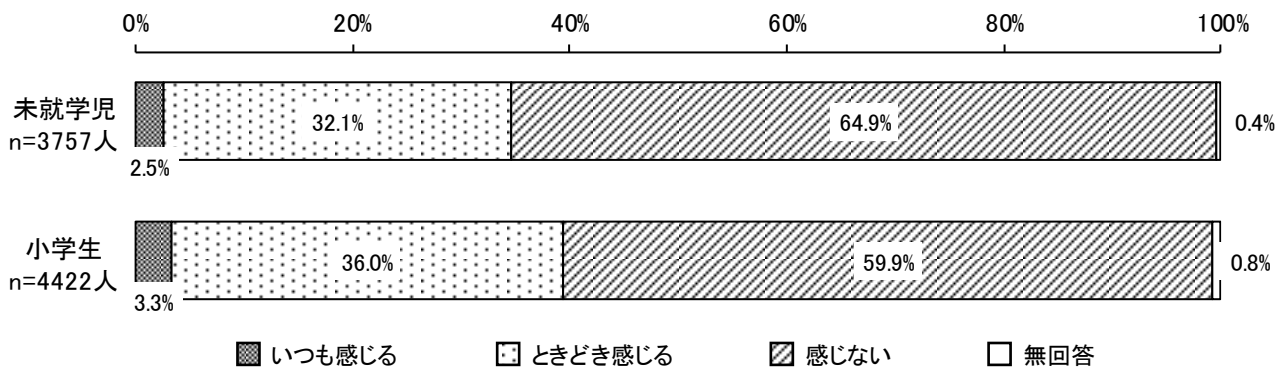
小学生は「はい」が59.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.4%、「いいえ」が10.3%となっています。未就学児・小学生保護者とも「はい」が過半数を占めています。



共通設問 問 26 あなたはお子さんに対して、育てにくさを感じていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの育てにくさについて、未就学児は「感じない」が64.9%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が32.1%、「いつも感じる」が2.5%となっています。

小学生は「感じない」が59.9%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が36.0%、「いつも感じる」が3.3%となっています。未就学児・小学生保護者とも「感じない」が過半数を占めています。

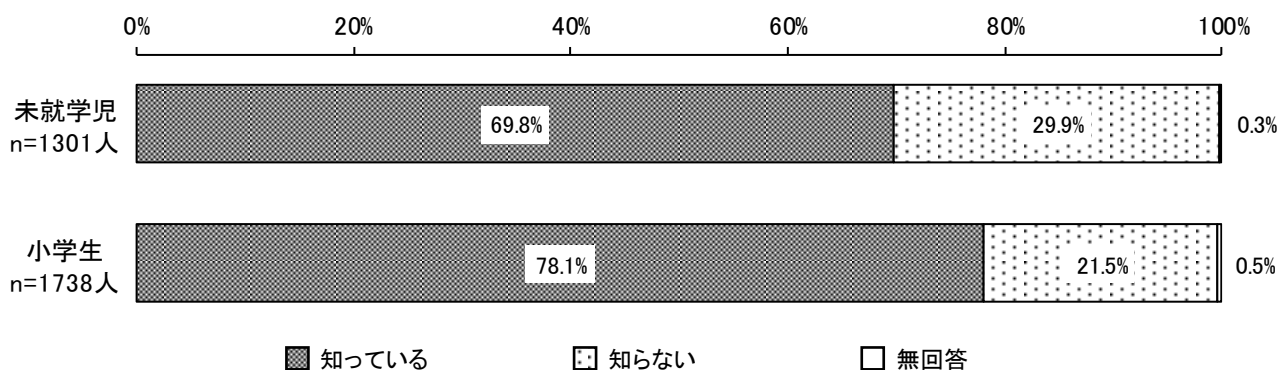


共通設問

問 26-1 問 26 で「1. いつも感じる」、「2. ときどき感じる」に○をつけた方におたずねします。育てにくさを感じた時に、相談先を知っている、何らかの解決する方法を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育てにくさを感じた際の相談先や解決方法の認知度について、未就学児は「知っている」が69.8%、「知らない」が29.9%となっています。

小学生は「知っている」が78.1%、「知らない」が21.5%となっています。未就学児・小学生保護者とも「知っている」が過半数を占めています。

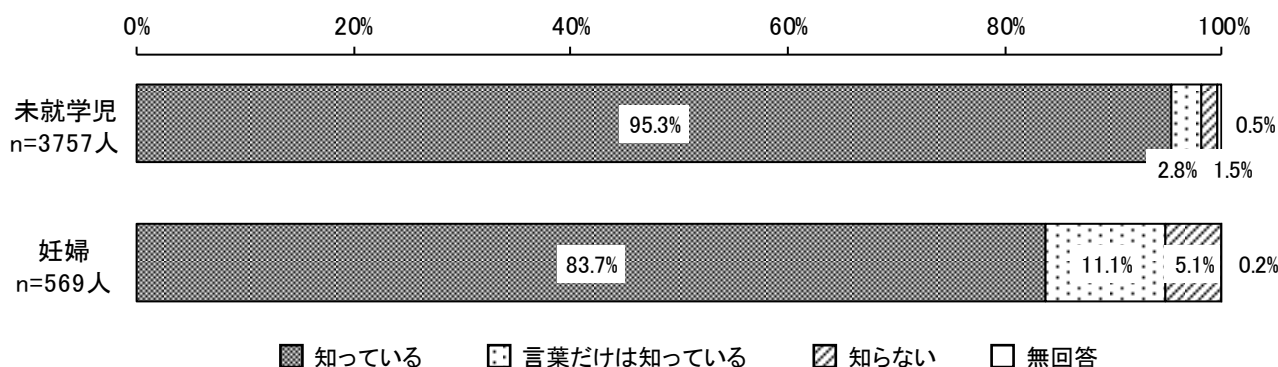


共通設問

問 27 乳児揺さぶられ症候群とは、赤ちゃんがどうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きることです。あなたは乳児揺さぶられ症候群を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

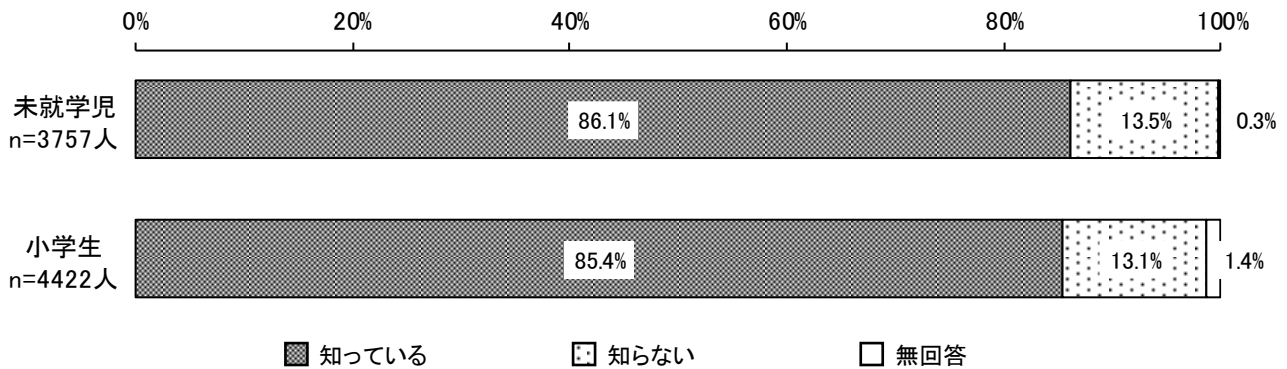
乳児揺さぶられ症候群の認知度について、未就学児は「知っている」が95.3%となっています。

妊婦は「知っている」が83.7%となっており、未就学児保護者・妊婦とも「知っている」が8割以上を占めています。



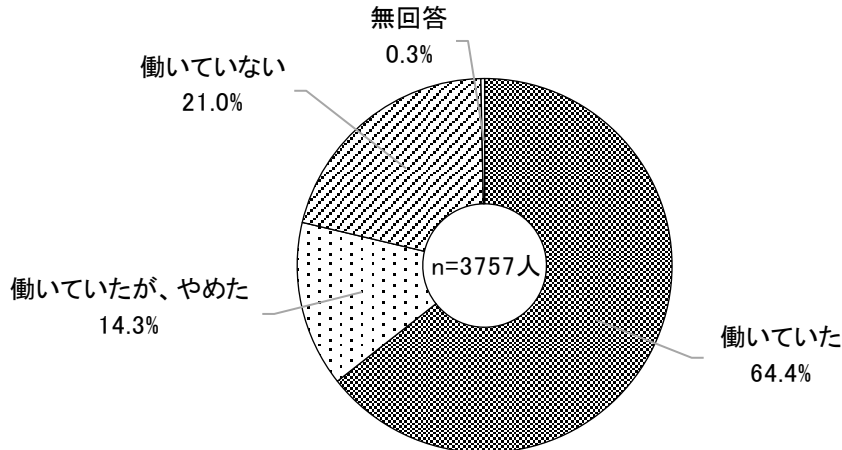
共通設問 問 28 法律では、虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役場や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。そのような義務があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

虐待に関する通知義務の認知度について、未就学児は「知っている」が86.1%となっています。小学生は「知っている」が85.4%となっており、未就学児・小学生保護者とも「知っている」が8割以上を占めています。



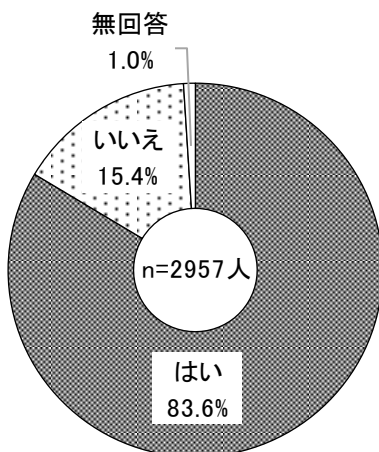
問 29 お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊娠中の母親の就労状況については、「働いていた」が64.4%と最も高く、次いで「働いていない」が21.0%、「働いていたが、やめた」が14.3%となっています。



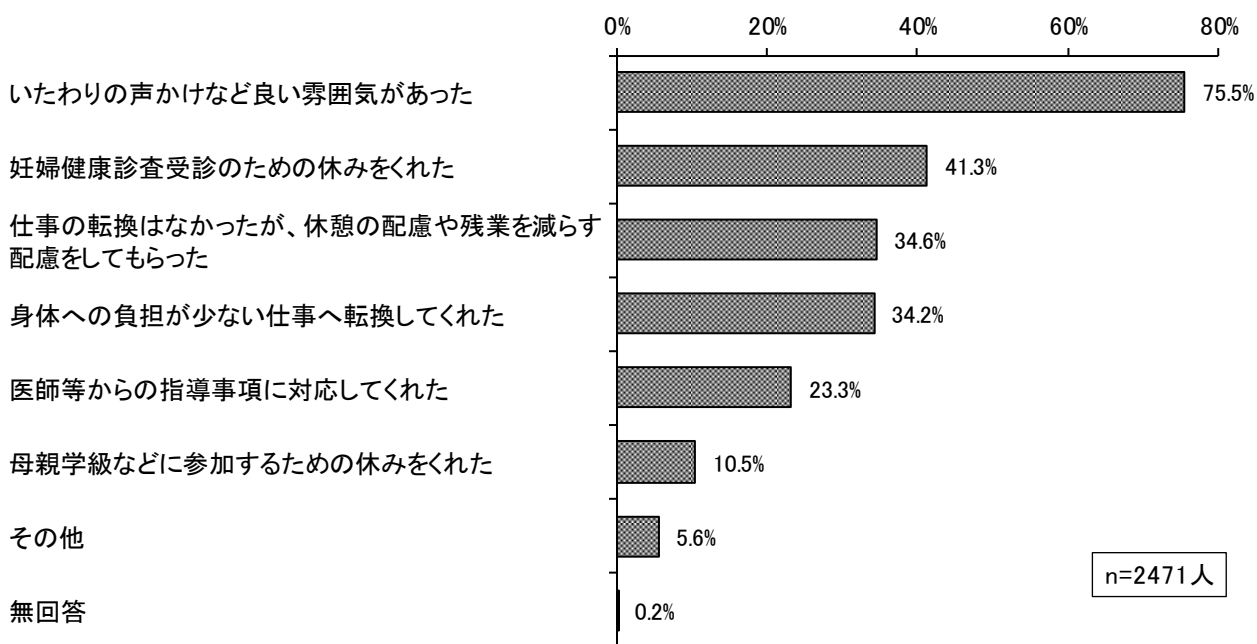
問 29-1 問 29 で「1. 働いていた」、「2. 働いていたが、やめた」に○をつけた方におたずねします。妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊娠中、職場からの配慮があったかについては、「はい」が83.6%、「いいえ」が15.4%となっており、「はい」が「いいえ」を大きく上回っています。



問 29-2 問 29-1 で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。それはどのような配慮でしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

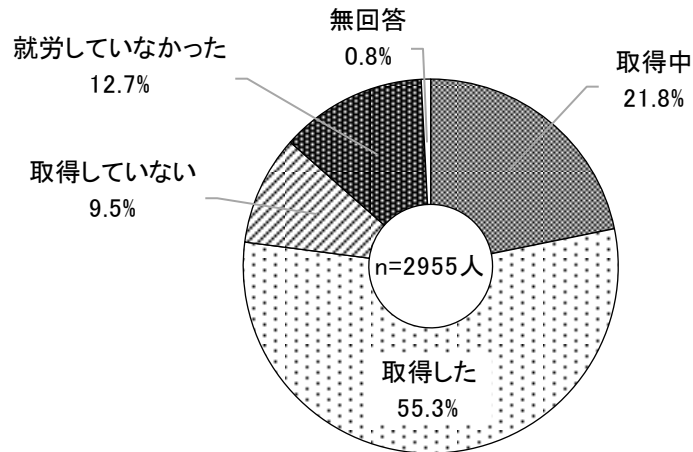
職場での配慮については、「いたわりの声かけなど良い雰囲気があった」が75.5%と最も高く、次いで「妊婦健康診査受診のための休みをくれた」が41.3%、「仕事の転換はなかったが、休憩の配慮や残業を減らす配慮をもらった」が34.6%となっています。



問30 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

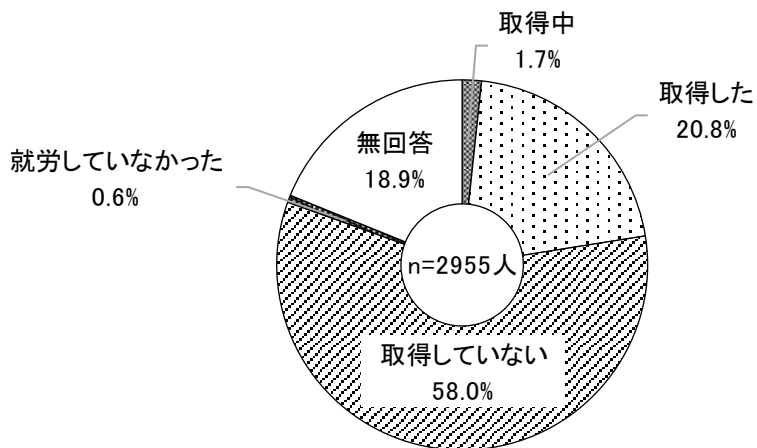
(1) 母親

母親の育児休業取得については、「取得した」が55.3%と最も高く、次いで「取得中」が21.8%、「就労していなかった」が12.7%、「取得していない」が9.5%となっています。



(2) 父親

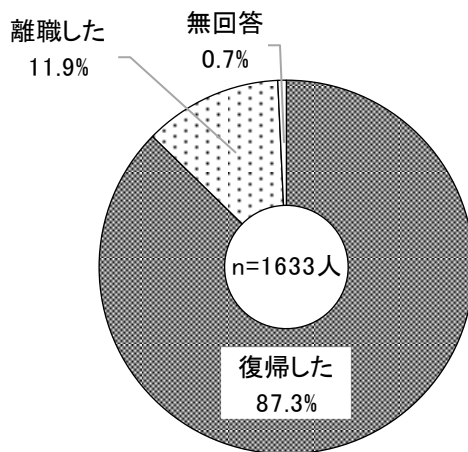
父親の育児休業取得については、「取得していない」が58.0%と最も高く、次いで「取得した」が20.8%、「取得中」が1.7%、「就労していなかった」が0.6%となっています。



問30-1 問30の(1)で「2. 取得した」に○をつけた方におたずねします。

育児休業を取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業取得後の職場復帰については、「復帰した」が87.3%、「離職した」が11.9%となっています。「復帰した」が「離職した」を大きく上回っています。

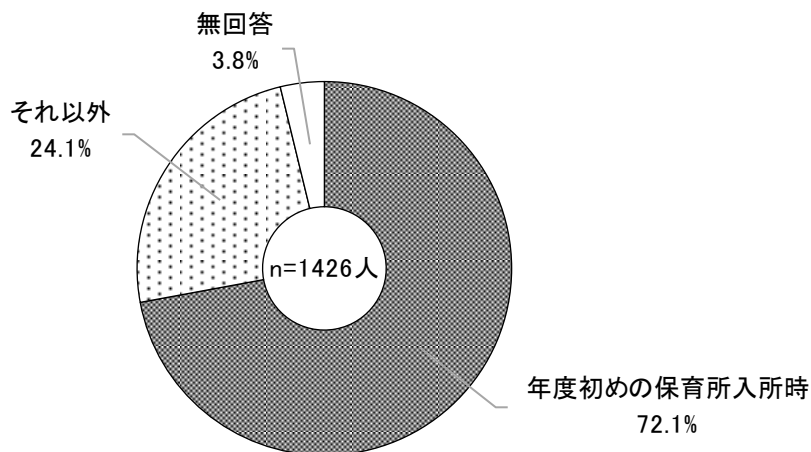


問30-2 問30-1で「1. 復帰した」に○をつけた方におたずねします。

育児休業から復帰したタイミングはいつでしたか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

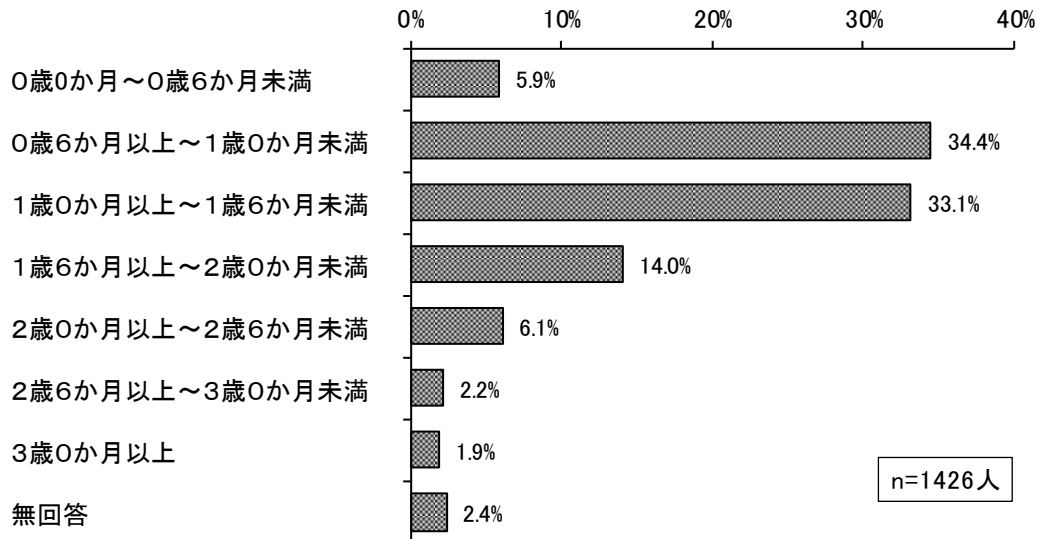
職場復帰のタイミングについては、「年度初めの保育所入所時」が72.1%、「それ以外」が24.1%となっています。「年度初めの保育所入所時」が「それ以外」を大きく上回っています。



問 30-3 お子さんが何歳のときに、職場に復帰しましたか。また、希望としてはお子さんが何歳のときに復帰したかったですか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

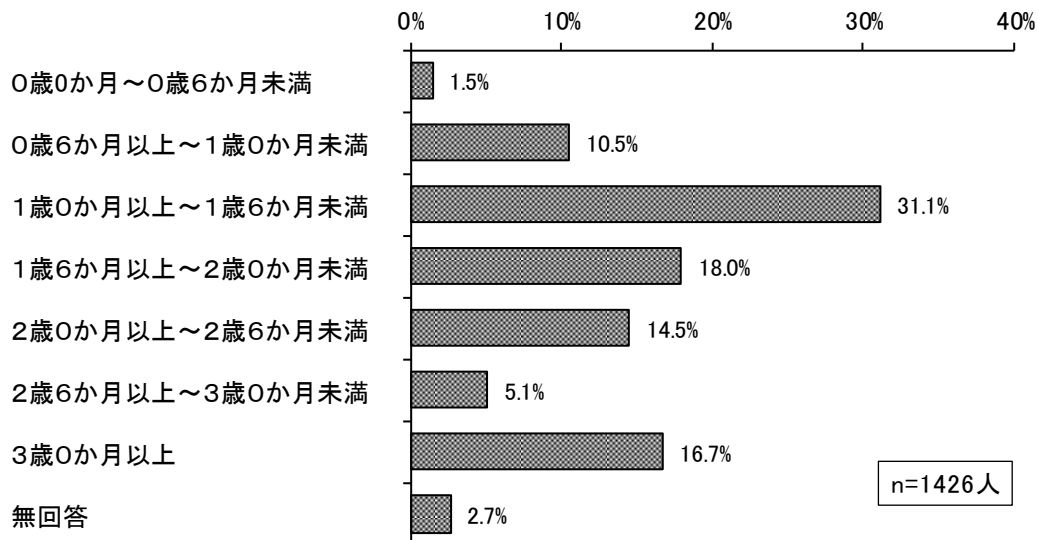
(1) 復帰した年齢

復帰した年齢については、「0歳6か月以上～1歳0か月未満」が34.4%、「1歳0か月以上～1歳6か月未満」が33.1%と特に高く、次いで「1歳6か月以上～2歳0か月未満」が14.0%となっています。



(2) 復帰を希望する年齢

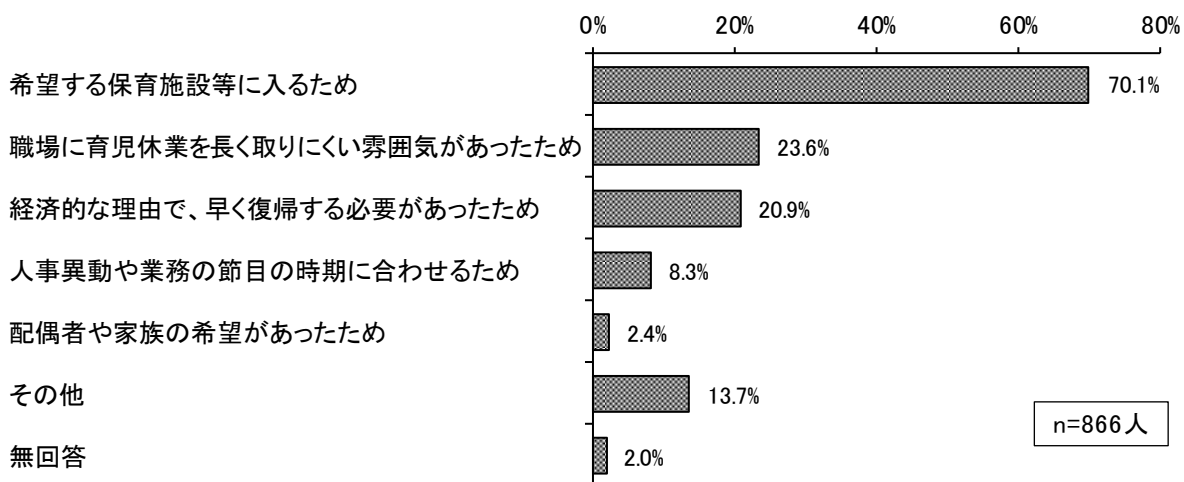
復帰を希望する年齢については、「1歳0か月以上～1歳6か月未満」が31.1%と最も高く、次いで「1歳6か月以上～2歳0か月未満」が18.0%、「3歳0か月以上」が16.7%となっています。



問 30-4 問 30-3 の (1) と (2) が異なる方におたずねします。
 希望する年齢のときに職場に復帰できなかった理由は何ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

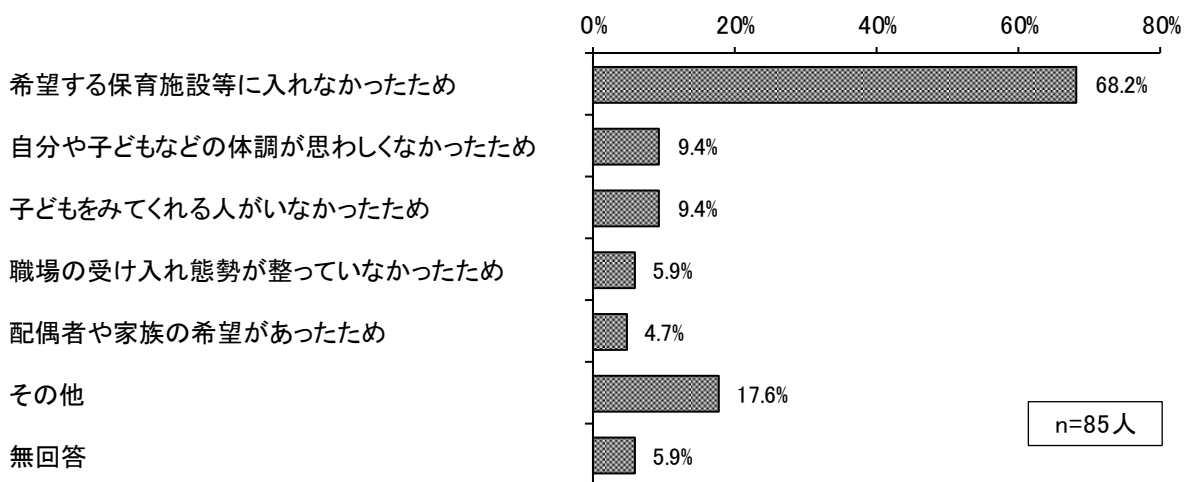
(1) 希望より「早く」復帰した理由

希望より「早く」復帰した理由については、「希望する保育施設等に入るため」が 70.1%と突出して高く、次いで「職場に育児休業を長く取りにくい雰囲気があったため」が 23.6%、「経済的な理由で、早く復帰する必要があるため」が 20.9%となっています。



(2) 希望より「遅く」復帰した理由

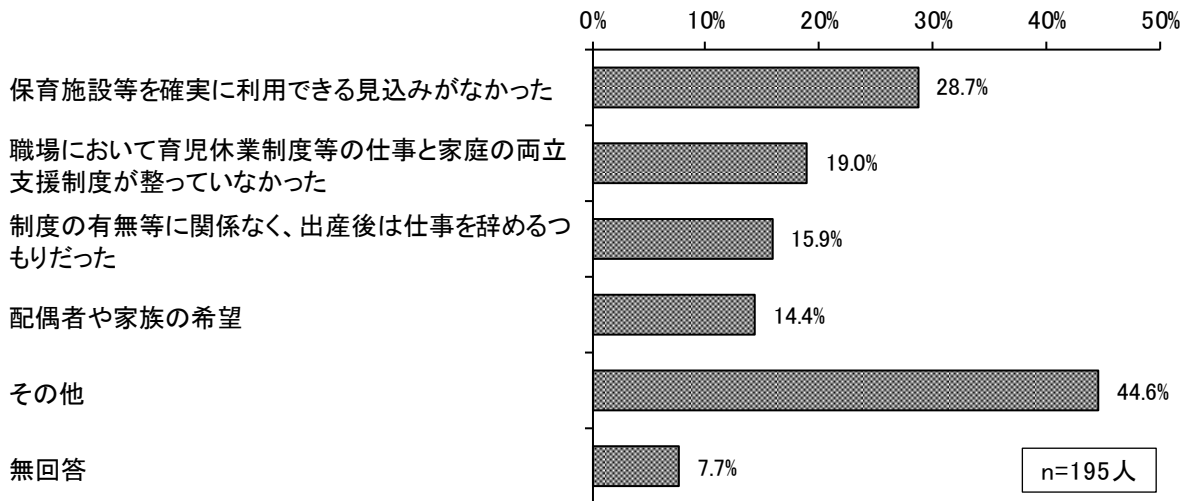
希望より「遅く」復帰した理由については、「希望する保育施設等に入れなかったため」が 68.2%と突出して高くなっています。



問 30-5 問 30-1 で「2. 離職した」に○をつけた方におたずねします。

離職した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

離職した理由については、「保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった」が 28.7%と最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった」(19.0%) 以下3項目が1割台となっています。

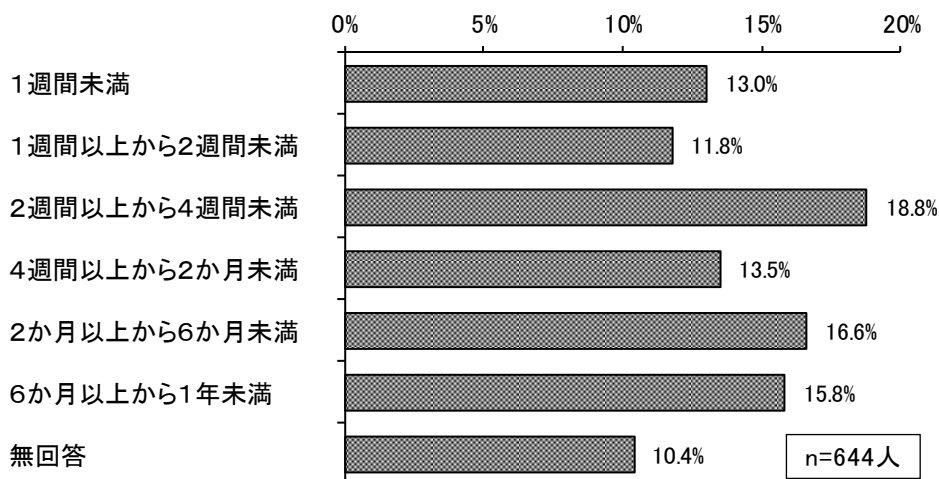


問 30-6 問 30 の (2) で「1. 取得中」、「2. 取得した」に○をつけた方におたずねします。

取得中 (した) 育児休業期間はどのくらいですか。

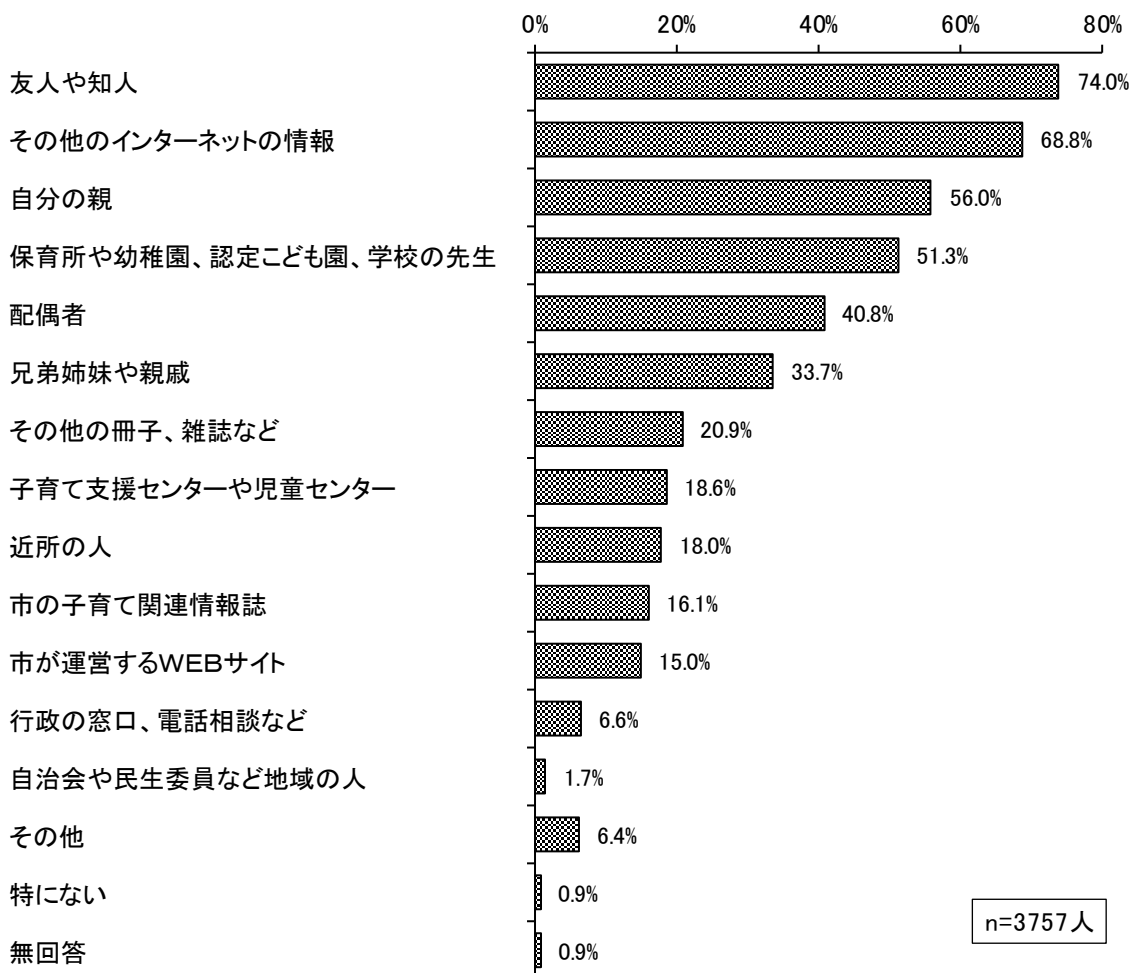
当てはまる番号1つに○をつけてください。

父親の育児休業期間については、「2週間以上から4週間未満」が 18.8%と最も高く、次いで「2か月以上から6か月未満」が 16.6%、「6か月以上から1年未満」が 15.8%となっています。



問31 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

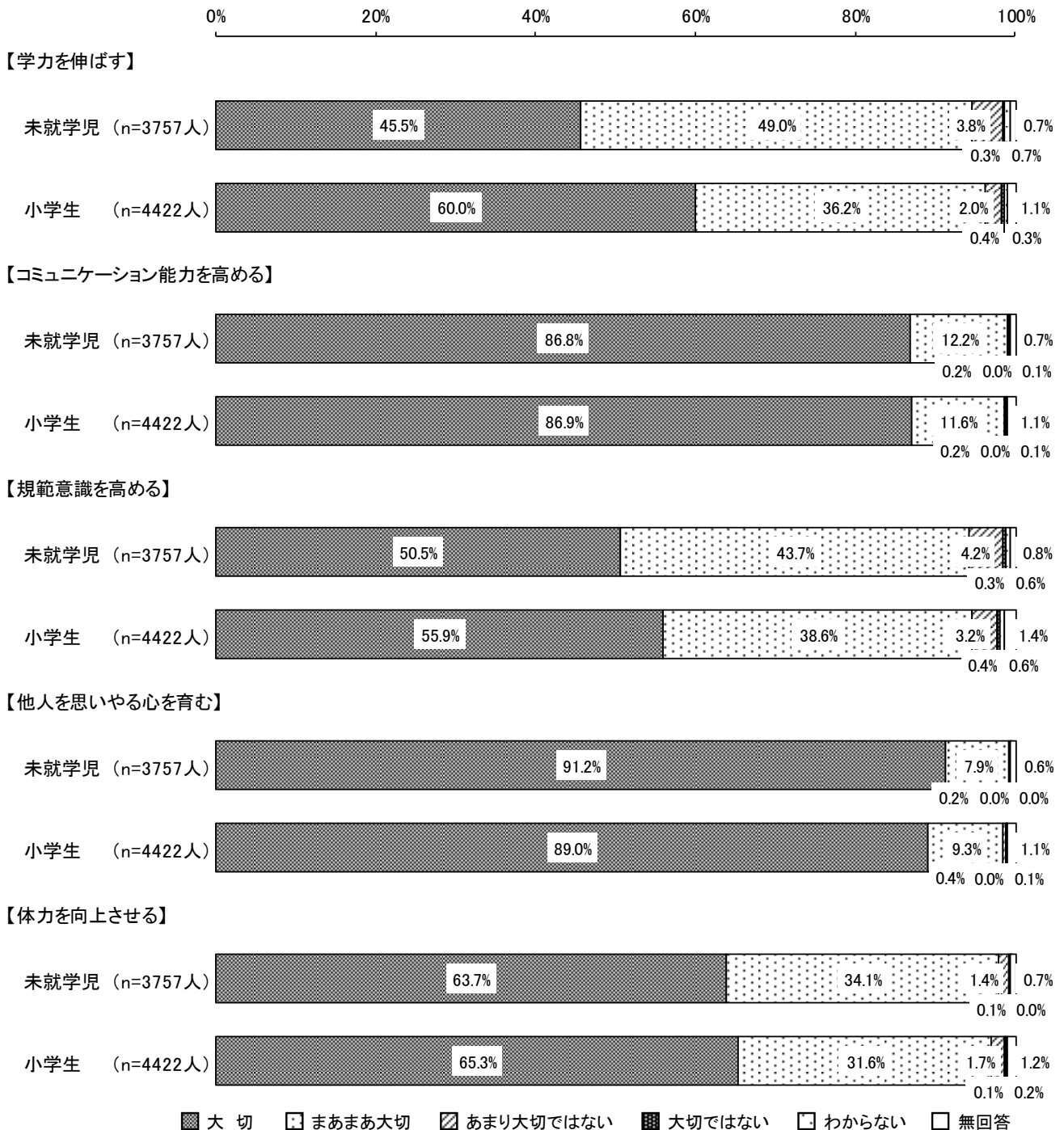
子育てに関する情報の入手先については、「友人や知人」が74.0%と最も高く、次いで「その他のインターネットの情報」が68.8%、「自分の親」が56.0%、「保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生」が51.3%となっています。



11 家庭での教育・育児方針について

共通設問 問32 あなたは、今後の子どもに対する教育方針について、どのように考えますか。
それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

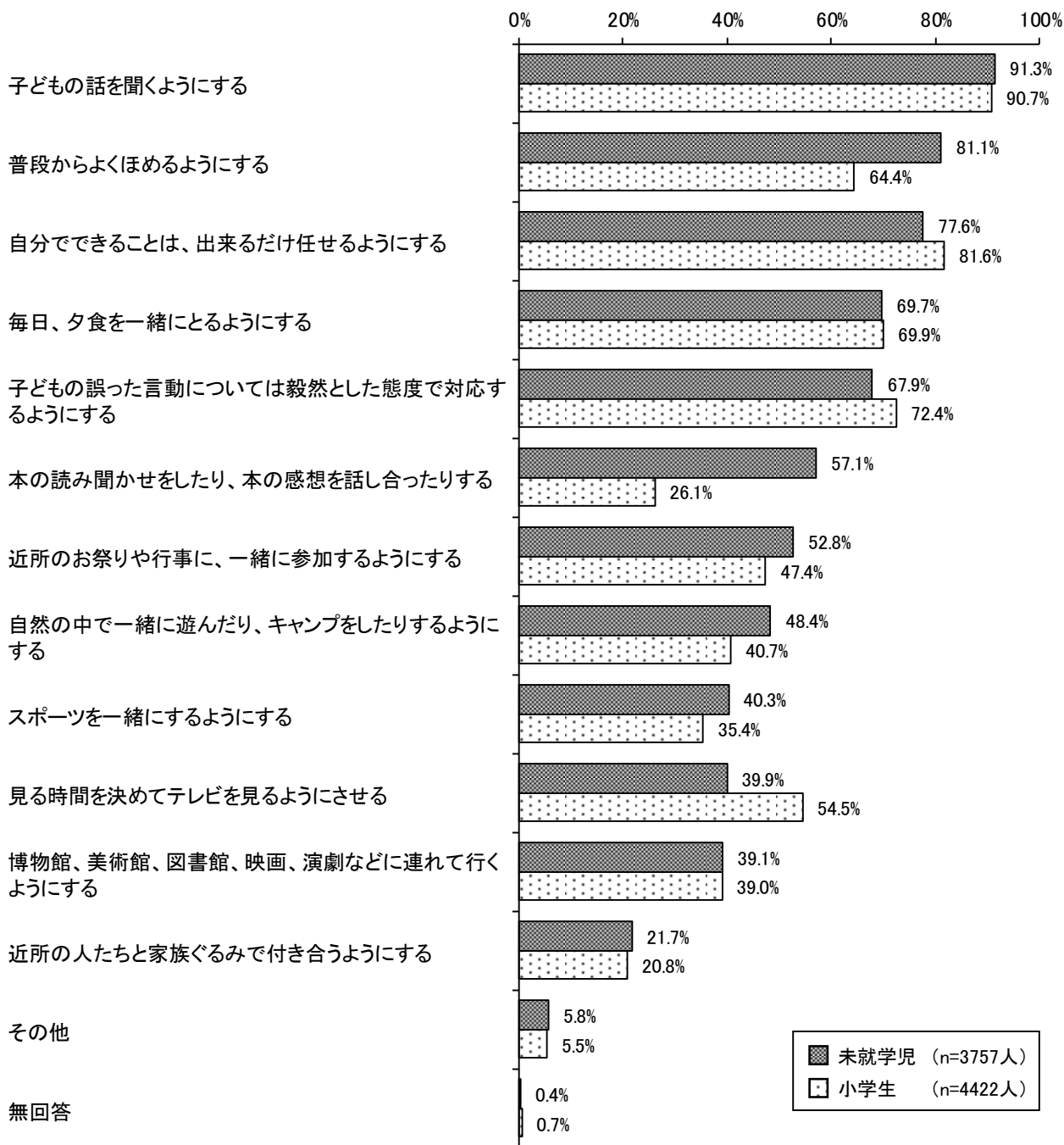
家庭での教育方針について、未就学児・小学生の保護者とも、すべての項目で「大切」と「まあまあ大切」の合計が9割を超えています。特に「他人を思いやる心を育む」「コミュニケーション能力を高める」は、「大切」が8割以上を占めています。



共通設問 問 33 子どもの教育やしつけについて、あなたがこころがけている（こころがけたい）ことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの教育やしつけについて、未就学児は「子どもの話を聞くようにする」が91.3%と最も高く、次いで「普段からよくほめるようにする」が81.1%、「自分でできることは、出来るだけ任せるようにする」が77.6%となっています。

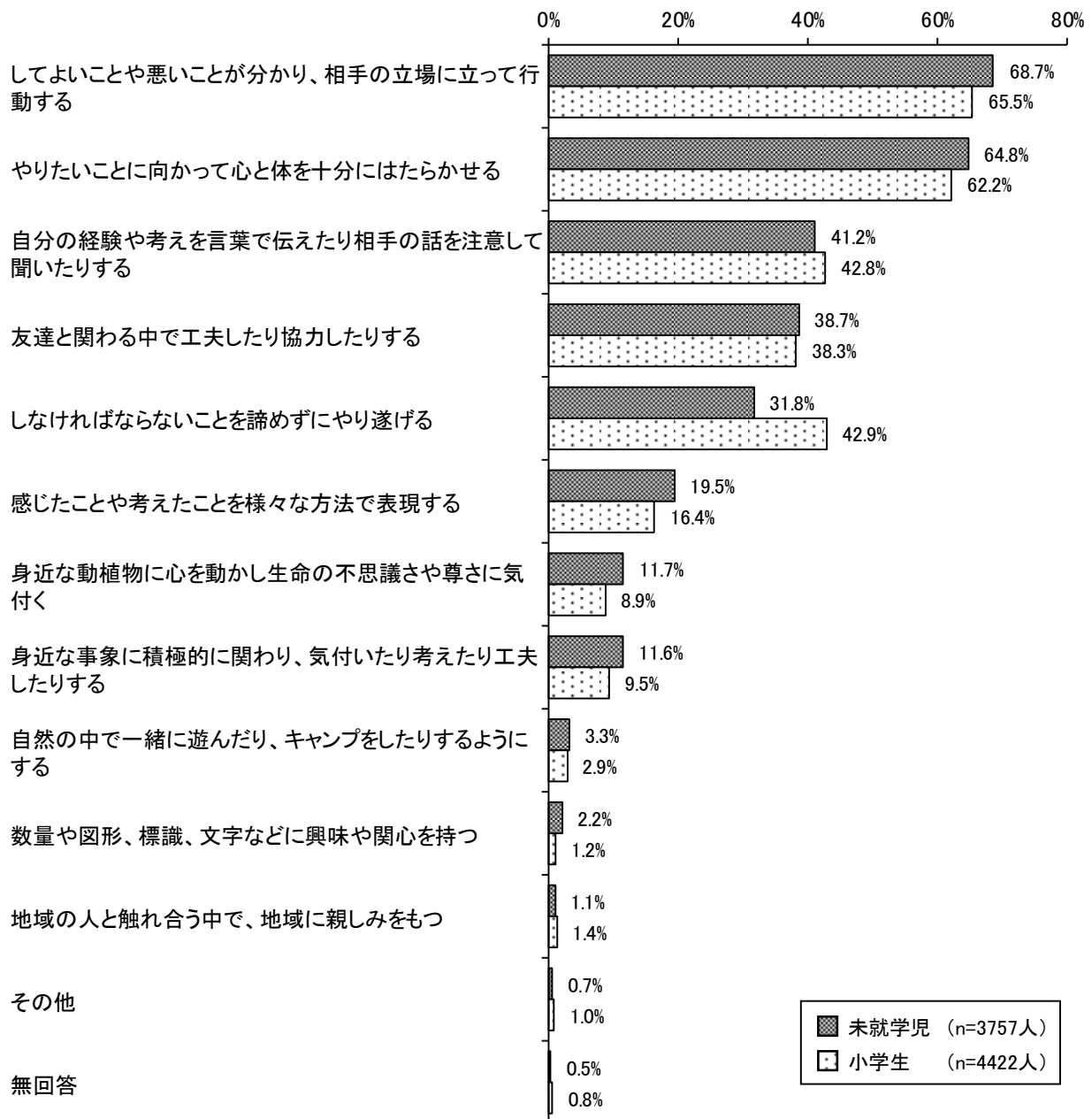
小学生は「子どもの話を聞くようにする」が90.7%と最も高く、次いで「自分でできることは、出来るだけ任せるようにする」が81.6%、「子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする」が72.4%となっています。



共通設問 問34 あなたはどのような子どもの姿が望ましいと考えますか。
 当てはまる番号3つまで○をつけてください。

望ましい子どもの姿について、未就学児は「してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する」が68.7%と最も高く、次いで「やりたいことに向かって心と体を十分にはたらかせる」が64.8%、「自分の経験や考えを言葉で伝えたり相手の話を注意して聞いたりする」が41.2%となっています。

小学生は「してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する」が65.5%と最も高く、次いで「やりたいことに向かって心と体を十分にはたらかせる」が62.2%、「しなければならないことを諦めずにやり遂げる」が42.9%となっています。

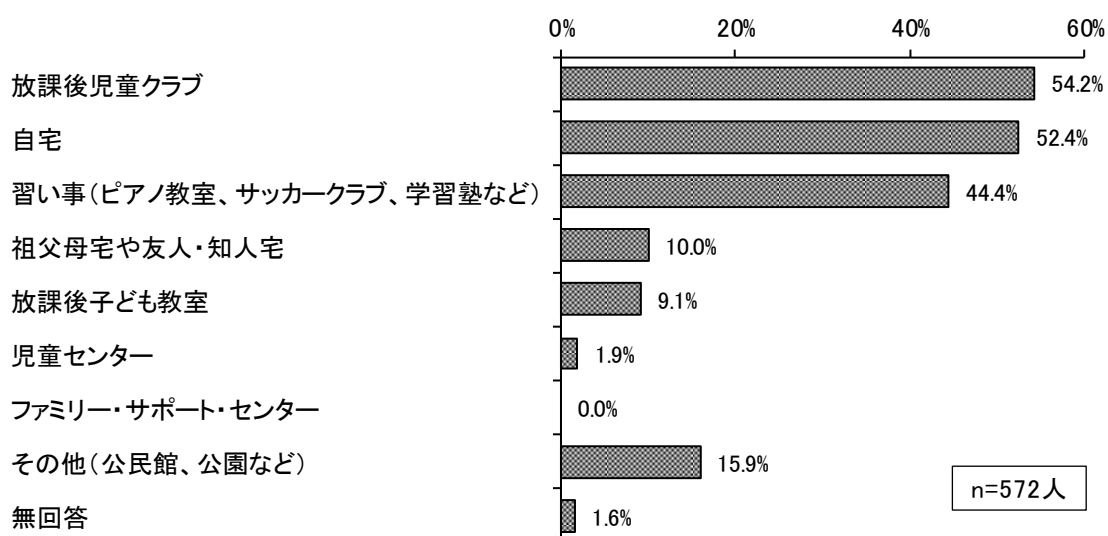


12 小学校就学後の放課後の過ごし方について（来年度入学予定者限定）

問 35 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

小学校低学年時の放課後の過ごし方については、「放課後児童クラブ」が54.2%、「自宅」が52.4%と特に高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が44.4%となっています。

「放課後児童クラブ」の週あたりの利用希望日数は「5日」（68.4%）、希望時間は「18時」（49.0%）が最も高くなっています。



【自宅】

n=300人

項目	件数	構成比
1日	54	18.0%
2日	70	23.3%
3日	60	20.0%
4日	28	9.3%
5日	82	27.3%
無回答	6	2.0%

【祖父母宅や友人・知人宅】

n=57人

項目	件数	構成比
1日	36	63.2%
2日	14	24.6%
3日	2	3.5%
4日	1	1.8%
5日	3	5.3%
無回答	1	1.8%

【習い事】

n=254人

項目	件数	構成比
1日	100	39.4%
2日	98	38.6%
3日	42	16.5%
4日	5	2.0%
5日	8	3.1%
無回答	1	0.4%

【児童センター】

n=11人

項目	件数	構成比
1日	7	63.6%
2日	0	0.0%
3日	1	9.1%
4日	1	9.1%
5日	2	18.2%
無回答	0	0.0%

【放課後子ども教室】

n=52人

項目	件数	構成比
1日	29	55.8%
2日	6	11.5%
3日	7	13.5%
4日	2	3.8%
5日	7	13.5%
無回答	1	1.9%

【放課後児童クラブ】

n=310人

項目	件数	構成比
1日	5	1.6%
2日	14	4.5%
3日	46	14.8%
4日	31	10.0%
5日	212	68.4%
無回答	2	0.6%

4. 調査結果詳細：1) 未就学児保護者調査

【放課後児童クラブの利用終了時間】

n=人		
項目	件数	構成比
15時	2	0.6%
16時	18	5.8%
17時	81	26.1%
18時	152	49.0%
19時	51	16.5%
20時	2	0.6%
無回答	4	1.3%

【ファミリー・サポート・センター】

n=0人		
項目	件数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	0	0.0%
無回答	0	0.0%

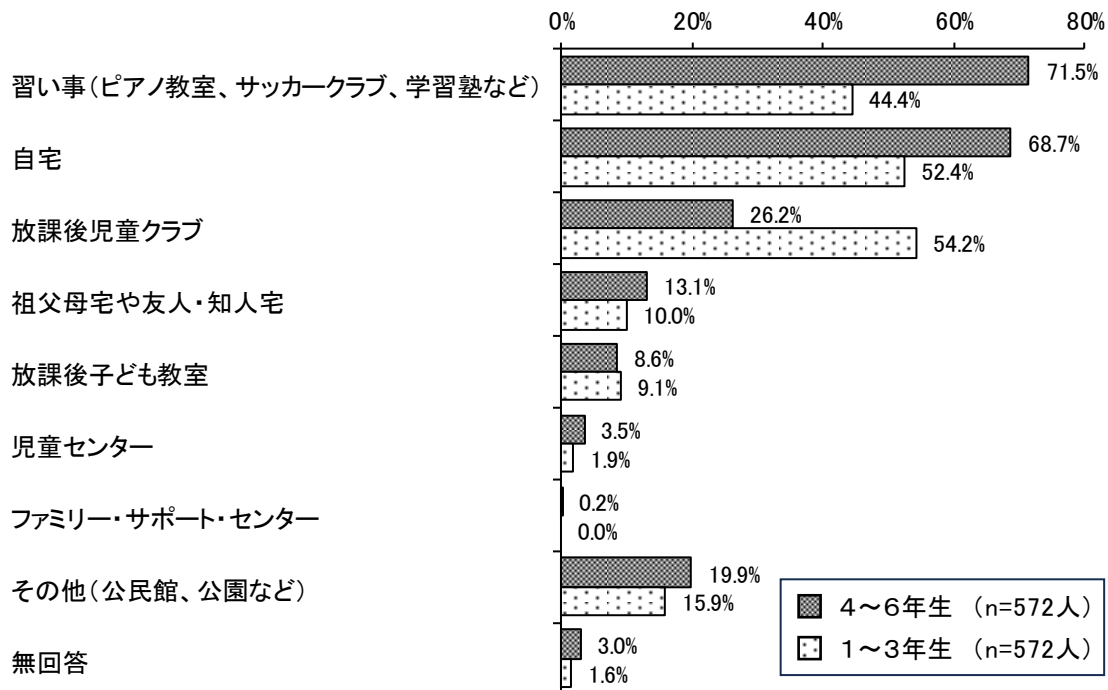
【その他(公民館、公園など)】

n=91人		
項目	件数	構成比
1日	40	44.0%
2日	32	35.2%
3日	13	14.3%
4日	1	1.1%
5日	4	4.4%
無回答	1	1.1%

問 36 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

小学校高学年時の放課後の過ごし方については、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が71.5%、「自宅」が68.7%と特に高く、次いで「放課後児童クラブ」が26.2%となっています。「放課後児童クラブ」は低学年時と比べ、およそ半数となっています。

「放課後児童クラブ」の週あたりの利用希望日数は「5日」（48.7%）、希望時間は「18時」（57.3%）が最も高くなっています。



※問 35 の小学校低学年（1～3年生）と比較しています。

【自宅】

n=393人

項目	件数	構成比
1日	81	20.6%
2日	93	23.7%
3日	101	25.7%
4日	14	3.6%
5日	97	24.7%
無回答	7	1.8%

【祖父母宅や友人・知人宅】

n=75人

項目	件数	構成比
1日	44	58.7%
2日	24	32.0%
3日	4	5.3%
4日	0	0.0%
5日	2	2.7%
無回答	1	1.3%

【習い事】

n=409人

項目	件数	構成比
1日	74	18.1%
2日	190	46.5%
3日	105	25.7%
4日	28	6.8%
5日	9	2.2%
無回答	3	0.7%

【児童センター】

n=20人

項目	件数	構成比
1日	10	50.0%
2日	6	30.0%
3日	2	10.0%
4日	1	5.0%
5日	1	5.0%
無回答	0	0.0%

【放課後子ども教室】

n=49人

項目	件数	構成比
1日	30	61.2%
2日	9	18.4%
3日	3	6.1%
4日	3	6.1%
5日	4	8.2%
無回答	0	0.0%

【放課後児童クラブ】

n=150人

項目	件数	構成比
1日	6	4.0%
2日	19	12.7%
3日	40	26.7%
4日	11	7.3%
5日	73	48.7%
無回答	1	0.7%

【放課後児童クラブの利用終了時間】

n=150人

項目	件数	構成比
15時	1	0.7%
16時	5	3.3%
17時	31	20.7%
18時	86	57.3%
19時	22	14.7%
20時	2	1.3%
無回答	3	2.0%

【ファミリー・サポート・センター】

n=1人

項目	件数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	1	100.0%
無回答	0	0.0%

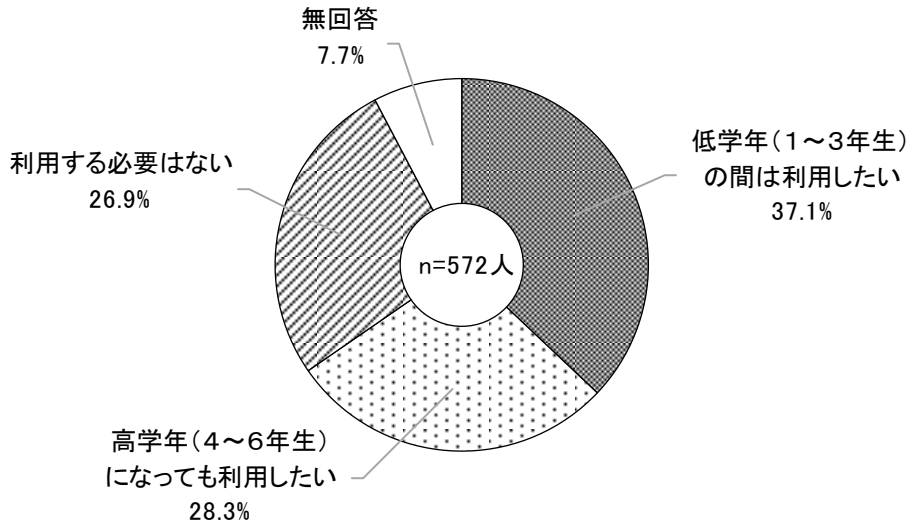
【その他(公民館、公園など)】

n=114人

項目	件数	構成比
1日	37	32.5%
2日	46	40.4%
3日	20	17.5%
4日	4	3.5%
5日	6	5.3%
無回答	1	0.9%

問 37 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（37.1%）と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（28.3%）の合計が65.4%、「利用する必要はない」が26.9%となっています。



■希望する利用時間

低学年時について、利用開始時間は「8時」が50.9%と最も高く、次いで「9時」が27.8%となっています。終了時間は「18時」が38.7%と最も高く、次いで「17時」が25.0%となっています。

高学年時について、利用開始時間は「8時」（51.9%）、終了時間は「18時」（47.5%）が最も高くなっています。

【低学年開始時間】

n=212人

項目	件数	構成比
7時	37	17.5%
8時	108	50.9%
9時	59	27.8%
10時	1	0.5%
11時以降	1	0.5%
無回答	6	2.8%

【低学年終了時間】

n=212人

項目	件数	構成比
12時以前	0	0.0%
13時	1	0.5%
14時	5	2.4%
15時	18	8.5%
16時	23	10.8%
17時	53	25.0%
18時	82	38.7%
19時以降	25	11.8%
無回答	5	2.4%

【高学年開始時間】

n=162人

項目	件数	構成比
7時	39	24.1%
8時	84	51.9%
9時	35	21.6%
10時	1	0.6%
11時以降	0	0.0%
無回答	3	1.9%

【高学年終了時間】

n=162人

項目	件数	構成比
12時以前	0	0.0%
13時	0	0.0%
14時	4	2.5%
15時	4	2.5%
16時	12	7.4%
17時	36	22.2%
18時	77	47.5%
19時以降	26	16.0%
無回答	3	1.9%

問 38 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

未就学児保護者に教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見を聞いたところ、1964人から3462件の回答が寄せられました。その内容をまとめた結果は以下のとおりです。

- 保育所、幼稚園、預かり施設…………… 632 件
 - ・入りたいときに保育園に入れるように、施設を充実してほしい。
 - ・私用でも使える一時預かり施設を充実してほしい。
- 学童、居場所づくり…………… 512 件
 - ・小1の壁はあるので、放課後児童クラブの整備をお願いしたい。
 - ・民間のクラブでは保護者会で運営しているところもあり、負担が大きいのので改善してほしい。
 - ・長期休暇の際だけでも利用できる制度があればよい。
- 経済的支援（手当、無償化、補助金、利用料軽減、所得制限撤廃など）…………… 538 件
 - ・保育料等の無償化や、負担軽減される第2子・第3子のカウントの仕方を改善してほしい。
- 公園、児童センター、図書館、遊び場・運動施設の整備…………… 308 件
 - ・ボール遊びや花火ができる公園があるとよい。
 - ・雨の日や猛暑の日でも使える、子どもの遊び場があるとよい。
- 子どもの健康・福祉（小児医療、病児保育、療育、障がい児への支援など）…………… 231 件
 - ・病児保育が使いにくいので改善してほしい。
- 政策、施策、まちづくり…………… 219 件
- 相談窓口、支援センター、各種サポート体制など…………… 195 件
- 環境整備
 - （親の負担軽減、仕事と育児の両立、働きやすい環境、就労支援、男性の育児参加など） …… 164 件
- 学校施設、学習環境、カリキュラム、PTA活動…………… 141 件
 - ・学校施設が老朽化しているので、改善をお願いしたい。
- 教育、保育に関わる人員の確保、待遇改善…………… 120 件
- 情報発信（保育園・幼稚園の情報一覧、各種手続きや補助制度、イベント予定など）…………… 95 件
 - ・子どもに関する情報がわかりにくいので、アプリなどを利用して情報をまとめたものを作ってほしい。
- 地域コミュニティ、交流の場（イベント、サロン、子育てへの理解など）…………… 84 件
- 子どもの安全（防犯、交通安全、虐待防止、防災など）…………… 74 件
- 本調査について（インターネット回答、対象年齢、設問設定、施策への反映など）…………… 65 件
- デジタル化への対応（オンライン手続き、ペーパーレス化、キャッシュレス化など）…………… 46 件
 - ・子どもを連れて区役所に行くのは負担なので、手続きがオンラインでできるとよい。
- 外国人の子どもへの支援（語学、文化・風習の差異、宗教への配慮など）…………… 3 件
- その他（育児の苦勞、住宅支援、育児方針、体験談など）…………… 35 件

2) 小学生保護者調査

1 居住地について

共通設問 問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

→15 ページ 未就学児保護者調査 問1 参照

共通設問 問2 さいたま市居住年数として当てはまる番号1つに○をつけてください。

→15 ページ 未就学児保護者調査 問2 参照

2 家族関係について

共通設問 問3 お子さんの生年月をご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

→16 ページ 未就学児保護者調査 問3 参照

共通設問 問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→16 ページ 未就学児保護者調査 問4 参照

共通設問 問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です。)

→17 ページ 未就学児保護者調査 問5 参照

共通設問 問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

→17 ページ 未就学児保護者調査 問6 参照

共通設問 問7 あなたにとって、理想の子どもの数は何人ですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→18 ページ 未就学児保護者調査 問7 参照

共通設問 問8 あなたは実際に持つ予定の(持った)子どもの数は何人ですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→18 ページ 未就学児保護者調査 問8 参照

共通設問 問9 問7より問8で回答した人数が少ない方におたずねします。
人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→19 ページ 未就学児保護者調査 問9 参照

3 保護者の就労状況について

共通設問 問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおたずねします。

→22 ページ 未就学児保護者調査 問13 参照

共通設問
問10-1 問10の（1）または（2）で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方におたずねします。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→24 ページ 未就学児保護者調査 問13-1 参照

共通設問
問10-2 問10の（1）または（2）で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方におたずねします。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一枠に一字）

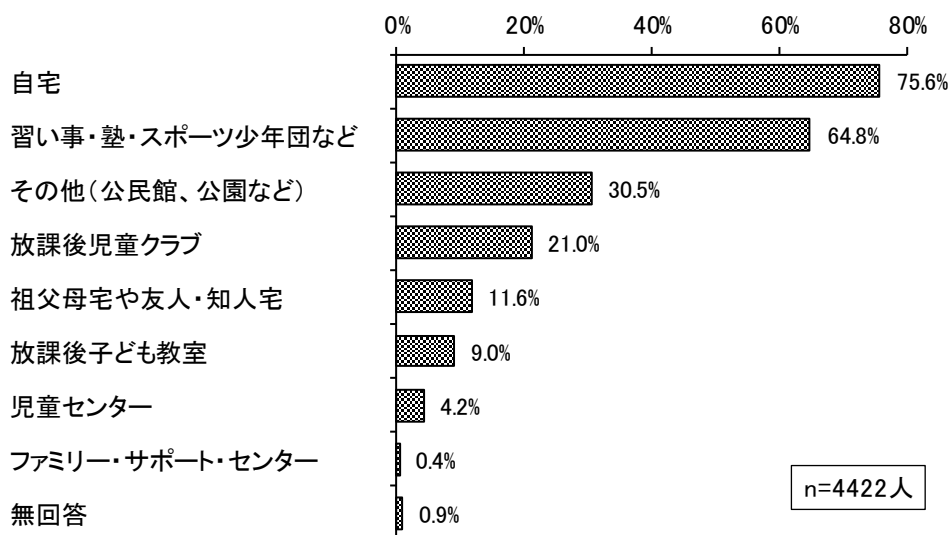
→25 ページ 未就学児保護者調査 問13-2 参照

4 放課後の過ごし方について

問 11 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

放課後の過ごし方については、「自宅」が75.6%、「習い事・塾・スポーツ少年団など」が64.8%と特に高く、次いで「その他（公民館、公園など）」が30.5%となっています。

「放課後児童クラブ」の週あたりの利用希望日数は「5日」が45.7%と最も高く、次いで「3日」が22.2%、「2日」が14.6%となっています。希望時間は「18時」が51.2%と最も高く、次いで「17時」が24.9%、「19時」が16.2%となっています。



【自宅】

n=3345人

項目	件数	構成比
1日	518	15.5%
2日	918	27.4%
3日	689	20.6%
4日	259	7.7%
5日	884	26.4%
無回答	77	2.3%

【祖父母宅や友人・知人宅】

n=514人

項目	件数	構成比
1日	309	60.1%
2日	134	26.1%
3日	27	5.3%
4日	11	2.1%
5日	27	5.3%
無回答	6	1.2%

【習い事・塾・スポーツ少年団など】

n=2866人

項目	件数	構成比
1日	578	20.2%
2日	1190	41.5%
3日	802	28.0%
4日	173	6.0%
5日	87	3.0%
無回答	36	1.3%

【児童センター】

n=185人

項目	件数	構成比
1日	108	58.4%
2日	39	21.1%
3日	16	8.6%
4日	2	1.1%
5日	7	3.8%
無回答	13	7.0%

【放課後子ども教室】

n=397人

項目	件数	構成比
1日	216	54.4%
2日	97	24.4%
3日	43	10.8%
4日	11	2.8%
5日	24	6.0%
無回答	6	1.5%

【放課後児童クラブ】

n=930人

項目	件数	構成比
1日	35	3.8%
2日	136	14.6%
3日	206	22.2%
4日	123	13.2%
5日	425	45.7%
無回答	5	0.5%

【放課後児童クラブの利用終了時間】

n=930人

項目	件数	構成比
14時	1	0.1%
15時	7	0.8%
16時	37	4.0%
17時	232	24.9%
18時	476	51.2%
19時	151	16.2%
20時以降	13	1.4%
無回答	13	1.4%

【ファミリー・サポート・センター】

n=16人

項目	件数	構成比
1日	6	37.5%
2日	5	31.3%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	3	18.8%
無回答	2	12.5%

【その他(公民館、公園など)】

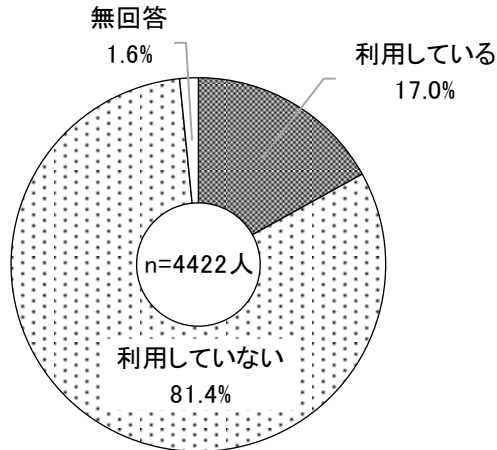
n=1347人

項目	件数	構成比
1日	495	36.7%
2日	484	35.9%
3日	238	17.7%
4日	47	3.5%
5日	64	4.8%
無回答	19	1.4%

5 放課後児童クラブの利用について

問12 お子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後児童クラブの利用については、「利用している」が17.0%、「利用していない」が81.4%となっており、「利用していない」が「利用している」を大きく上回っています。

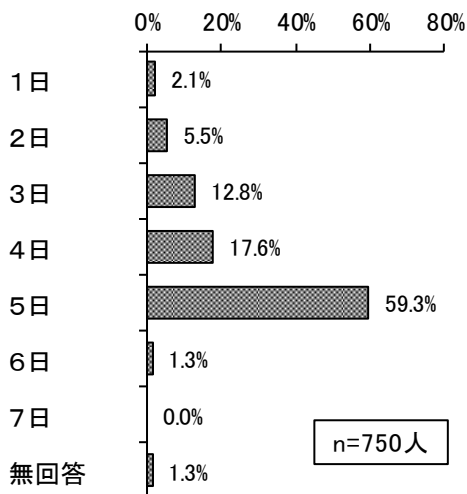


問12-1 問12で「1. 利用している」と回答した方におたずねします。

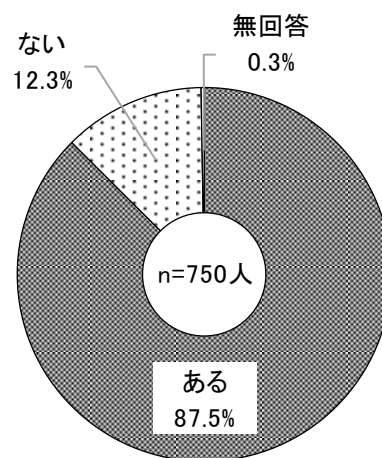
お子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどのくらいですか。□内に数字をご記入ください。また、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用はありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用日数については、週当たり「5日」が59.3%と最も高くなっています。
土曜・長期休業日の利用については、「ある」が87.5%となっています。

■ 利用日数（週当たり）

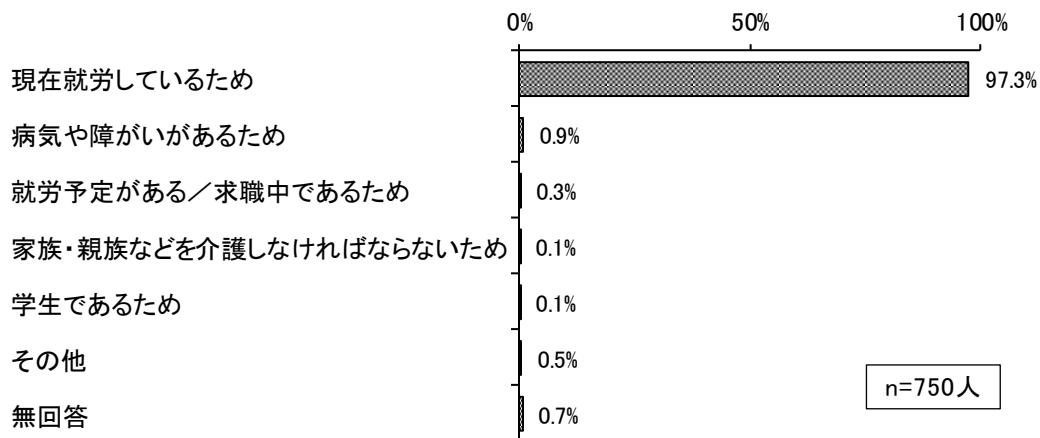


■ 土曜・長期休業日（夏休み等）の利用



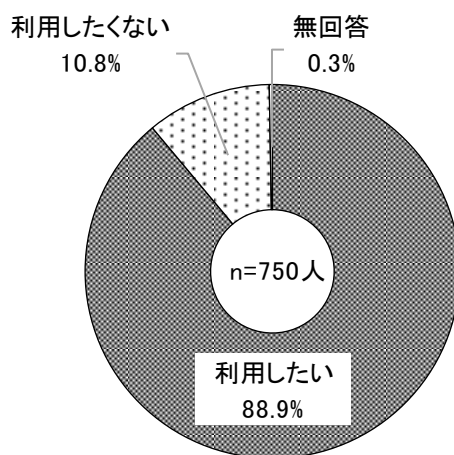
問 12-2 利用されている主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用している理由については、「現在就労しているため」が 97.3%と突出して高く、それ以外の項目は 1%未満となっています。



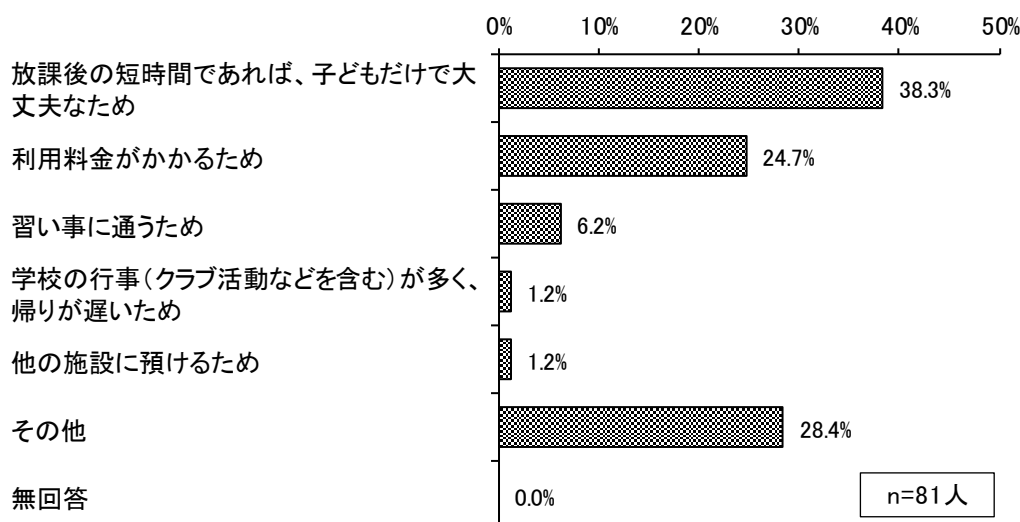
問 12-3 今後も利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

今後の利用意向については、「利用したい」が 88.9%、「利用したくない」が 10.8%と、「利用したい」が「利用したくない」を大きく上回っています。



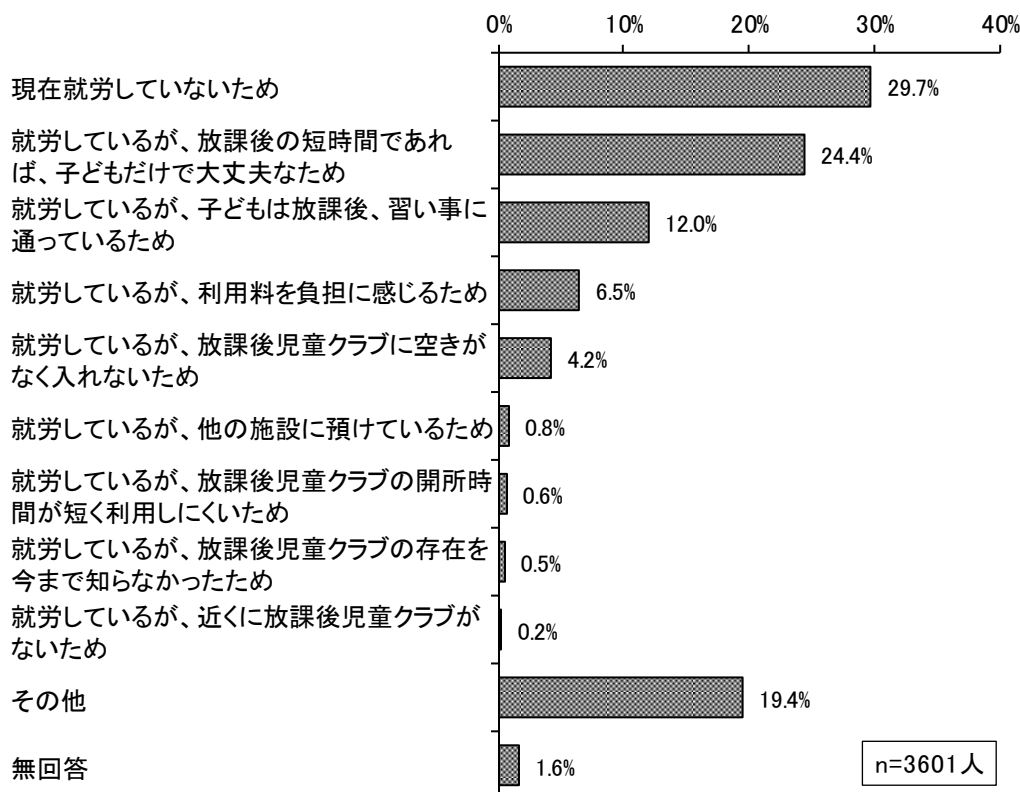
問 12-4 問 12-3 で、「2. 利用したくない」と回答した方におたずねします。
利用したくない主な理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

利用を希望しない理由については、「放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため」が 38.3%と最も高く、次いで「利用料金がかかるため」が 24.7%となっています。



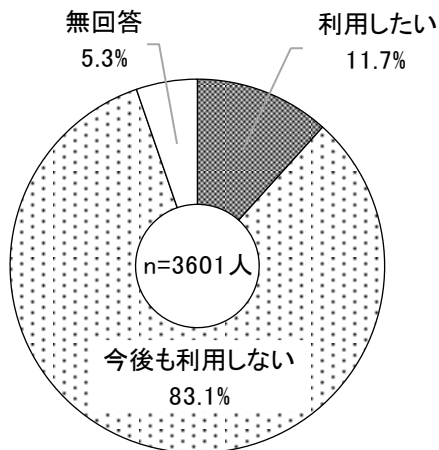
問 12-5 問 12 で「2. 利用していない」と回答した方におたずねします。
現在、利用していない主な理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

利用していない理由については、「現在就労していないため」が 29.7%と最も高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため」が 24.4%となっています。



問 12-6 今後は、利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

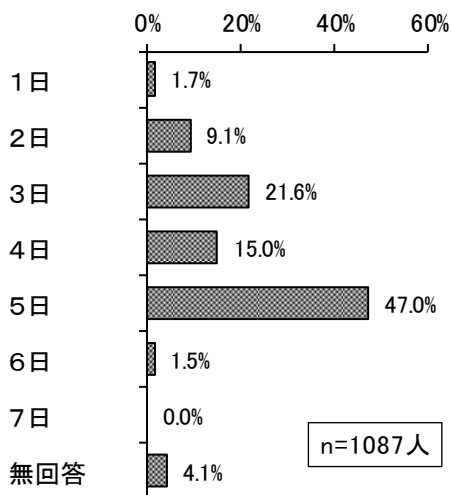
今後の利用意向については、「利用したい」が11.7%、「今後も利用しない」が83.1%と、「今後も利用しない」が「利用したい」を大きく上回っています。



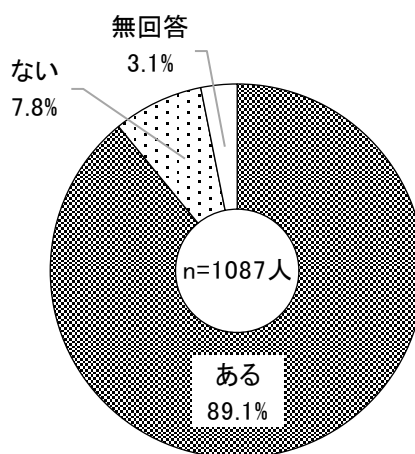
問 12-7 問 12-3 または問 12-6 で「1. 利用したい」と回答した方におたずねします。利用希望日数はどのくらいですか。口内に数字を記入してください。また、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

今後の利用希望日数については、週当たり「5日」が47.0%と最も高くなっています。土曜・長期休業日の利用希望については、「ある」が89.1%となっています。

■ 利用希望日数（週当たり）



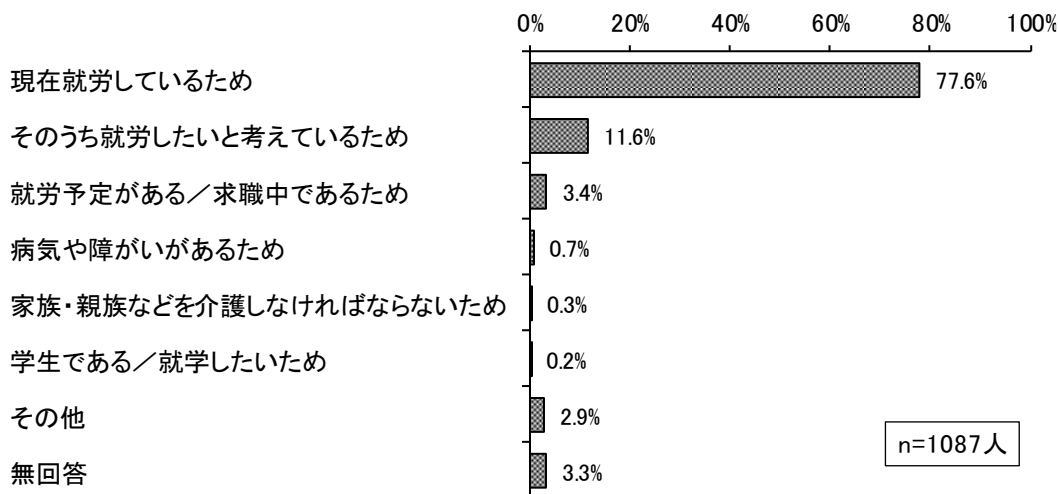
■ 土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望



問 12-8 今後、放課後児童クラブを利用したい主な理由は何ですか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用を希望する理由については、「現在就労しているため」が77.6%と突出して高く、次いで「そのうち就労したいと考えているため」が11.6%となっています。



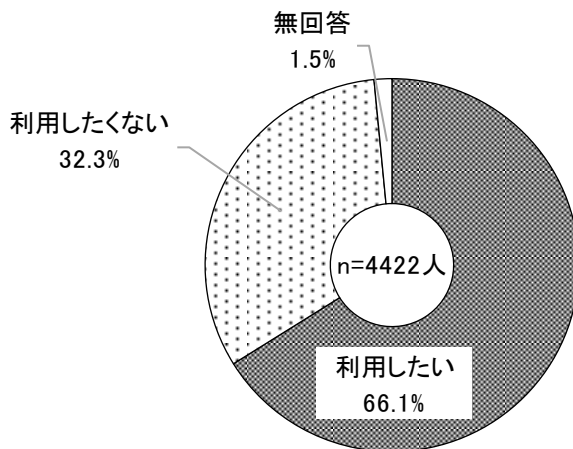
問 12-9 すべての方におたずねします。

月曜日から土曜日まで、定員を設けずに小学校内で過ごすことができる居場所があれば利用したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 放課後児童クラブの利用条件に該当しないお子さんは放課後（土曜・長期休業日（夏休み等）は午前8時）から午後5時までの間

※ 放課後児童クラブの利用条件に該当するお子さんは放課後（土曜・長期休業日（夏休み等）は午前8時）から午後7時までの間

小学校内で過ごす居場所の利用意向については、「利用したい」が66.1%、「利用したくない」が32.3%と、「利用したい」が「利用したくない」のおよそ2倍となっています。

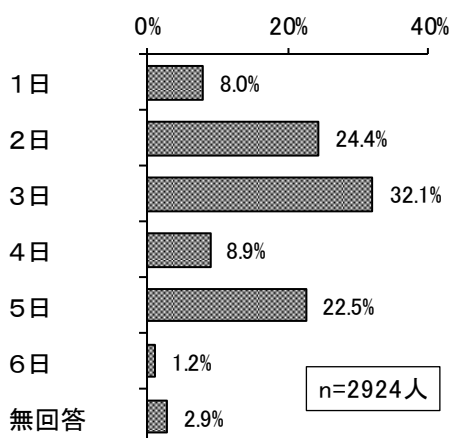


問 12-10 問 12-9 で「1. 利用したい」と回答した方におたずねします。
 利用希望日数はどのくらいですか。□内に数字を記入してください。また、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

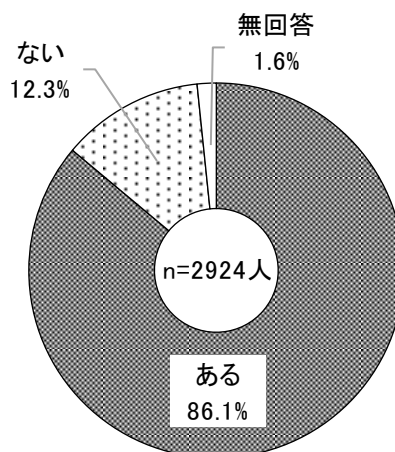
利用希望日数については、週当たり「3日」が 32.1%と最も高く、次いで「2日」が 24.4%、「5日」が 22.5%となっています。

土曜・長期休業日の利用希望については、「ある」が 86.1%、長期休業日（夏休み等）の利用希望については、「ある」が 78.7%となっています。

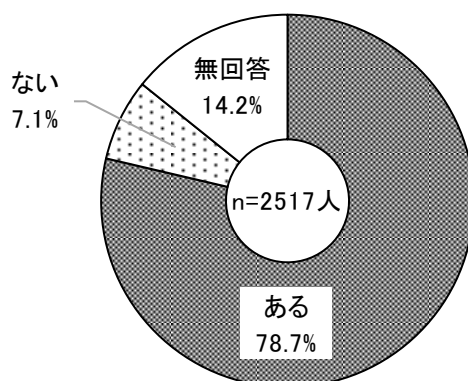
■利用希望日数（週当たり）



■土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望

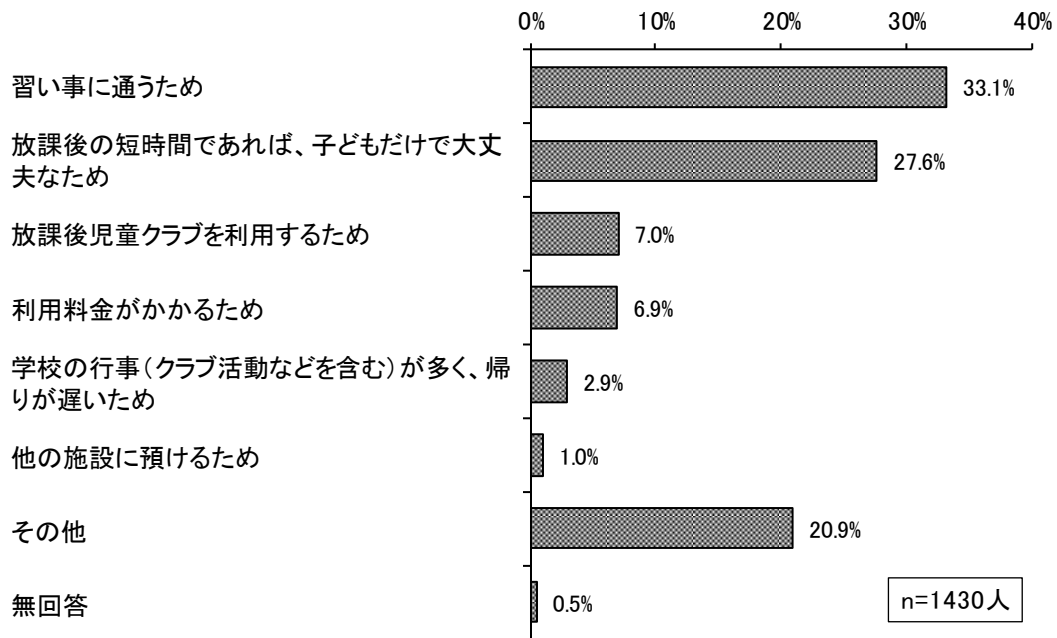


■長期休業日（夏休み等）の利用希望



問 12-11 問 12-9 で、「2. 利用したくない」と回答した方におたずねします。
 利用したくない主な理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

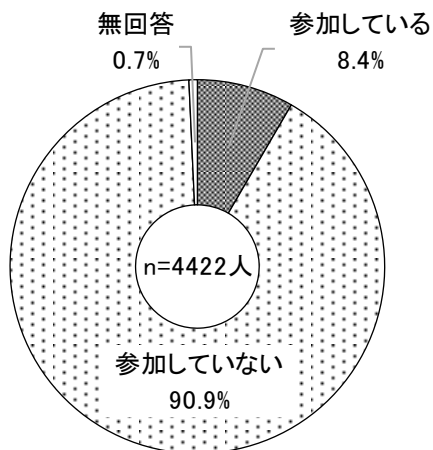
利用を希望しない理由については、「習い事に通うため」が 33.1%と最も高く、次いで「放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため」が 27.6%となっています。



6 放課後チャレンジスクール（放課後子ども教室）について

問13 お子さんは、現在、放課後チャレンジスクール（放課後子ども教室）に参加していますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

放課後チャレンジスクールについては、「参加している」が8.4%、「参加していない」が90.9%と、「参加していない」が「参加している」を大きく上回っています。

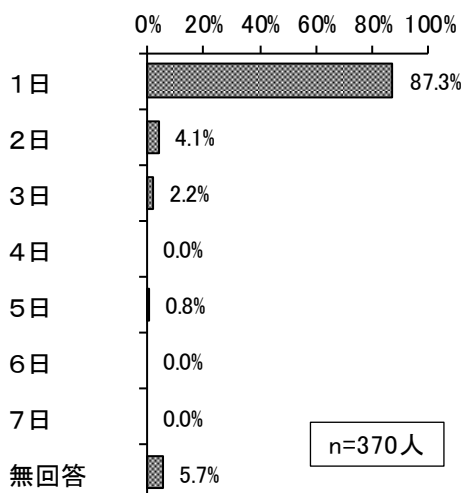


問13-1 問13で「1. 参加している」と回答した方におたずねします。

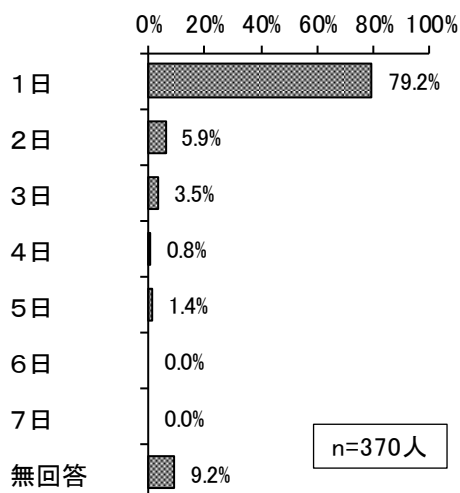
お子さんについて、放課後チャレンジスクールの参加日数はどのくらいですか。また、その放課後チャレンジスクールの開催日数はどのくらいですか。それぞれ、□内に数字でご記入ください。

放課後チャレンジスクールの参加日数と開催日数については、いずれも週当たり「1日」が突出して高く、それぞれ87.3%、79.2%となっています。

■参加日数（週当たり）

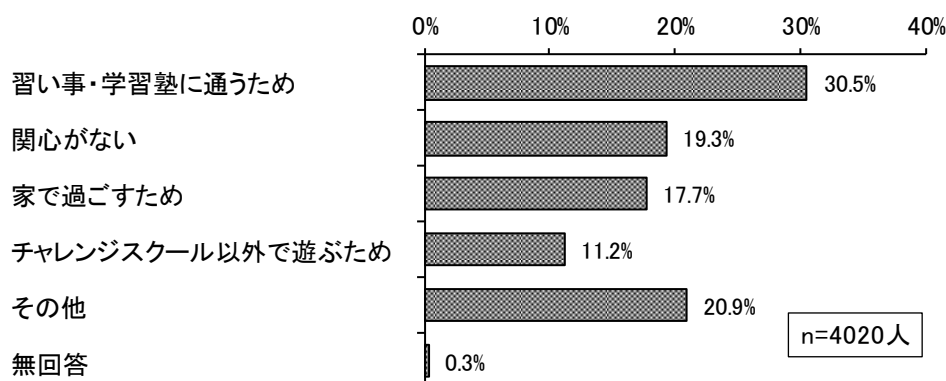


■開催日数（週当たり）



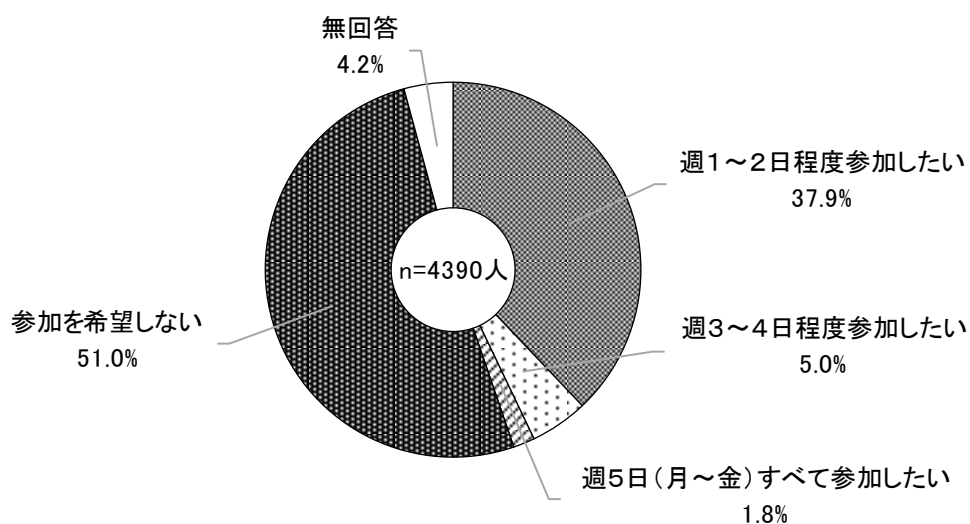
問13-2 問13で「2. 参加していない」と回答した方におたずねします。
参加していない主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

参加していない理由については、「習い事・学習塾に通うため」が30.5%と高く、次いで「関心がない」が19.3%、「家で過ごすため」が17.7%となっています。



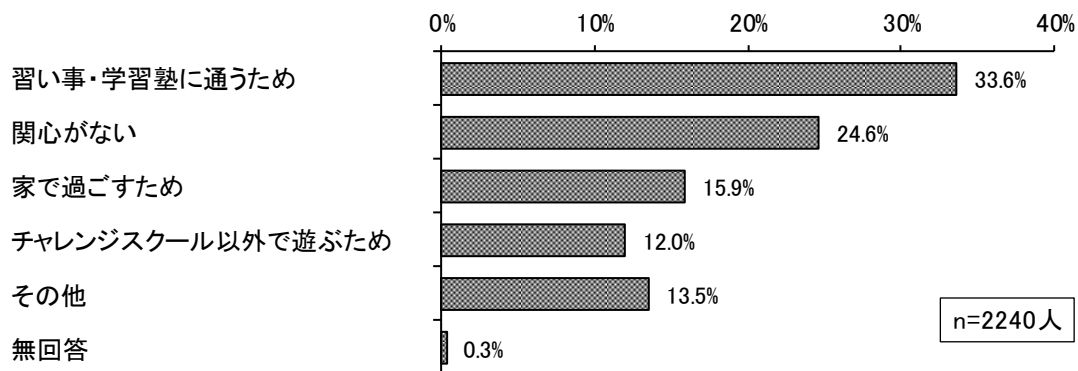
問14 問13で「1. 参加している」、「2. 参加していない」と回答した方、全員におたずねします。
お子さんについて、今後、放課後チャレンジスクールに参加する場合、1週間（月～金）に何日くらい参加したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

参加希望日数については、「週1～2日程度参加したい」が37.9%、参加希望の合計は44.8%となっています。一方、「参加を希望しない」は51.0%となっています。



問 14-1 問 14 で「4. 参加を希望しない」と回答した方におたずねします。
今後、参加を希望しない主な理由は何ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

参加を希望しない理由については、「習い事・学習塾に通うため」が 33.6%と高く、次いで「関心がない」が 24.6%、「家で過ごすため」が 15.9%となっています。



7 家庭での教育・育児方針について

共通設問 問 15 あなたは、今後の子どもに対する教育方針について、どのように考えますか。
それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

→61 ページ 未就学児保護者調査 問 32 参照

共通設問 問 16 子どもの教育やしつけについて、あなたがこころがけている（こころがけたい）ことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

→62 ページ 未就学児保護者調査 問 33 参照

共通設問 問 17 あなたはどのような子どもの姿が望ましいと考えますか。
当てはまる番号3つまで○をつけてください。

→63 ページ 未就学児保護者調査 問 34 参照

8 子育て環境などについて

共通設問 問 18 あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→51 ページ 未就学児保護者調査 問 25 参照

共通設問 問 19 あなたはお子さんに対して、育てにくさを感じていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→51 ページ 未就学児保護者調査 問 26 参照

共通設問 問 19-1 問 19で「1. いつも感じる」、「2. ときどき感じる」に○をつけた方におたずねします。育てにくさを感じた時に、相談先を知っている、何らかの解決する方法を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→52 ページ 未就学児保護者調査 問 26-1 参照

共通設問 問 20 法律では、虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役場や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。そのような義務があることを知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→53 ページ 未就学児保護者調査 問 28 参照

問 21 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

小学生保護者に教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見を聞いたところ、1438人から2203件の回答が寄せられました。その内容をまとめた結果は以下のとおりです。

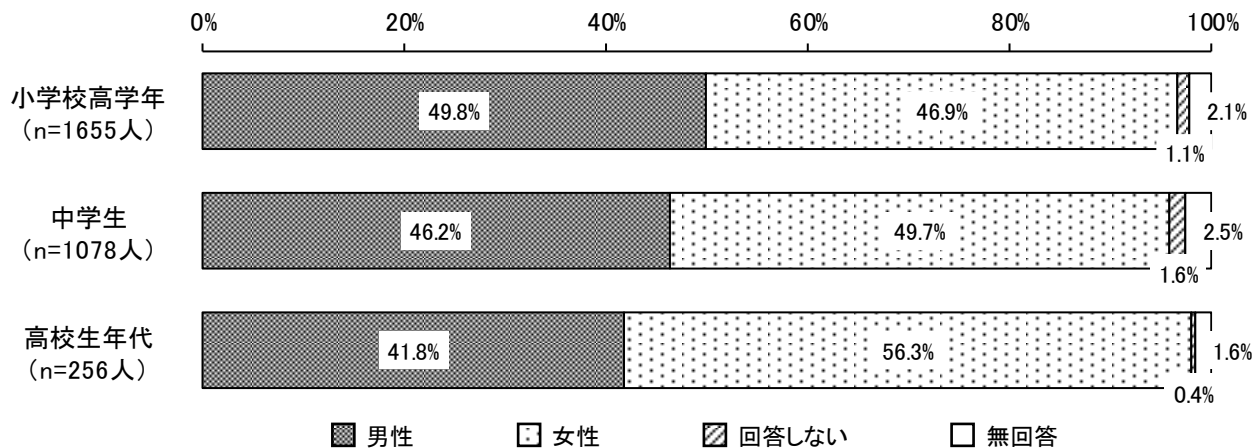
- 学童、居場所づくり…………… 519 件
 - ・ 放課後児童クラブの量的整備をしてもらいたい。
 - ・ 小学生の一時預かり（学校でそのまま過ごせる）や、長期休暇の際の預かりがあるとよい。
 - ・ 放課後児童クラブで食事の提供があるとよい。
- 保育所、幼稚園、預かり施設…………… 59 件
- 学校施設、学習環境、カリキュラム、PTA活動…………… 365 件
 - ・ PTA活動が負担なので、縮小や廃止をしてほしい。
 - ・ 子どもが学校や社会に対して、意見を言えるような仕組みを作ってほしい。
- 経済的支援（手当、無償化、補助金、所得制限撤廃など）…………… 286 件
 - ・ 子どもの学びの機会を経済状況等に左右されないで、提供できるようにしてほしい。
- 公園、児童センター、図書館、遊び場・運動施設の整備…………… 260 件
 - ・ ボールを使用するスポーツができる場所が少ないので、整備してほしい。
- 政策、施策、まちづくり…………… 120 件
- 教育、保育に関わる人員の確保、待遇改善…………… 114 件
 - ・ 教員の負担が大きすぎる。負担軽減をして子どもたちに目が向くようにした方がよい。
- 環境整備
 - （親の負担軽減、仕事と育児の両立、働きやすい環境、男性の家事・育児参加など）…………… 101 件
- 地域コミュニティ、交流の場（イベント、チャレンジスクールなど）…………… 92 件
 - ・ ボランティアに頼らず、講師を招くなどして、様々な体験を子どもに提供してほしい。
- 子どもの安全（防犯、交通安全、虐待防止、防災など）…………… 76 件
- 相談窓口、支援センター、各種サポート体制など…………… 61 件
- 子どもの健康・福祉（小児医療、病児保育、療育、障がい児への支援など）…………… 54 件
- 本調査について（インターネット回答、対象年齢、設問設定など）…………… 27 件
- 情報発信…………… 19 件
- デジタル化への対応
 - （オンライン手続き、ペーパーレス化、キャッシュレス化、Wi-Fi 環境など）…………… 18 件
- 外国人の子どもへの支援（語学、文化・風習の差異など）…………… 5 件
- その他（育児の苦勞、住宅支援、教育方針、体験談など）…………… 27 件

3) 18歳未満調査

1 回答者の属性について

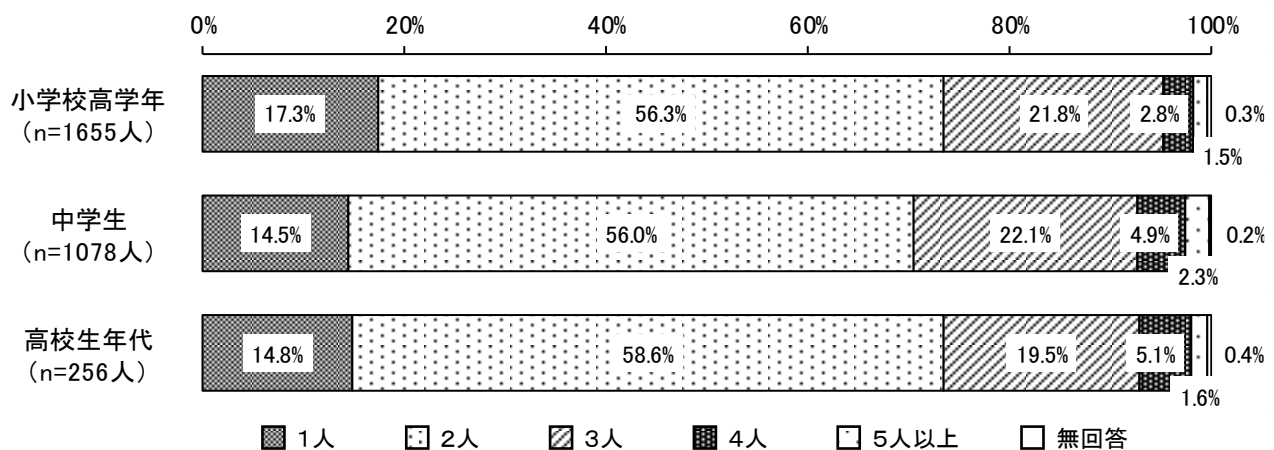
問1 あなたの性別を選んで1つに○をしてください。

性別について、小学校高学年（小学校5、6年生）、中学生（中学校1～3年生）は男女ほぼ同率、高校生年代（1～3年生）は女性（56.3%）が男性（41.8%）より1割ほど高くなっています。



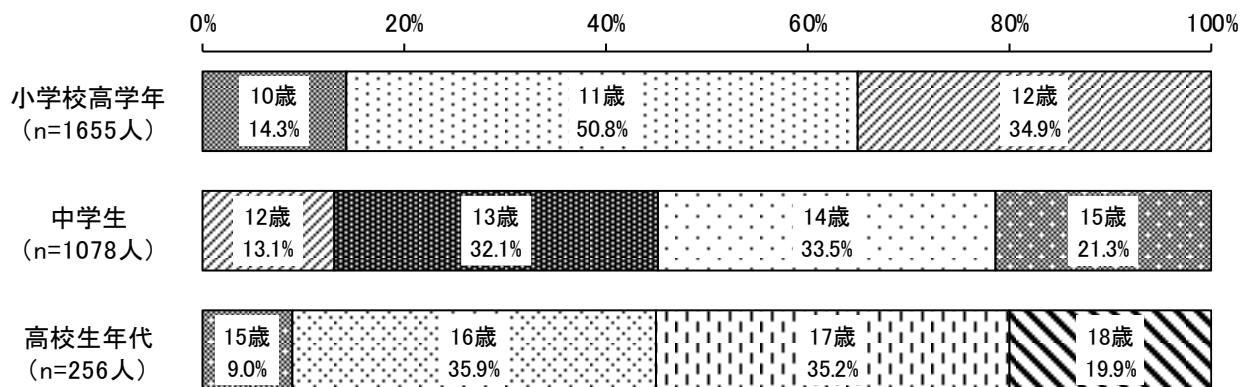
問2 あなたは、何人きょうだいですか。あなたを含めた人数を選んで1つに○をしてください。5人以上の場合は「5」に○をして、その人数を書いてください。

きょうだいの人数については、すべての年代で「2人」が5割を超え、最も高くなっています。



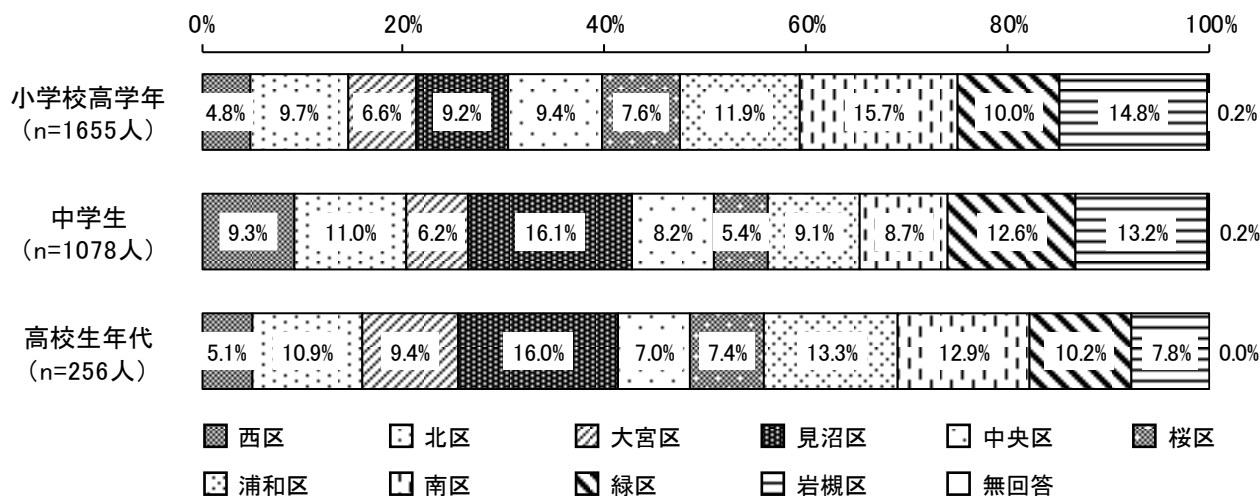
問3 あなたは何歳ですか。□内に数字で書いてください。(数字は1つの□に1字)

年齢について、小学校高学年は「11歳」(50.8%)が最も高く、中学生は「14歳」(33.5%)と「13歳」(32.1%)、高校生年代は「16歳」(35.9%)と「17歳」(35.2%)がほぼ同率となっています。



問4 あなたは、どこに住んでいますか。1つに○をしてください。

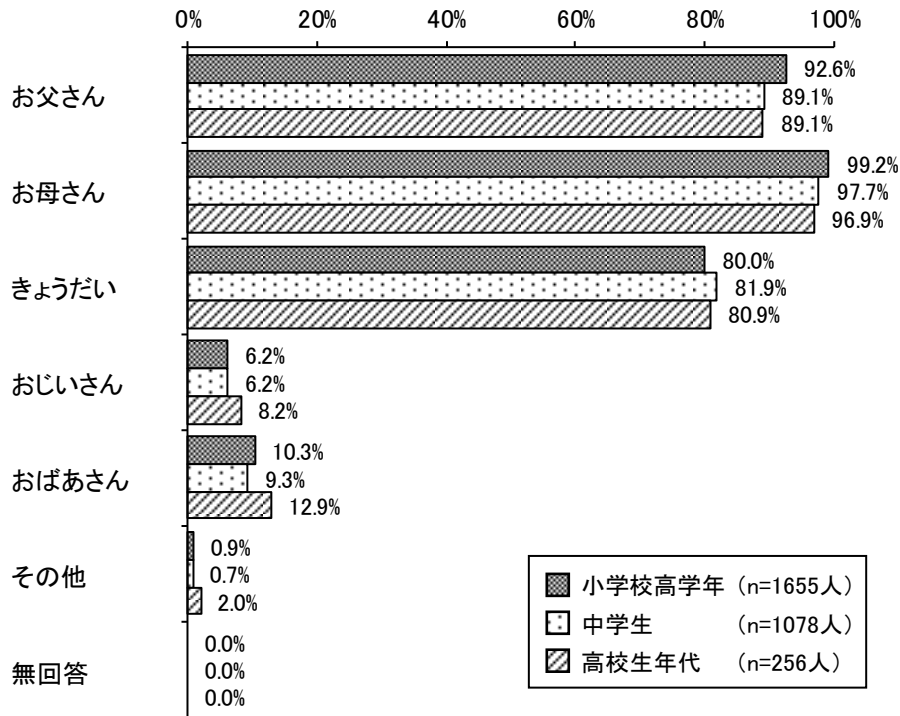
居住地について、小学校高学年は「南区」(15.7%)、中学生は「見沼区」(16.1%)、高校生年代は「見沼区」(16.0%)が最も高くなっています。



2 家族構成・関係について

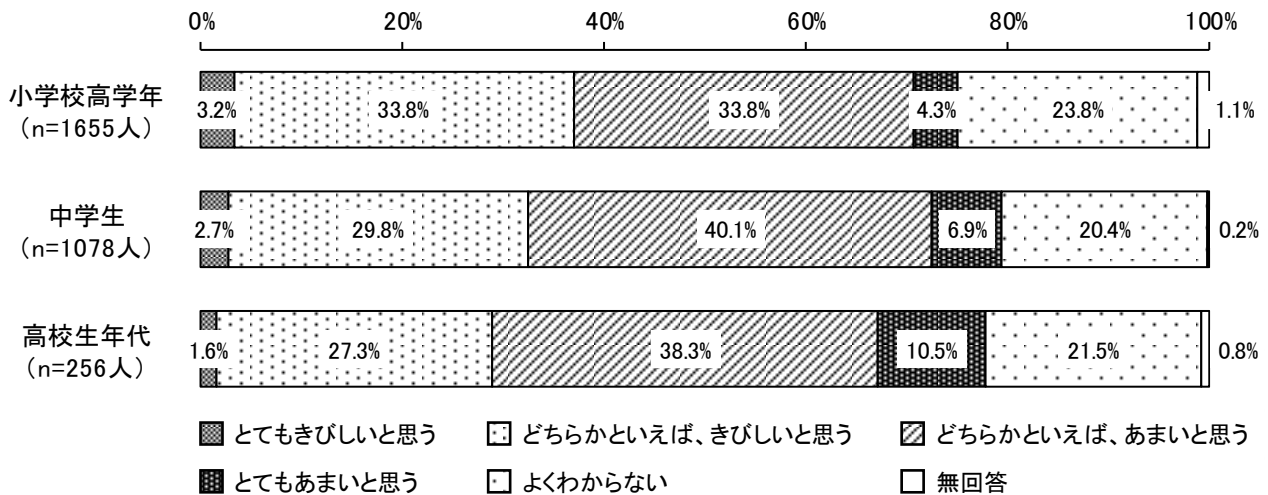
問5 あなたは、だれと一緒にくらしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

同居家族については、すべての年代で「お母さん」が9割を超え最も高く、「お父さん」「きょうだい」も8割以上となっています。



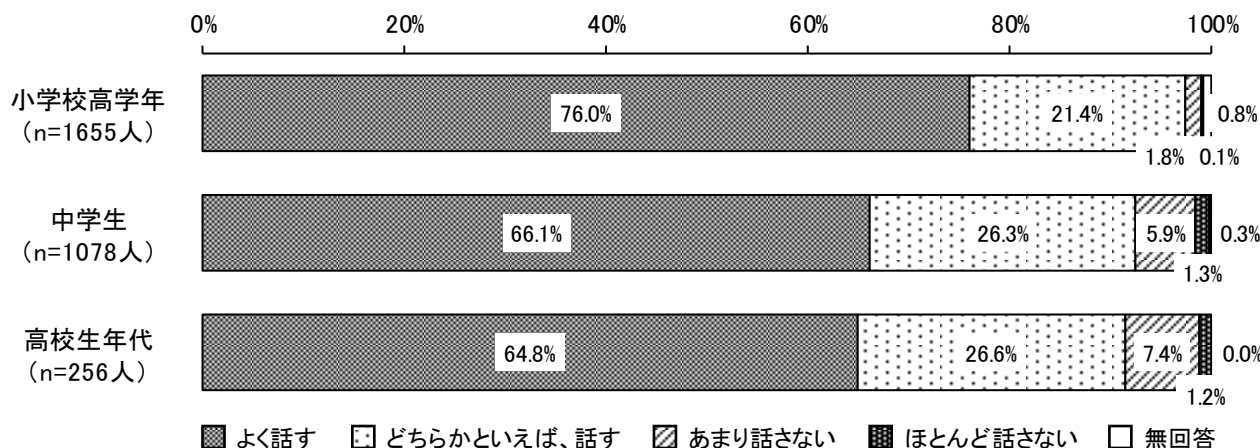
問6 あなたは、おうちのひとのしつけについてどう感じていますか。1つに○をしてください。

家の人へのしつけについては、すべての年代で「どちらかといえば、あまいと思う」が最も高く、小学校高学年は「どちらかといえば、きびしいと思う」も33.8%で同率となっています。「とてもきびしいと思う」「どちらかといえば、きびしいと思う」の合計は、小学生が37.0%、中学生が32.5%、高校生年代が28.9%と、年代が上がるにつれ減少する傾向にあります。



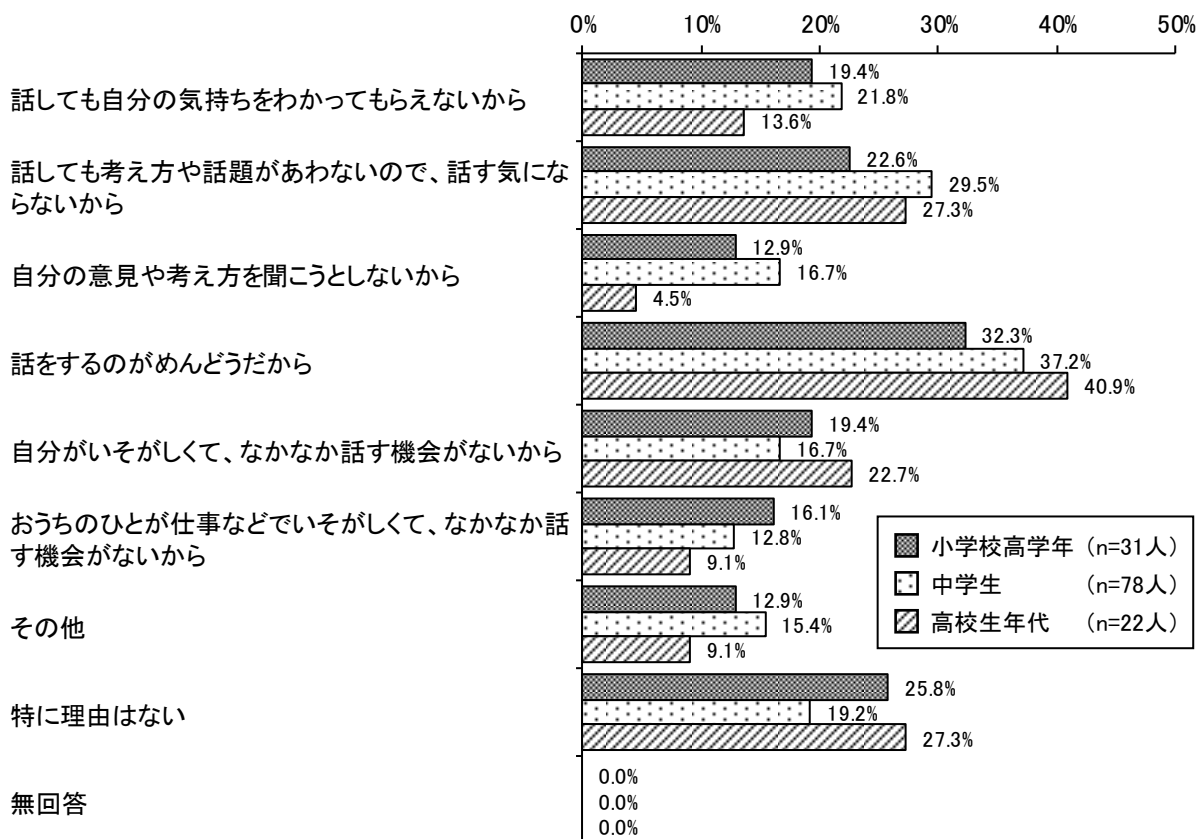
問7 あなたは、おうちのひとと話をしますか。1つに○をしてください。

家の人との会話については、すべての年代で「よく話す」が最も高く、小学校高学年が76.0%、中学生が66.1%、高校生年代が64.8%と、年代が上がるにつれて減少する傾向にあります。



**問7で「3. あまり話さない」または「4. ほとんど話さない」に○をした人が答えてください。
問7-1 あなたがおうちのひととあまり話さなかったり、ほとんど話さなかったりする理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をしてください。**

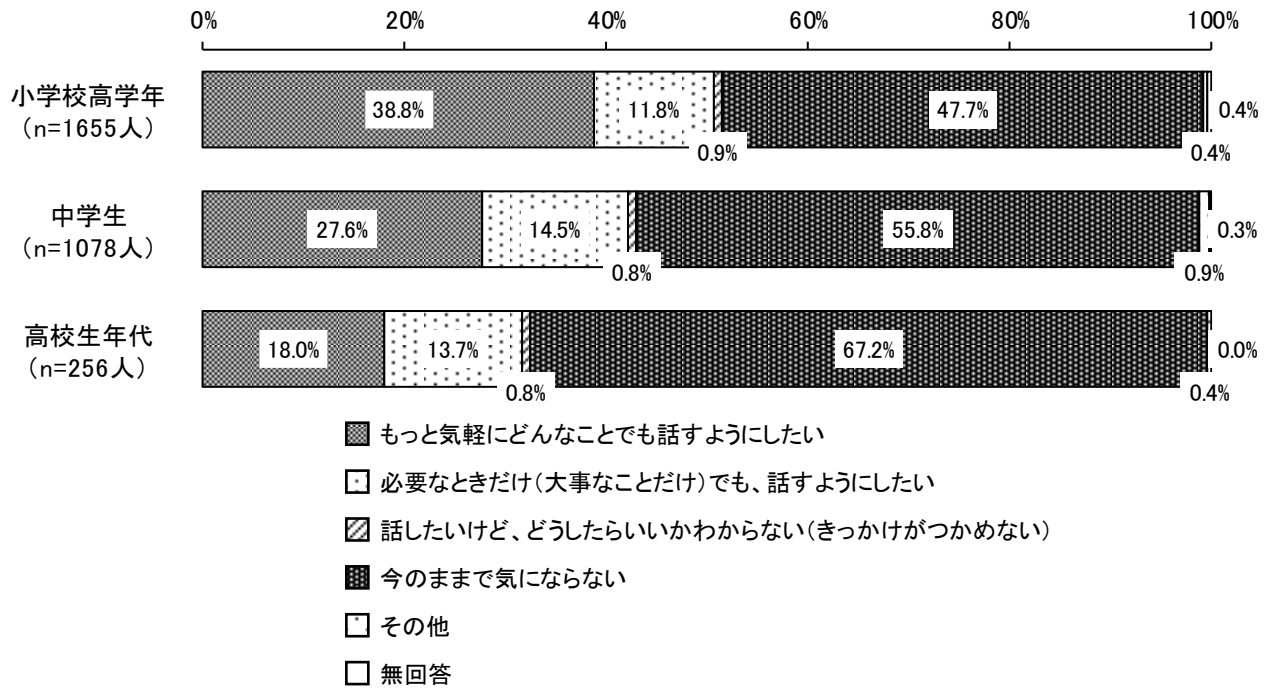
話さない理由については、すべての年代で「話をするのがめんどうだから」が最も高く、小学校高学年が32.3%、中学生が37.2%、高校生年代が40.9%と、年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。また、「話しても考え方や話題があわないので、話す気にならないから」が2番目に高くなっています。



すべての人が答えてください。

問8 あなたは、おうちのひとと話す機会をもっと持ちたいと思いますか。1つに○をしてください。

話す機会をもっと持ちたいかについては、すべての年代で「今のままで気にならない」が最も高く、小学校高学年が47.7%、中学生が55.8%、高校生年代が67.2%と、年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。一方、「もっと気軽にどんなことでも話すようにしたい」は小学校高学年(38.8%)から高校生年代(18.0%)にかけ、年代が上がるにつれ減少する傾向にあります。

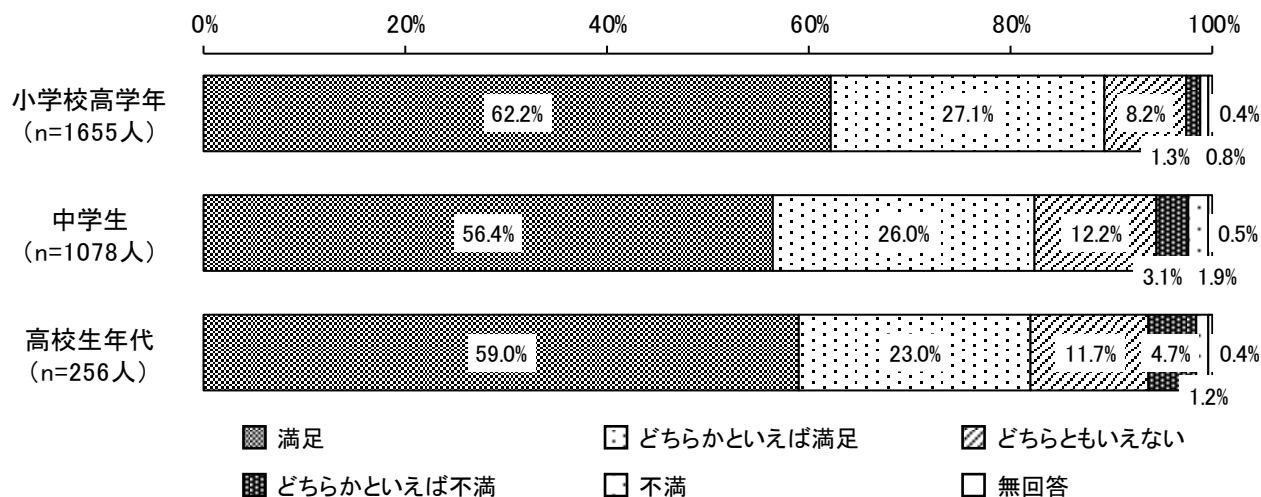


問9 あなたは、家庭や家族のことに満足していますか。①「心や気持ちの面」と②「物の豊かさの面」のそれぞれについて1つに○をしてください。

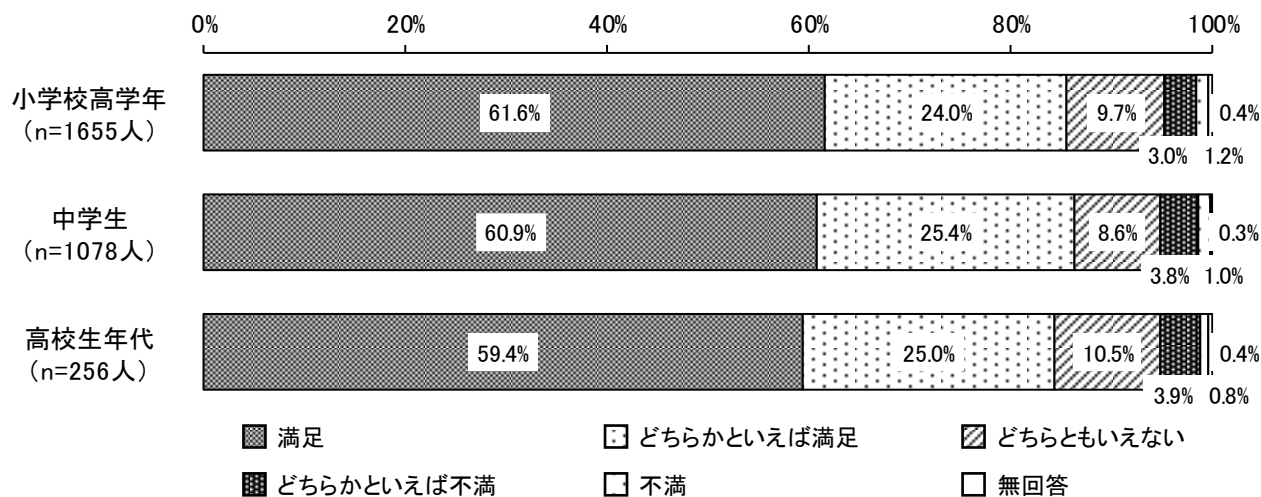
家族や家庭の満足度について、「心や気持ちの面」は、すべての年代で「満足」が過半数を占め、「どちらかといえば満足」との合計が8割以上となっています。

「物の豊かさの面」は、すべての年代で「満足」が過半数を占め、「どちらかといえば満足」との合計が8割以上となっています。

①心や気持ちの面



②物の豊かさの面

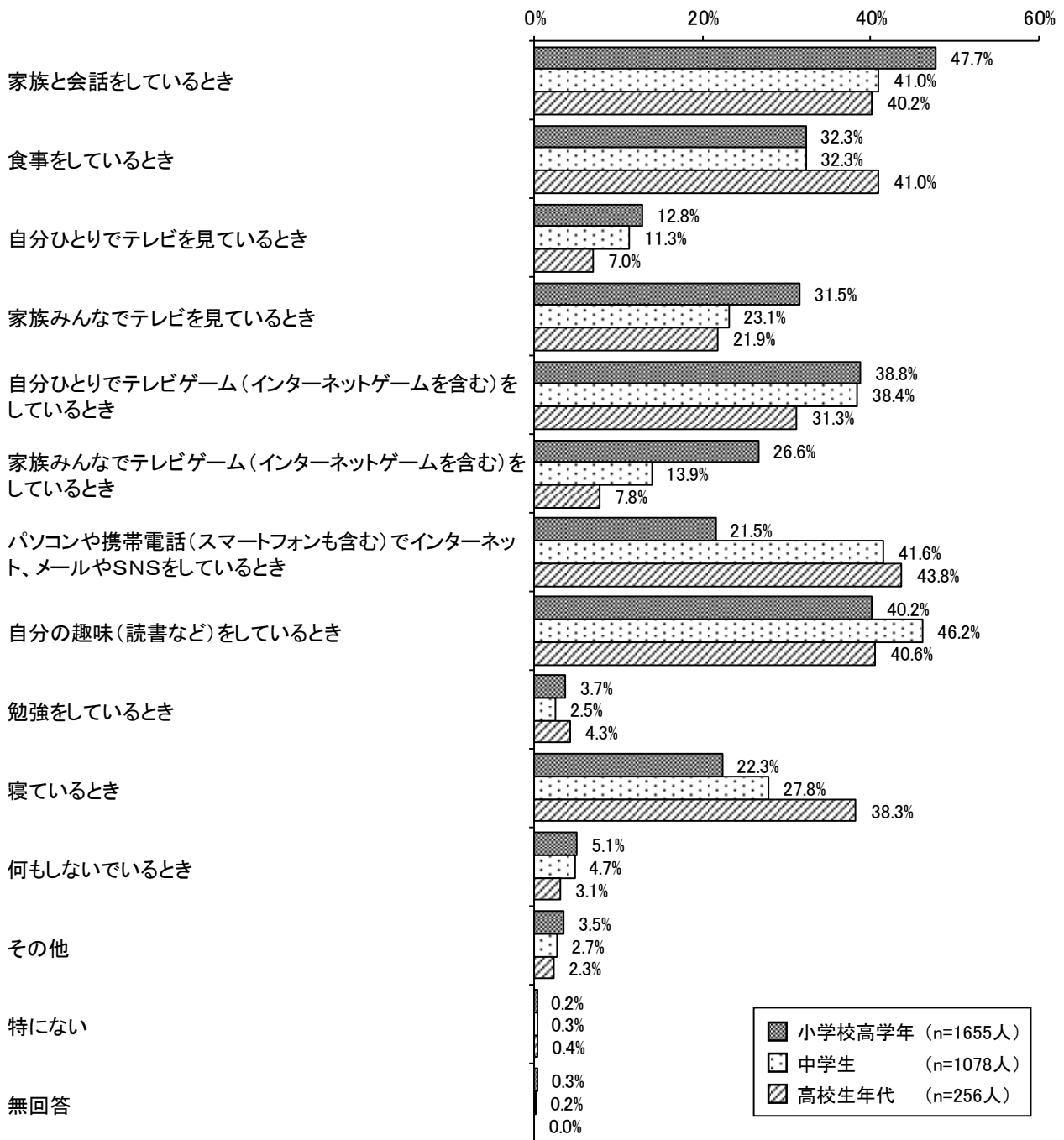


問10 家にいるとき、楽しいと感じるのはどんなときですか。主なもの3つまでに○をしてください。

家庭で楽しいと感じるときについて、小学校高学年は「家族と会話をしているとき」が47.7%と最も高く、次いで「自分の趣味（読書など）をしているとき」が40.2%となっています。

中学生は「自分の趣味（読書など）をしているとき」が46.2%と最も高く、次いで「パソコンや携帯電話（スマートフォンも含む）でインターネット、メールやSNSをしているとき」が41.6%となっています。

高校生年代は「パソコンや携帯電話（スマートフォンも含む）でインターネット、メールやSNSをしているとき」が43.8%と最も高く、次いで「食事をしているとき」が41.0%となっています。

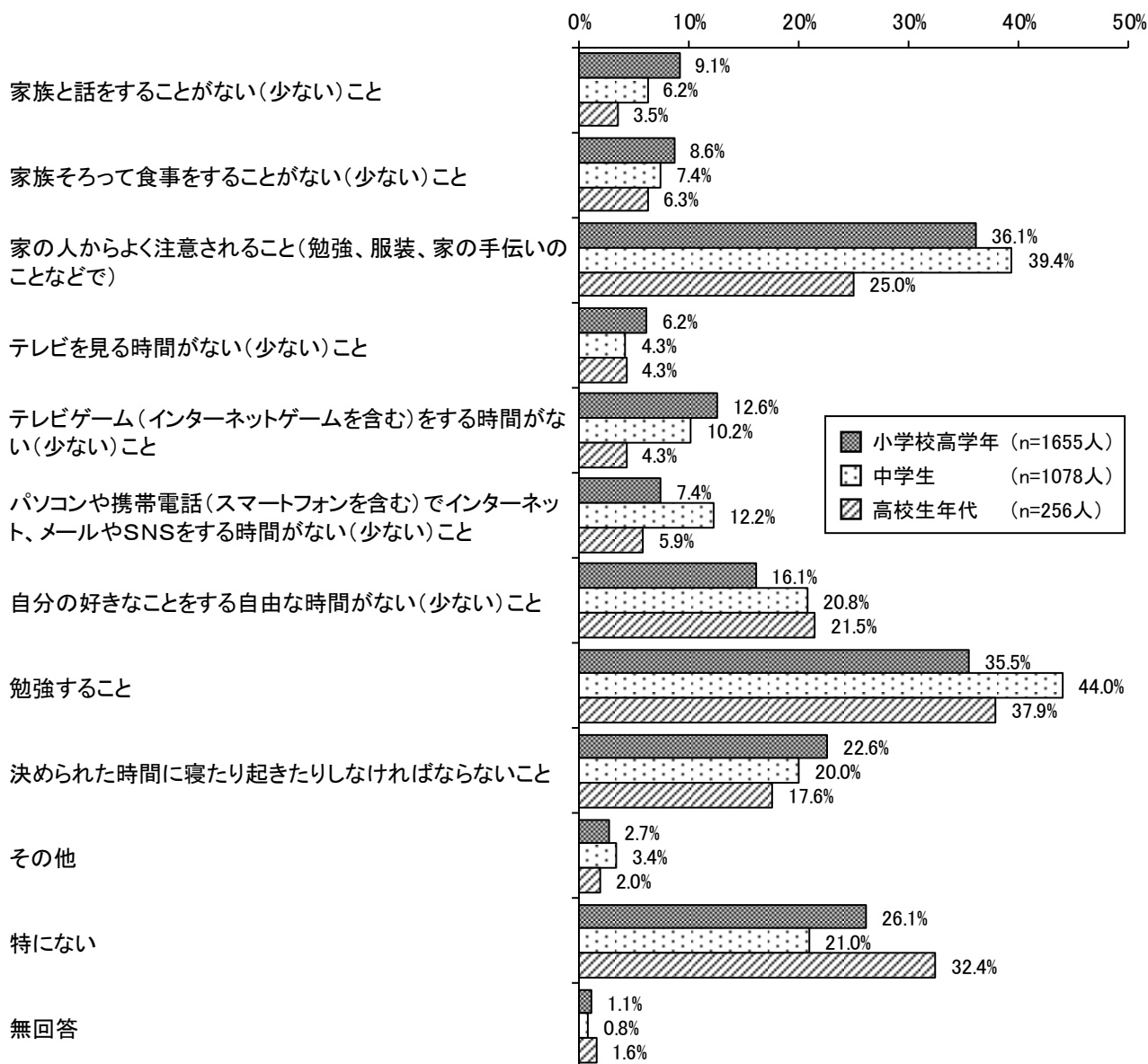


問11 家にいて楽しくないと思うことはどんなことですか。主なもの3つまでに○をしてください。

家庭で楽しくないと思うことについて、小学校高学年は「家の人からよく注意されること（勉強、服装、家の手伝いのことなどで）」が36.1%と最も高く、次いで「勉強すること」が35.5%となっています。

中学生は「勉強すること」が44.0%と最も高く、次いで「家の人からよく注意されること（勉強、服装、家の手伝いのことなどで）」が39.4%となっています。

高校生年代は「勉強すること」が37.9%と最も高く、次いで「家の人からよく注意されること（勉強、服装、家の手伝いのことなどで）」が25.0%となっています。また、「特にない」は高校生年代が32.4%と、中学生年代（21.0%）に比べ1割ほど高くなっています。



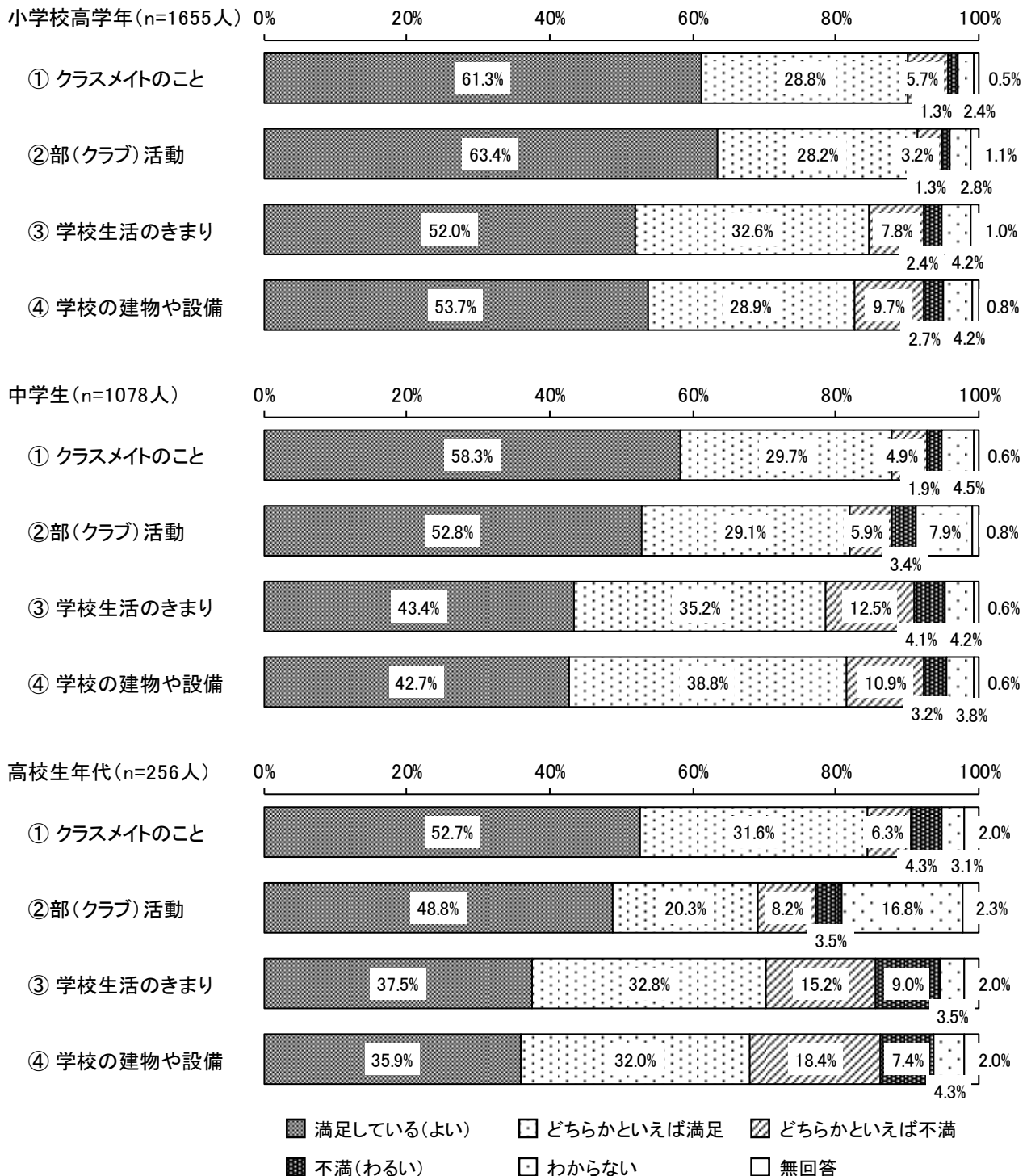
3 学校生活について

問12 あなたは、学校での生活についてどのように感じていますか。

①～④のそれぞれ1つに○をしてください。

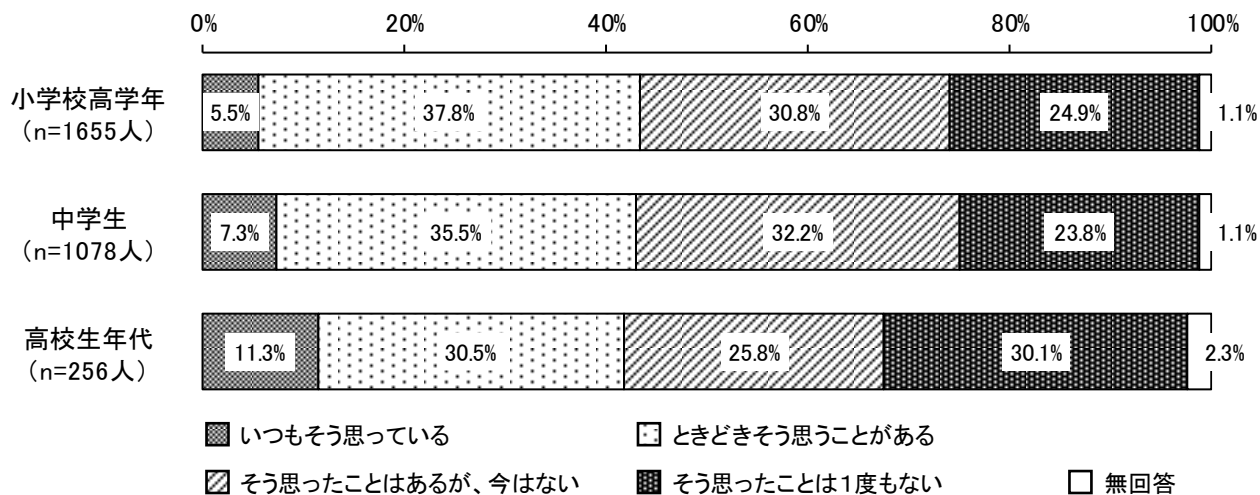
学校生活について、「満足している(よい)」ことは、小学校高学年は「②部(クラブ)活動」が63.4%と最も高く、4項目いずれも「満足している(よい)」が5割以上となっています。

中学生、高校生年代は「①クラスメイトのこと」(58.3%、52.7%)が最も高く、中学生は「②部(クラブ)活動」(52.8%)も「満足している(よい)」が5割以上となっています。



問13 あなたは、「学校に行きたくない」と思ったことがありますか。1つに○をしてください。

学校に行きたくないと思った経験について、「いつもそう思っている」と「ときどきそう思うことがある」の合計は、小学校高学年が43.3%、中学生が42.9%、高校生年代が41.8%と、すべての年代でほぼ同率となっていますが、年代が上がるにつれ「いつもそう思っている」が増加する傾向にあります。

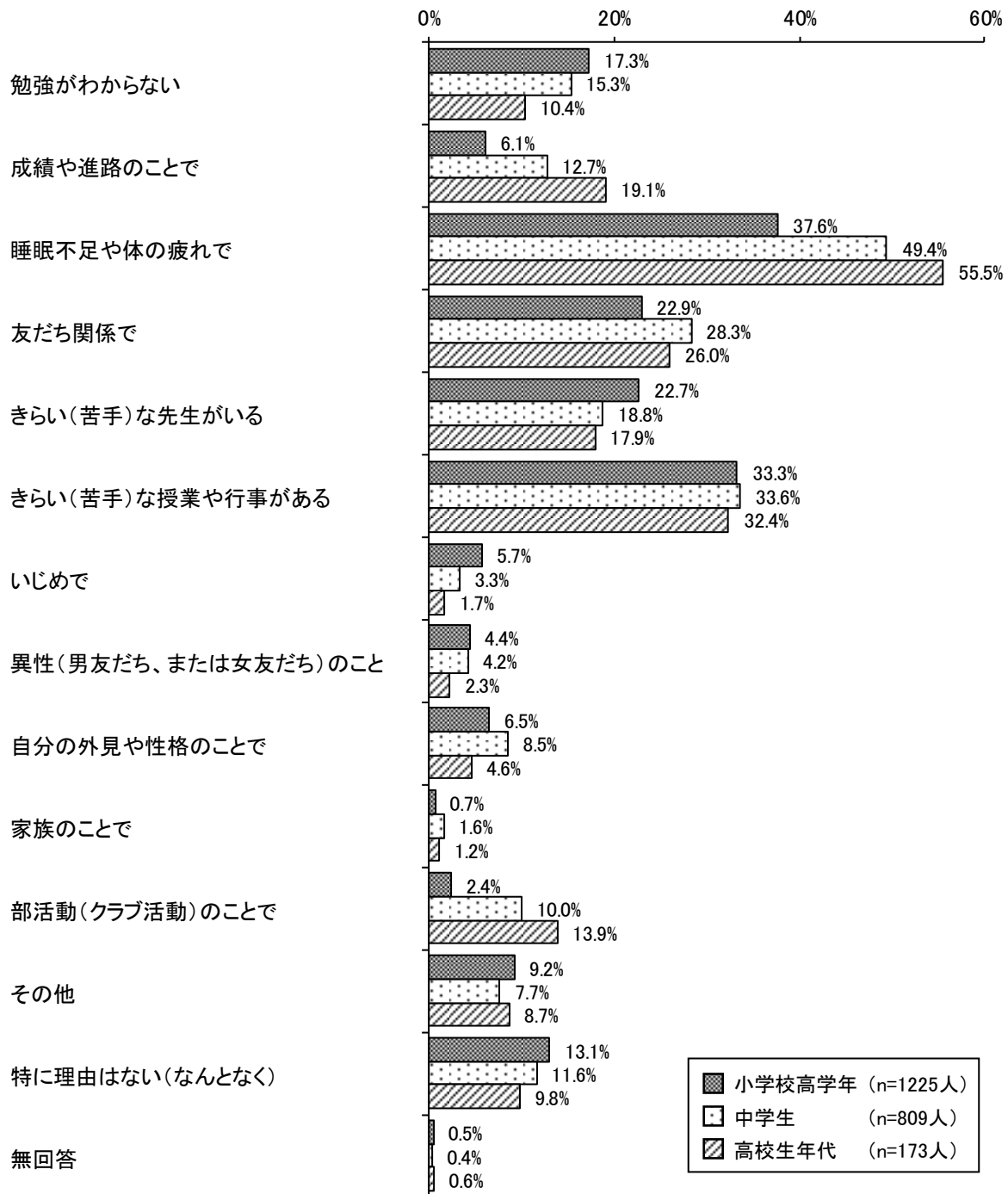


問13で「1」～「3」のいずれかに○をした人が答えてください。

問13-1 「学校に行きたくない」と感じた理由は何ですか。

次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

学校に行きたくない理由については、すべての年代で「睡眠不足や体の疲れで」が最も高く、小学校高学年が37.6%、中学校が49.4%、高校生年代が55.5%と、年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。次ぐ「きれい(苦手)な授業や行事がある」については、小学校高学年が33.3%、中学校が33.6%、高校生年代が32.4%と、すべての年代でほぼ同率となっています。



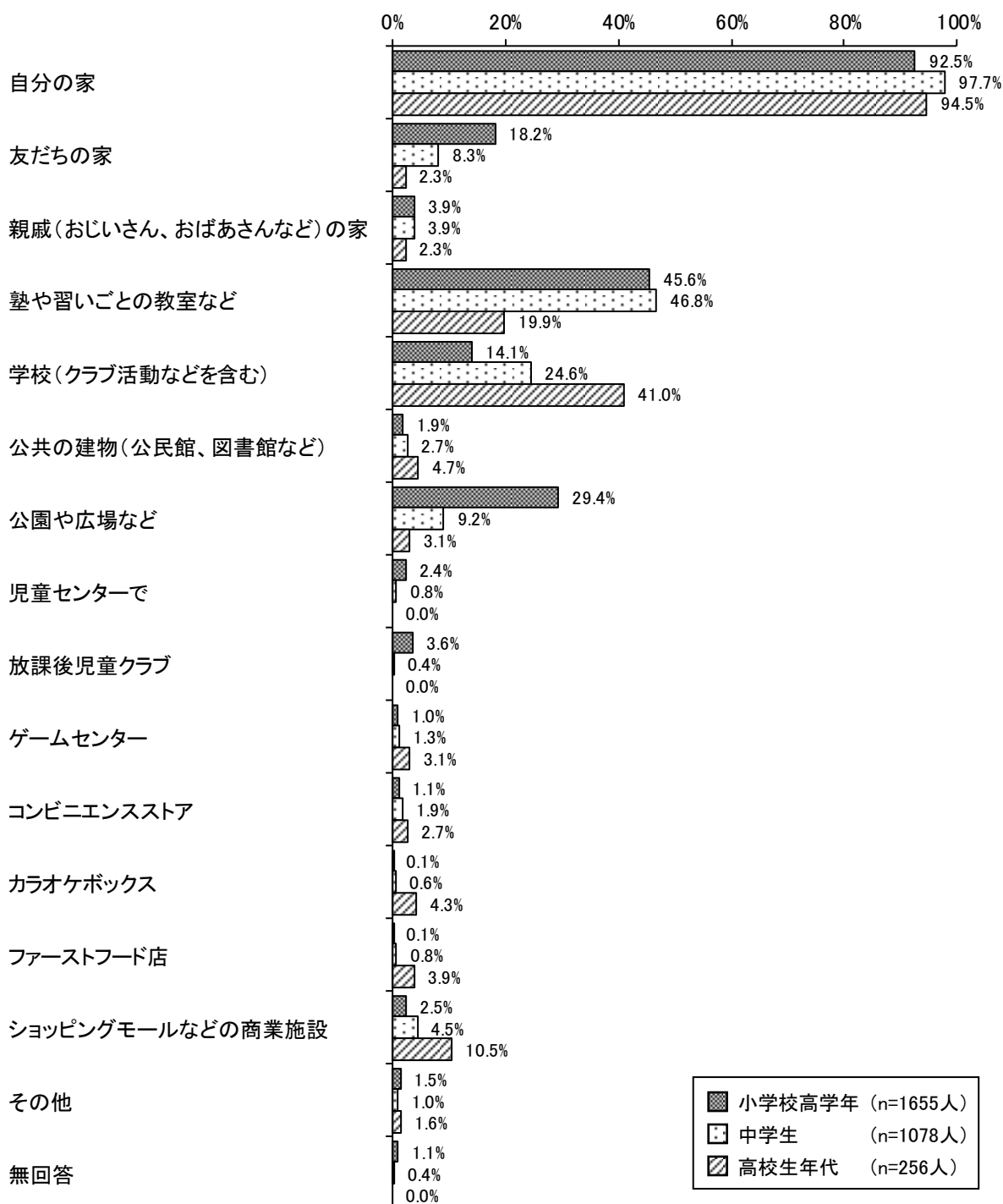
4 放課後・休日の過ごし方、友人関係について

すべての人が答えてください。

問14 あなたは、学校（仕事）が終わった後、どこで過ごしていることが多いですか。

主なもの3つまでに○をしてください。

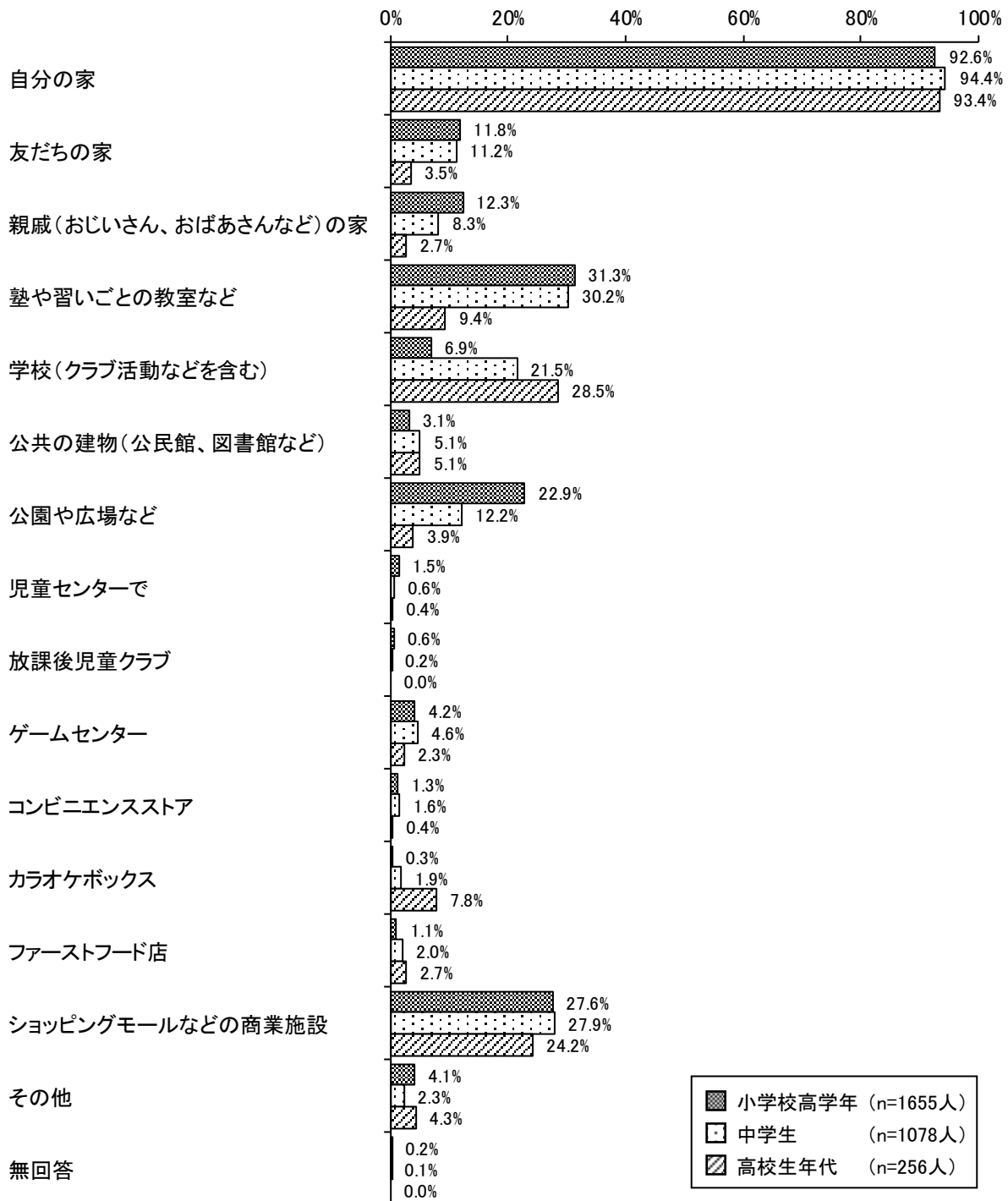
放課後過ごす場所については、すべての年代で「自分の家」が9割を超え、突出して高くなっています。次いで小学校高学年、中学生は「塾や習いごとの教室など」(45.6%、46.8%)、高校生年代は「学校（クラブ活動などを含む）」(41.0%)が4割台となっています。「塾や習いごとの教室など」は高校生年代(19.9%)は小学校高学年・中学生のおよそ半数である一方、「学校（クラブ活動などを含む）」は年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。



問15 あなたは、学校（仕事）が休みの日には、どこにすることが多いですか。

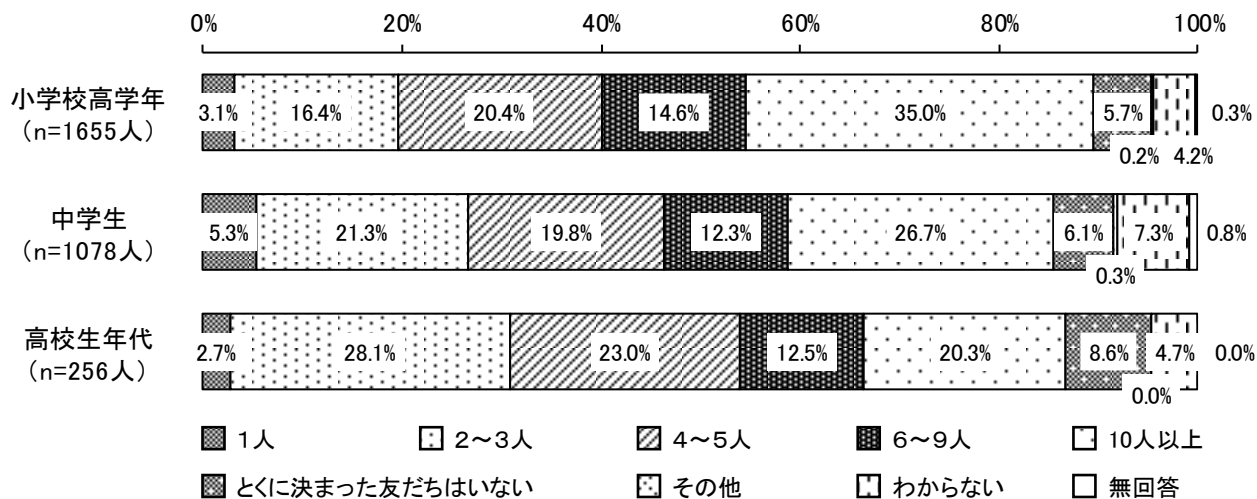
主なものを3つまでに○をしてください。

休みの日に過ごす場所については、すべての年代で「自分の家」が9割を超え、突出して高くなっています。次いで小学校高学年、中学生は「塾や習いごとの教室など」(31.3%、30.2%)、高校生年代は「学校(クラブ活動などを含む)」(28.5%)となっていますが、平日に比べ1割以上低くなっています。一方、「ショッピングモールなどの商業施設」は、すべての年代で2割台と、平日に比べ高くなっています。



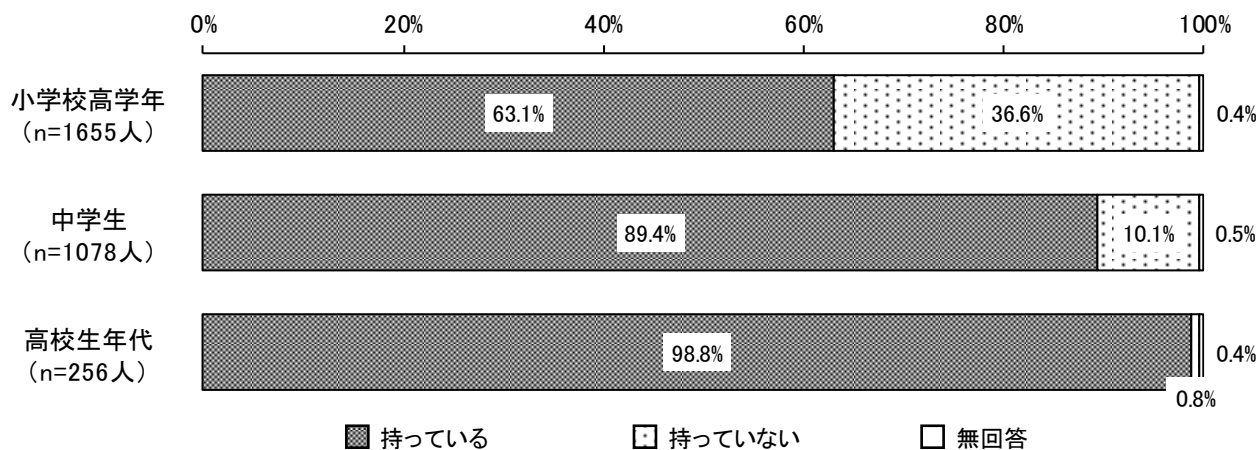
問 16 あなたには、なんでも話せるような仲のよい友だちがいますか。1つに○をしてください。

仲の良い友達については、小学校高学年、中学生は「10人以上」(35.0%、26.7%)、高校生年代は「2～3人」(28.1%)が最も高くなっています。年代が上がるにつれ、「2～3人」は増加、「10人以上」は減少傾向にあります。



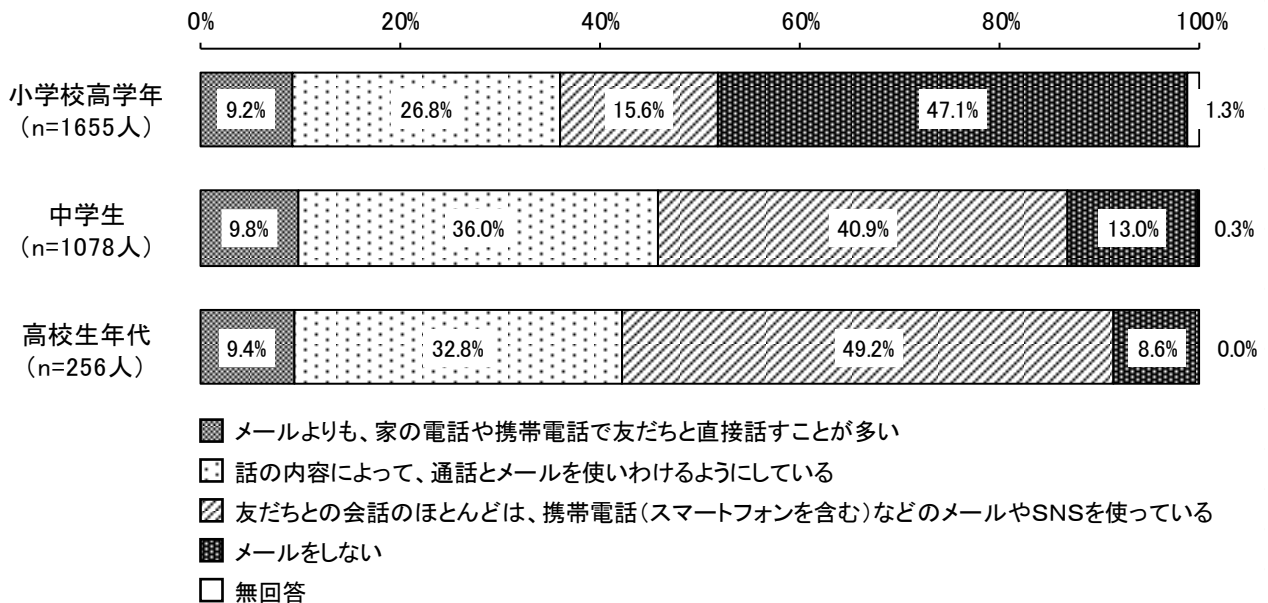
問 17 あなたは、自分専用の携帯電話（スマートフォンを含む）を持っていますか。どちらか1つに○をしてください。

携帯電話（スマートフォンを含む）の所持率については、すべての年代で6割を超え、小学校高学年は63.1%、中学生は89.4%、高校生年代は98.8%と、年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。



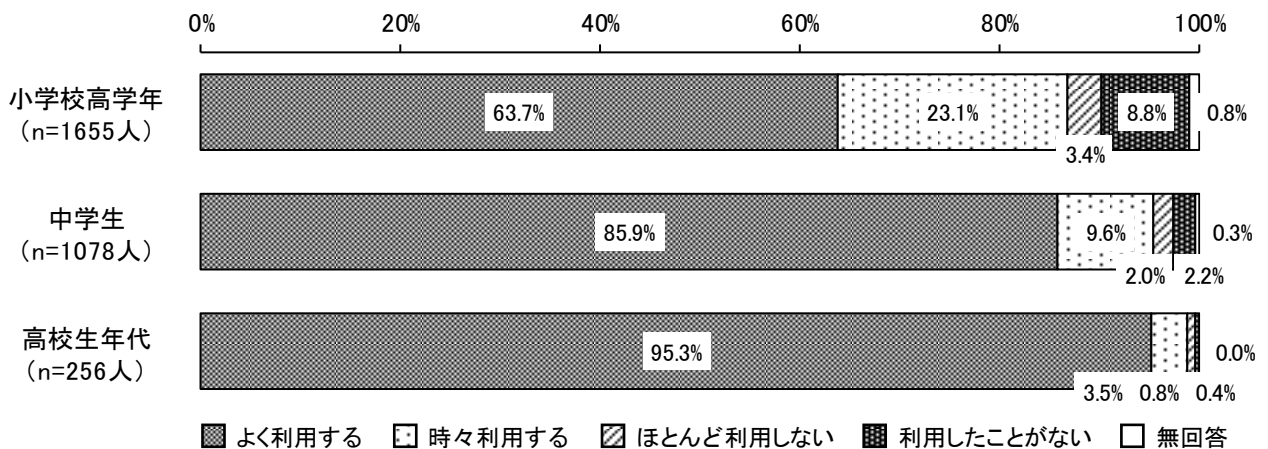
問 18 あなたは、ふだん友だちとの会話で、携帯電話（スマートフォンを含む）やパソコンをどれくらい使っていますか。1つに○をつけてください。

友達との会話における携帯電話などの使用頻度については、小学校高学年は「メールをしない」(47.1%)、中学生、高校生年代は「友だちとの会話のほとんどは、携帯電話（スマートフォンを含む）などのメールやSNSを使っている」(40.9%、49.2%)が4割以上となっています。年代が上がるにつれ、「メールをしない」は減少、「友だちとの会話のほとんどは、携帯電話（スマートフォンを含む）などのメールやSNSを使っている」は増加する傾向となっています。



問 19 あなたは、携帯電話（スマートフォンを含む）やパソコンで、インターネットを利用したことがありますか。1つに○をしてください。

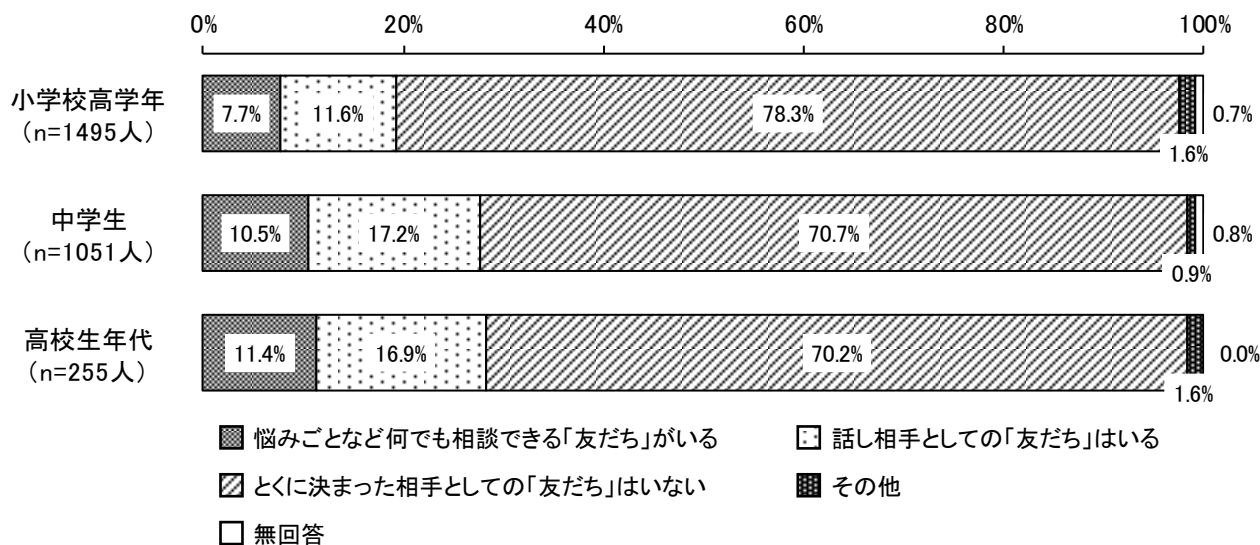
インターネットの利用については、すべての年代で「よく利用する」が6割を超え、小学校高学年は63.7%、中学生は85.9%、高校生年代は95.3%と、年代が上がるにつれ増加する傾向となっています。



問19で「1」～「3」のいずれかに○をした人が答えてください。

問19-1 あなたは、SNSやインターネットの中だけで付きあっているような“友だち”がいますか。1つに○をしてください。

インターネットの中だけで付き合うような友達については、すべての年代で「とくに決まった相手としての『友だち』はいない」が7割を超え、最も高くなっています。「悩みごとなど何でも相談できる『友だち』がいる」と「話し相手としての『友だち』はいる」の合計は、小学校高学年が19.3%、中学生が27.7%、高校生年代が28.2%となっています。



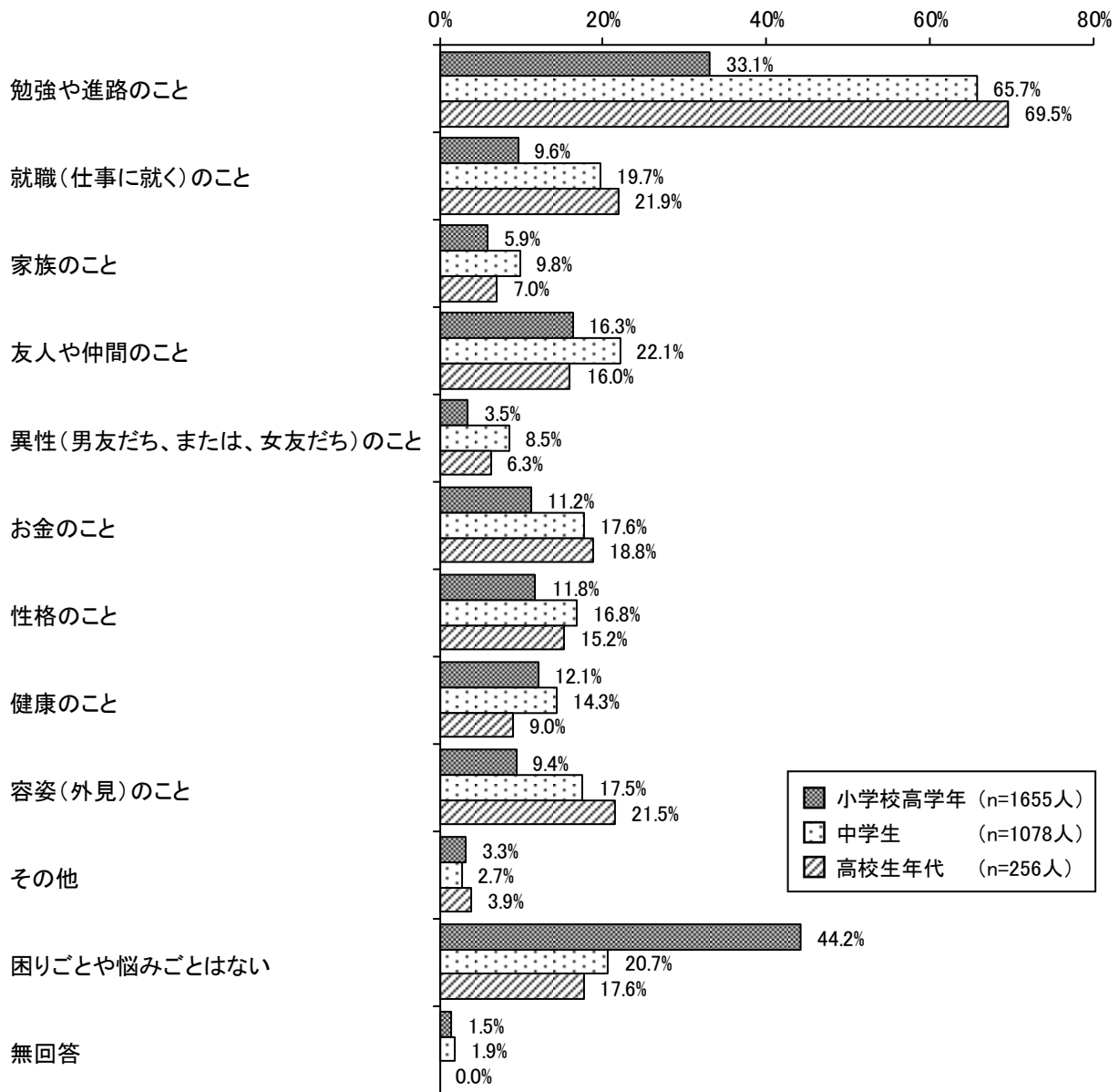
5 悩みや相談相手について

すべての人が教えてください。

問20 あなたには、困りごとや悩みごとがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

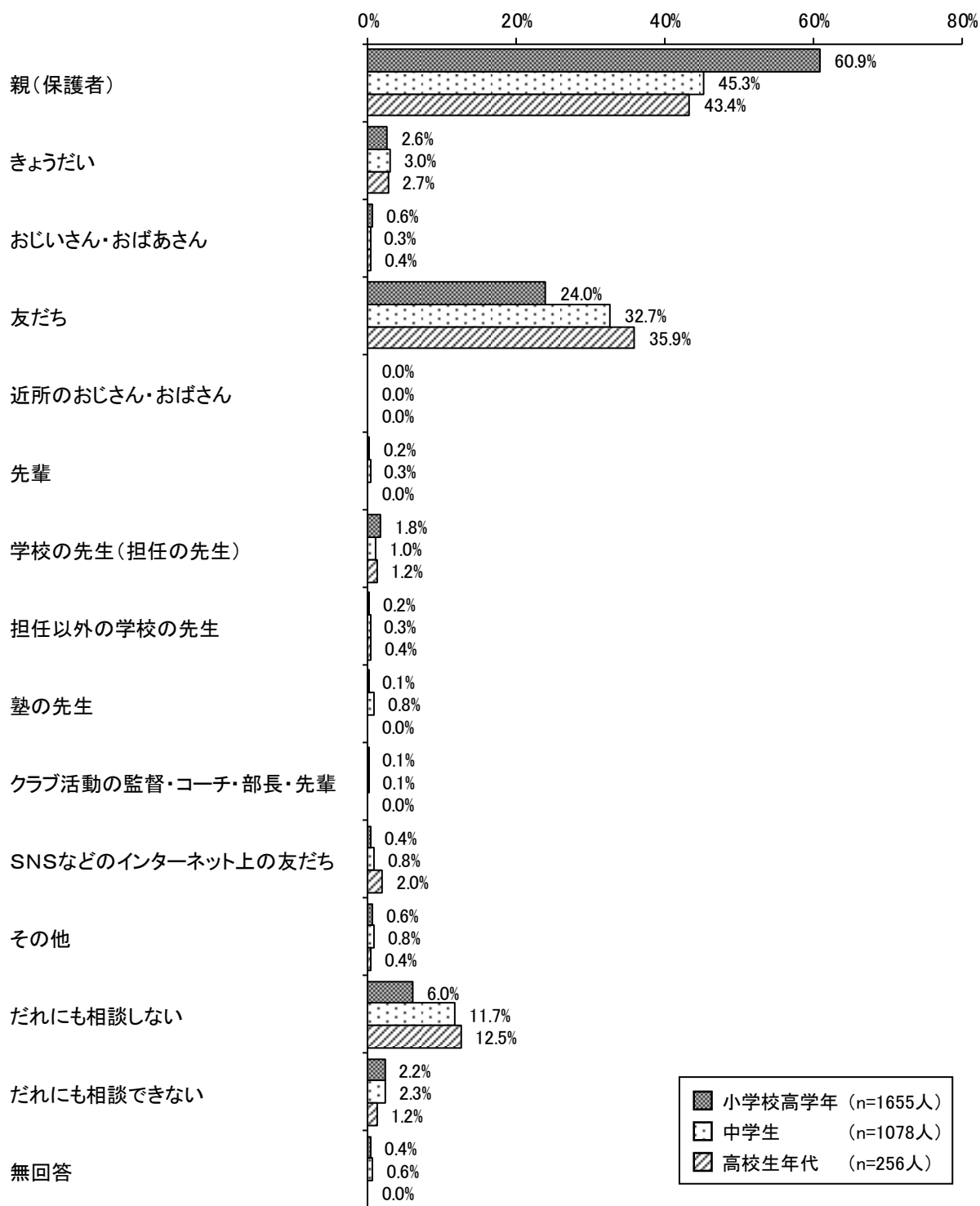
困りごとや悩みごとについて、小学校高学年は「困りごとや悩みごとはない」が44.2%と最も高くなっていますが、中学生(20.7%)、高校生年代(17.6%)はほぼ半数となっています。

中学生、高校生年代は「勉強や進路のこと」(65.7%、69.5%)が最も高く、小学校高学年(33.1%)のおよそ2倍となっています。



問21 あなたは、困ったり、悩んだりしたとき、だれにもっとも相談しますか。
1つに○をしてください。

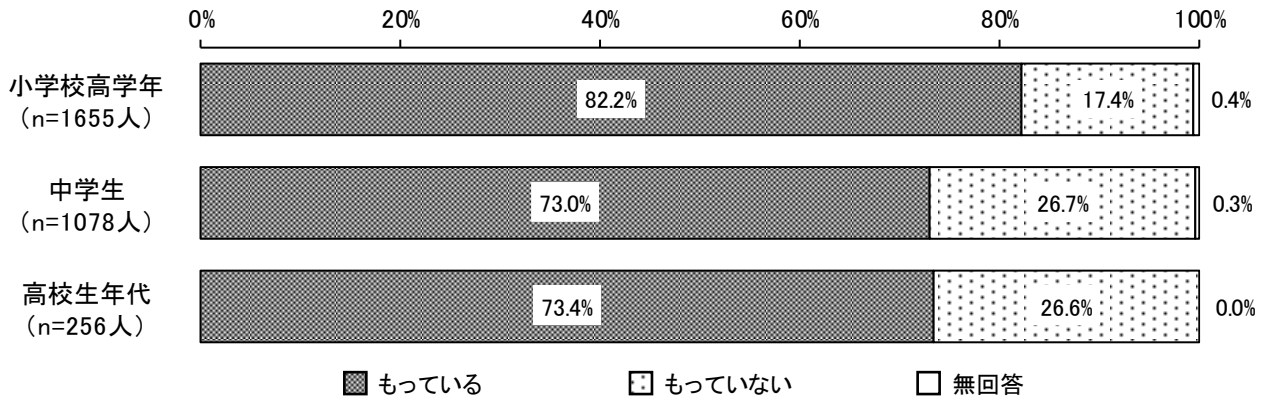
困ったり、悩んだりしたときの相談相手については、すべての年代で「親（保護者）」が最も高くなっていますが、小学校高学年（60.9%）と比べ、中学生（45.3%）、高校生年代（43.4%）は1割以上低くなっています。一方、「友だち」は、小学校高学年が24.0%、中学生が32.7%、高校生年代が35.9%と、年代が上がるにつれ増加する傾向となっています。



6 将来の「ゆめ」や「目標」について

問22 あなたは、将来の「ゆめ」や「目標」をもっていますか。どちらかに○をしてください。

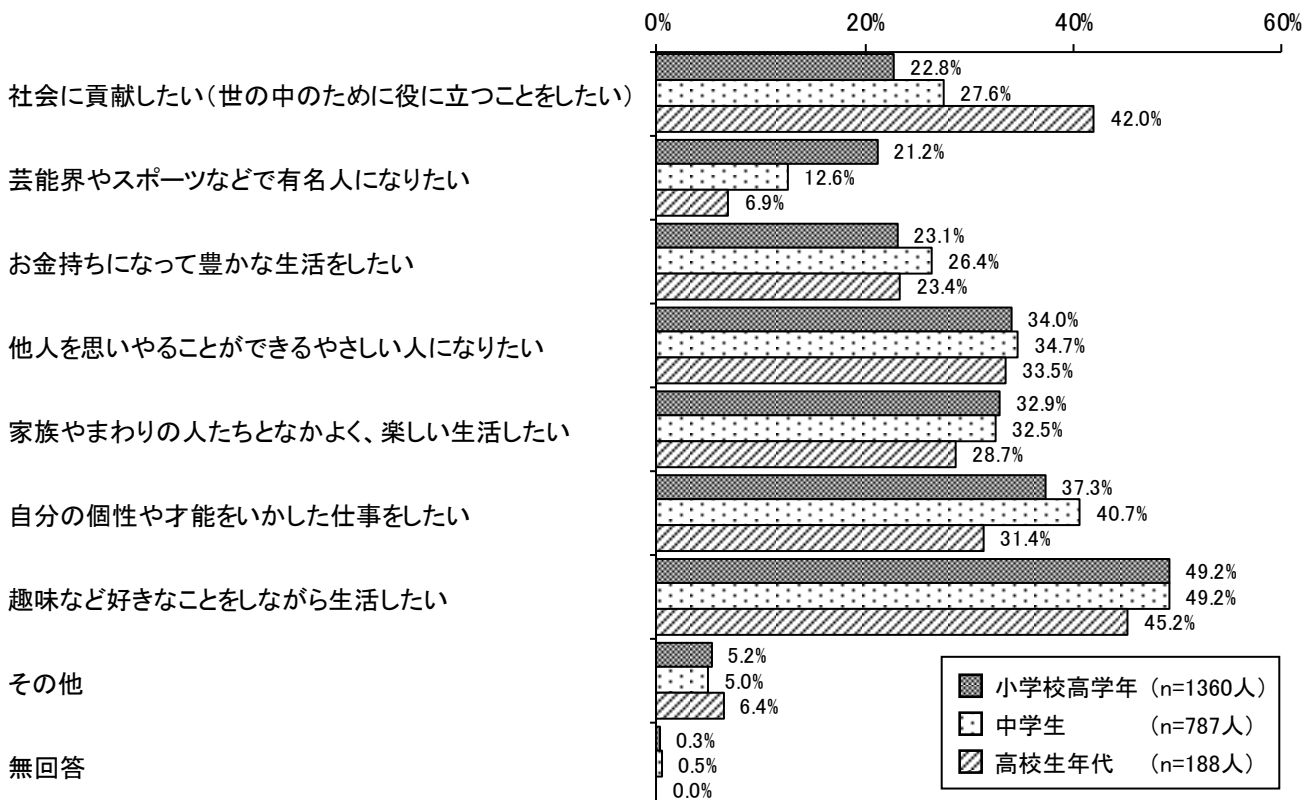
将来の「ゆめ」や「目標」については、すべての年代で「もっている」が7割以上となっていますが、小学校高学年（82.2%）と比べ、中学生（73.0%）、高校生年代（73.4%）は1割ほど低くなっています。



問22で「1. もっている」に○をした人だけ教えてください。

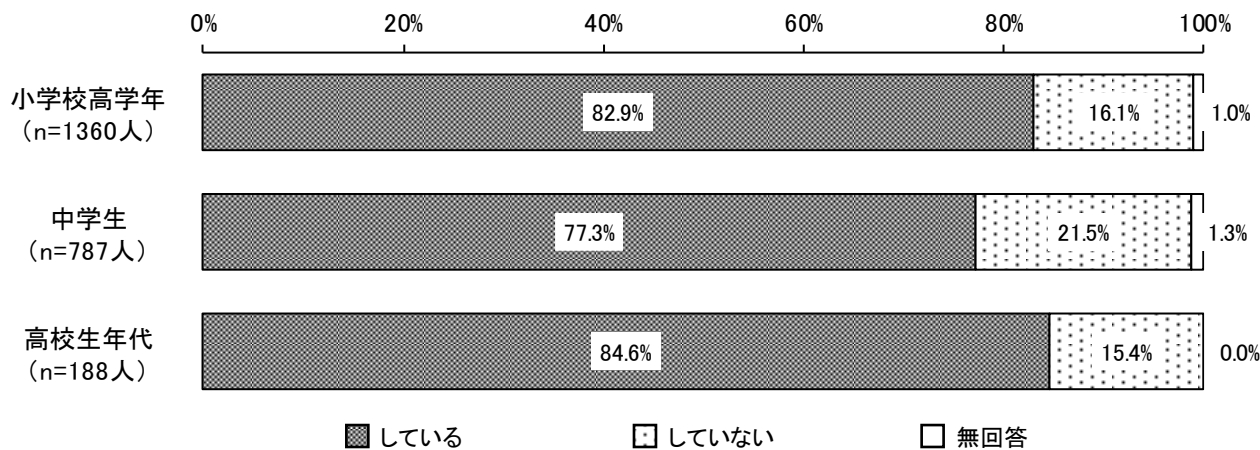
問22-1 あなたは、どのような「ゆめ」や「目標」をもっていますか。3つまで○をしてください。

「ゆめ」や「目標」の内容については、すべての年代で「趣味など好きなことをしながら生活したい」が4割を超え、最も高くなっています。次いで小学校高学年、中学生は「自分の個性や才能をいかした仕事をしたい」（37.3%、40.7%）、高校生年代は「社会に貢献したい（世の中のために役に立つことをしたい）」（42.0%）が高く、後者は年代が上がるにつれ増加する傾向にあります。



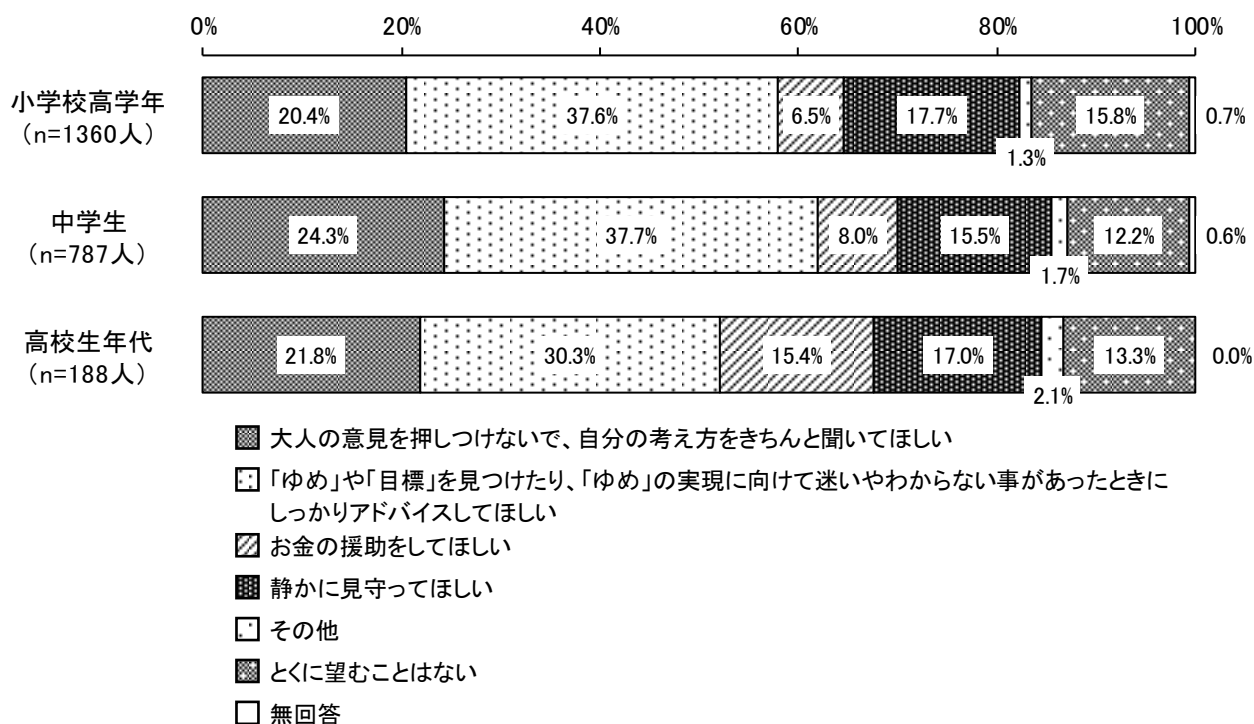
問23 あなたは、「ゆめ」や「目標」の実現に向けて努力をしていますか。
どちらかに○をしてください。

「ゆめ」や「目標」の実現に向けた努力については、「している」が小学校高学年は82.9%、中学生は77.3%、高校生年代は84.6%と、すべての年代で7割以上となっています。



問24 将来の「ゆめ」や「目標」を実現していくために、周りの大人にどのような手助けをしてもらいたいと思いますか。1つに○をつけてください。

希望する手助けについては、すべての年代で『ゆめ』や『目標』を見つけたり、『ゆめ』の実現に向けて迷いやわからない事があったときにしっかりアドバイスしてほしい』が最も高く、小学校高学年は37.6%、中学生は37.7%、高校生年代は30.3%となっています。次いで「大人の意見を押しつけないで、自分の考え方をきちんと聞いてほしい」が小学校高学年は20.4%、中学生は24.3%、高校生年代は21.8%となっています。

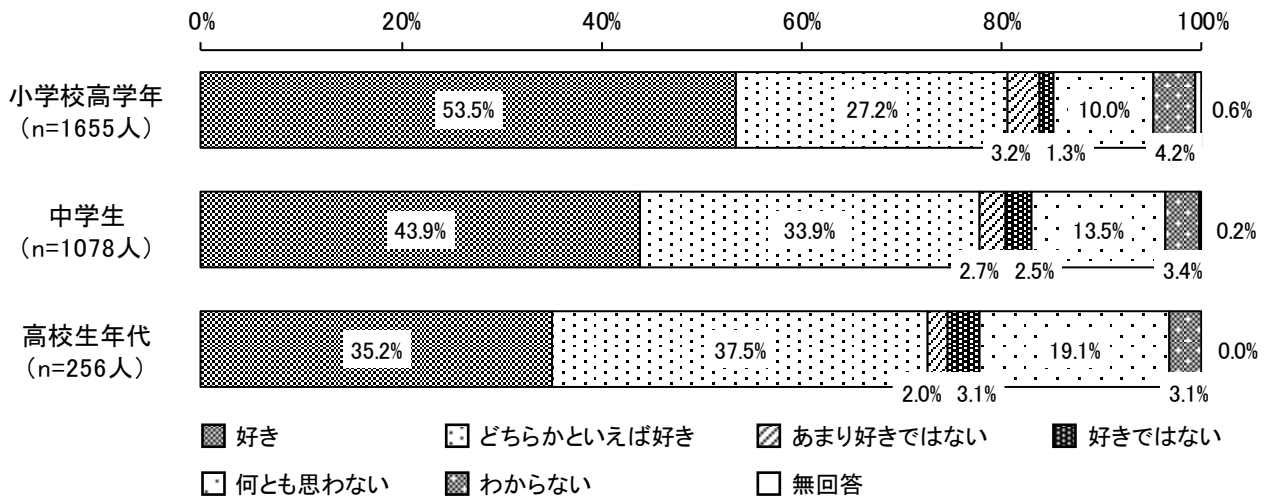


7 地域活動について

すべての人が答えてください。

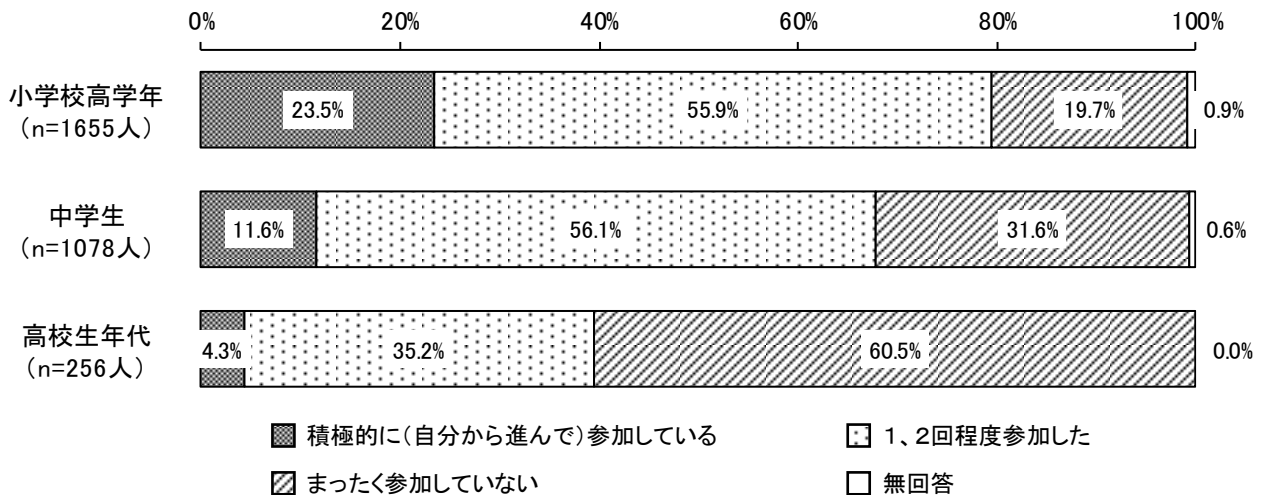
問 25 あなたが住んでいる地域（家のまわりの人や自然など）のことは好きですか。
1つに○をしてください。

地域への愛着については、すべての年代で「好き」と「どちらかといえば好き」の合計が7割を超えています。しかし、「好き」は小学校高学年が53.5%、中学生が43.9%、高校生年代が35.2%と、年代が上がるにつれ減少する傾向となっています。一方、「何とも思わない」は、年代が上がるにつれ増加する傾向となっています。



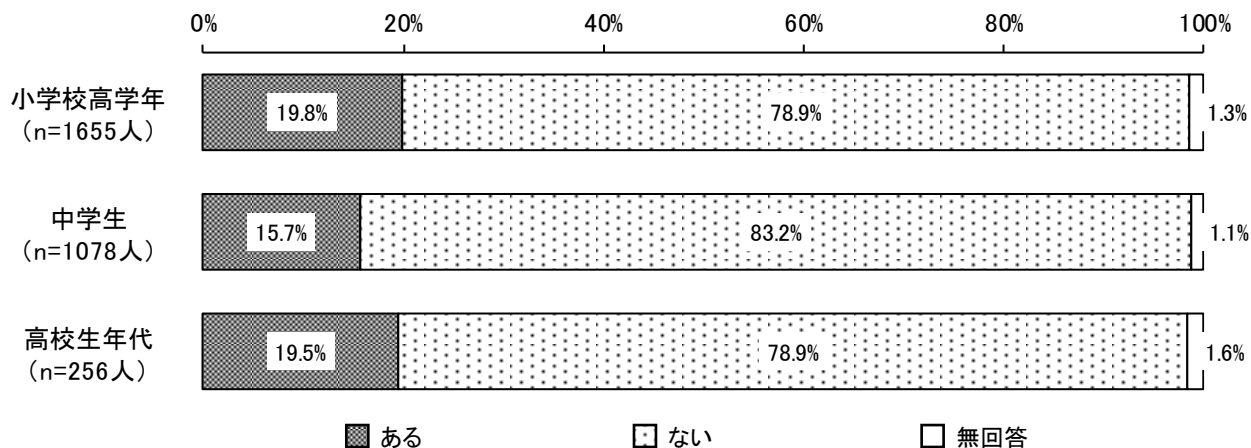
問 26 あなたは、最近1年間に地域の行事や活動（地域のお祭りや清掃など）に参加したことがありますか。1つに○をしてください。

地域行事や活動への参加状況については、小学校高学年と中学生では「1、2回程度参加した」(55.9%、56.1%)、高校生年代では「まったく参加していない」(60.5%)が5割を超え、最も高くなっています。「まったく参加していない」は年代が上がるにつれ増加する傾向となっており、高校生年代は中学生(31.6%)のおよそ2倍となっています。



問 27 あなたは、自分の住む地域（家や学校以外の場）に対する希望や要望がありますか。どちらかに○をしてください。

自分の住む地域に対する希望や要望については、すべての年代で「ある」が2割前後、「ない」が8割前後となっています。



問 28 自分の住む地域に対して、「こうあってほしい」とか、「こうなったらいいな」というような希望や要望があったら1つ書いてください。

自分の住む地域（家や学校以外の場）についての希望や要望を1つ聞いたところ、550人から回答が寄せられました。その内容をまとめた結果は以下のとおりです。

- 公園・運動施設、遊べる場所（遊具の充実、球技可能など）…………… 145件
- 商業・娯楽施設（ショッピングモール、専門店、ゲームセンターなど）…………… 78件
- 防犯・交通安全（街灯、交番、パトロール、信号機等安全設備、路上駐車取締りなど）…………… 66件
- まちの美化（路上喫煙禁止、ポイ捨て、カラス対策など）…………… 38件
- 自然環境（自然・緑豊かなまち、水質改善、生き物や自然に親しむ機会など）…………… 32件
- 観光・地域振興（イベント、お祭り、特産品、岩槻城改修、温泉など）…………… 30件
- 地域コミュニティ（挨拶、ボランティア活動、交流の場、トラブルなど）…………… 26件
- まちづくり（住みやすさ、バリアフリー化、人口増、平和なまち、活性化など）…………… 23件
- 道路整備（道路・歩道の拡幅、路面修繕など）…………… 22件
- 公共施設（図書館の開館時間延長・蔵書充実、学習スペース、公民館の使いやすさなど）…………… 17件
- 交通網の整備（鉄道、地下鉄、バス、LRT、駅へのアクセスなど）…………… 16件
- 無償化、経済的支援（医療費、学費、給食費など）…………… 12件
- 政策・施策（条例の適正化、子ども向け支援、高齢者より若者支援、物価軽減など）…………… 9件
- 防災（耐震化、治水、避難所、防災訓練、防災マップの提示など）…………… 7件
- 児童福祉施設の整備（学童、児童センター、相談施設など）…………… 5件
- 多様な学習環境（伝統芸能、性教育、歴史）…………… 3件
- 騒音対策…………… 2件
- その他（学校関連）…………… 14件
- その他（希望・要望）…………… 5件

問 29 子ども・青少年に関して意見があれば、自由に記入してください。

18歳未満の回答者に、子ども・青少年に関する意見を聞いたところ、168人から188件の回答が寄せられました。その内容をまとめた結果は以下のとおりです。

- 学校教育の充実・質の向上
(教育内容・活動、教師の対応・指導の改善、校則の見直し、インクルーシブ教育など) …… 48件
 - ・週に1回でもオンライン授業の日を設けてほしい。
 - ・生徒の意見を校長に伝えることを無条件で許可してほしい。
 - ・学校によって校則が違うこともあり、見直しをしてもらいたい。
 - ・学校のクラスを成績別にしてほしい。
 - ・2学期を9月1日からにしてほしい。
- いじめ問題への対応、いじめ防止対策の強化…………… 18件
 - ・学校にもっと寄り添ってほしかった。
 - ・証拠があるならいじめを犯罪として取り扱うべきではないか。
- 地域の環境整備、公共施設の充実
(防犯対策、受動喫煙対策、公園、図書館、公民館、スポーツ施設などの整備) …… 17件
- 自身の生き方、社会や大人に対する考え方…………… 16件
 - ・大人が意見を出しつつ子どもの意見もしっかり聞いてくれる社会になってほしい。
- 教育施設の改善(エアコン設置、トイレ改修、備品の充実など) …… 8件
- 安全な交通環境整備
(ガードレール、信号機の設置、小中学生へ自転車、通学路の交通安全指導) …… 8件
- 経済的支援
(就学支援金の適用拡大、給食費・学費の無償化、習い事への支援など) …… 8件
 - ・経済状況に左右されず、必要な子どもには教育が受けられるようになるとよい。
- 未来を担う子ども・青少年への政策重視、少子化対策、福祉行政の充実…………… 7件
- 子どもの人権尊重…………… 6件
- 地域活動の推進(イベント開催と行事への積極的参加、趣味の講座、スポーツ教室など) …… 6件
- 本調査について(調査に感謝、調査の継続、調査結果の活用など) …… 6件
 - ・もっと頻繁にこういったアンケートを行った方がよい。
- 家庭環境や親子関係の改善…………… 5件
- 精神的サポートの充実(自殺防止対策、気軽に相談できる窓口の充実など) …… 5件
 - ・友達に自殺したいと言っている人がいる。子どもにもっと寄り添ってほしい。
- 安全なインターネット使用(スマホへの依存、流行に影響されることを懸念など) …… 4件
- 地域環境・活動の改善(マナー、モラルの向上、意味のない活動中止) …… 4件
- 非行防止のための取組強化(トータルキッズ、夜の街、講演などで危険を周知) …… 2件
- その他(意見・要望、感想など) …… 20件

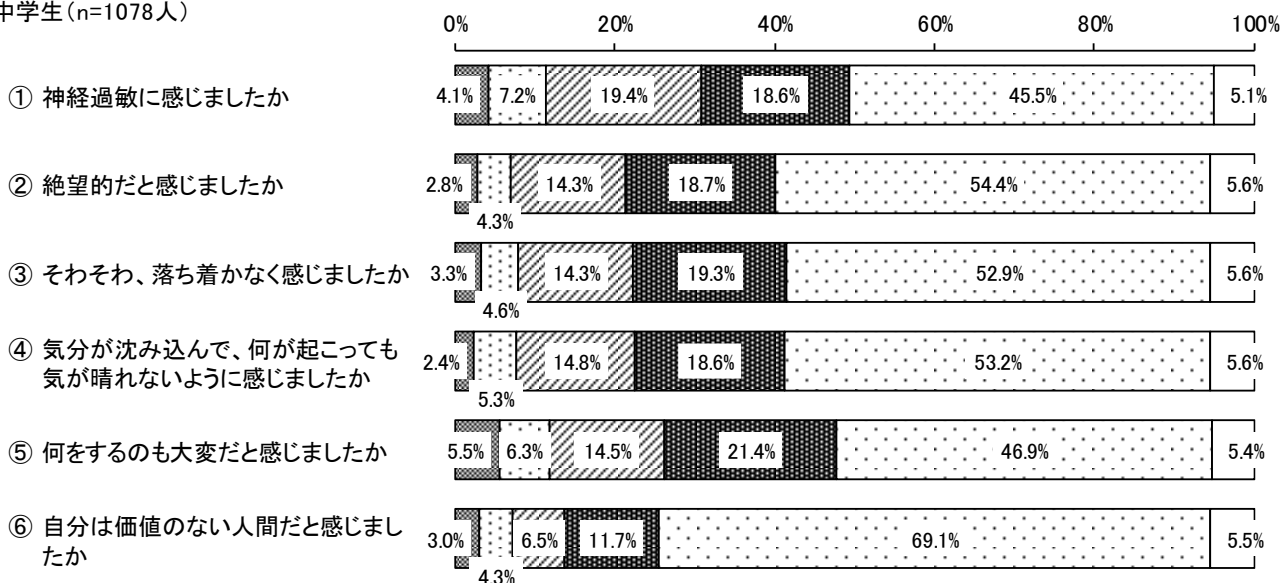
8 健康管理、将来設計について

問 30 この1か月の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。

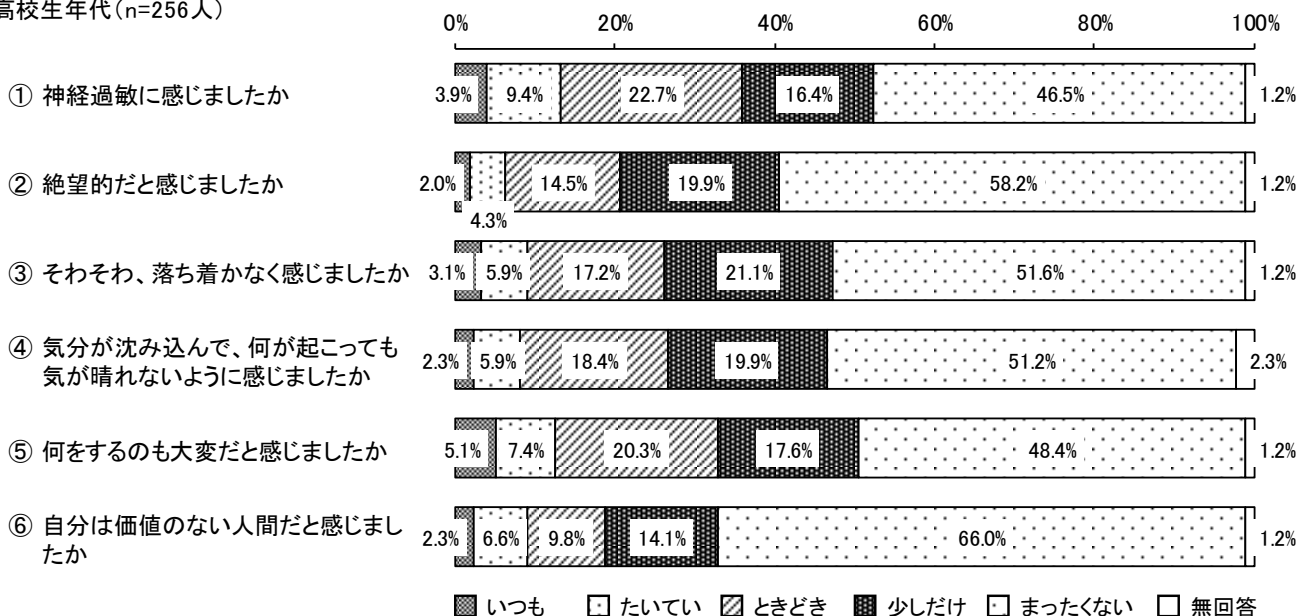
①～⑥のそれぞれ1つに○をしてください。

最近1か月間のこのころの状態について、「いつも」と「たいてい」の合計は、中学生は「⑤ 何をするのも大変だと感じましたか」(11.8%)、高校生年代は「① 神経過敏に感じましたか」(13.3%)が最も高くなっています。一方、「⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか」は中学生、高校生年代とも「まったくない」(69.1%、66.0%)が6割以上となっています。

中学生(n=1078人)

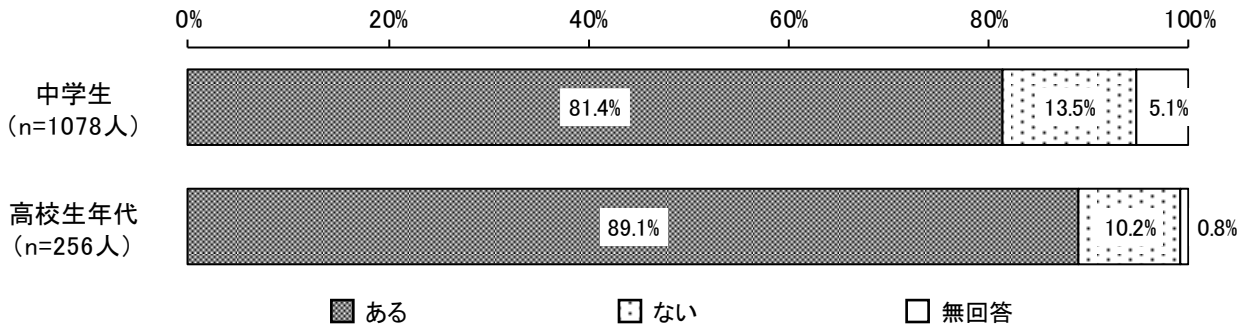


高校生年代(n=256人)



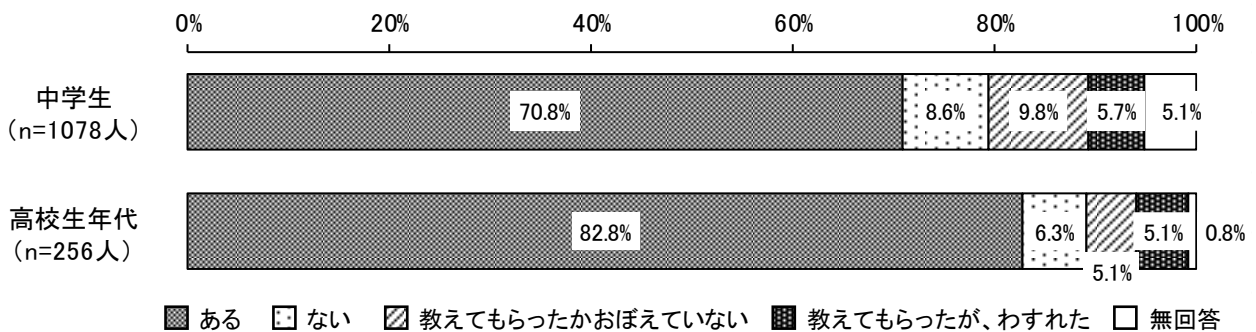
問31 自分の将来（たとえば、どんな仕事をしたいか、結婚するかしらないか、子どもを持ちたいか等）について考えたことがありますか。どちらかに○をしてください。

自分の将来について考えた経験は、中学生、高校生年代とも、「ある」(81.4%、89.1%)が8割以上となっています。



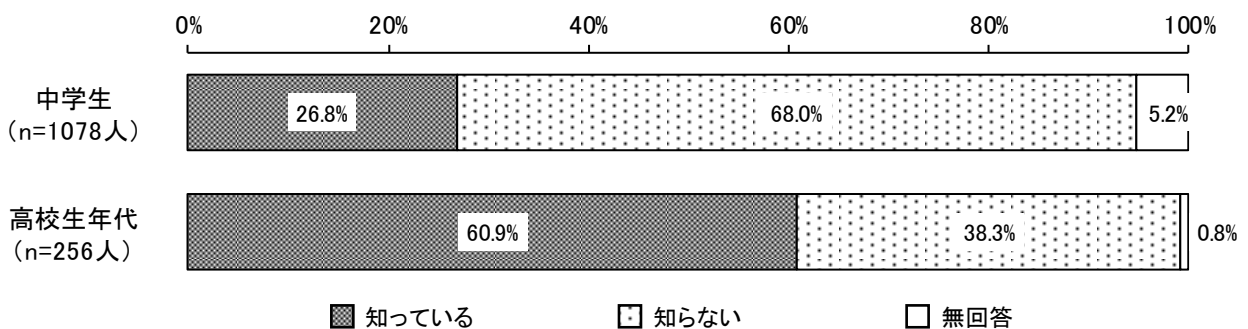
問32 性やからだのしくみについて、学校や家庭で教えてもらったことはありますか。1つに○をしてください。

性やからだのしくみについて教えてもらった経験は、中学生、高校生年代とも、「ある」(70.8%、82.8%)が7割以上となっていますが、高校生年代は中学生に比べ、1割以上高くなっています。



問33 35歳ごろを過ぎると妊娠のしやすさに変化があることを知っていますか。どちらかに○をしてください。

妊娠のしやすさの変化については、中学生は「知らない」(68.0%)、高校生年代は「知っている」(60.9%)が6割以上と高くなっています。



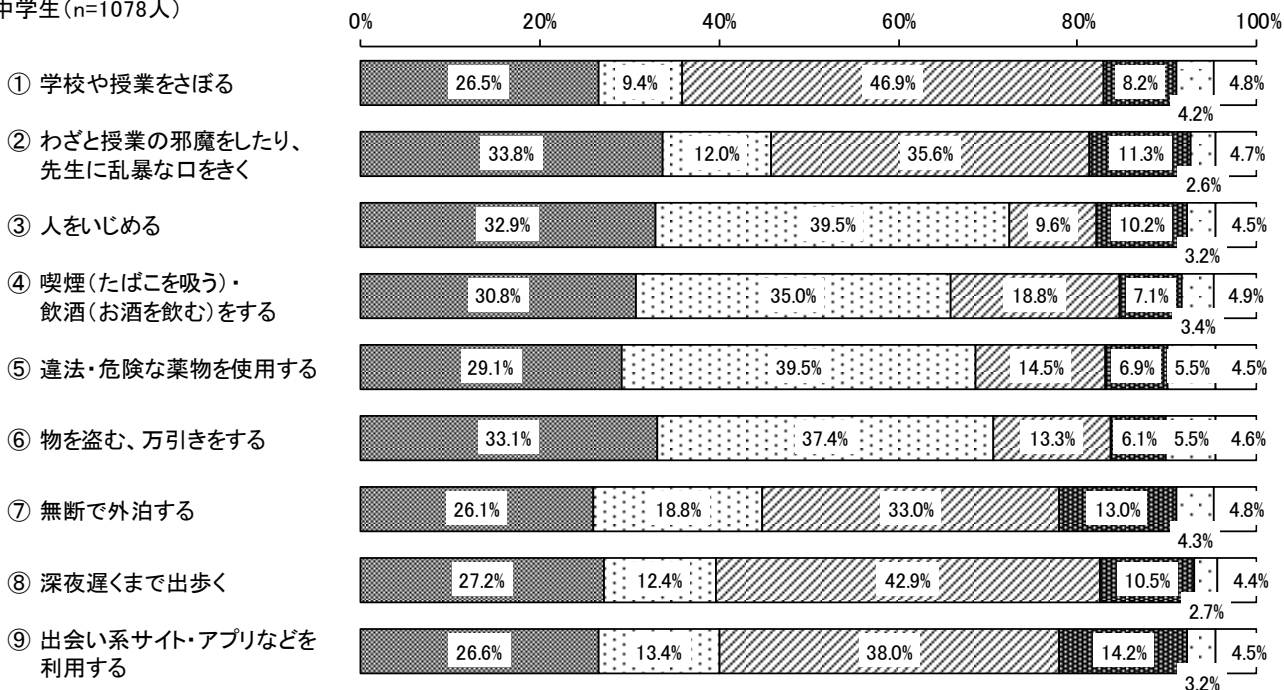
9 非行、福祉などについて

問34 次のことを行っている同級生がいたら、あなたはどのように行動しますか。

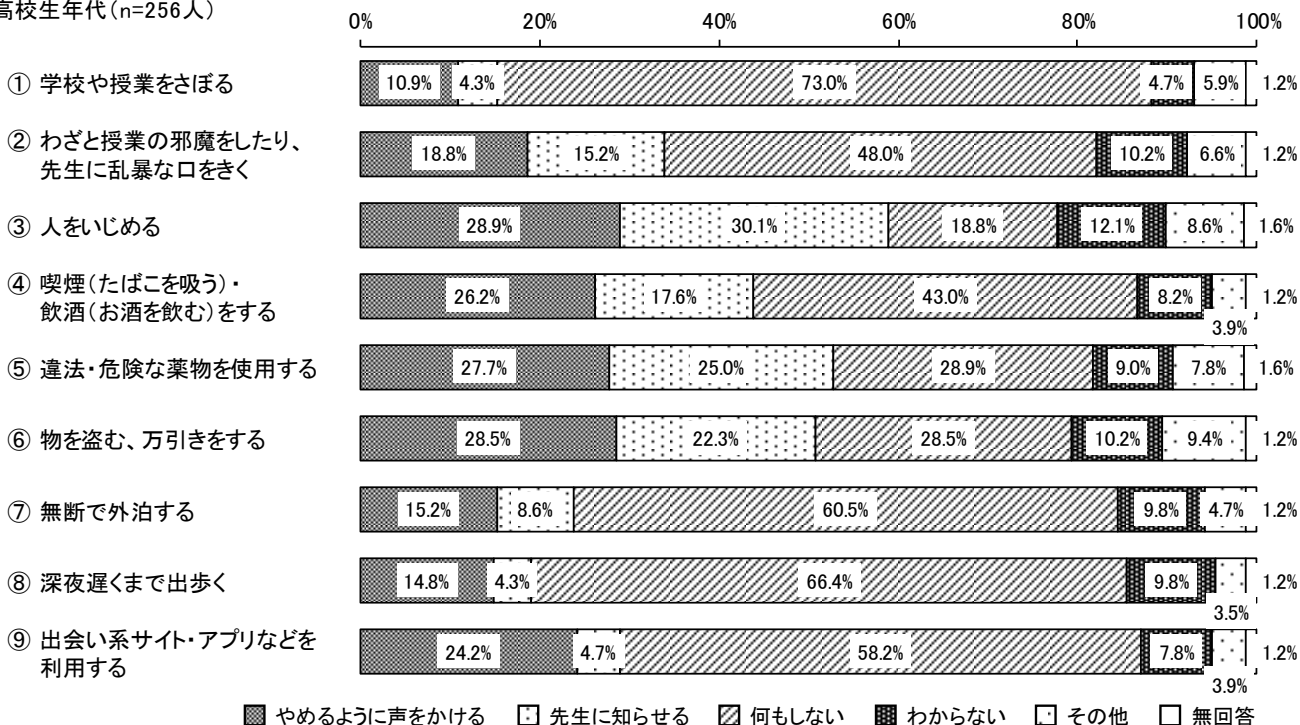
①～⑨のそれぞれについて1つに○をしてください。

「やめるように声をかける」「先生に知らせる」行動については、中学生は「人をいじめる」(72.4%)、「物を盗む、万引きをする」(70.5%)など4項目、高校生年代は「人をいじめる」(59.0%)、「違法・危険な薬物を使用する」(52.7%)、「物を盗む、万引きをする」(50.8%)が5割を超えています。高校生年代は9項目すべて行動する割合が中学生を下回り、「学校や授業をさぼる」(73.0%)など4項目は、「何もしない」が過半数となっています。

中学生(n=1078人)

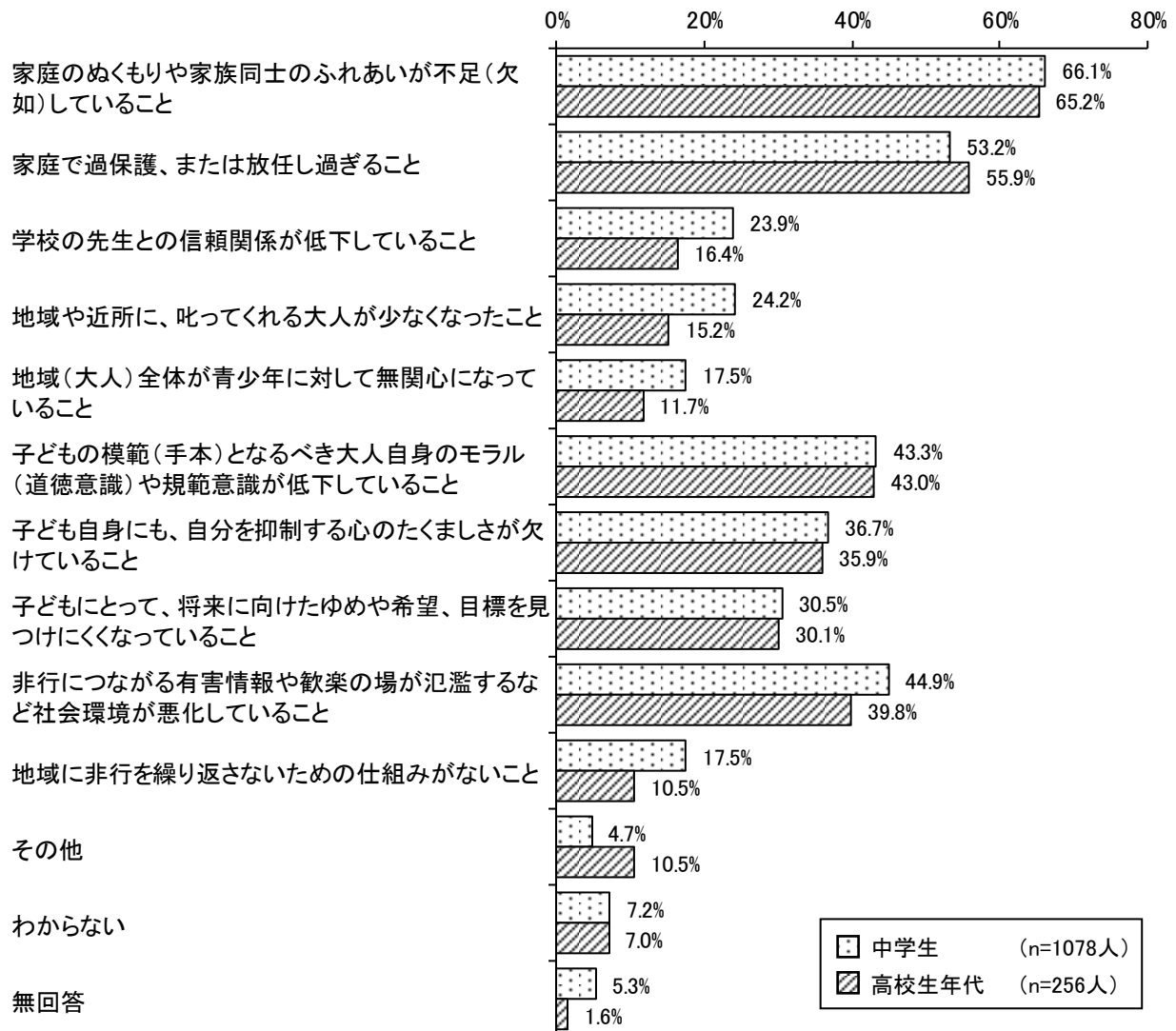


高校生年代(n=256人)



問 35 あなたは、未成年者が非行に走る原因（背景）にはどんなことがあると思いますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

非行に走る原因については、中学生、高校生年代とも「家庭のぬくもりや家族同士のふれあいが不足（欠如）していること」（66.1%、65.2%）が最も高く、次いで「家庭で過保護、または放任し過ぎること」（53.2%、55.9%）となっています。また、「非行につながる有害情報や歓楽の場が氾濫するなど社会環境が悪化していること」（44.9%、39.8%）、「子どもの模範（手本）となるべき大人自身のモラル（道徳意識）や規範意識が低下していること」（43.3%、43.0%）も4割前後と高くなっています。



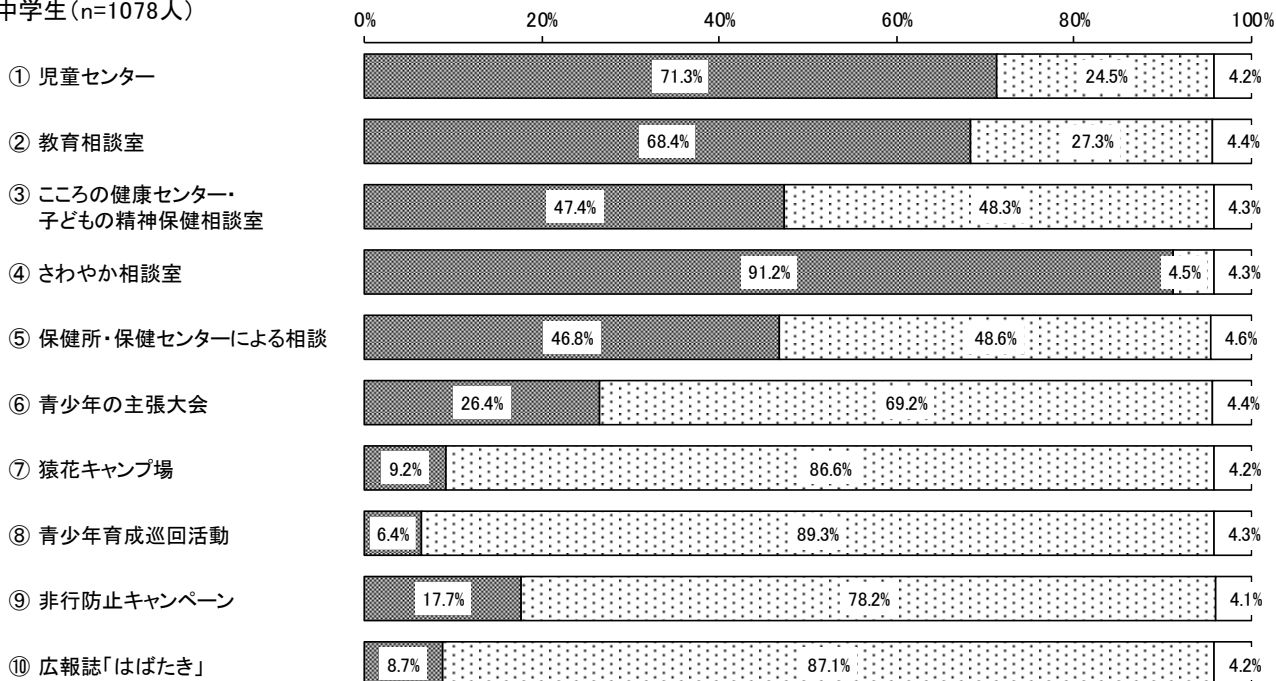
問 36 下記のサービス（施設）を知っていますか。また、これまでに利用（参加）したことはありますか。それぞれについて1つに○をしてください。

■ 認知度

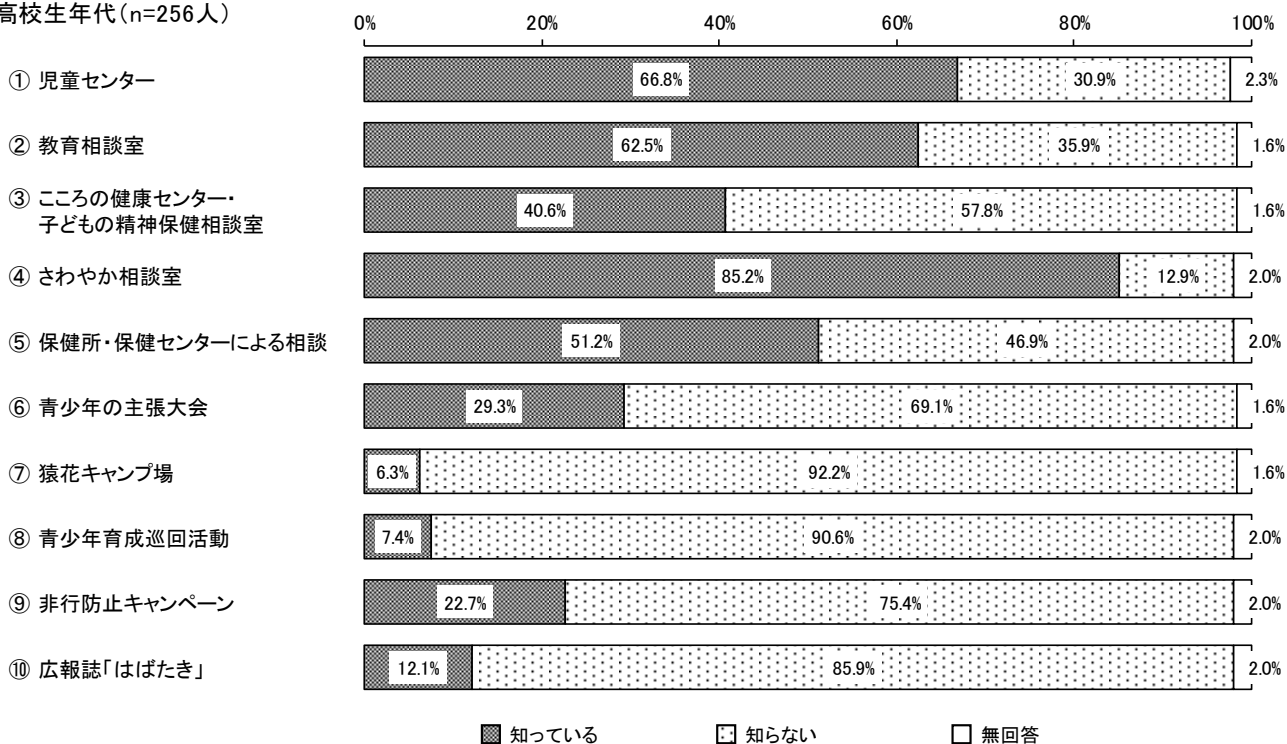
サービスや施設の認知度について、中学生は「④さわやか相談室」が91.2%と最も高く、次いで「①児童センター」が71.3%、「②教育相談室」が68.4%となっています。

高校生年代は「④さわやか相談室」が85.2%と最も高く、次いで「①児童センター」が66.8%、「②教育相談室」が62.5%となっています。

中学生 (n=1078人)



高校生年代 (n=256人)



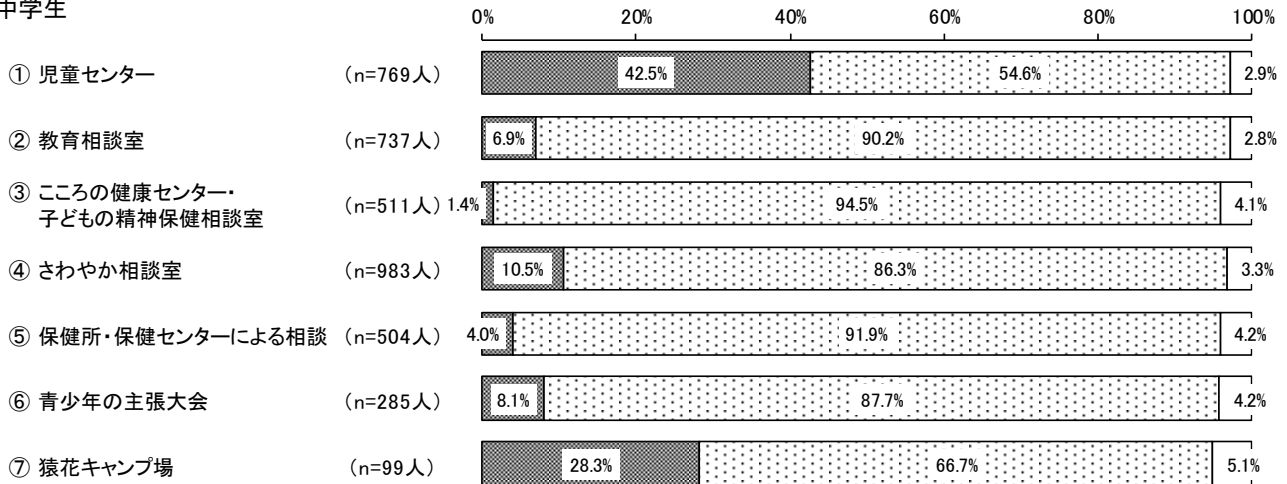
■利用（参加）状況

※認知度の設問において、「知っている」と答えた人を母数にしています。

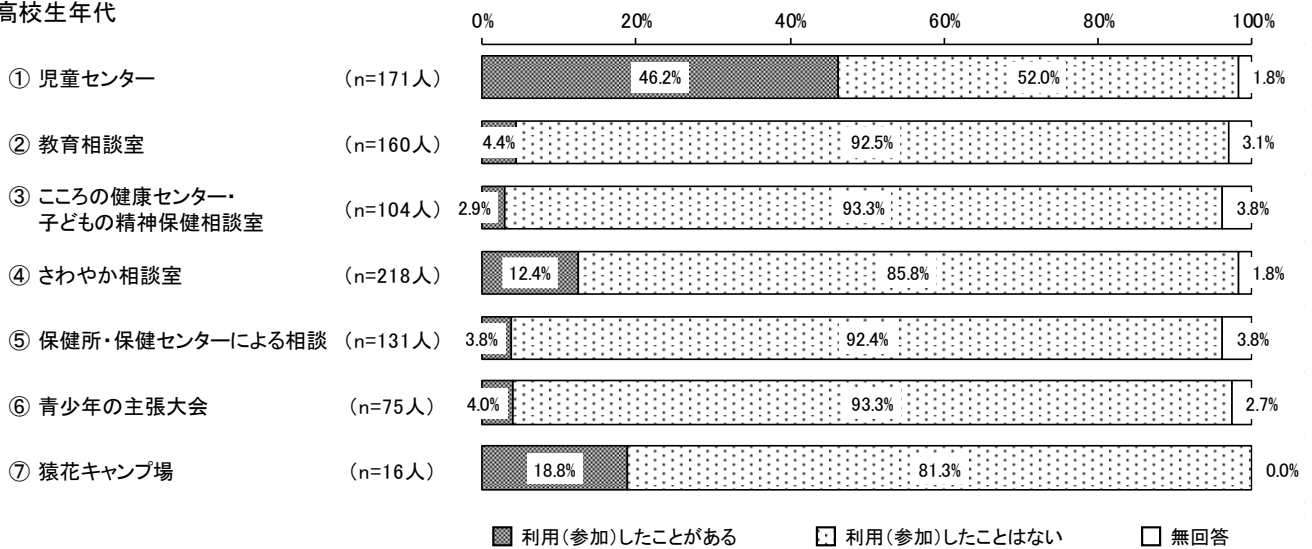
サービスや施設の利用（参加）経験について、中学生は「①児童センター」が42.5%と最も高く、次いで「⑦猿花キャンプ場」が28.3%、「さわやか相談室」が10.5%となっています。

高校生年代は「①児童センター」が46.2%と最も高く、次いで「⑦猿花キャンプ場」が18.8%、「さわやか相談室」が12.4%となっています。中学生、高校生年代とも他4項目は1割未満となっています。

中学生



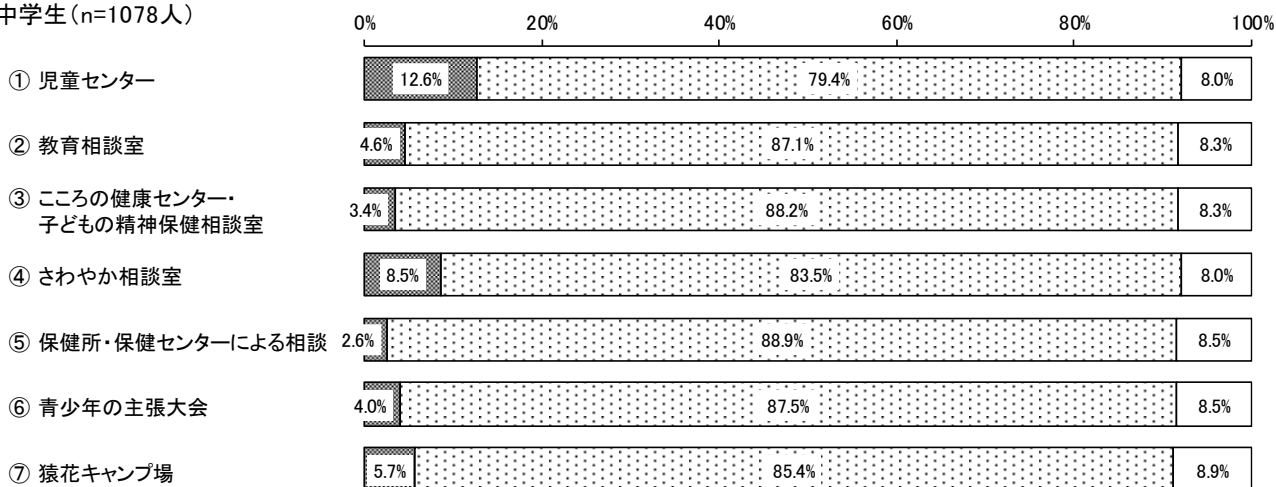
高校生年代



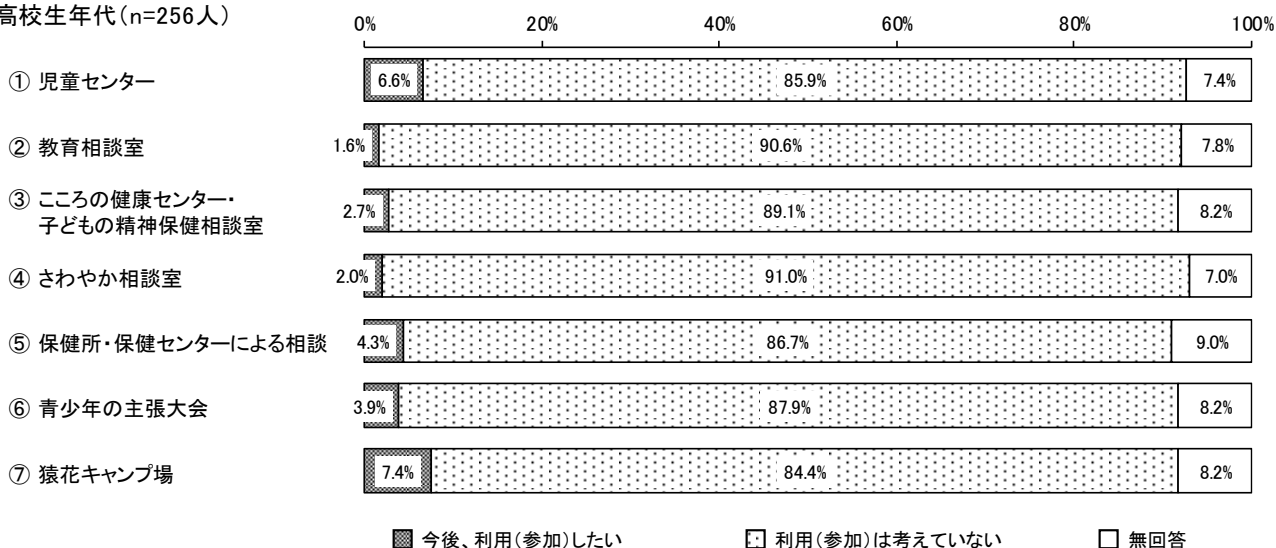
■利用（参加）意向

サービスや施設の利用意向については、中学生は「①児童センター」（12.6%）以外、高校生年代は7項目すべて「今後、利用（参加）したい」が1割未満となっています。

中学生 (n=1078人)



高校生年代 (n=256人)

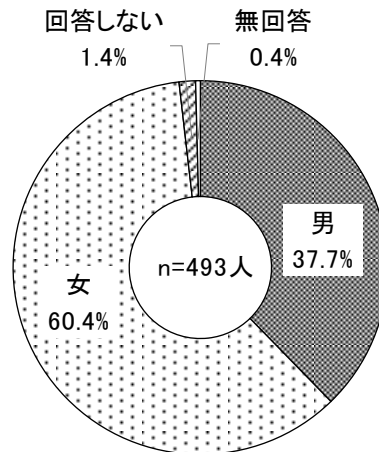


4) 青年調査

1 回答者の属性について

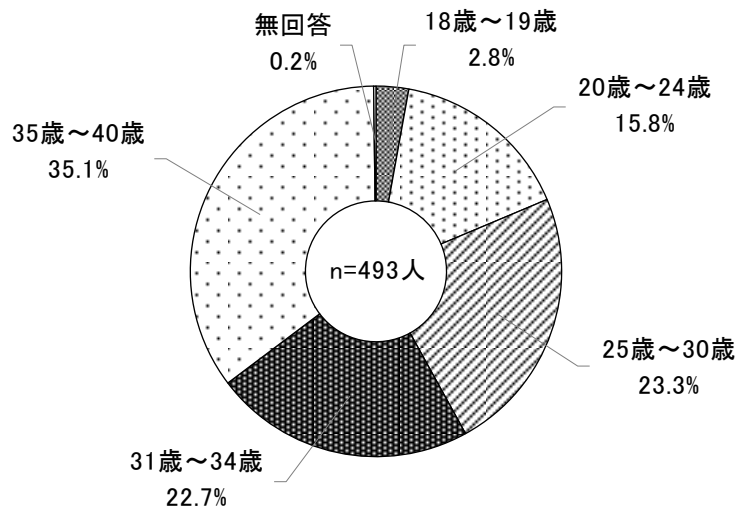
問1 あなたの性別を選んで1つに○をつけてください。

性別については、「男性」が37.7%、「女性」が60.4%と女性の割合が高くなっています。



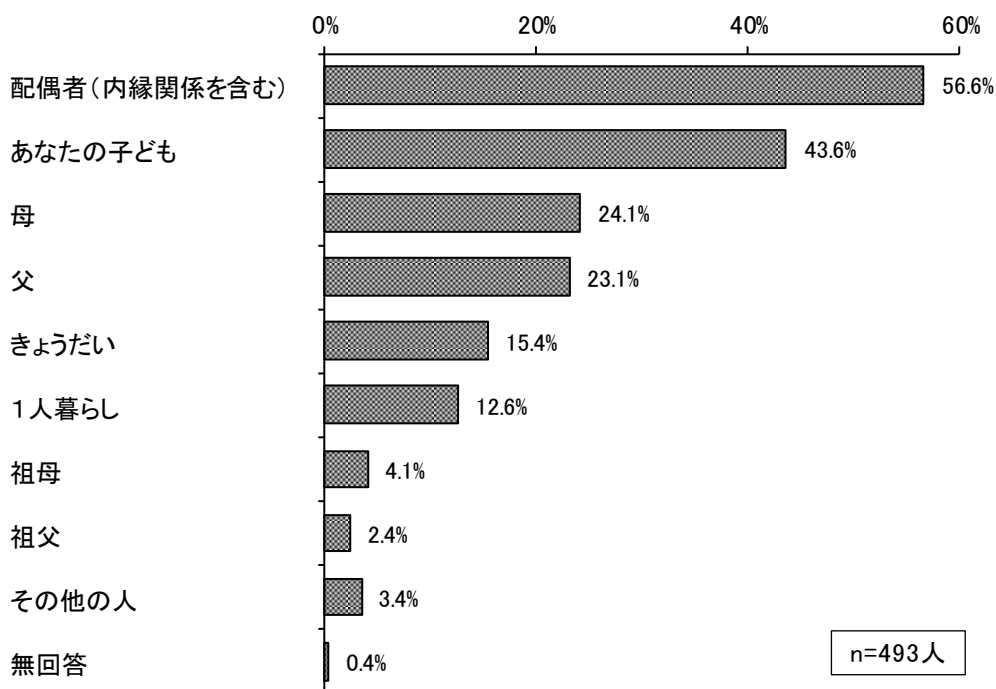
問2 あなたの年齢について当てはまる番号1つに○をつけてください。

年齢については、「35歳～40歳」が35.1%と最も高く、次いで「25歳～30歳」が23.3%、「31歳～34歳」が22.7%となっています。



問3 あなたは、現在どなたと一緒に住んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

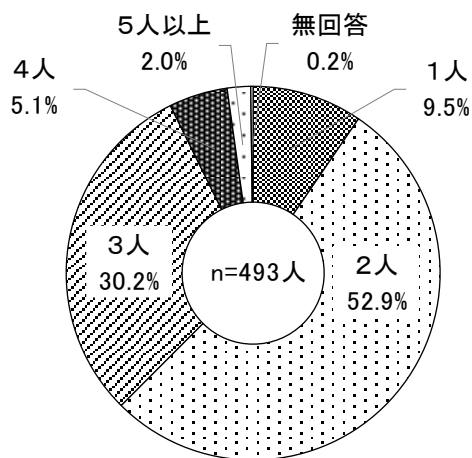
同居している人については、「配偶者（内縁関係を含む）」が56.6%と最も高く、次いで「あなたの子ども」が43.6%、「母」が24.1%となっています。



問4 あなたは、何人きょうだいですか。あなた自身を含めたきょうだいの人数について、当てはまる番号1つに○をつけてください。5人以上の場合は「5」に○をして、具体的な人数を記入してください。

きょうだいの人数については、「2人」が52.9%と最も高く、次いで「3人」が30.2%となっています。

■きょうだいの人数



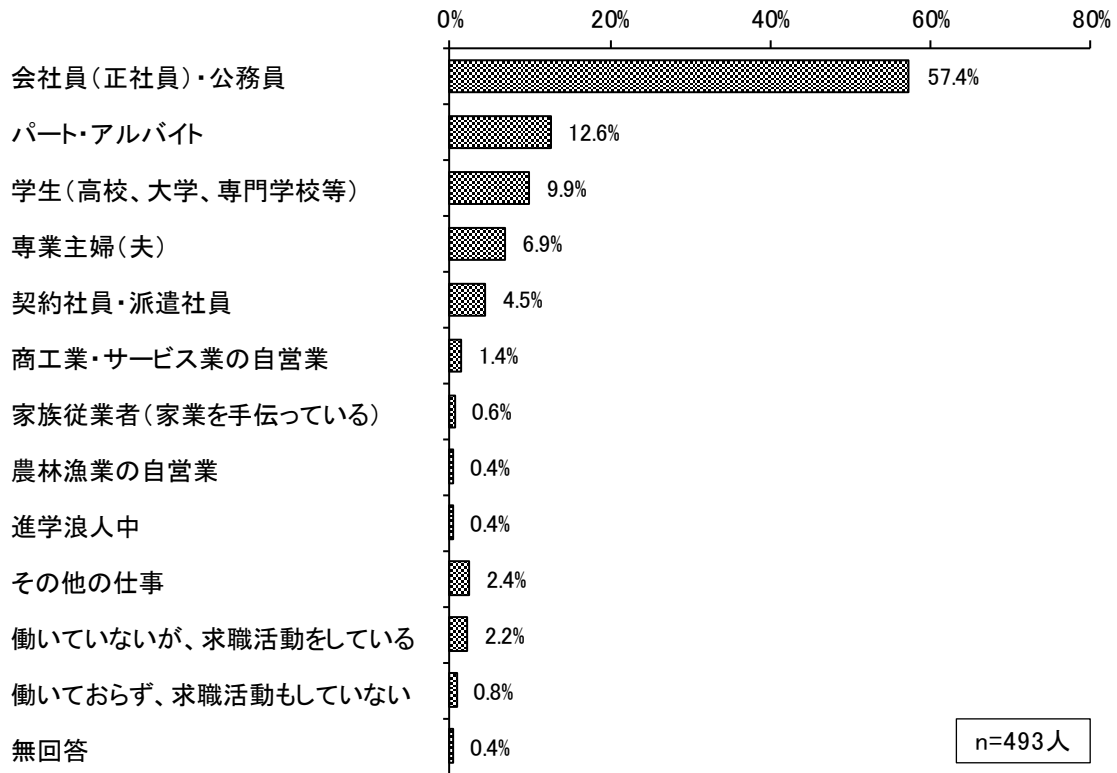
■5人以上の内訳

n=10人

項目	件数	構成比
5人	4	40.0%
6人	4	40.0%
9人	1	10.0%
無回答	1	10.0%

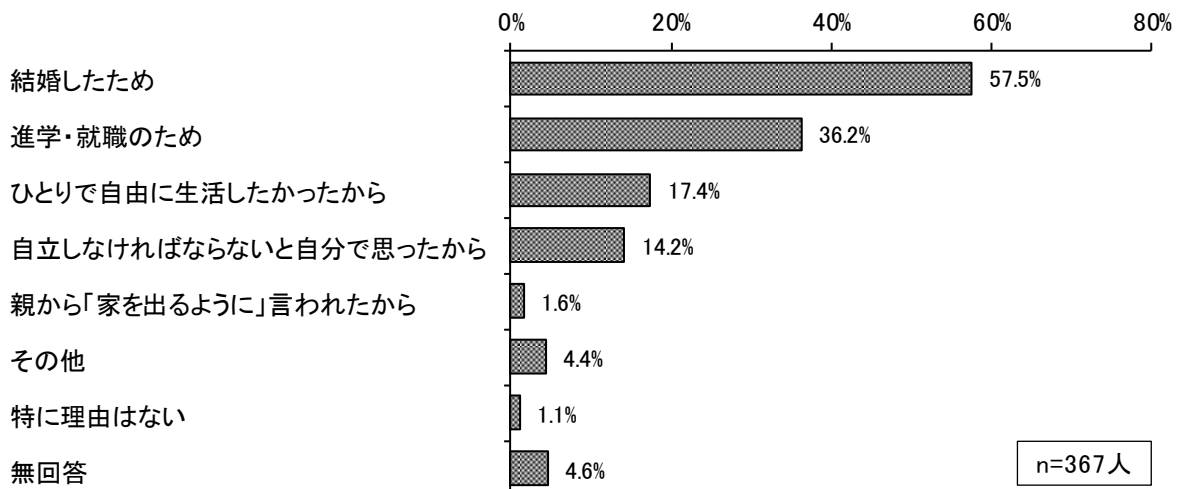
問5 あなたの職業は次のどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

職業については、「会社員（正社員）・公務員」が57.4%と突出して高く、次いで「パート・アルバイト」が12.6%となっています。



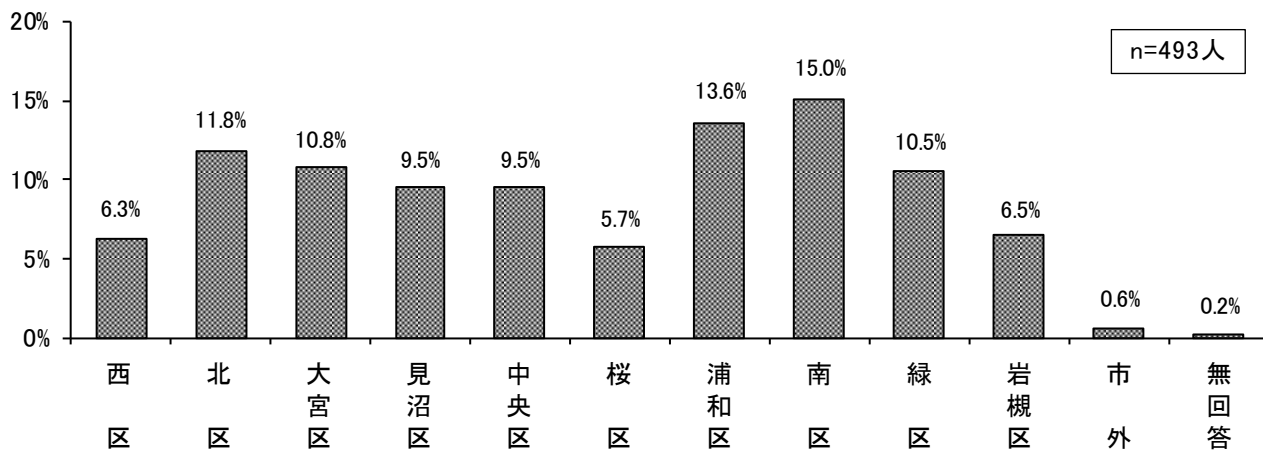
問6 親元から離れて暮らしている方におたずねします。親元を離れて生活している理由を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

親元から離れて生活している理由については、「結婚したため」が57.5%と最も高く、次いで「進学・就職のため」が36.2%、「ひとりで自由に生活したかったから」が17.4%となっています。



問7 あなたがお住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住地域については、「南区」が15.0%と最も高く、次いで「浦和区」が13.6%、「北区」が11.8%となっています。

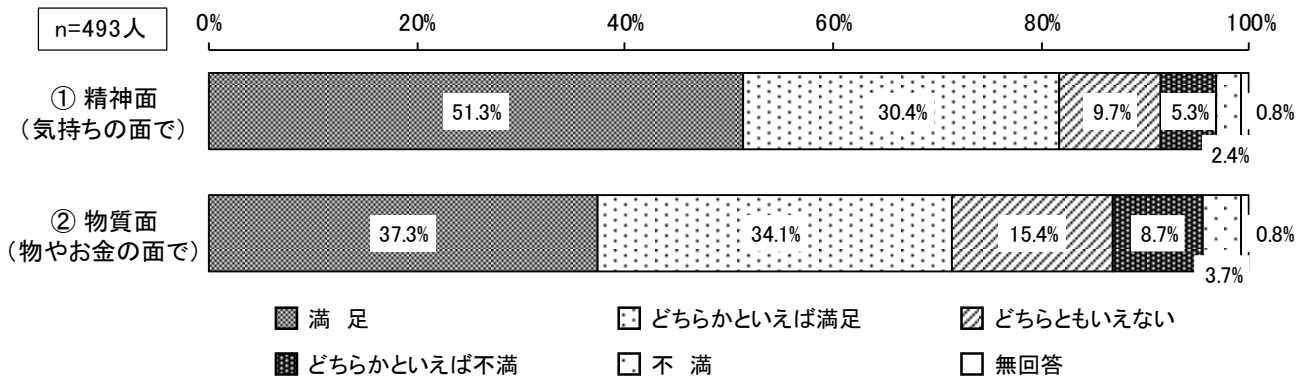


2 家族構成、家庭環境について

問8 あなたは、家庭や家族のことで満足していますか。

①と②の当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

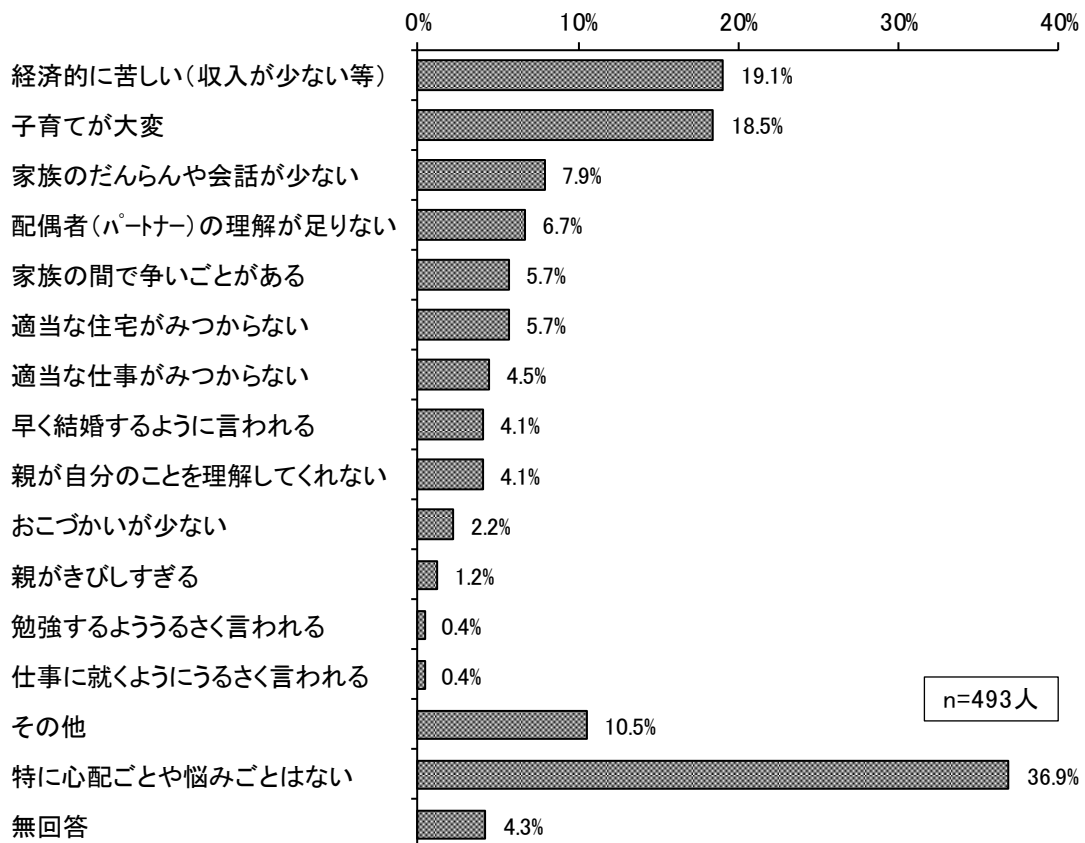
家庭や家族のことについて、「①精神面（気持ちの面で）」は、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が81.7%となっています。「②物質面（物やお金の面で）」は、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が71.4%となっています。



問9 あなたは、あなた自身や家族のことで心配ごとや悩みごとがありますか。

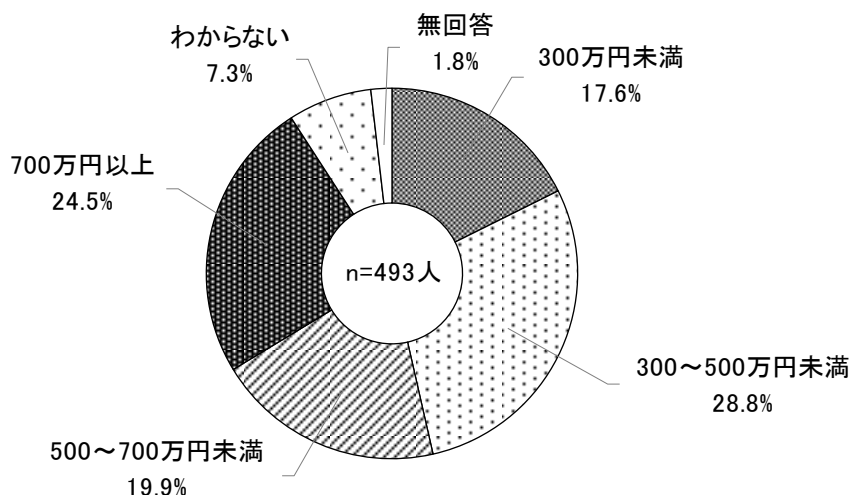
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

自身や家族の心配ごとや悩みごとについては、「経済的に苦しい（収入が少ない等）」が19.1%、「子育てが大変」が18.5%、それ以外は1割未満となっています。一方、「特に心配ごとや悩みごとはない」は36.9%となっています。



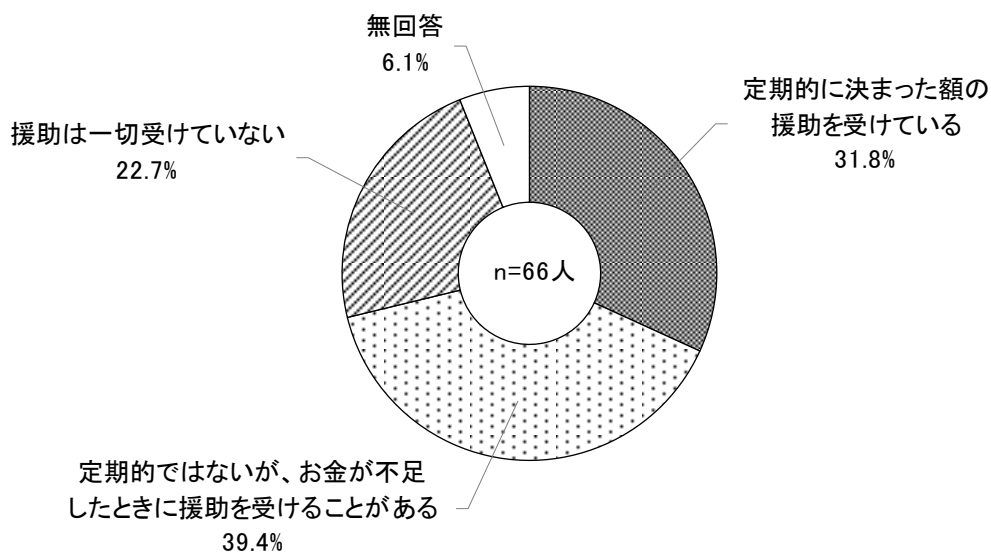
問 10 差し支えなければ、あなた自身またはあなたの家庭の年収をお聞かせください。働いている方はご自身の年収のみ、働いていない方や学生の方はご家族全員の年収の合計について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

年収については、「300～500万円未満」が28.8%と最も高く、次いで「700万円以上」が24.5%、「500～700万円未満」が19.9%、「300万円未満」が17.6%となっています。



問 11 現在、働いていない方や学生の方におたずねします。
あなたは、こづかいや仕送りなど親から経済的な援助（学費を除く）を受けていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

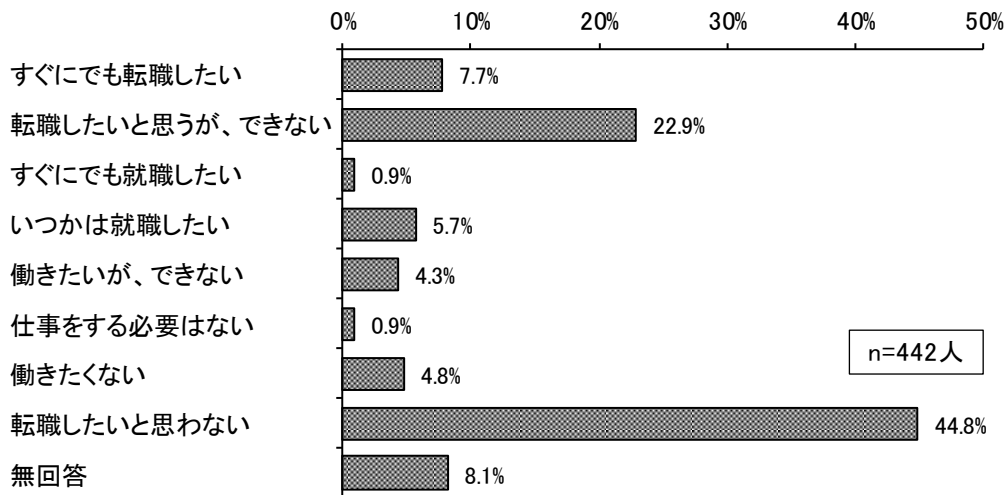
未就労者、学生に対する経済的な援助については、「定期的ではないが、お金が不足したときに援助を受けることがある」が39.4%と最も高く、次いで「定期的に決まった額の援助を受けている」が31.8%、「援助は一切受けていない」が22.7%となっています。



3 職場や職業について

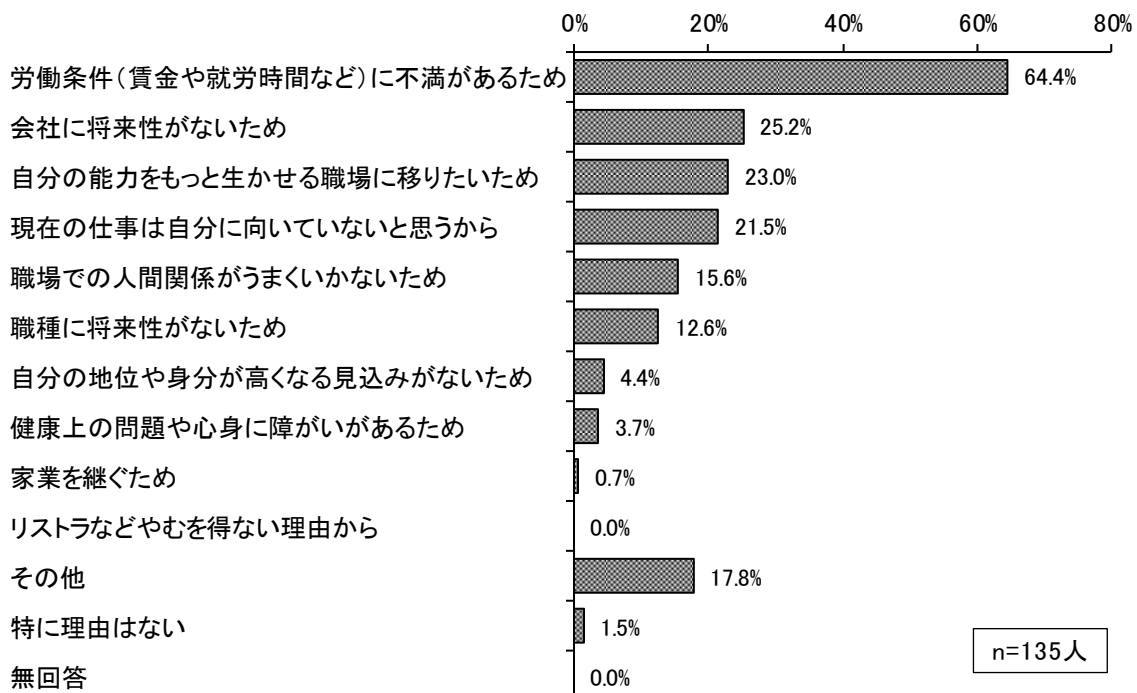
問 12 「学生」 以外の方におたずねします。
あなたは、転職または就職したいと思っていますか。
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

転職または就職の希望については、「転職したいと思わない」が 44.8%で最も高く、次いで「転職したいと思うが、できない」が 22.9%となっています。



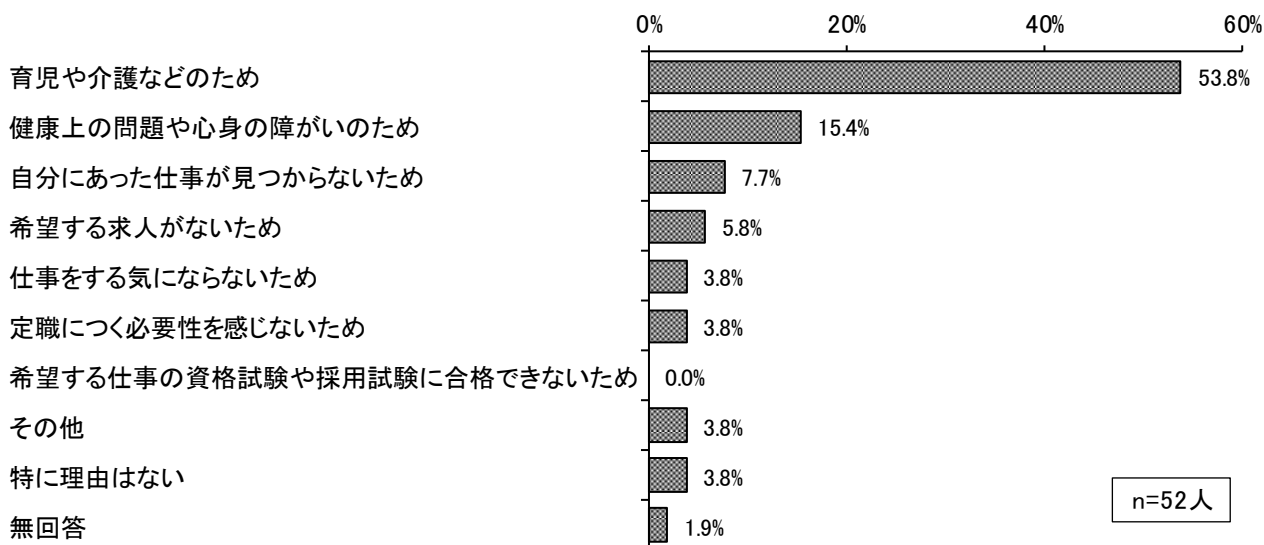
問 12-1 問 12 で「1」または「2」に○をつけた方におたずねします。
あなたが転職したいと思う理由は何ですか。
当てはまる番号 3 つまでに○をつけてください。

転職したいと思う理由については、「労働条件（賃金や就労時間など）に不満があるため」が 64.4%と突出して高くなっています。



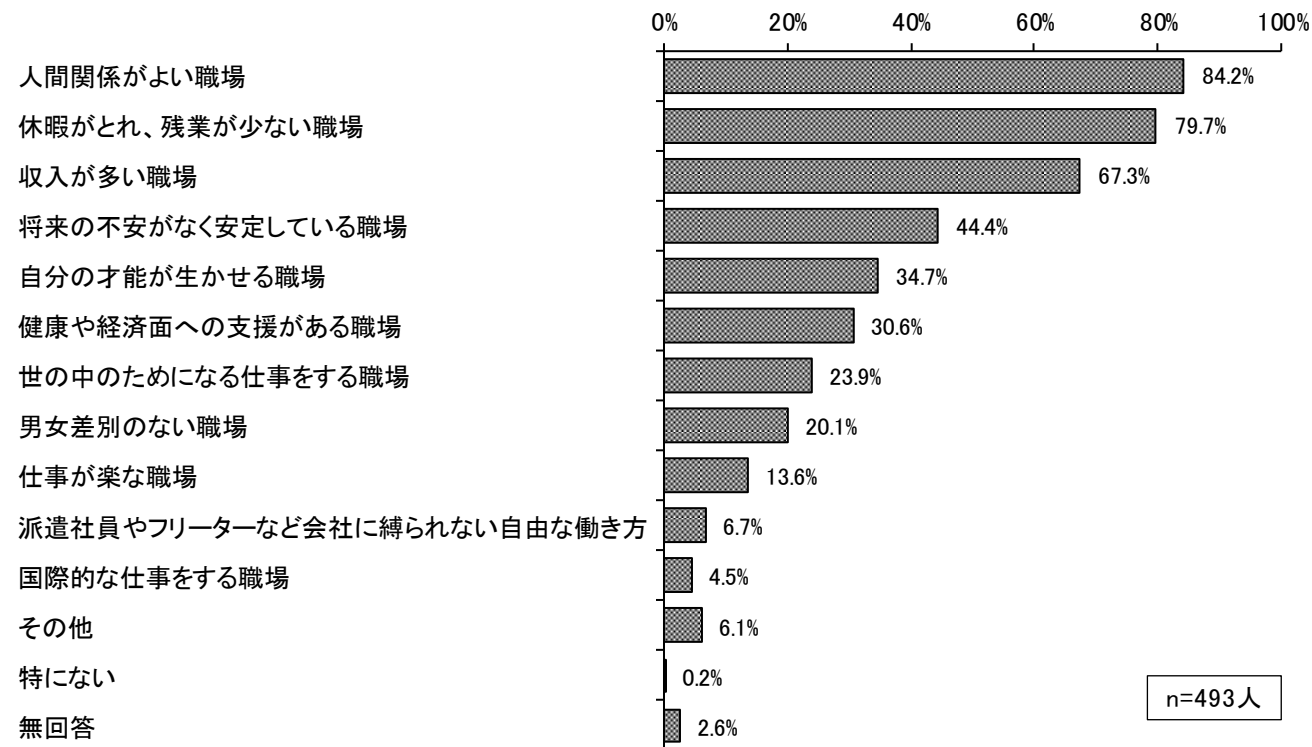
問 12-2 問 12 で「3」～「6」のいずれかに○をつけた方におたずねします。
 あなたが今、就職していない理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就職していない理由については、「育児や介護などのため」が53.8%となっています。



問 13 すべての方におたずねします。
 あなたは、どのような職場や働き方を望みますか。
 当てはまる番号5つまでに○をつけてください。

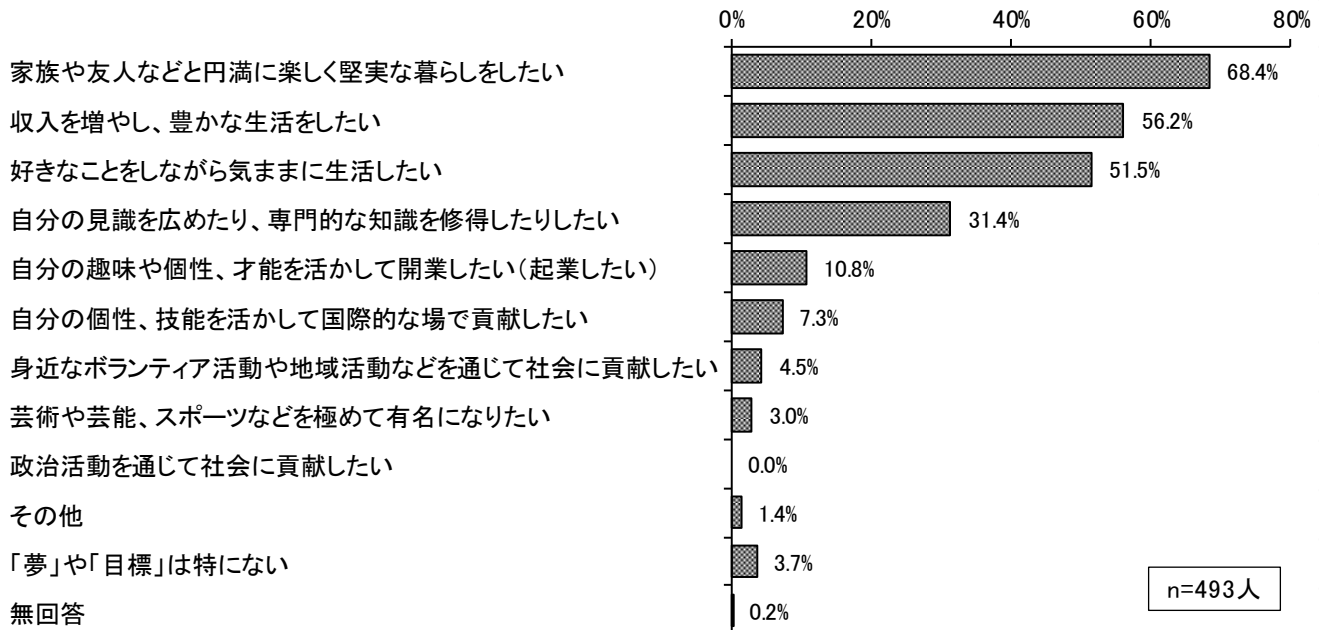
希望する職場や働き方については、「人間関係がよい職場」が84.2%と最も高く、次いで「休暇がとれ、残業が少ない職場」が79.7%、「収入が多い職場」が67.3%となっています。



4 将来の「夢」や「目標」について

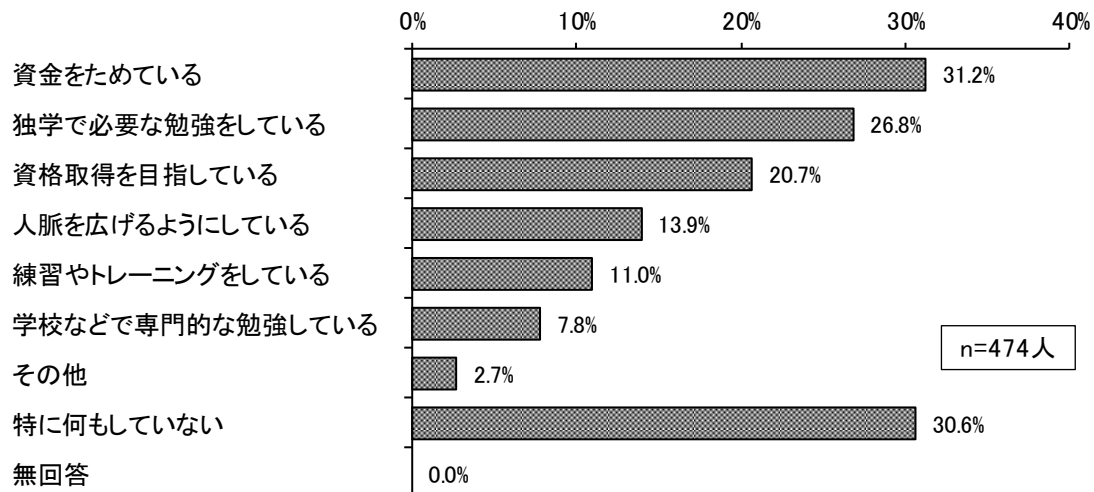
問 14 あなたは、将来に向けて何か「夢」や「目標」を持っていますか。
当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

将来の「夢」や「目標」については、「家族や友人などと円満に楽しく堅実な暮らしをしたい」が68.4%と最も高く、次いで「収入を増やし、豊かな生活をしたい」が56.2%、「好きなことをしながら気ままに生活したい」が51.5%となっています。



問 14-1 あなたは、将来の夢や目標を実現するために何か実行していますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

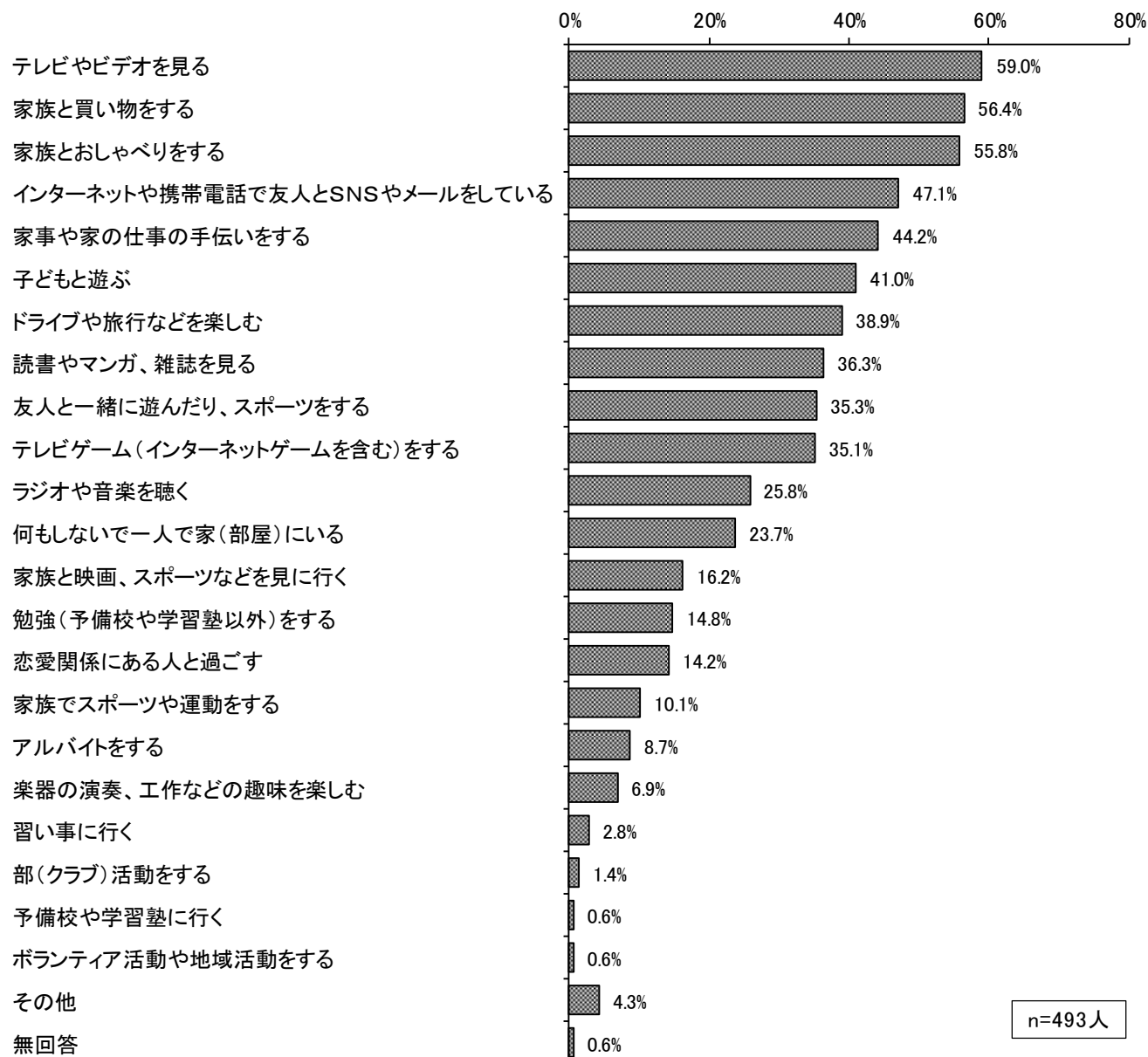
将来の夢や目標に向けた取り組みについては、「資金をためている」が31.2%と最も高く、次いで「独学で必要な勉強をしている」が26.8%、「資格取得を目指している」が20.7%となっています。一方、「特に何もしていない」は30.6%となっています。



5 余暇の過ごし方、友人関係について

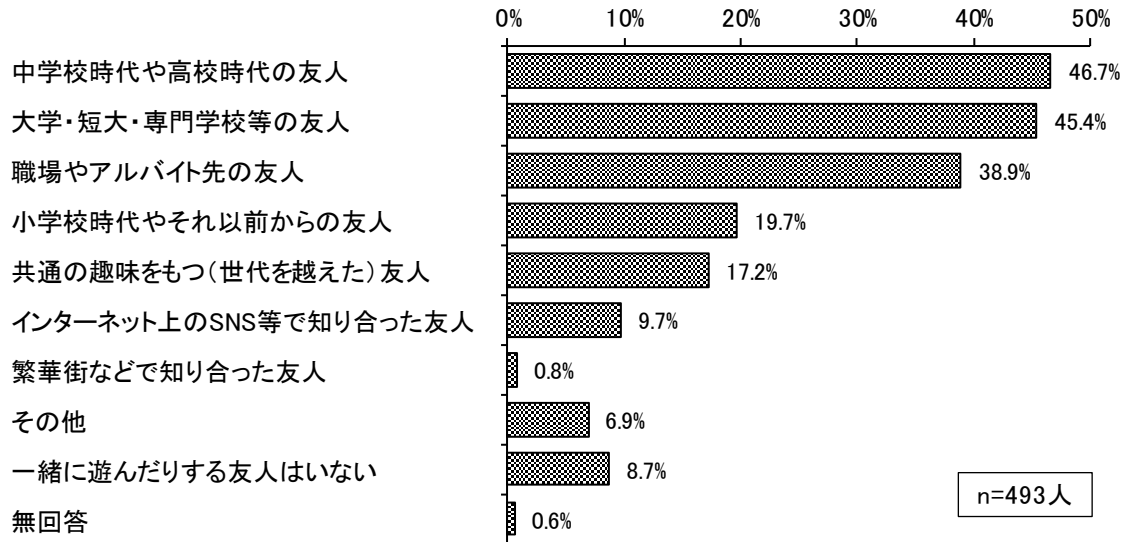
問 15 あなたは、休日をどのように過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

休日の過ごし方については、「テレビやビデオを見る」が 59.0%と最も高く、次いで「家族と買い物をする」が 56.4%、「家族とおしゃべりをする」が 55.8%、「インターネットや携帯電話で友人とSNSやメールをしている」が 47.1%となっています。



問 16 あなたがふだん一緒に遊んだり、連絡しあったりすることが多い友人（グループ）はだれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

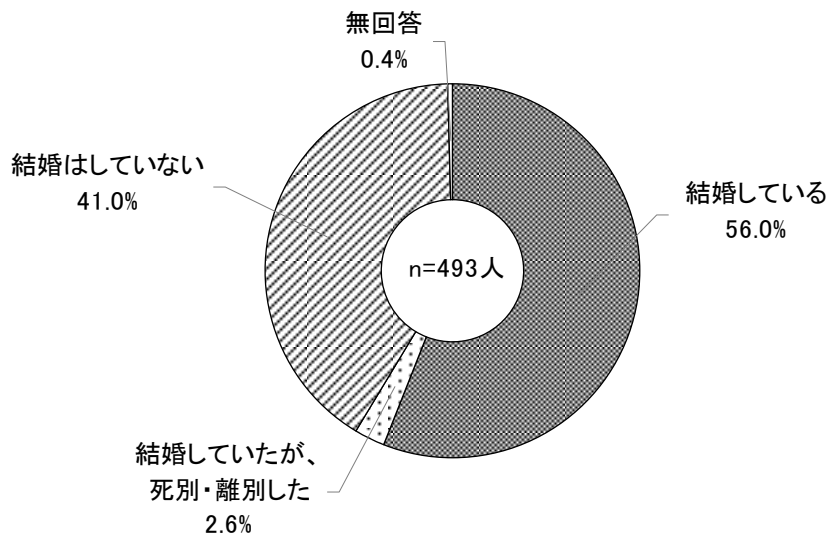
一緒に遊んだり連絡しあうことが多い友人については、「中学校時代や高校時代の友人」が 46.7%と最も高く、次いで「大学・短大・専門学校等の友人」が 45.4%、「職場やアルバイト先の友人」が 38.9%となっています。



6 結婚観や子どもに関する考え方について

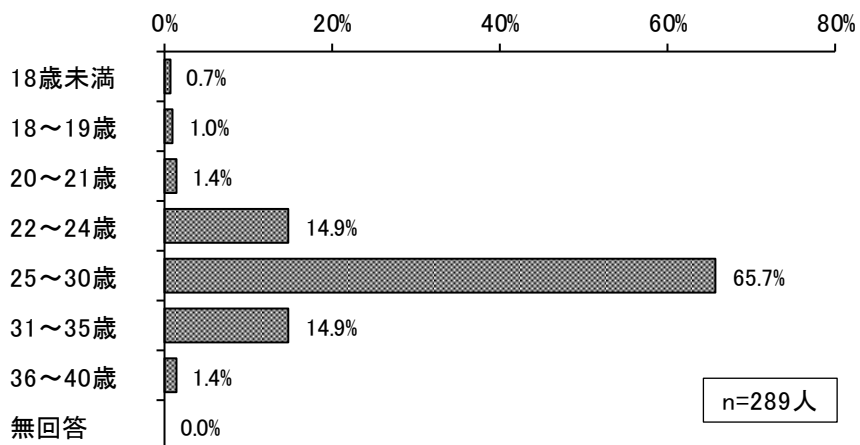
問 17 あなたは現在、結婚していますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

結婚については、「結婚している」が 56.0%、「結婚はしていない」が 41.0%となっています。



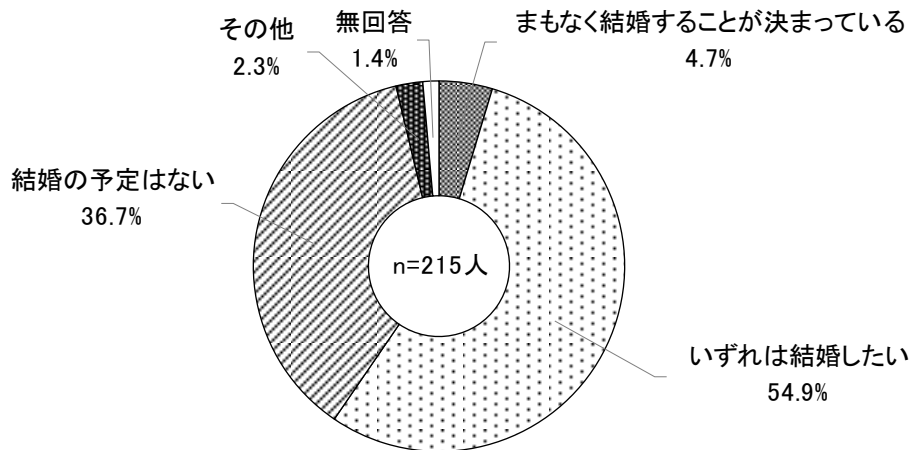
問 17-1 問 17 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方におたずねします。
あなたが結婚したのは何歳の時ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
(複数回ある場合は、直近のもの)

結婚した年齢については、「25～30歳」が 65.7%と突出して高くなっています。



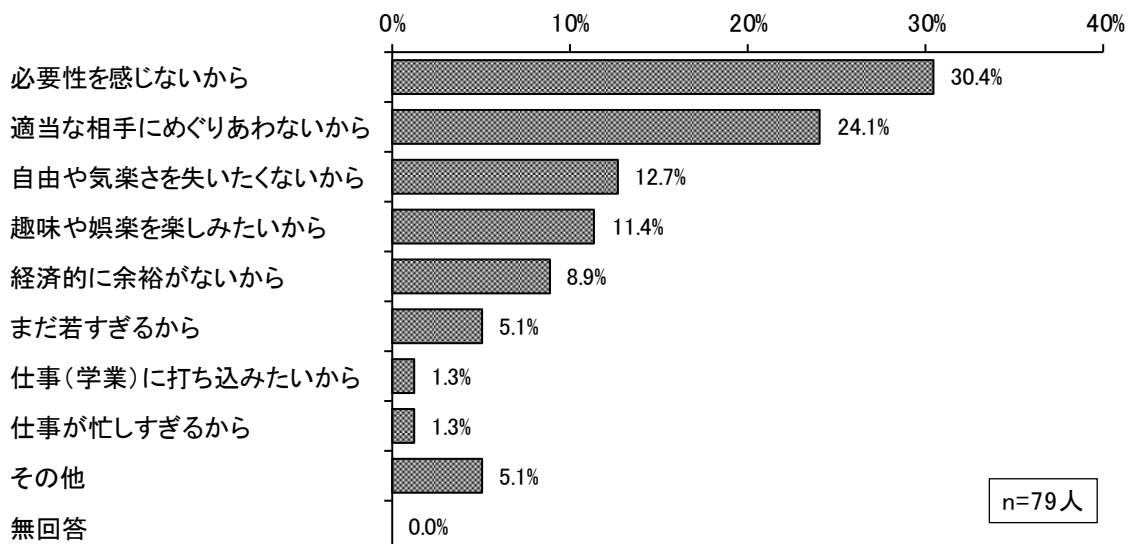
問 17-2 問 17 で「2」または「3」のいずれかに○をつけた方におたずねします。
 あなたの、今後の結婚に関する希望はどれに近いですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

今後の結婚希望については、「いずれは結婚したい」が54.9%と最も高く、次いで「結婚の予定はない」が36.7%となっています。



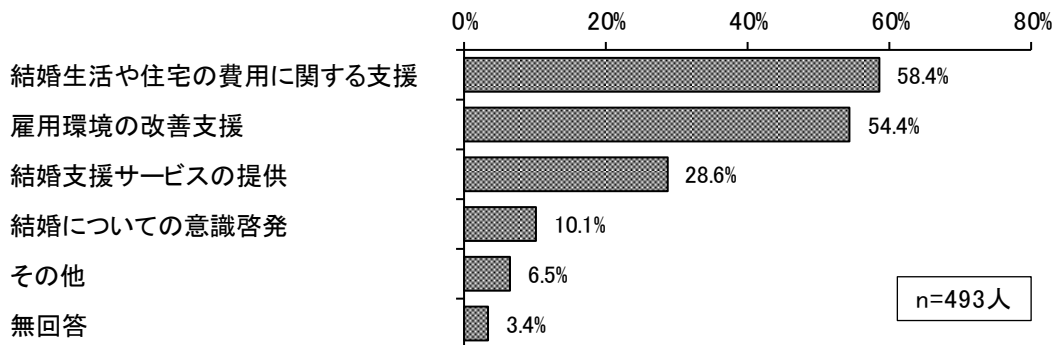
問 17-3 問 17-2 で「3」に○をつけた方におたずねします。
 「3」とした理由に考え方が近いのはどれですか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「結婚の予定はない」理由については、「必要性を感じないから」が30.4%、「適当な相手にめぐりあわないから」が24.1%となっています。



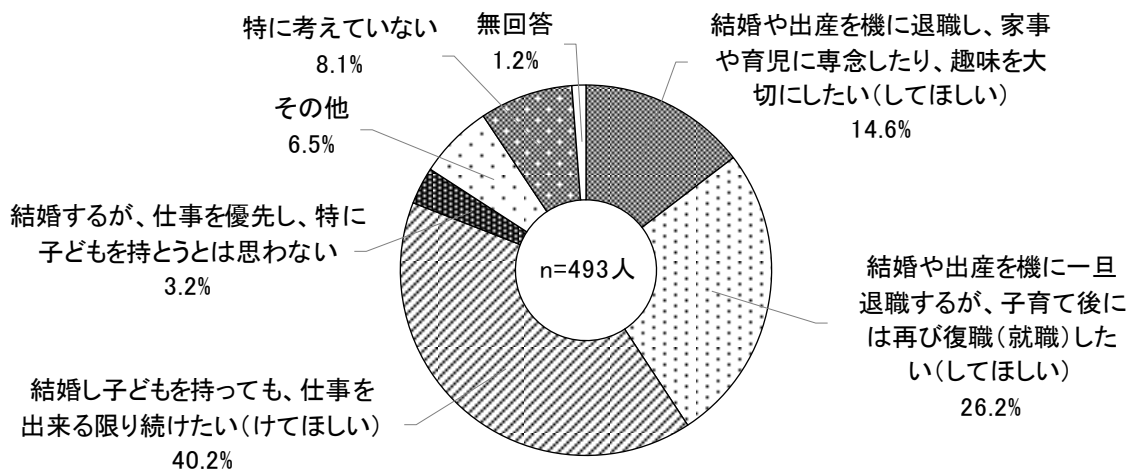
問 18 結婚を希望する方が、希望をかなえられるようになるためにはどういった支援があるといいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

結婚希望者への支援については、「結婚生活や住宅の費用に関する支援」が58.4%、「雇用環境の改善支援」が54.4%と特に高く、次いで「結婚支援サービスの提供」が28.6%となっています。



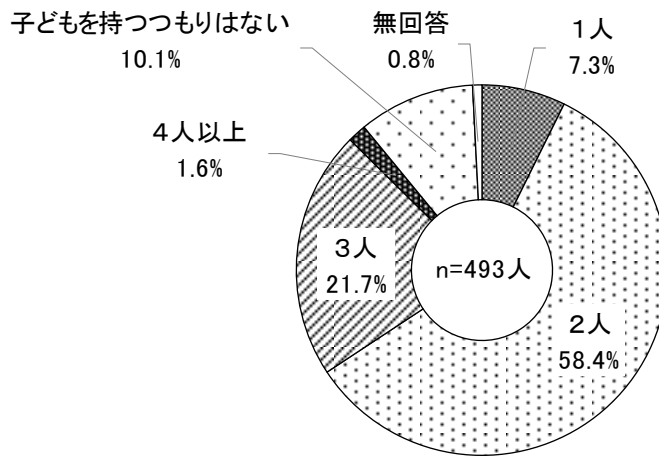
問 19 結婚後の女性の生き方について、希望する考え方に近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 ※男性の方は、結婚相手の女性に対する希望としてお答えください。

結婚後の女性の生き方については、「結婚し子どもを持っても、仕事を出来る限り続けたい(けてほしい)」が40.2%と最も高く、次いで「結婚や出産を機に一旦退職するが、子育て後には再び復職(就職)したい(してほしい)」が26.2%、「結婚や出産を機に退職し、家事や育児に専念したり、趣味を大切にしたい(してほしい)」が14.6%となっています。



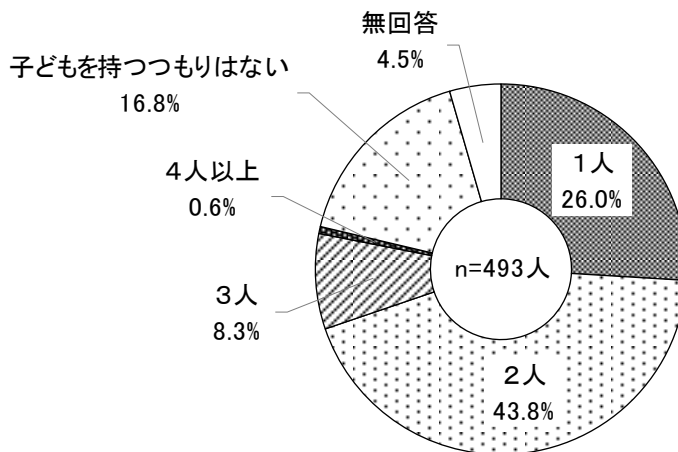
問 20 あなたにとって、理想の子どもの数は何人ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

理想の子どもの数については、「2人」が58.4%と最も高く、次いで「3人」が21.7%、「子どもを持つつもりはない」が10.1%となっています。



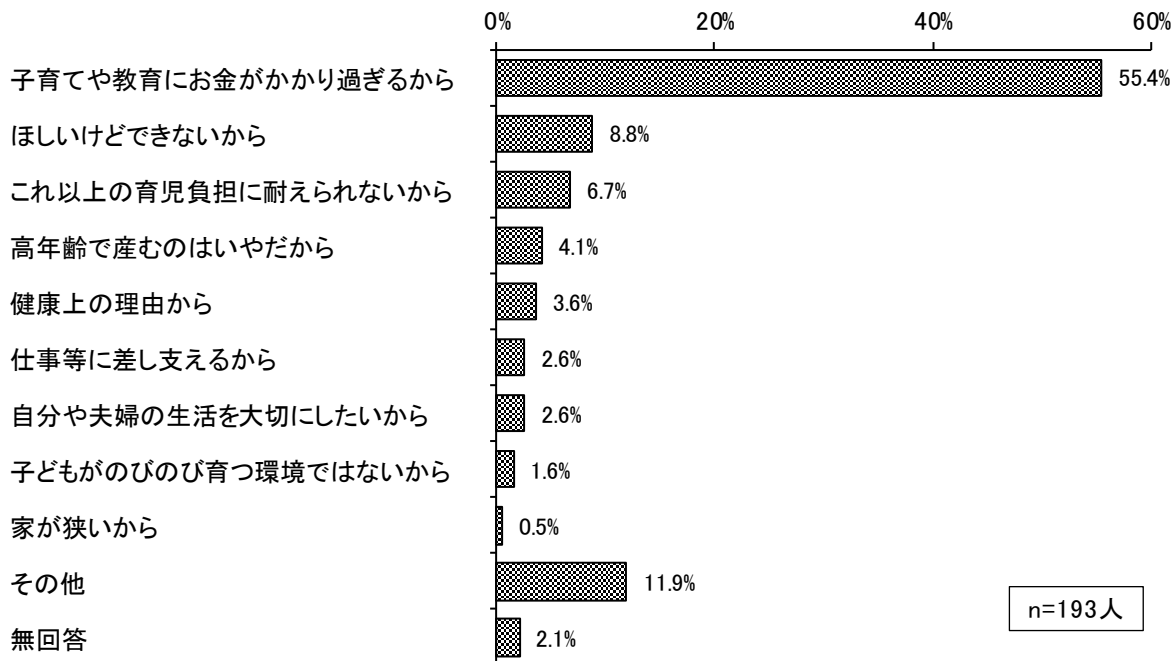
問 21 あなたは実際に持つ予定の（持った）子どもの数は何人ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

実際の子どもの数については、「2人」が43.8%と最も高く、次いで「1人」が26.0%、「子どもを持つつもりはない」が16.8%となっています。



問22 問20より問21で回答した人数が少ない方におたずねします。
 人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

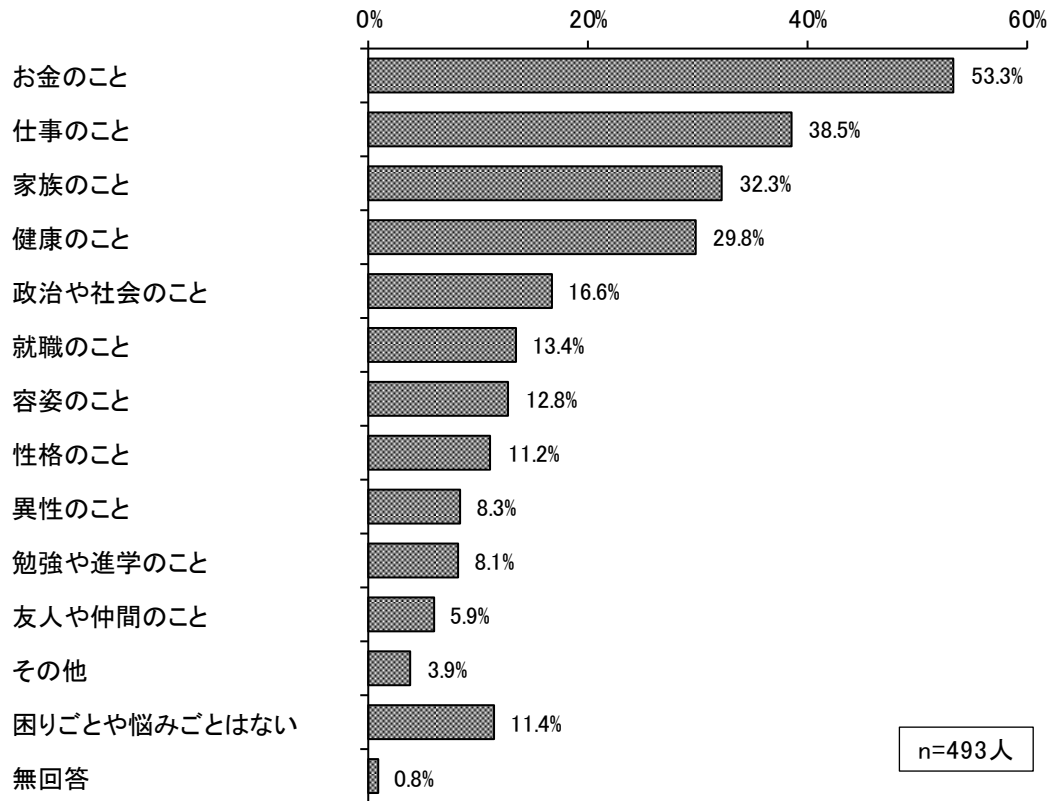
理想より実際の人数が少ない理由については、「子育てや教育にお金がかかり過ぎるから」が55.4%と突出して高くなっています。



7 悩みや相談相手について

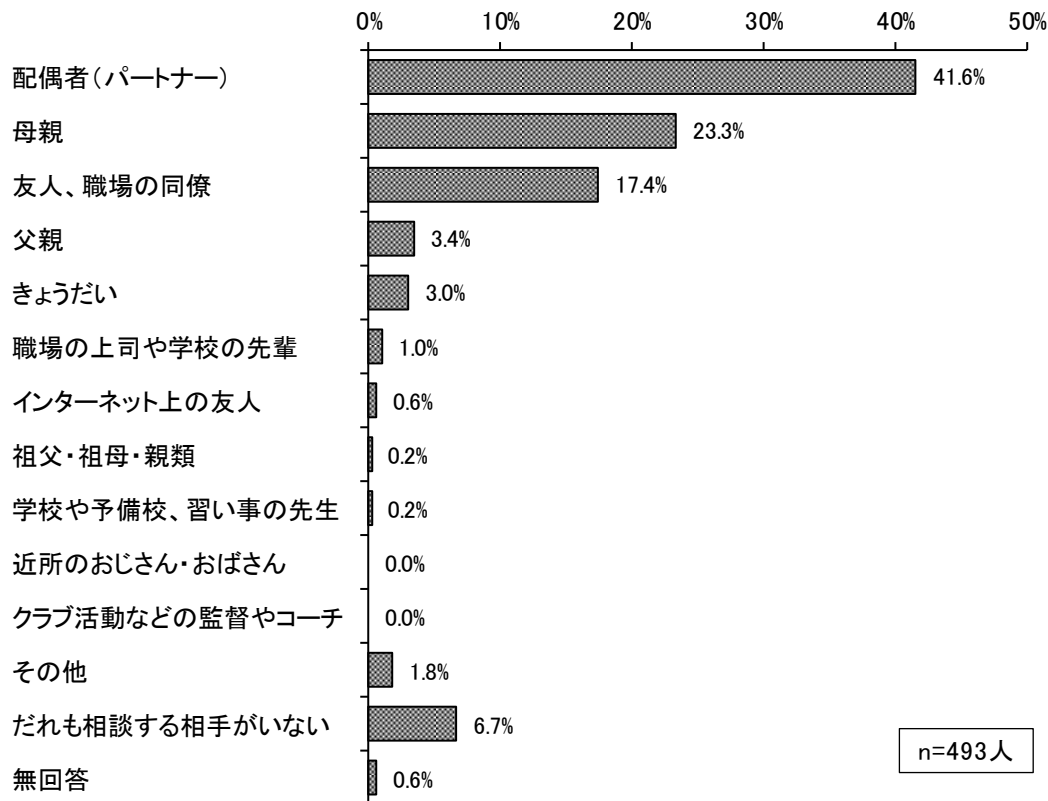
問 23 あなたには、困りごとや悩みごとがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

困りごとや悩みごとについては、「お金のこと」が 53.3%と最も高く、次いで「仕事のこと」が 38.5%、「家族のこと」が 32.3%となっています。



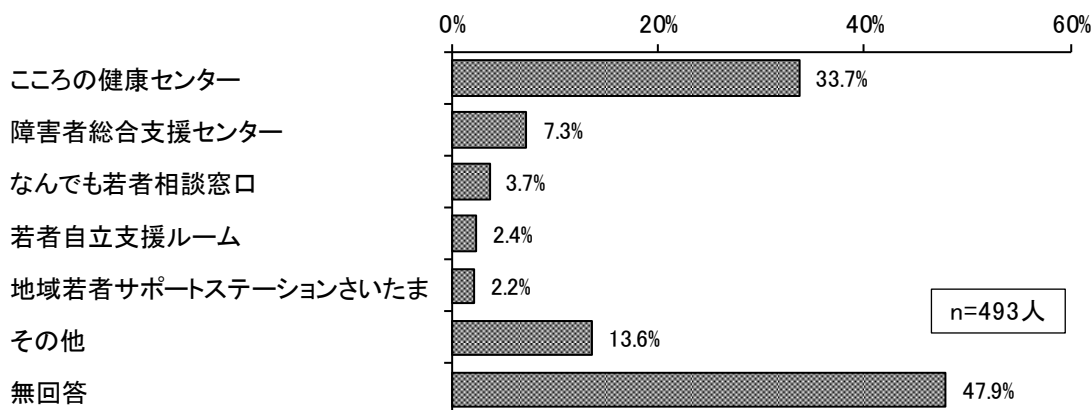
問 24 あなたは、困ったり、悩んだりしたとき、だれにもっとも相談しますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

困ったり、悩んだりした時の相談先については、「配偶者（パートナー）」が41.6%と最も高く、次いで「母親」が23.3%、「友人、職場の同僚」が17.4%となっています。



問 25 あなたは、困ったり、悩んだりしたとき、どんな相談場所を知っていますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

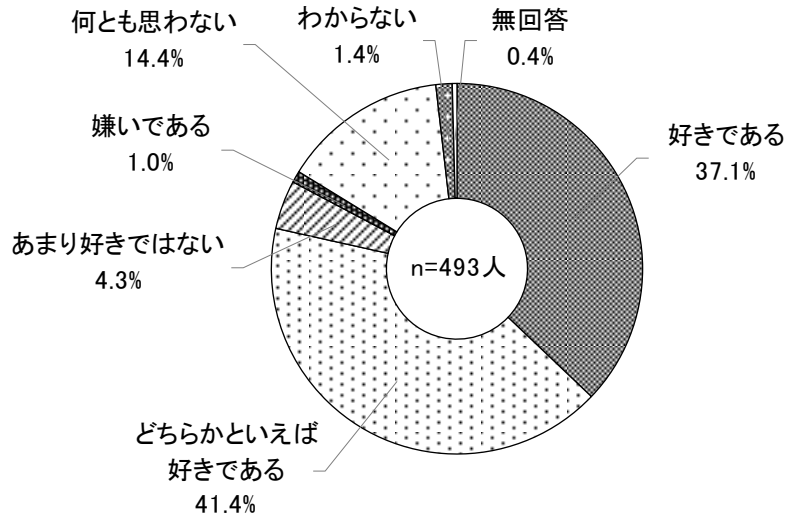
相談場所の認知度については、「こころの健康センター」が33.7%と最も高くなっています。



8 地域のことや地域活動、ボランティア活動について

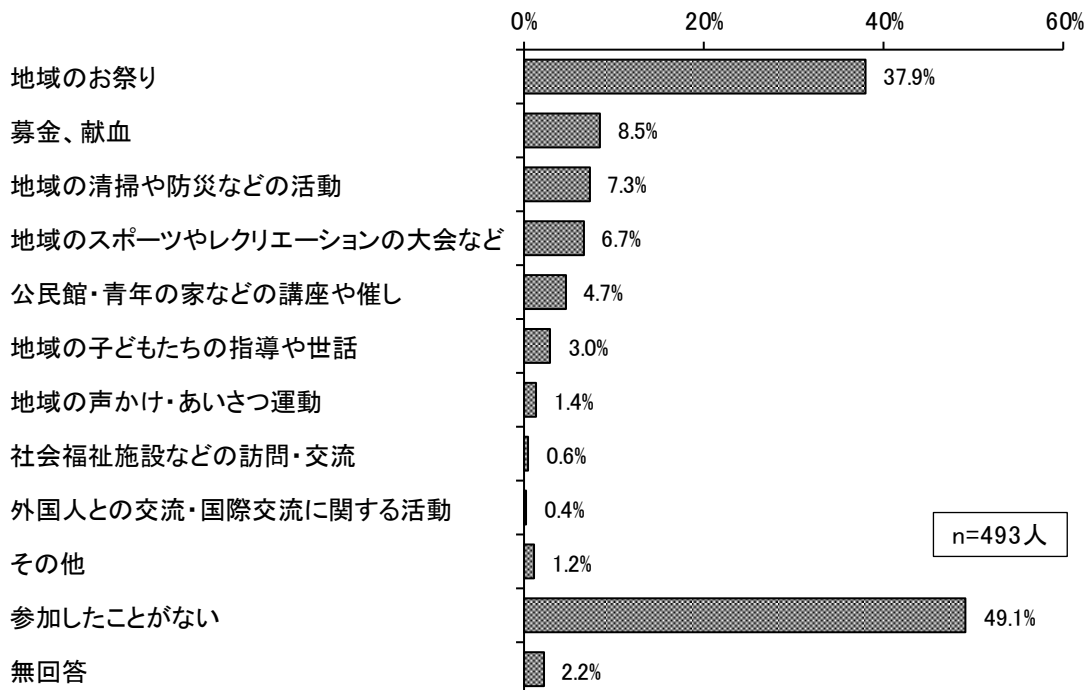
問 26 あなたは、住んでいる地域が好きですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

地域への愛着については、「好きである」(37.1%)と「どちらかといえば好きである」(41.4%)の合計が78.5%となっています。



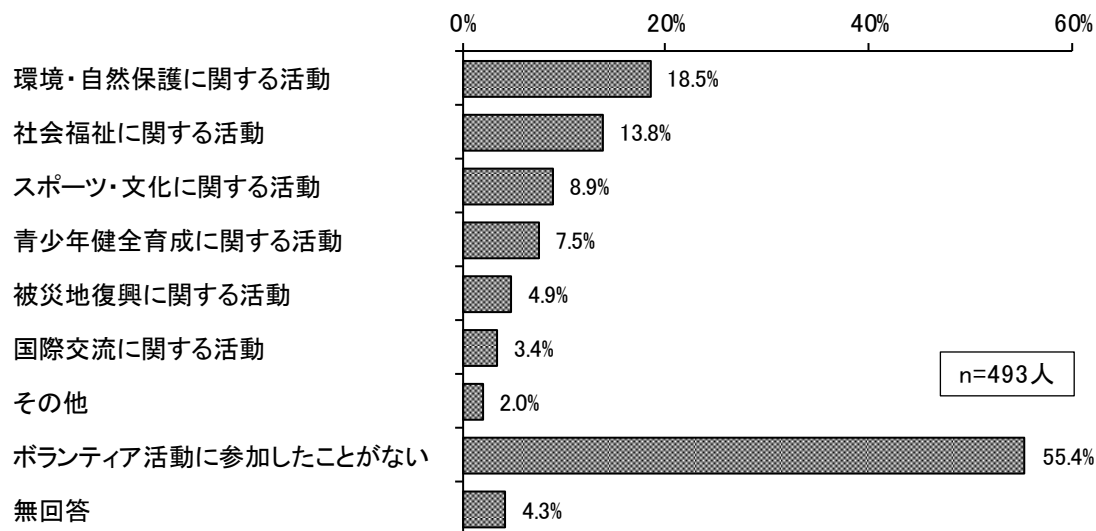
問 27 あなたは、最近1年間で、次のような地域活動に参加した経験がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

地域活動への参加経験については、「地域のお祭り」が37.9%、それ以外は1割未満となっています。一方、「参加したことがない」は49.1%となっています。



問 28 あなたがこれまでに参加したことがあるボランティア活動は、次のどれですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

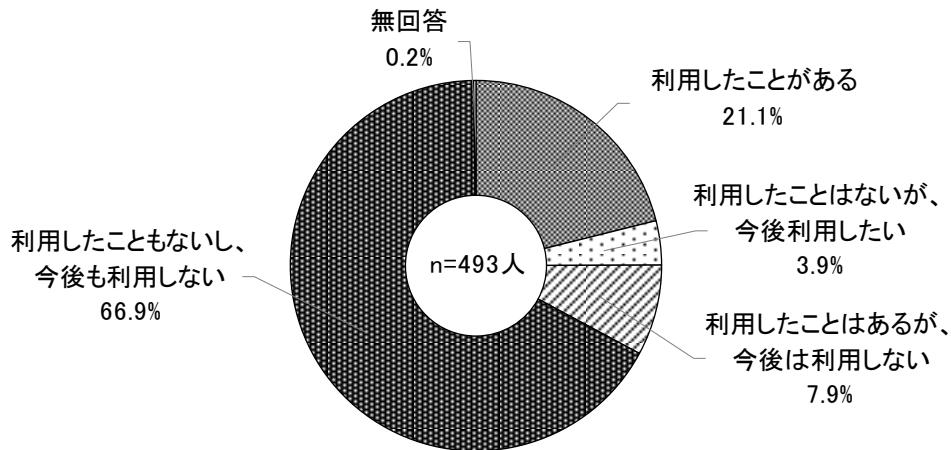
ボランティア活動への参加経験については、「環境・自然保護に関する活動」が18.5%、「社会福祉に関する活動」が13.8%となっています。一方、「ボランティア活動に参加したことがない」は55.4%となっています。



9 青少年の非行について

問 29 あなたは、「出会い系サイト・アプリ等」を利用したこと又は利用したいと思ったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

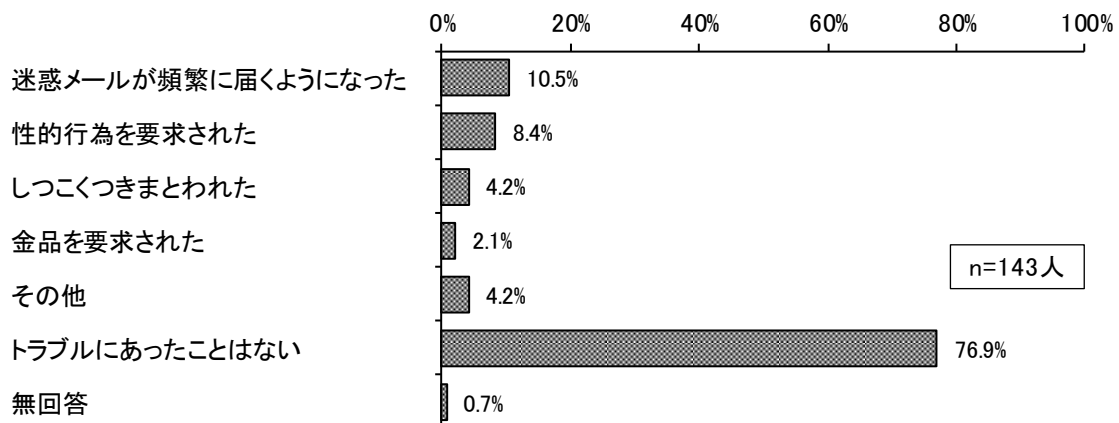
「出会い系サイト・アプリ等」の利用については、「利用したこともないし、今後も利用しない」が66.9%と最も高く、次いで「利用したことがある」が21.1%となっています。「利用したことがある」と「利用したことはあるが、今後は利用しない」の合計は29.0%となっています。



問 30 問 29 で「1」または「3」に○をつけた方におたずねします。

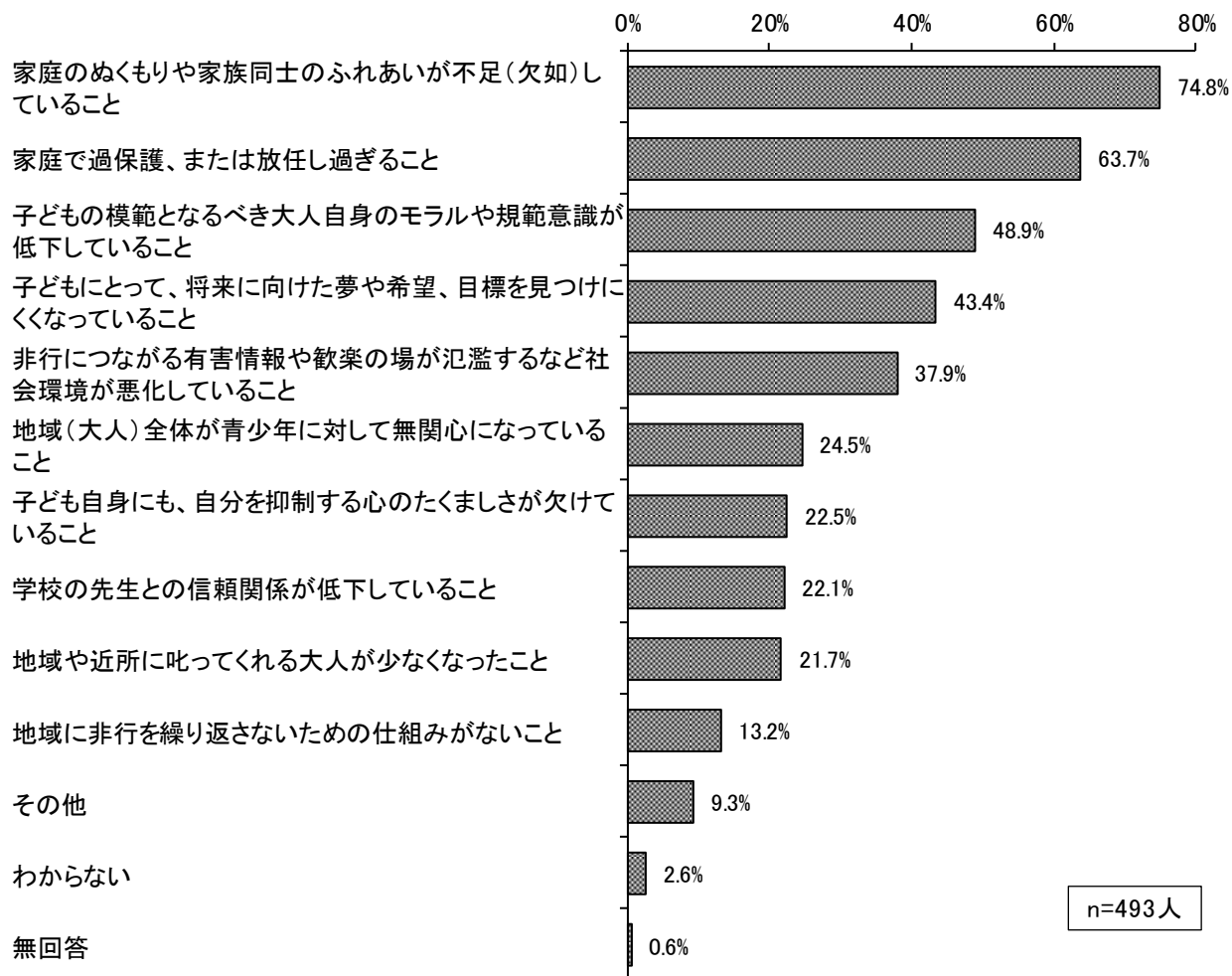
あなたは、「出会い系サイト・アプリ等」を利用する中でトラブルにあったことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「出会い系サイト・アプリ等」のトラブルについては、「迷惑メールが頻繁に届くようになった」(10.5%)などがあります。一方、「トラブルにあったことはない」は76.9%となっています。



問31 あなたは、青少年が非行に走る原因（背景）にはどんなことがあると思いますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

非行に走る原因については、「家庭のぬくもりや家族同士のふれあいが不足（欠如）していること」が74.8%と最も高く、次いで「家庭で過保護、または放任し過ぎること」が63.7%、「子どもの模範となるべき大人自身のモラルや規範意識が低下していること」が48.9%となっています。

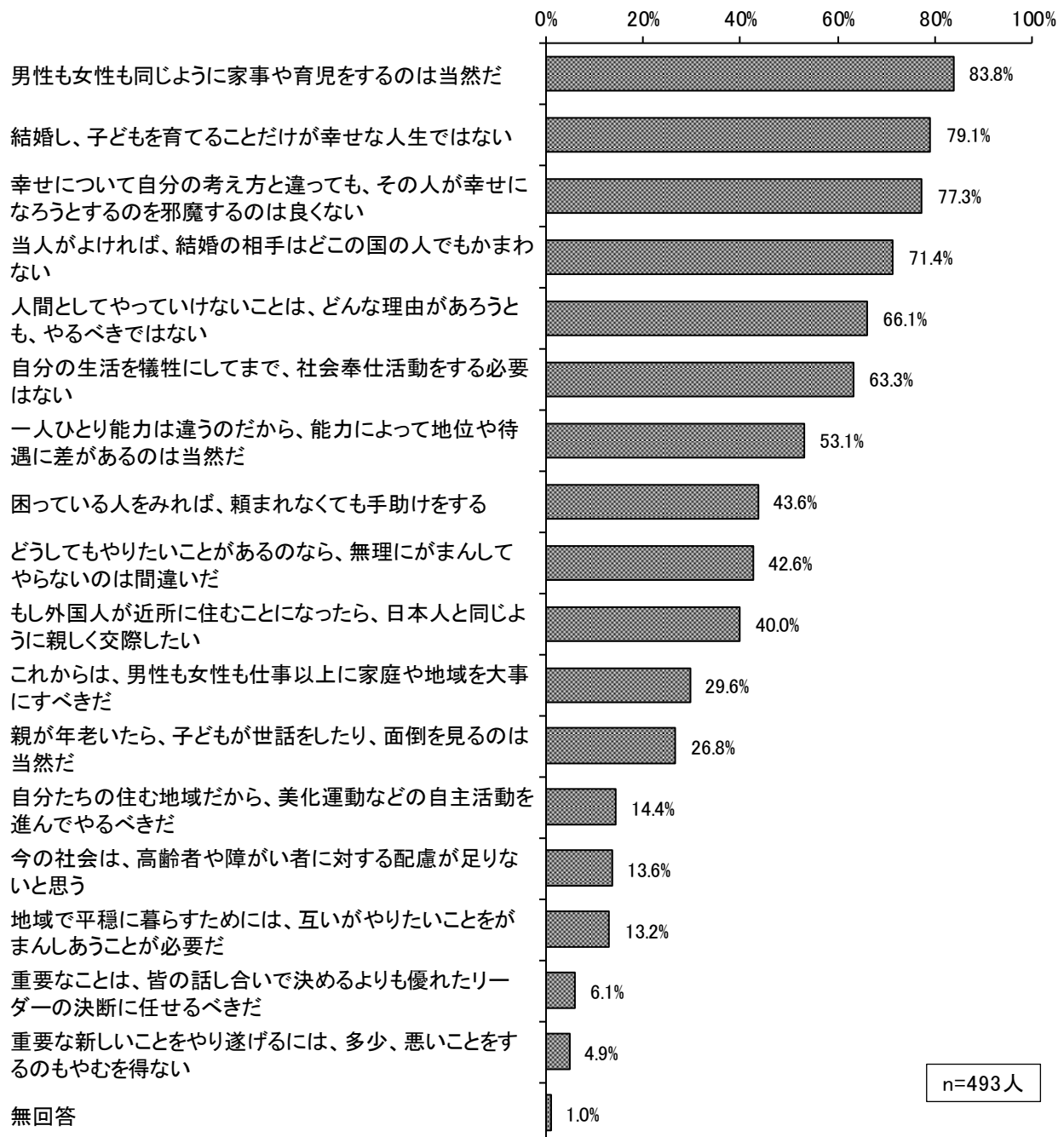


10 社会一般について

問 32 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。

あなたの考え方に近いものの番号すべてに○をつけてください。

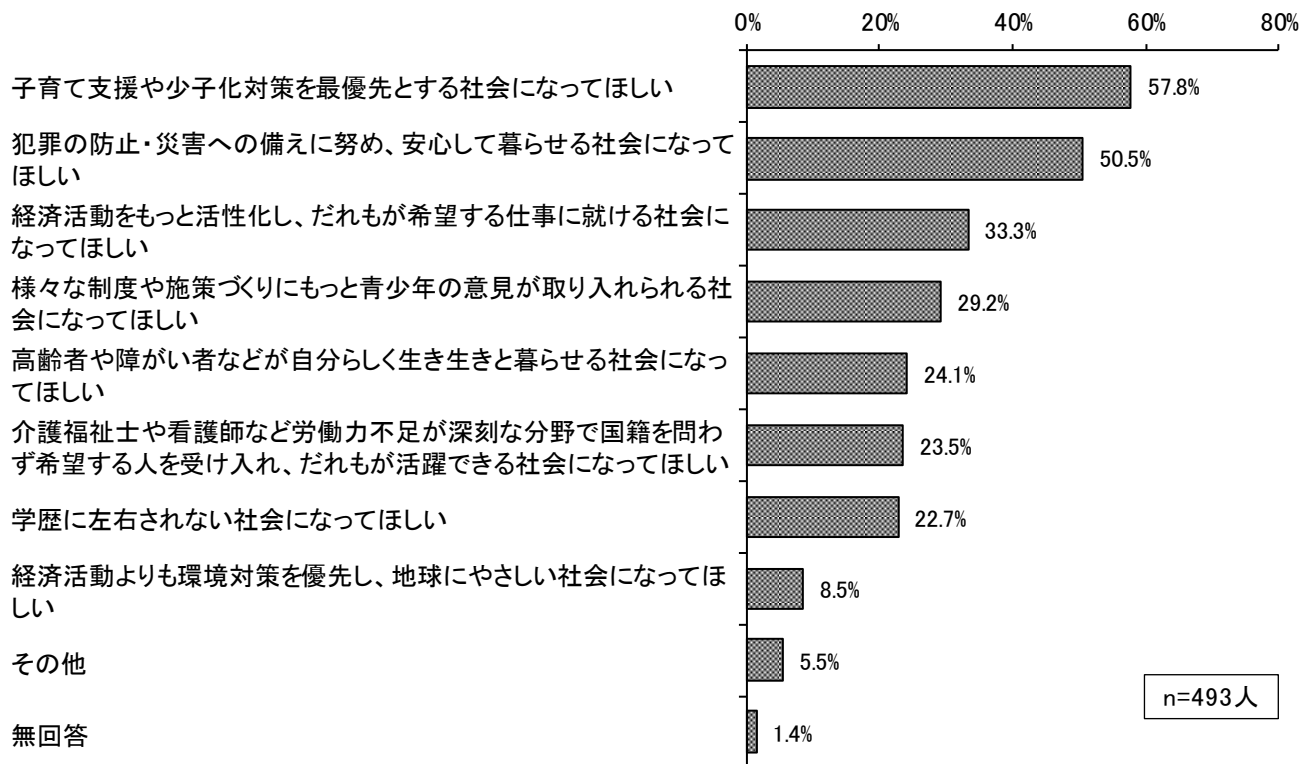
共感する考え方については、「男性も女性も同じように家事や育児をするのは当然だ」が 83.8%と最も高く、次いで「結婚し、子どもを育てることだけが幸せな人生ではない」が 79.1%、「幸せについて自分の考え方と違って、その人が幸せになろうとするのを邪魔するのは良くない」が 77.3%となっています。一方、「重要な新しいことをやり遂げるには、多少、悪いことをするのもやむを得ない」(4.9%)、「重要なことは、皆の話し合いで決めるよりも優れたリーダーの決断に任せるべきだ」(6.1%)は1割未満となっています。



問33 あなたは、今の社会がどのようなことを最も希望しますか。

当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

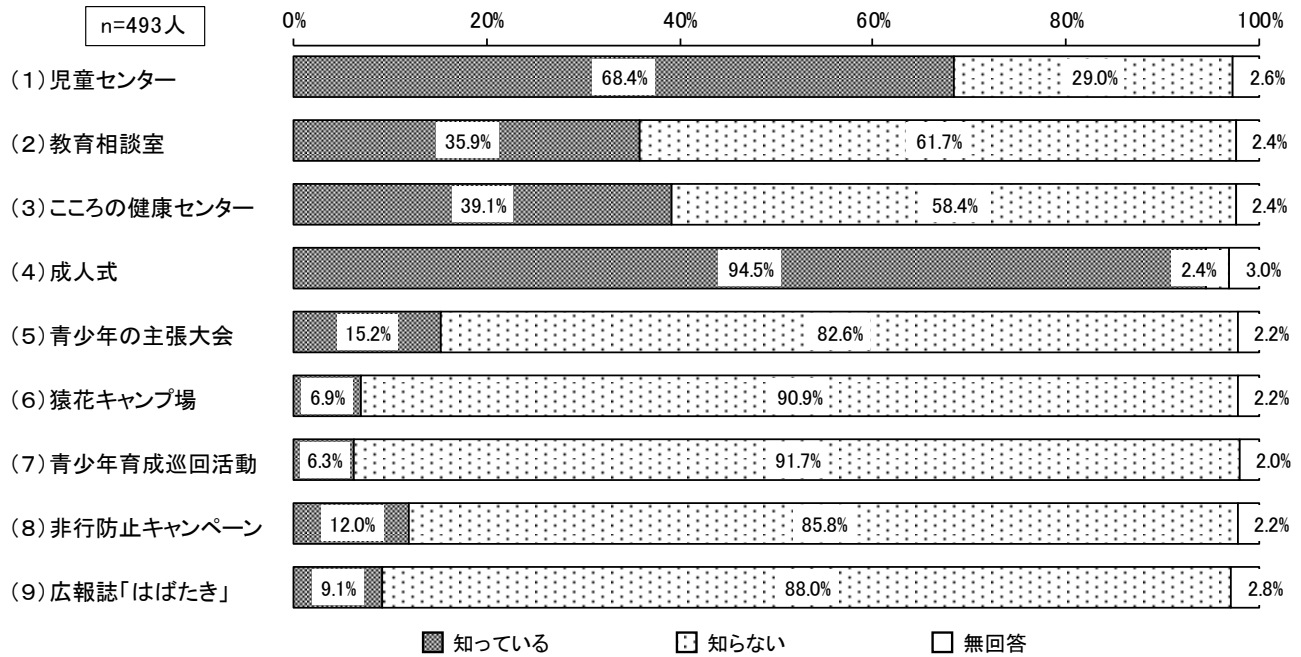
希望する社会のあり方については、「子育て支援や少子化対策を最優先とする社会になってほしい」が57.8%、「犯罪の防止・災害への備えに努め、安心して暮らせる社会になってほしい」が50.5%と特に高く、次いで「経済活動をもっと活性化し、だれもが希望する仕事に就ける社会になってほしい」が33.3%、「様々な制度や施策づくりにもっと青少年の意見が取り入れられる社会になってほしい」が29.2%となっています。



問 34 下記のサービス（施設）を知っていますか。また、これまでに利用（参加）したことはありますか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

■認知度

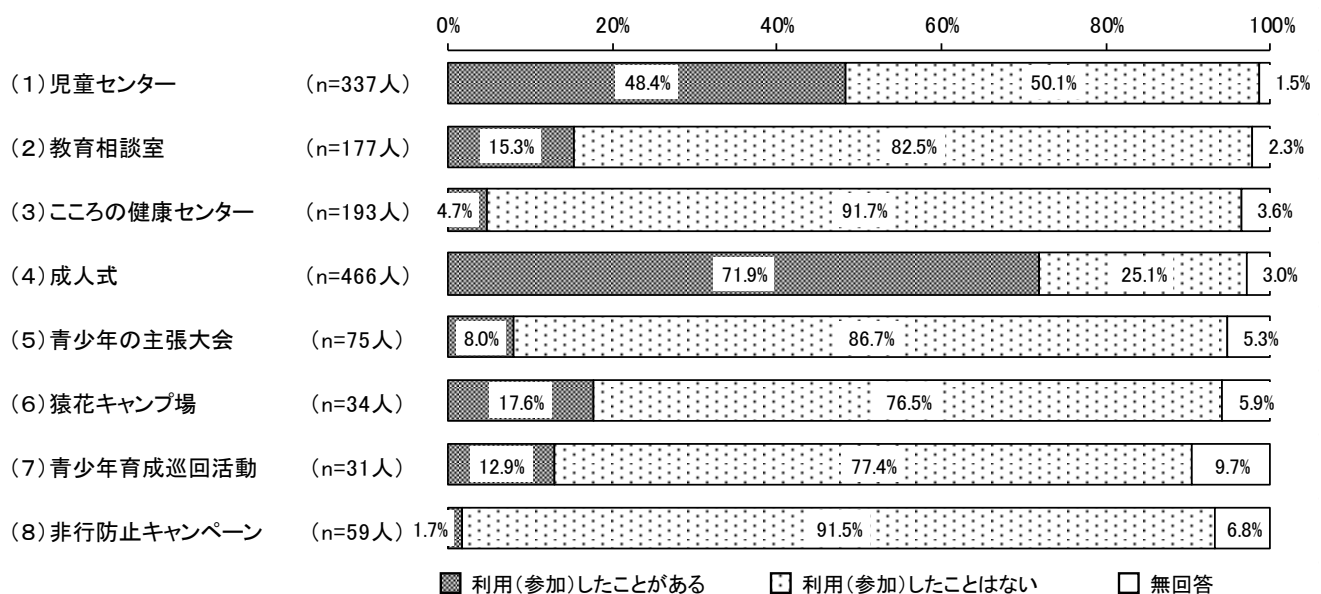
サービスや施設の認知度については、「(4) 成人式」が 94.5%と最も高く、次いで「(1) 児童センター」が 68.4%、「(3) こころの健康センター」が 39.1%、「(2) 教育相談室」が 35.9%となっています。



■利用（参加）状況

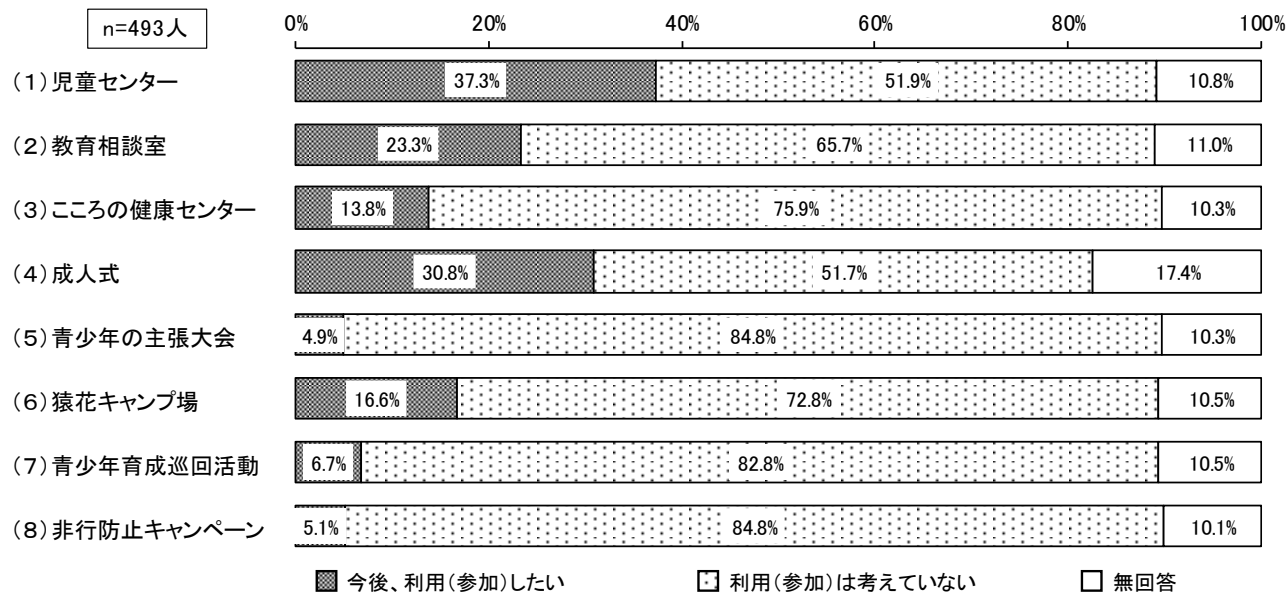
※認知度の設問において、「知っている」と答えた人を母数にしています。

サービスや施設の利用（参加）経験については、「(4) 成人式」が 71.9%と最も高く、次いで「(1) 児童センター」が 48.4%となっています。



■利用（参加）意向

サービスや施設の利用意向については、すべての項目で「利用（参加）は考えていない」が過半数となっています。一方、「今後、利用（参加）したい」は、「（1）児童センター」（37.3%）、「（4）成人式」（30.8%）が3割台となっています。



問 35 最後に、子ども・青少年に関する施策に関して、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

青年の回答者に、子ども・青少年に関する施策について意見を聞いたところ、139人から228件の回答が寄せられました。その内容をまとめた結果は以下のとおりです。

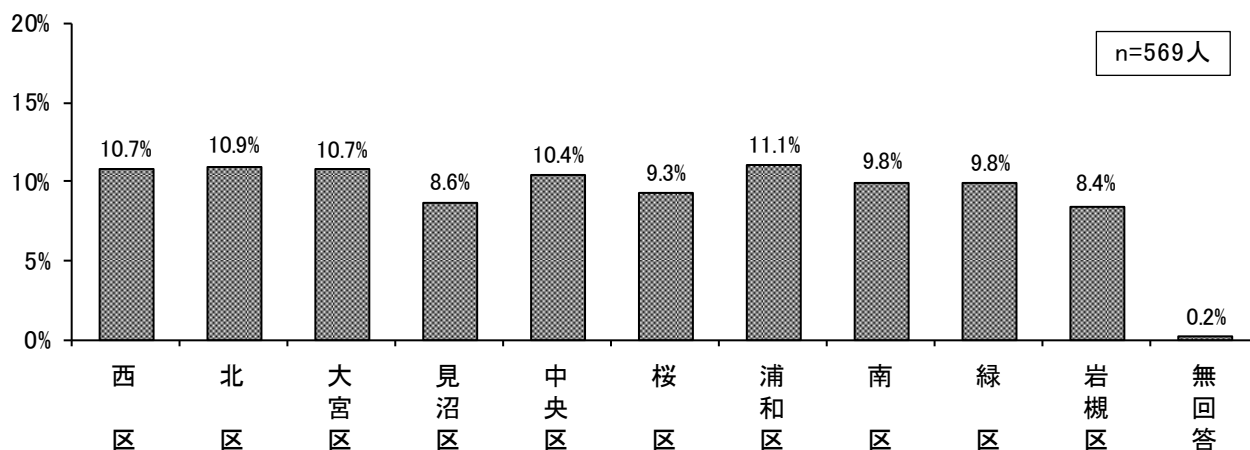
- 経済的支援（教育費、医療費、助成クーポン、受給手続きの簡素化など）…………… 42件
 - ・学校の授業で塾ありき、習い事ありきの対応をしているところもあるので、支援があるとよい。
 - ・子育ては、高校、大学からお金がかかるので、18～23歳の学費支援をお願いしたい。
 - ・子どもに対する税の控除をしてほしい。
- 学校・学童の充実（教育内容、施設の整備・増設など）…………… 30件
 - ・公立学校での教育の質を向上させてほしい。
 - ・学校教育にお金や職業にまつわる授業を取り入れるべき。
 - ・学校での勉学はもちろん文化的な経験を積める場をつくってほしい。
 - ・子どもがどうしたらやりたいことを見つけられるかを考えてほしい。
- 政策、施策（子育てしやすい環境、他市と同等なサービス、生活実態に即した施策など）… 27件
 - ・子どもを持ちたい人や、もっと産みたいと思っている人への助成や施策等を充実させてほしい。
 - ・若い世代では結婚、子育てに対してネガティブな意見が多い。
- 保育施設・保育サービスの充実
（保育園、一時預かり、病児保育、送迎サービス、円滑な手続きなど）…………… 20件
- 公共施設の整備（公園、球技可能、図書館、屋内遊戯場など）…………… 15件
- 施策・サービス内容の情報発信…………… 11件
 - ・SNSなど若い世代になじみの良い方法での情報発信を充実させた方がよい。
- 本調査について（インターネット調査、調査結果の活用、対象者選定への配慮など）…………… 10件
- 社会的な法規制の整備（産休・育休・病児休暇、取得のしやすさ）…………… 8件
- 教育、保育に関わる人員の確保、待遇改善…………… 7件
- 安心・安全なまちづくり（道路・歩道の整備、防犯対策など）…………… 6件
- 結婚支援・妊活への理解…………… 3件
- 医療体制の充実（小児医療、妊娠・出産・産後ケア体制の整備など）…………… 3件
- 相談窓口の充実（利便性の向上など）…………… 2件
 - ・相談窓口が複数あって、かえってどこに電話すれば良いかわからない。
- 地域コミュニティ、交流の場（イベント開催など）…………… 2件
- その他（意見、要望、感謝など）…………… 42件

5) 妊婦調査

1 回答者の属性、家族構成について

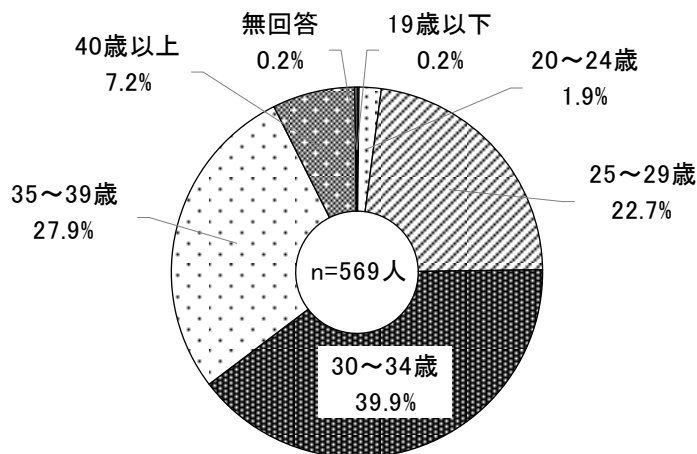
問1 あなたがお住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住地については、「浦和区」が11.1%と最も高く、次いで「北区」が10.9%、「西区」「大宮区」が10.7%となっています。



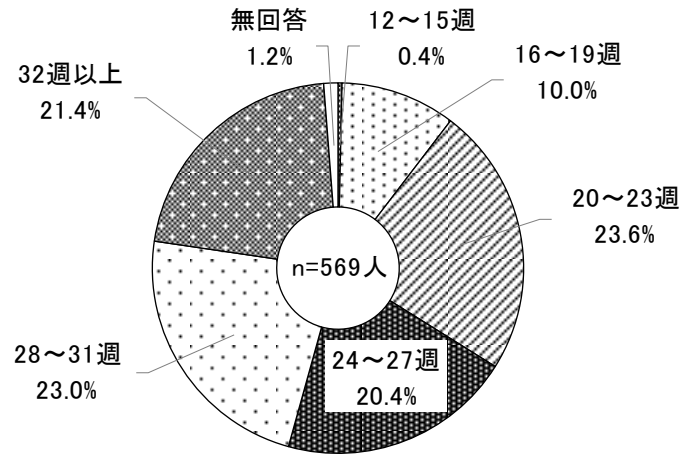
問2 あなたの年齢はおいくつですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

年齢については、「30～34歳」が39.9%と最も高く、次いで「35～39歳」が27.9%、「25～29歳」が22.7%となっています。



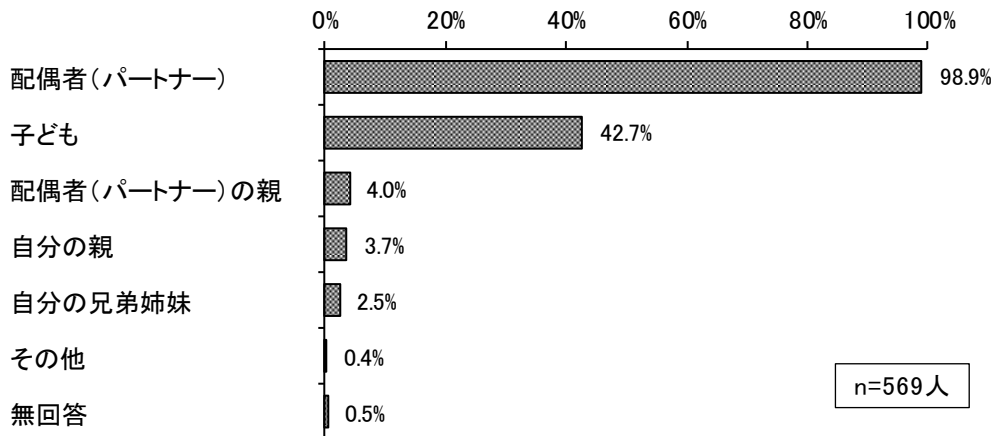
問3 現在の妊娠週数は何週ですか。() 内に数字でご記入ください。

現在の妊娠週数については、「20～23週」が23.6%と最も高く、次いで「28～31週」が23.0%、「32週以上」が21.4%となっています。



問4 家族構成についておたずねします。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

家族構成については、「配偶者（パートナー）」が98.9%と大半を占め、次いで「子ども」が42.7%となっています。



共通設問 問5 あなたにとって、理想の子どもの数は何人ですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→18 ページ 未就学児保護者調査 問7参照

共通設問 問6 あなたは実際に持つ予定の（持った）子どもの数は何人ですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→18 ページ 未就学児保護者調査 問8参照

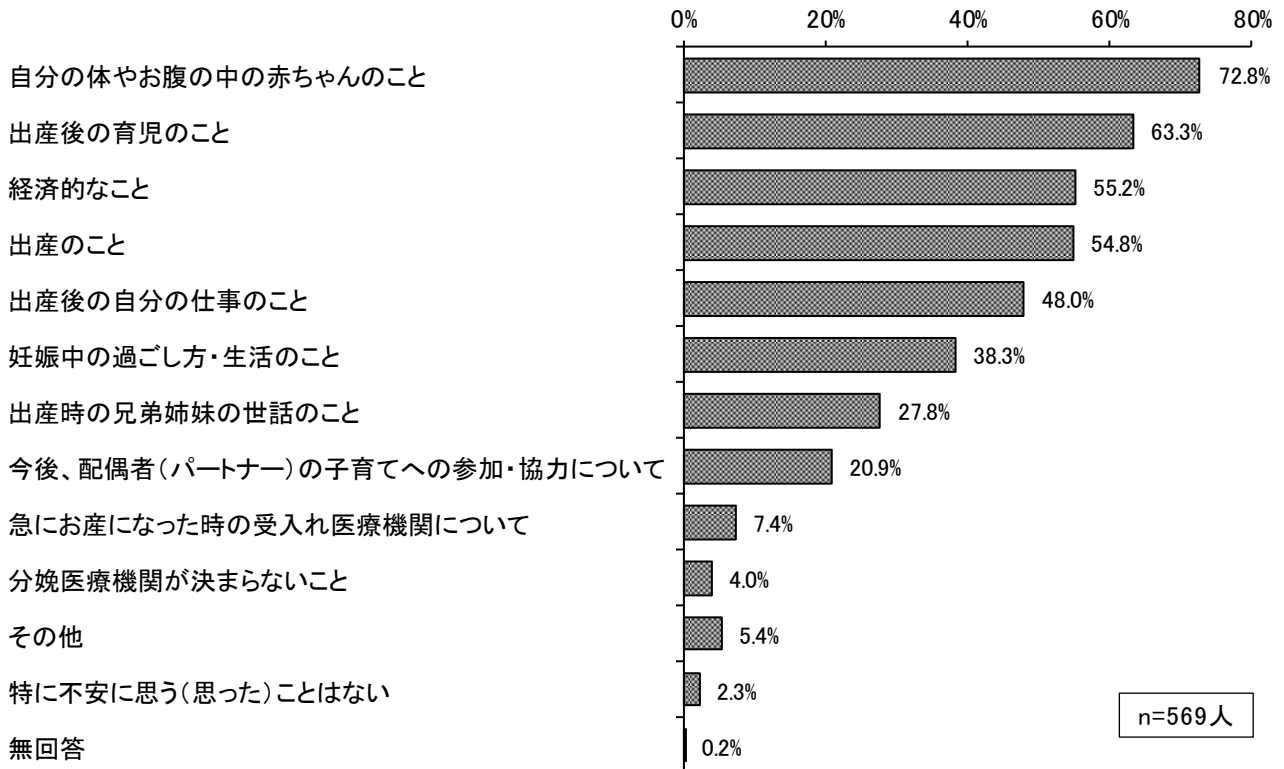
共通設問 問7 問5より問6で回答した人数が少ない方におたずねします。
人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

→19 ページ 未就学児保護者調査 問9参照

2 妊娠中の状況について

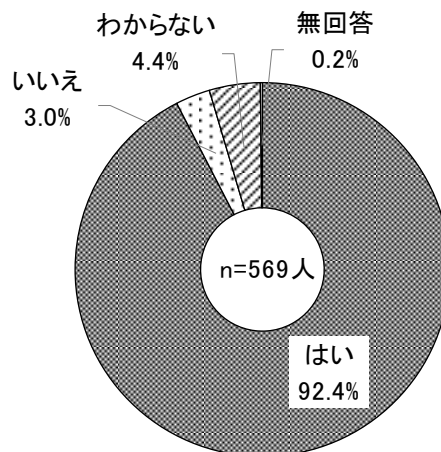
問8 妊娠中、不安に思う(思った)ことはありますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠中の不安については、「自分の体やお腹の中の赤ちゃんのこと」が72.8%と最も高く、次いで「出産後の育児のこと」が63.3%、「経済的なこと」が55.2%となっています。



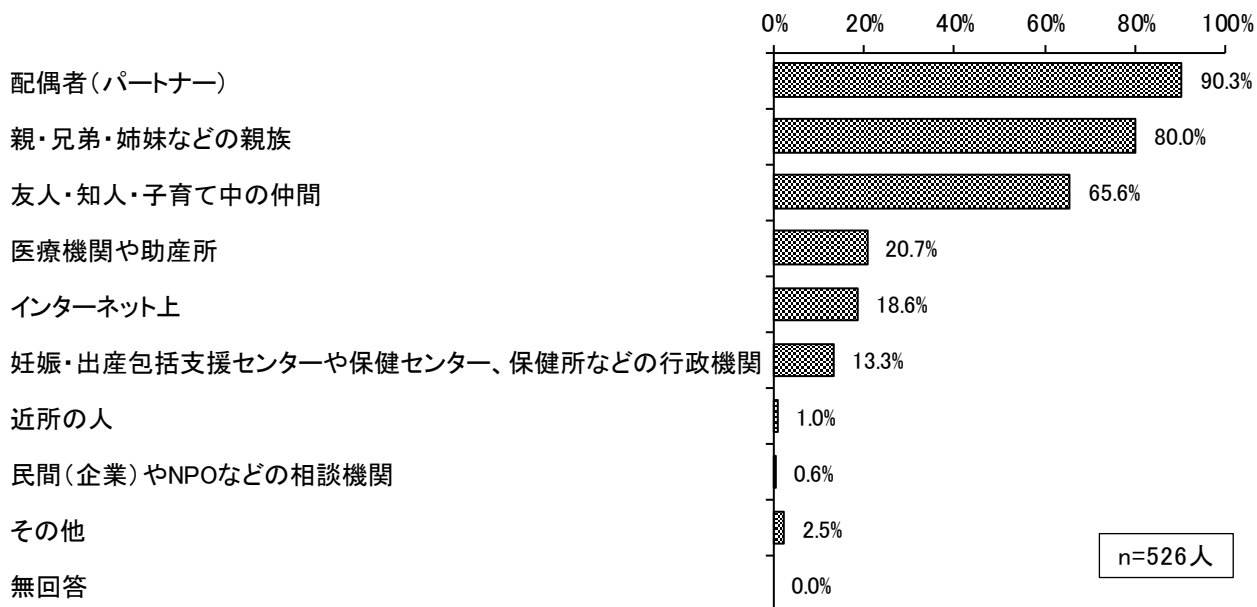
問9 妊娠や出産に関して、不安や悩みがあるとき相談するところがありますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

不安や悩みを相談するところがあるかについては、「はい」が92.4%となっています。



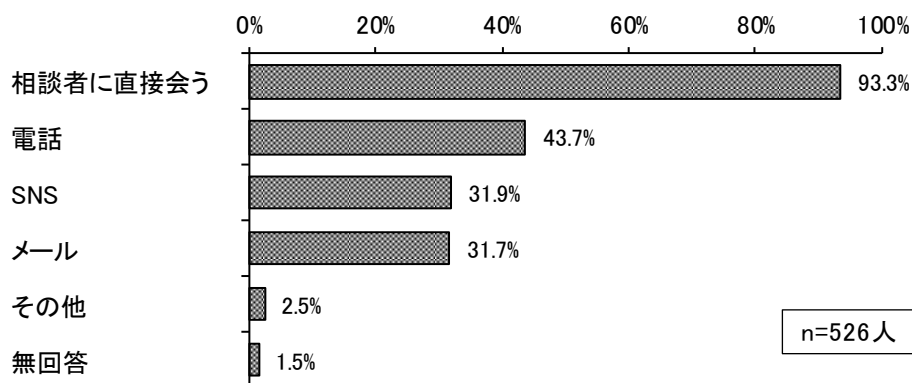
問9-1 問9で「1. はい」と回答した方におたずねします。
 妊娠や出産に関して、不安や悩みがあるとき、誰またはどこに相談します（しました）か。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不安や悩みの相談先については、「配偶者（パートナー）」が90.3%と最も高く、次いで「親・兄弟・姉妹などの親族」が80.0%、「友人・知人・子育て中の仲間」が65.6%となっています。



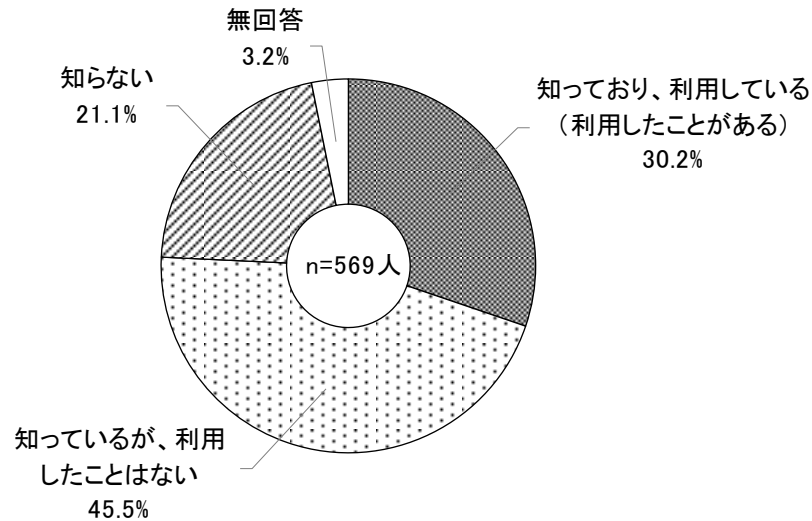
問9-2 どのような方法で相談します（しました）か。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

相談する方法については、「相談者に直接会う」が93.3%と突出して高く、次いで「電話」が43.7%、「SNS」が31.9%となっています。



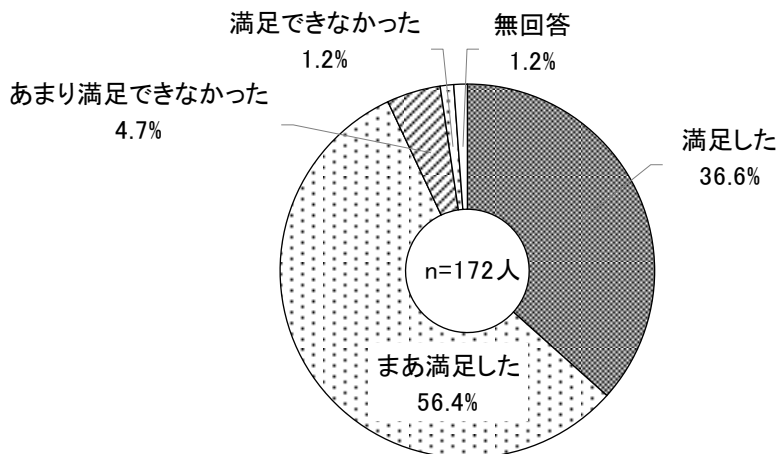
問 10 妊娠・出産包括支援センターをご存知ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊娠・出産包括支援センターの認知度については、「知っているが、利用したことはない」が45.5%と最も高く、次いで「知っており、利用している（利用したことがある）」が30.2%、「知らない」が21.1%となっています。「知っており、利用している（利用したことがある）」と「知っているが、利用したことはない」の合計は75.7%となっています。



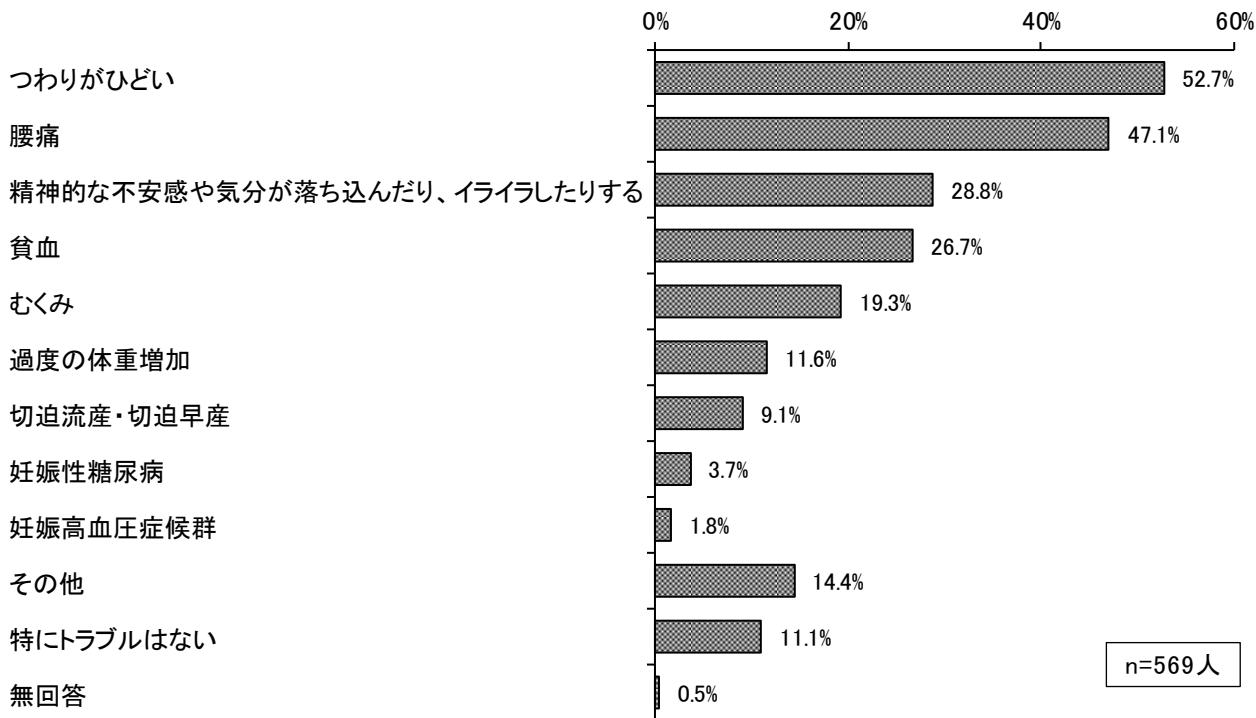
問 10-1 問 10 で「知っており、利用している（利用したことがある）」と回答した方におたずねします。妊娠・出産包括支援センターを利用して、どのように感じましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊娠・出産包括支援センターの利用満足度については、「まあ満足した」が56.4%と最も高く、「満足した」(36.6%)との合計は93.0%と、大半を占めています。



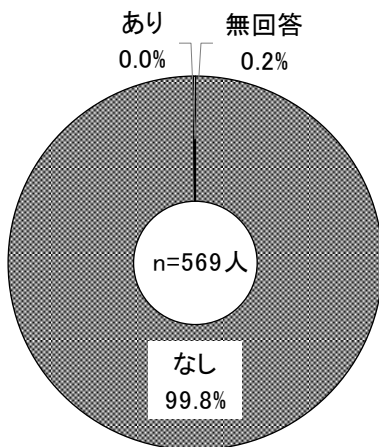
問11 今回の妊娠中で、これまでどのようなトラブルがありましたか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠中のトラブルについては、「つわりがひどい」が52.7%と最も高く、次いで「腰痛」が47.1%、「精神的な不安感や気分が落ち込んだり、イライラしたりする」が28.8%となっています。



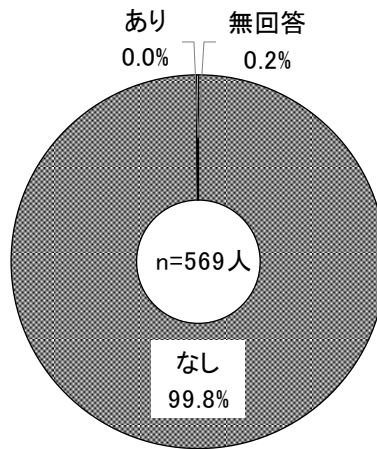
問12 あなたは、現在、喫煙をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

喫煙をしているかについては、「なし」が99.8%となっています。



問13 あなたは、現在、飲酒をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

飲酒をしているかについては、「なし」が99.8%となっています。



問13-1 問13で「2. あり」と回答した方におたずねします。

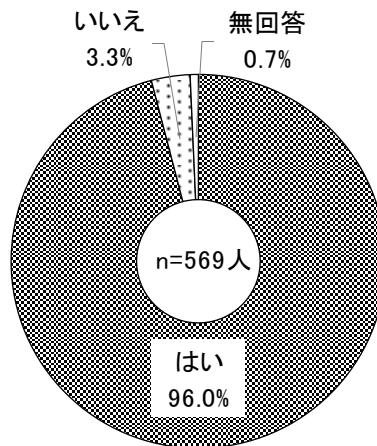
どのくらいお酒を飲みますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

飲酒の頻度については、今年度調査において該当者なしとなっています。

問14 あなたは、今回の妊娠で妊婦健康診査を受ける予定ですか、または、すでに受けていますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

妊婦健康診査の受診（予定）については、「はい」が96.0%となっています。



問 14-1 問 14 で「2. いいえ」と回答した方におたずねします。
理由をお聞かせください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

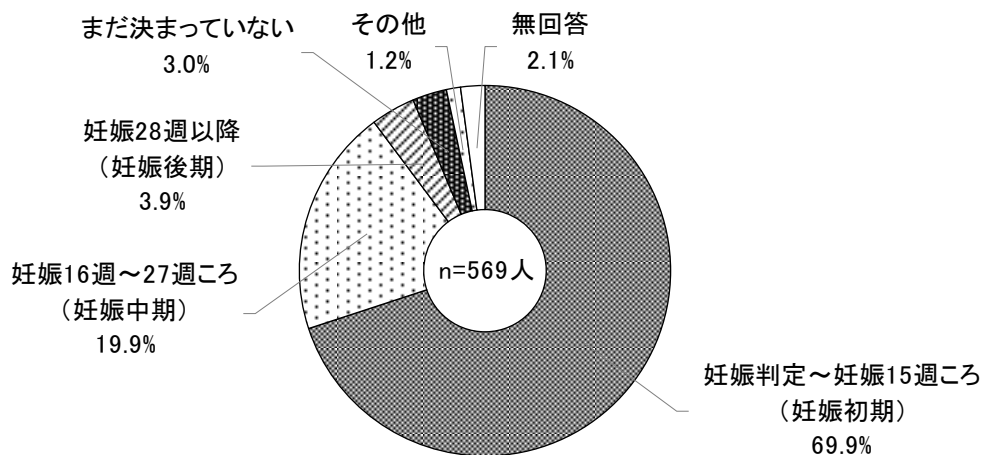
妊婦健康診査を受けない理由としては、以下の通りとなっています。

項目	件数	構成比
必要性を感じない	6	31.6%
時間がない、忙しい	5	26.3%
健診費用の支払いに不安がある	2	10.5%
妊娠週数がまだ早い	0	0.0%
その他	7	36.8%
無回答	0	0.0%

n=19人

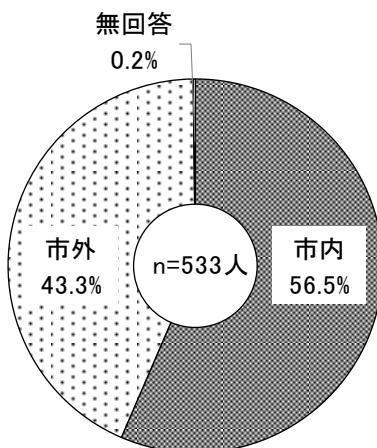
問 15 分娩予約はいつ頃されましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

分娩予約の時期については、「妊娠判定～妊娠15週ころ（妊娠初期）」が69.9%となっています。



問 15-1 問 15 で「1」～「3」と回答した方におたずねします。
分娩予約施設は市内ですか。市外ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

分娩予約施設の場所（市内／市外別）については、「市内」が56.5%、「市外」が43.3%となっています。



問 15-2 問 15-1 で「2. 市外」と回答した方におたずねします。

市外にしたのはなぜですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

市外の分娩予約施設を選んだ理由については、「市外でも近い病院だから」が 39.8%と最も高く、次いで「里帰り出産のため」が 30.7%となっています。

n=231人

項目	件数	構成比
市外でも近い病院だから	92	39.8%
里帰り出産のため	71	30.7%
以前から通っていたから	33	14.3%
近くに産院がない・分娩予約が取れない	17	7.4%
その他	75	32.5%
無回答	0	0.0%

問 16 母親学級や父親学級（両親学級）などの、出産前教室に参加する予定ですか。または、すでに参加していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

出産前教室への参加について、初産婦の人は「さいたま市で行う教室に参加予定（している）」が 49.1%と最も高く、次いで「分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定（している）」が 40.4%となっています。

経産婦の人は「初産の時に参加済なので参加しない」が 42.4%と最も高く、次いで「今まで参加したことはないが、今回も参加しない」が 25.3%となっています。

■初産婦の方

n=322人

項目	件数	構成比
分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定（している）	130	40.4%
さいたま市で行う教室に参加予定（している）	158	49.1%
まだ決めていないが参加したいと思っている	63	19.6%
参加しない	31	9.6%
その他	23	7.1%

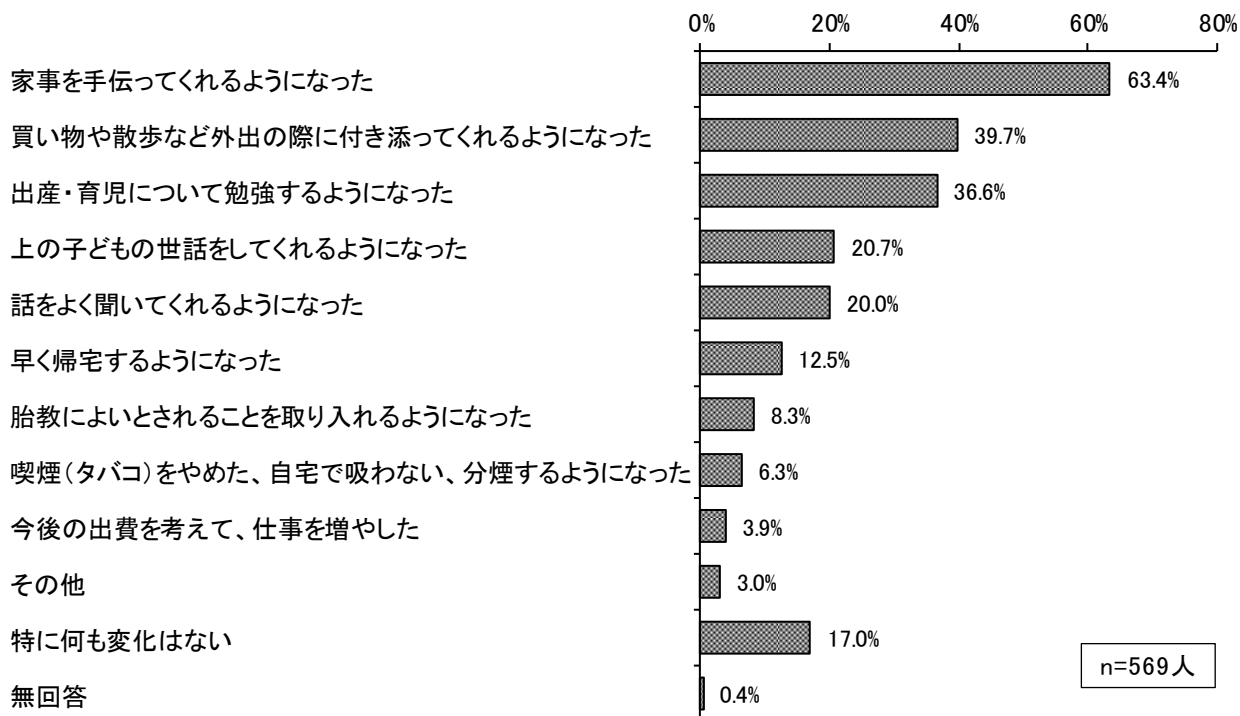
■経産婦の方

n=245人

項目	件数	構成比
初産の時に参加済なので参加しない	104	42.4%
分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定（している）	58	23.7%
まだ決めていないが参加したいと思っている	23	9.4%
今まで参加したことはないが、今回も参加しない	62	25.3%
その他	7	2.9%

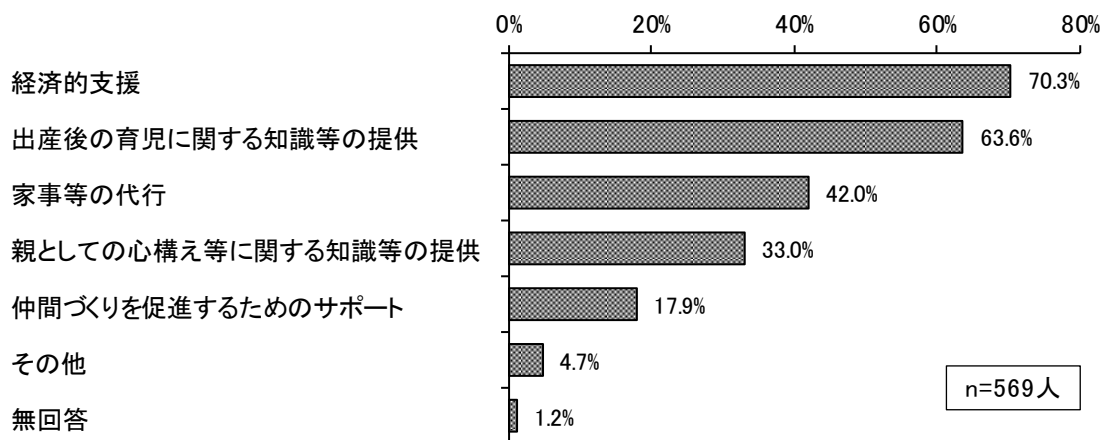
問17 あなたが妊娠したことで、家族（主に配偶者・パートナー）の対応に変化はありましたか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠による家族の対応の変化については、「家事を手伝ってくれるようになった」が63.4%と最も高く、次いで「買い物や散歩など外出の際に付き添ってくれるようになった」が39.7%、「出産・育児について勉強するようになった」が36.6%となっています。



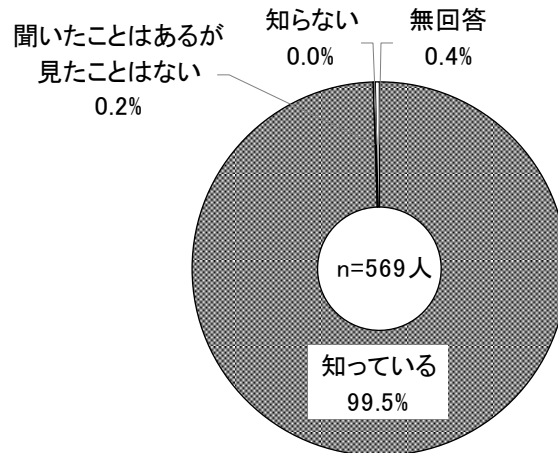
問18 妊娠期間中はどのようなサポートが必要だと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

妊娠期間中に必要なサポートについては、「経済的支援」が70.3%と最も高く、次いで「出産後の育児に関する知識等の提供」が63.6%、「家事等の代行」が42.0%となっています。



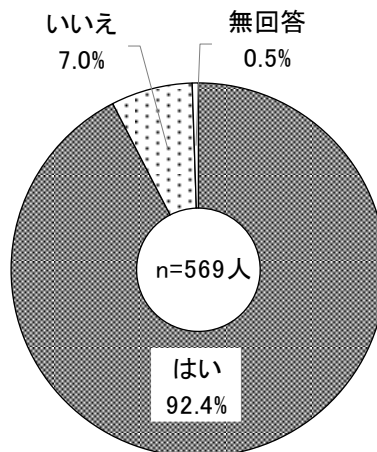
問19 マタニティ・マークをご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

マタニティ・マークの認知度については、「知っている」が99.5%となっています。



問20 マタニティ・マークを使用したいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

マタニティ・マークの使用意向については、「はい」が92.4%となっています。



問20-1 問20で「2. いいえ」と回答した方におたずねします。

使用したくない理由をお聞かせください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

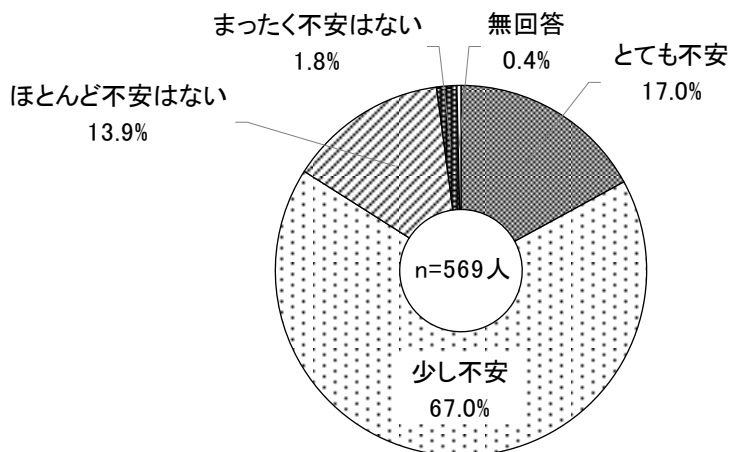
マタニティ・マークを使用したくない理由としては、以下の通りとなっています。

n=40人		
項目	件数	構成比
周囲に気を使われたくないから	19	47.5%
必要性を感じない	4	10.0%
邪魔だから	0	0.0%
その他	17	42.5%

3 出産後の状況について

問21 出産後について不安に思うことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

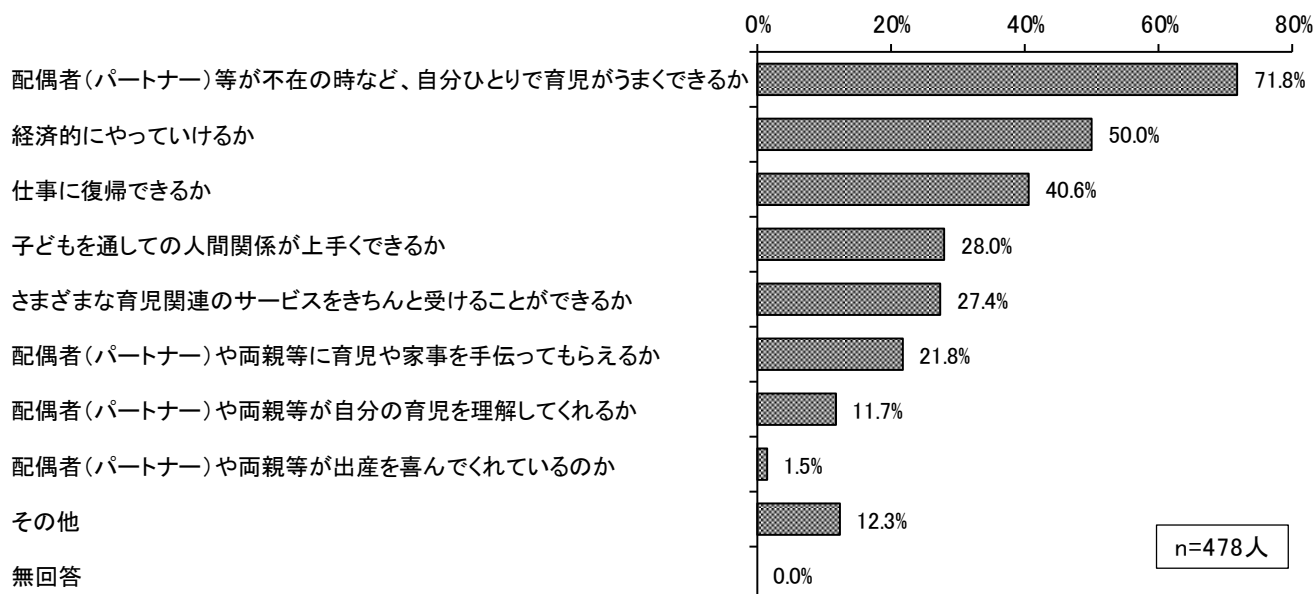
出産後については、「少し不安」が67.0%と最も高く、「とても不安」(17.0%)との合計は84.0%となっています。



問21-1 問21で「1. とても不安」「2. 少し不安」と回答した方におたずねします。

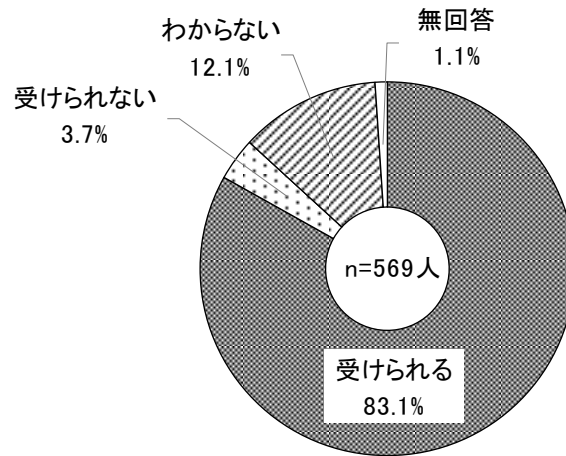
不安に思うのはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

不安に思うことについては、「配偶者(パートナー)等が不在の時など、自分ひとりで育児がうまくできるか」が71.8%と最も高く、次いで「経済的にやっていけるか」が50.0%、「仕事に復帰できるか」が40.6%となっています。



問 22 出産後、家事や育児などの支援は受けられますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

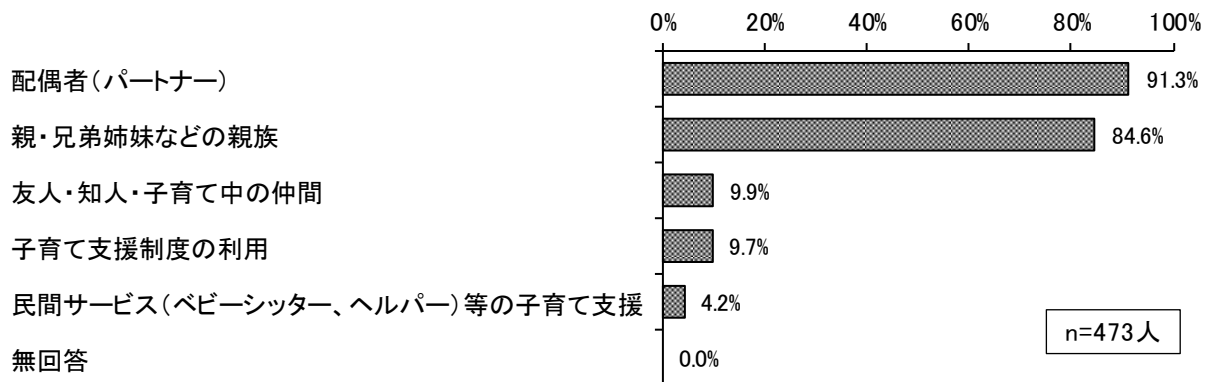
家事や育児などの支援については、「受けられる」が83.1%となっています。



問 22-1 問 22 で「1. 受けられる」と回答した方におたずねします。

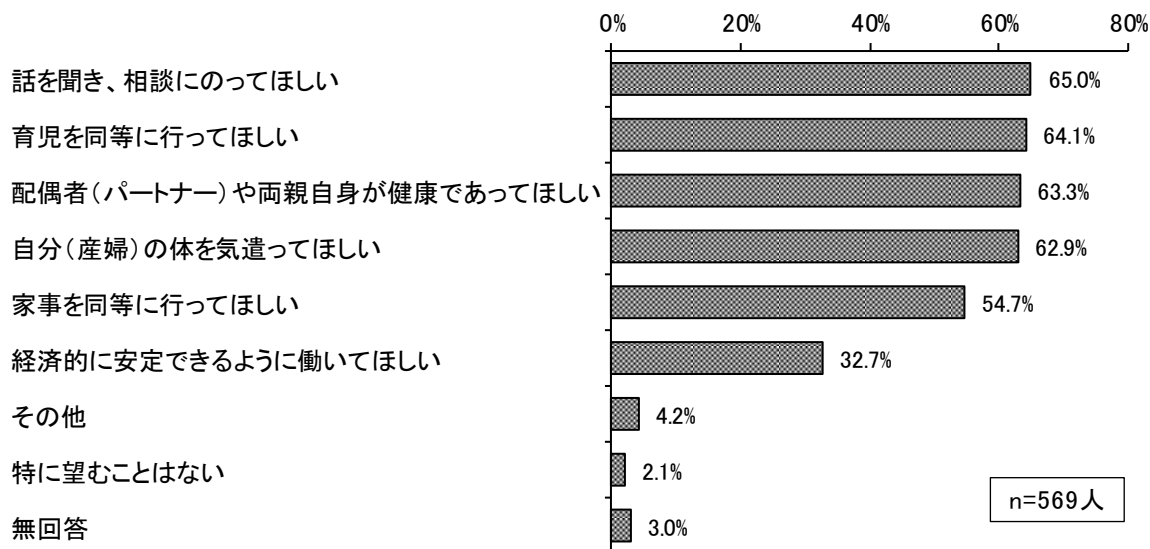
主に支援してくれる方、または利用するサービスに当てはまる番号すべてに○をつけてください。

支援してくれる人やサービスについては、「配偶者（パートナー）」が91.3%、「親・兄弟姉妹などの親族」が84.6%と高くなっています。一方、それ以外は1割未満となっています。



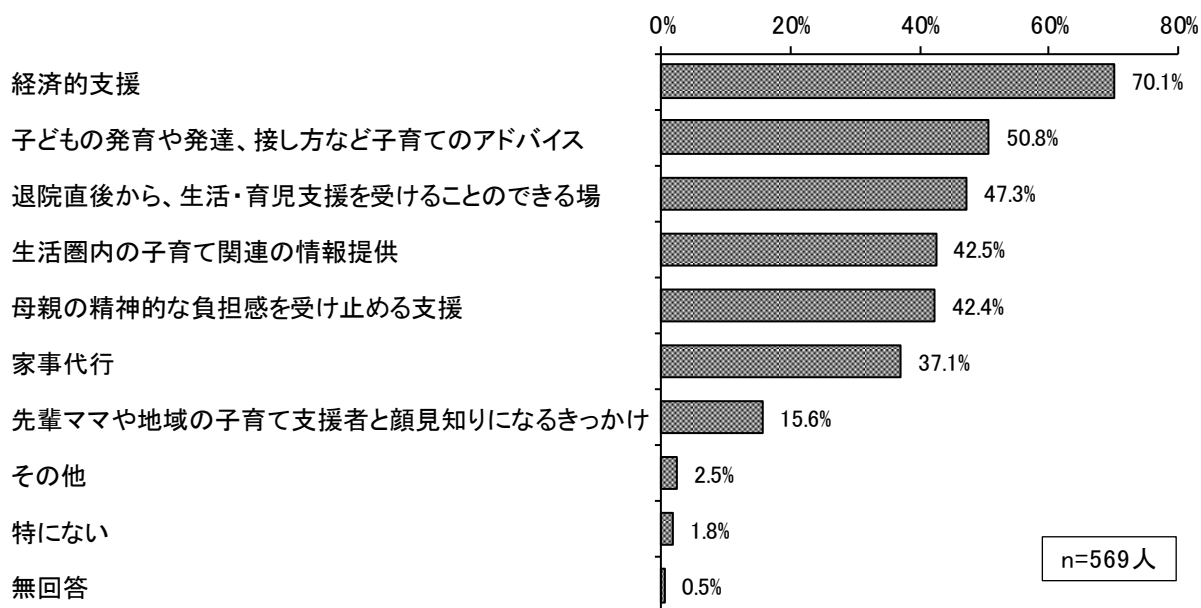
問 23 出産後、配偶者（パートナー）や両親等に望むものは何ですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

配偶者や両親等に望むものについては、「話を聞き、相談にのってほしい」が 65.0%と最も高く、次いで「育児を同等に行ってほしい」が 64.1%、「配偶者（パートナー）や両親自身が健康であってほしい」が 63.3%、「自分（産婦）の体を気遣ってほしい」が 62.9%となっています。



問 24 出産後、家族以外からのどのようなサポートが必要だと思いますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

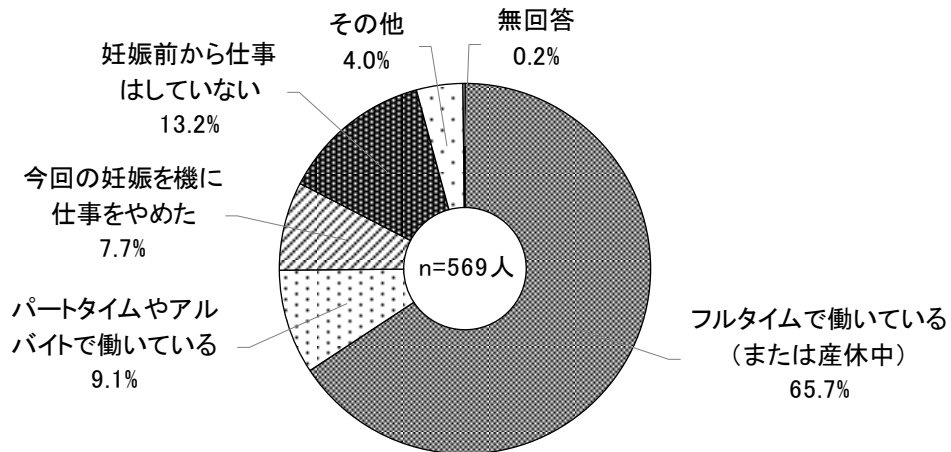
家族以外からのサポートについては、「経済的支援」が 70.1%と最も高く、次いで「子どもの発育や発達、接し方など子育てのアドバイス」が 50.8%、「退院直後から、生活・育児支援を受けることのできる場」が 47.3%となっています。



4 就労について

問 25 あなたは、現在、働いていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

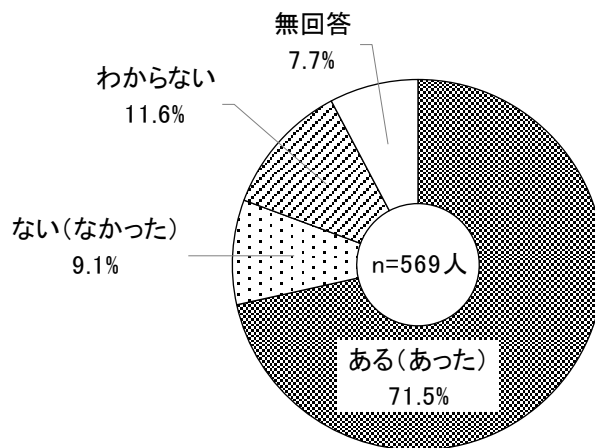
就労については、「フルタイムで働いている（または産休中）」が 65.7%と最も高く、次いで「妊娠前から仕事はしていない」が 13.2%となっています。



問 26 妊娠中、安心して仕事ができるよう職場の配慮はあります（した）か。

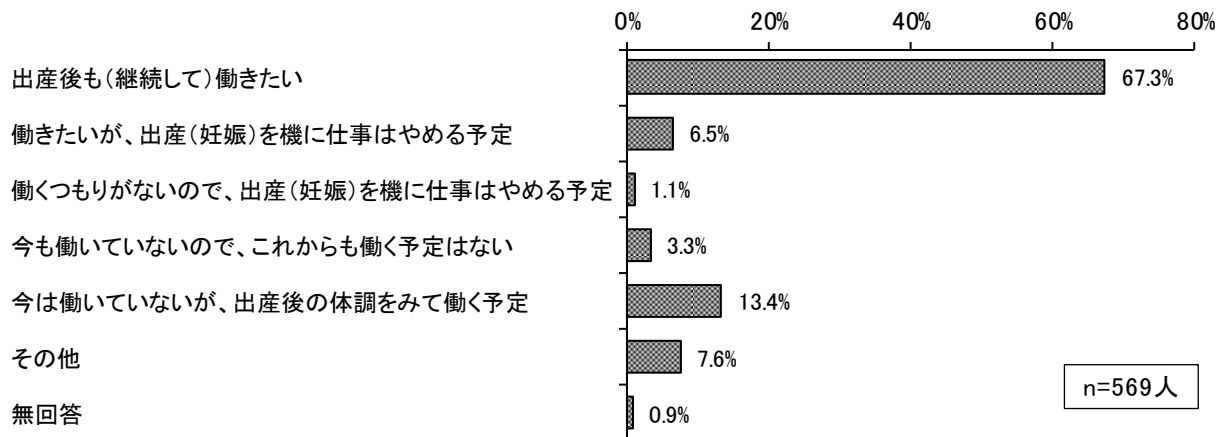
当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

妊娠中の職場からの配慮については、「ある（あった）」が 71.5%、「ない（なかった）」が 9.1%となっています。



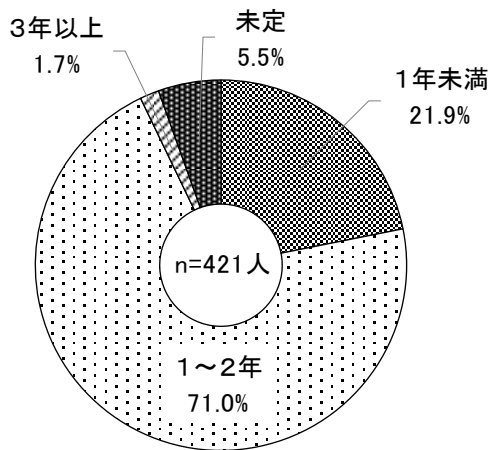
問27 あなたは、出産後も働き続けたい、または、働き始めたいと思いますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

出産後の就労については、「出産後も（継続して）働きたい」が67.3%と突出して高く、次いで「今は働いていないが、出産後の体調をみて働く予定」が13.4%となっています。



問28 育児休業を利用する方におたずねします。取得期間はどのくらいを予定していますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

育児休業の取得予定については、「1～2年」が71.0%と突出して高く、次いで「1年未満」が21.9%となっています。

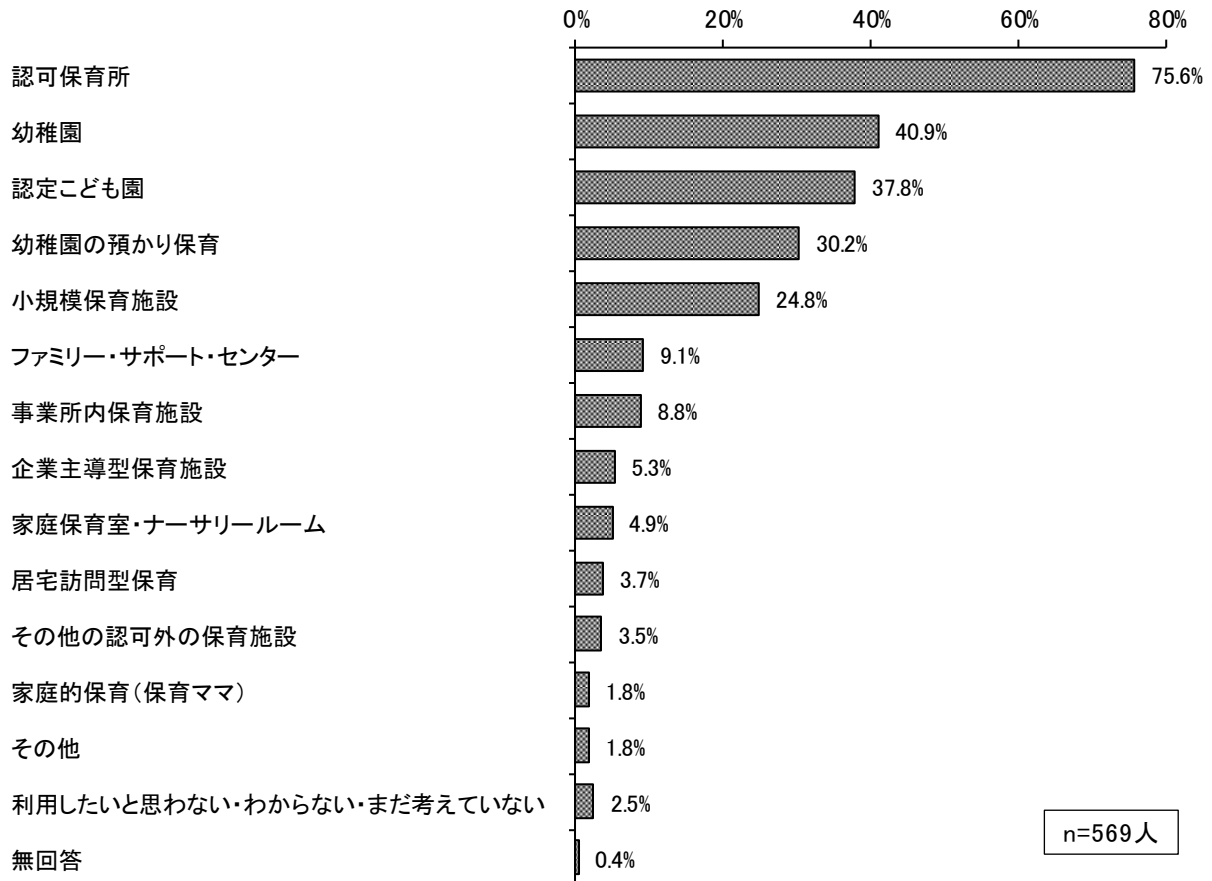


5 定期的な教育・保育の利用希望について

※ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用している幼稚園や保育所などを指します。

問 29 出産後、幼稚園や保育園などを定期的に利用したいと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

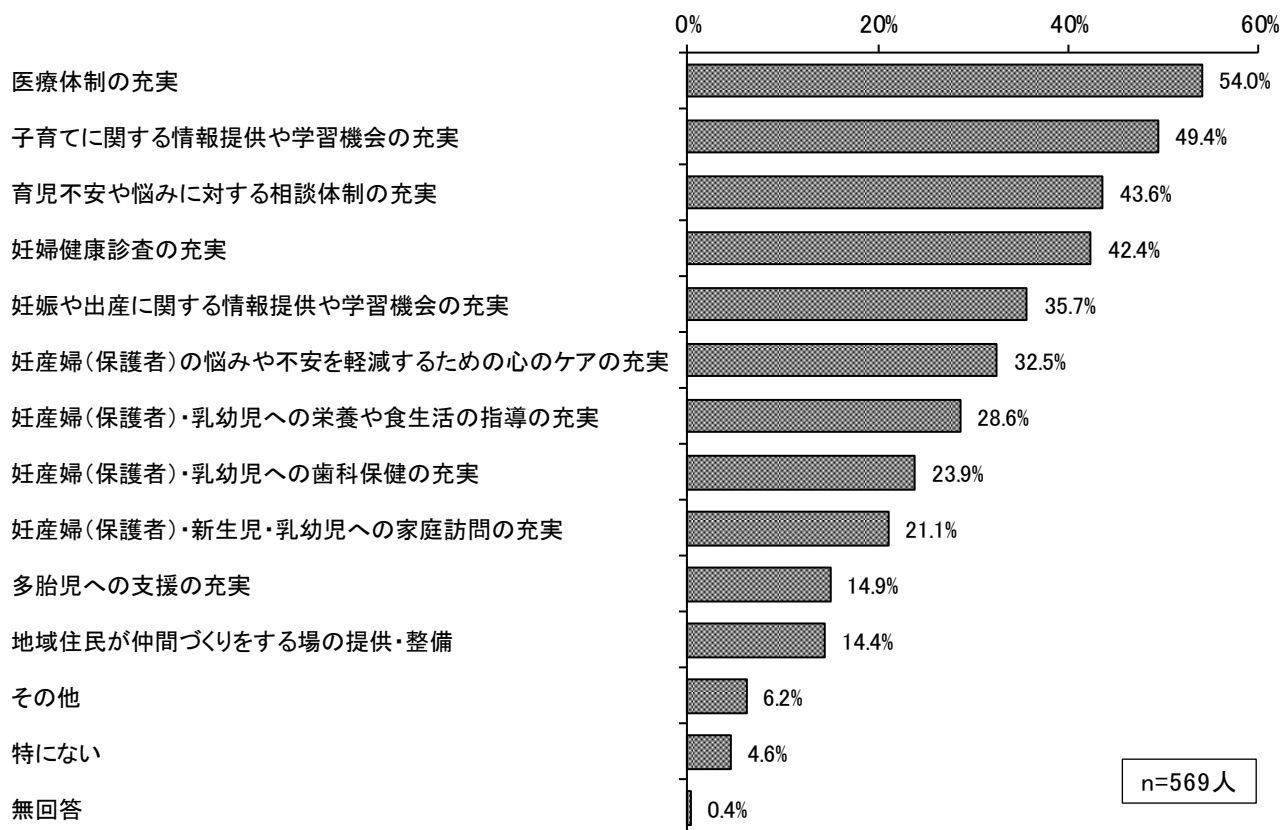
定期的な教育・保育の利用意向については、「認可保育所」が75.6%と突出して高く、次いで「幼稚園」が40.9%、「認定こども園」が37.8%、「幼稚園の預かり保育」が30.2%となっています。



6 母子保健サービスや地域での取組みについて

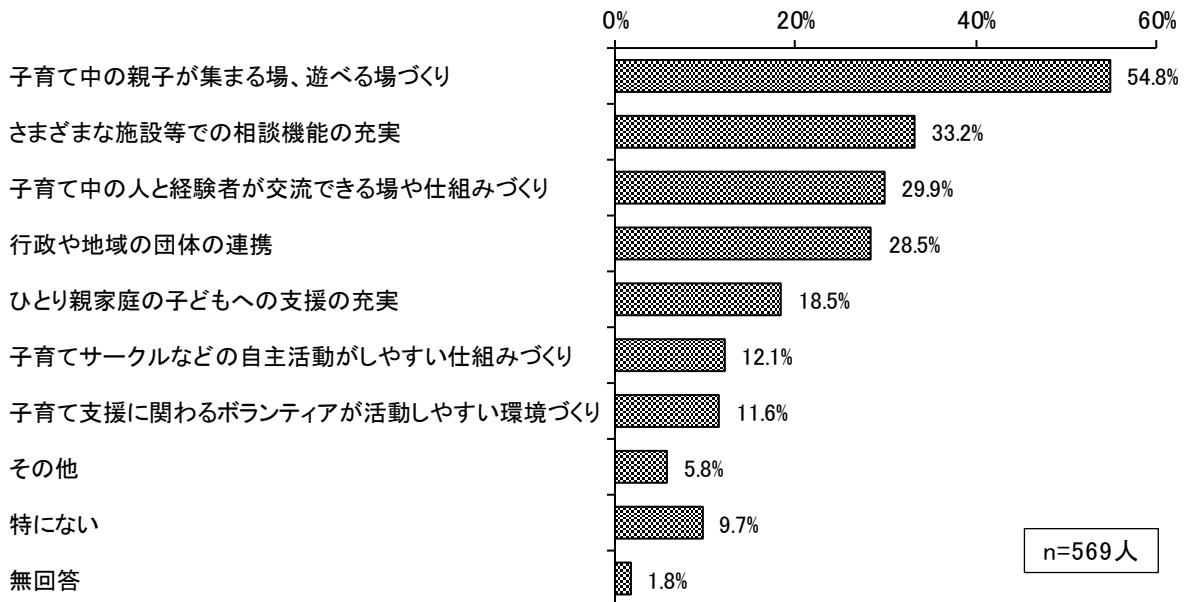
問30 どのような母子保健サービスが行政や民間等であると良いと思いますか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

希望する母子保健サービスについては、「医療体制の充実」が54.0%と最も高く、次いで「子育てに関する情報提供や学習機会の充実」が49.4%、「育児不安や悩みに対する相談体制の充実」が43.6%、「妊婦健康診査の充実」が42.4%となっています。



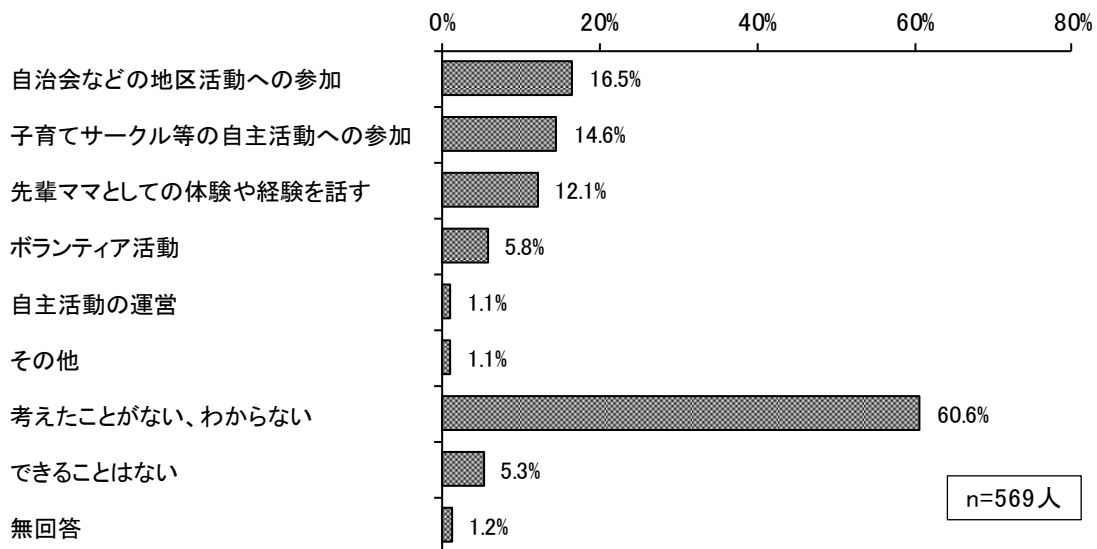
問 31 安心・安全に子育てをするためには、地域でどのような取組みが必要だと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

地域に必要な取組みについては、「子育て中の親子が集まる場、遊べる場づくり」が 54.8%と最も高く、次いで「さまざまな施設等での相談機能の充実」が 33.2%、「子育て中の人と経験者が交流できる場や仕組みづくり」が 29.9%となっています。



問 32 あなたが今後、地域の中でできることはありますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

地域の中でできることについては、「自治会などの地区活動への参加」(16.5%)、「子育てサークル等の自主活動への参加」(14.6%)、「先輩ママとしての体験や経験を話す」(12.1%)が1割台となっています。一方、「考えたことがない、わからない」は60.6%と高くなっています。



共通設問

問 33 乳児揺さぶられ症候群とは、赤ちゃんがどうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きることです。あなたは乳児揺さぶられ症候群を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

→52 ページ 未就学児保護者調査 問 27 参照

問 34 母子保健施策や子ども・子育てのための施策について、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

妊婦の回答者に、母子保健施策や子ども・子育てのための施策について意見を聞いたところ、253 人から 460 件の回答が寄せられました。その内容をまとめた結果は以下のとおりです。

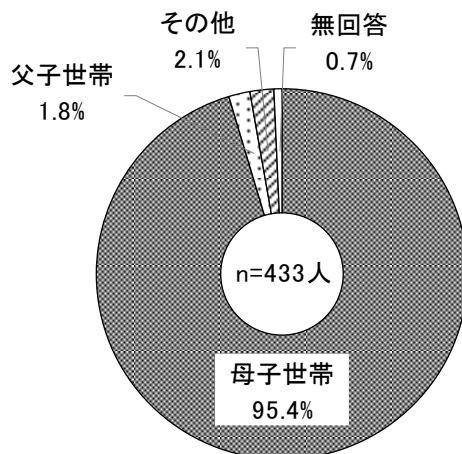
- 経済的支援（妊婦健診の助成券、出産費用、育児用品、教育費、子ども手当など）…………… 104 件
 - ・住宅購入や教育資金に対してなど、ライフイベントにあわせた助成金の支給などが望ましい。
- 保育施設・保育サービスの充実（保育園、一時預かり、各種サポートなど）…………… 54 件
 - ・保育園に入園できるかが不安なので、希望の園に入園できる環境があるとよい。
 - ・リフレッシュで使える一時預かりの時間がもう少し長いとよい。
- 医療体制の充実（妊娠・出産・小児医療及び産後ケア体制の整備、不妊治療など）…………… 45 件
 - ・産後ケア施設（宿泊型）を増やしてほしい。
- 政策、施策（子育て支援の充実、他市と同等なサービス、少子化対策など）…………… 40 件
 - ・長い目でみた包括的な支援が必要、他自治体の取組を積極的に取り入れてほしい。
 - ・共働き世帯の増加に伴い、現在世帯のトレンド等を反映した施策を検討してほしい。
 - ・他人を家にあげることがストレスなので、訪問ではなく自宅外で面談をできるようにしてほしい。
- 公共施設の整備（公園、児童館、子育て支援センターなど）…………… 30 件
- 施策・サービス内容の情報提供・発信…………… 29 件
 - ・働く妊婦は、行政サービスについて調べる時間がないので、専用のアプリがあるとよい。
- 両親学級など妊娠・出産・育児教室（開催日数・受付人数の拡大、内容の充実など）…………… 19 件
 - ・母親・父親学級は経産婦とそのパートナーも受けられるようにしてほしい。
- 相談窓口の充実（インターネット対応、適切な対応力、利便性など）…………… 17 件
 - ・オンラインやチャットなどで気軽に簡単に相談できる仕組みがあるとよい。
- 学校・学童の充実（教育内容、受入体制など）…………… 15 件
- 法規制の整備（産休・育休・つわり休暇、取得のしやすさ、給付金、職場の配慮など）…………… 13 件
- 地域コミュニティ、交流の場（イベント開催、子育て世代の交流イベント、土日開催など）…………… 12 件
- 環境整備（優先席などマタニティ・マークへの配慮・理解、受動喫煙対策など）…………… 11 件
- 妊娠・出産に関する届出（母子手帳、オンライン申請、柔軟な対応、説明内容など）…………… 10 件
- 本調査について（インターネット調査、調査結果の活用、調査対象の選定など）…………… 8 件
- 教育、保育に関わる人員の確保、待遇改善…………… 7 件
- 安心・安全なまちづくり（道路・歩道の整備、支援センターへのアクセスのしやすさなど）…………… 5 件
- その他（意見・要望、感想、感謝など）…………… 41 件

6) ひとり親調査

1 回答者の属性、家族構成、就業状況などについて

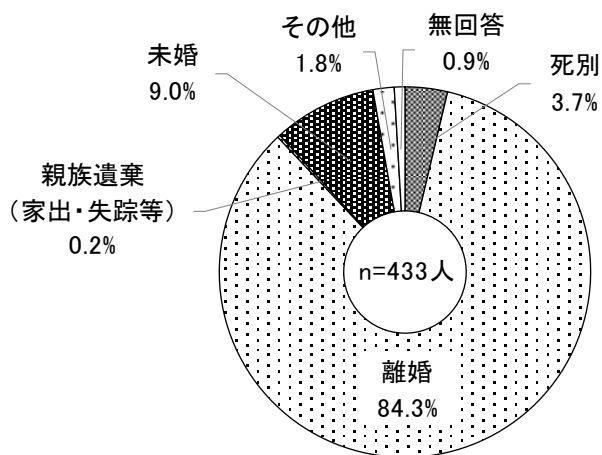
問1 あなたの世帯はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

世帯状況については、「母子世帯」が95.4%、「父子世帯」が1.8%となっています。



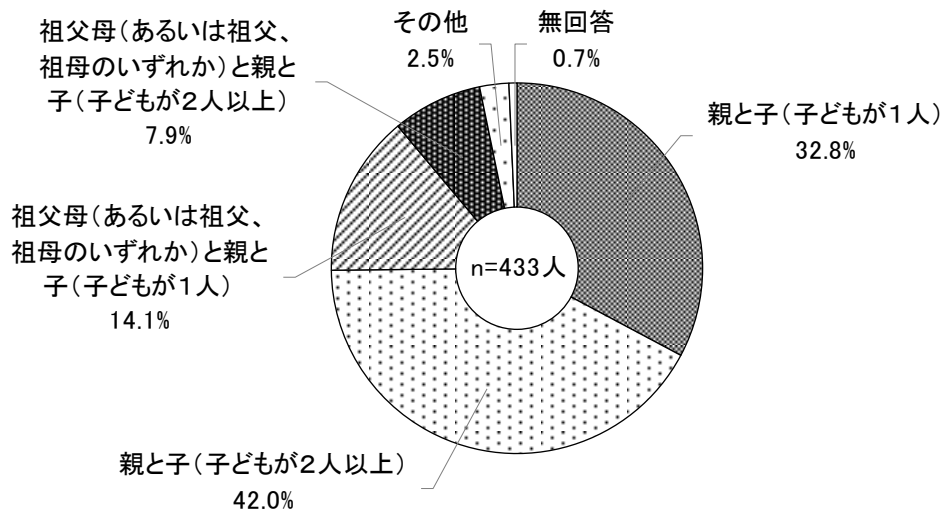
問2 ひとり親世帯になられた理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

ひとり親世帯になった理由については、「離婚」が84.3%と突出して高く、次いで「未婚」が9.0%となっています。



問3 現在同居されているご家族の構成は、次のどれに当てはまりますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

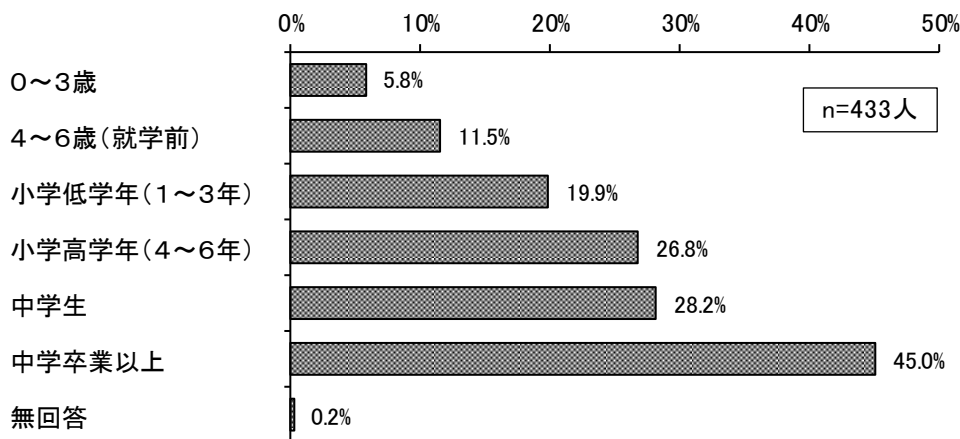
同居している家族構成については、「親と子（子どもが2人以上）」が42.0%、「親と子（子どもが1人）」が32.8%となっており、親と子どもだけの世帯は74.8%を占めています。



問4 あなたのお子さんの年齢と人数をお答えください。
 当てはまる番号すべてに○をつけ、口内に人数を記入してください。

子どもの年齢については、「中学卒業以上」が45.0%と最も高く、次いで「中学生」が28.2%、「小学高学年（4～6年）」が26.8%となっています。

人数については、すべての年代で「1人」が最も高くなっています。



■人数

【0～3歳】

n=25人

項目	件数	構成比
1人	20	80.0%
2人	5	20.0%
3人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

【4～6歳(就学前)】

n=50人

項目	件数	構成比
1人	47	94.0%
2人	3	6.0%
3人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

【小学低学年(1～3年)】

n=86人

項目	件数	構成比
1人	80	93.0%
2人	5	5.8%
3人以上	0	0.0%
無回答	1	1.2%

【小学高学年(4～6年)】

n=116人

項目	件数	構成比
1人	110	94.8%
2人	5	4.3%
3人以上	0	0.0%
無回答	1	0.9%

【中学生】

n=122人

項目	件数	構成比
1人	114	93.4%
2人	8	6.6%
3人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%

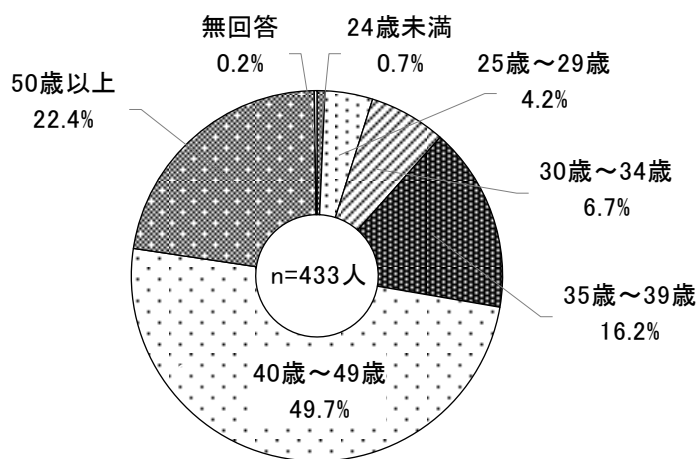
【中学卒業以上】

n=195人

項目	件数	構成比
1人	102	52.3%
2人	73	37.4%
3人以上	18	9.2%
無回答	2	1.0%

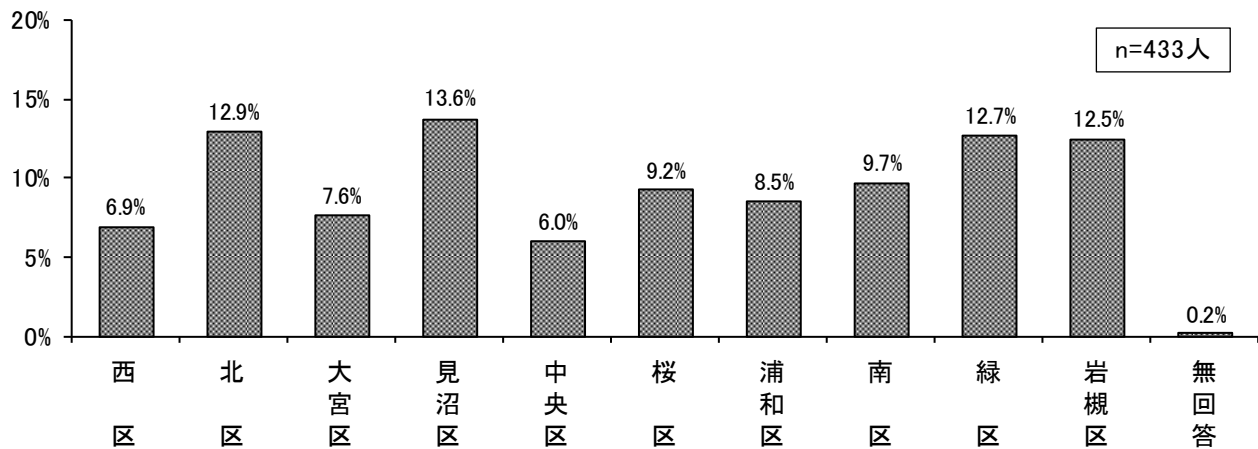
問5 あなたは現在、何歳ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

年齢については、「40歳～49歳」が49.7%と最も高く、次いで「50歳以上」が22.4%、「35歳～39歳」が16.2%となっています。



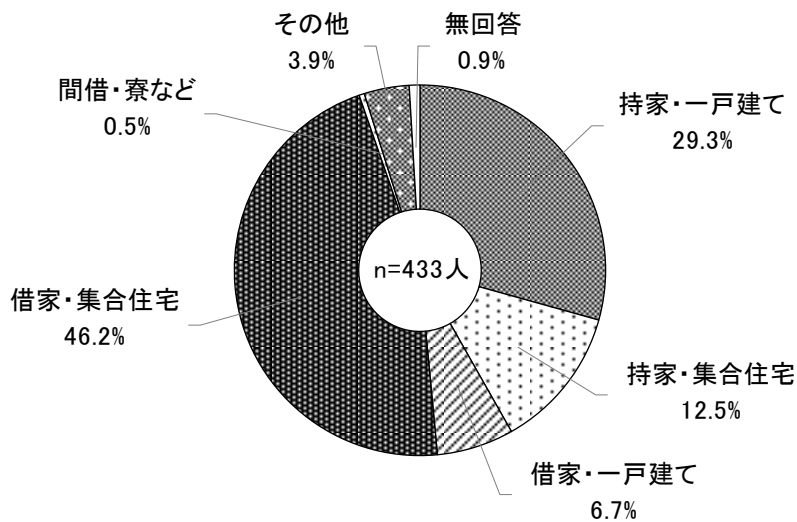
問6 あなたがお住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

居住地域については、「見沼区」が13.6%で最も高く、次いで「北区」が12.9%、「緑区」が12.7%となっています。



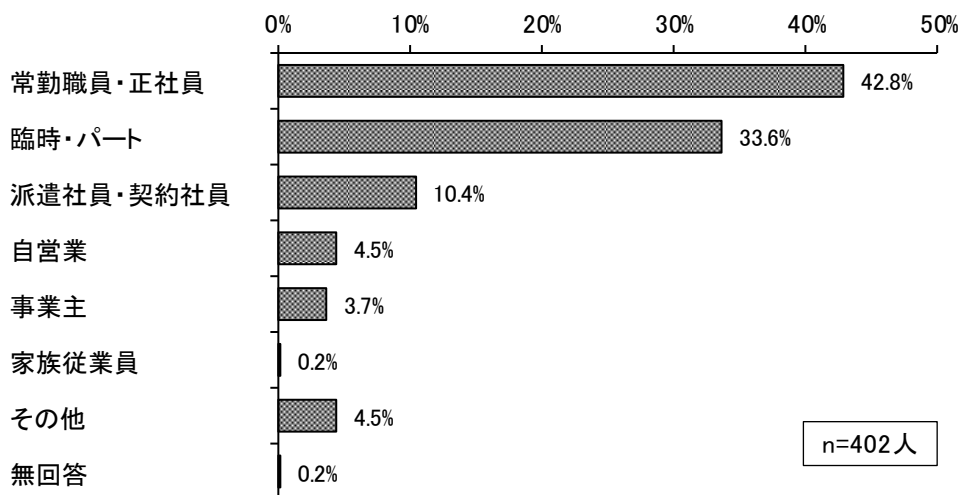
問7 現在お住まいの住宅は、次のどれにあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

住宅の種別については、「借家・集合住宅」が46.2%と最も高く、次いで「持家・一戸建て」が29.3%、「持家・集合住宅」が12.5%となっています。



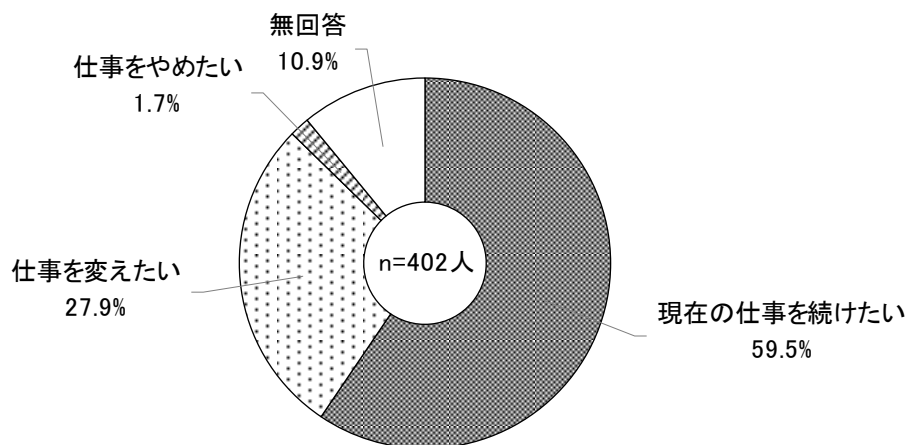
問8 現在就業している方におたずねします。(それ以外の方は問10にお進みください。)
 あなたの現在の就業上の地位についてお答えください。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

就業上の地位については、「常勤職員・正社員」が42.8%と最も高く、次いで「臨時・パート」が33.6%となっています。



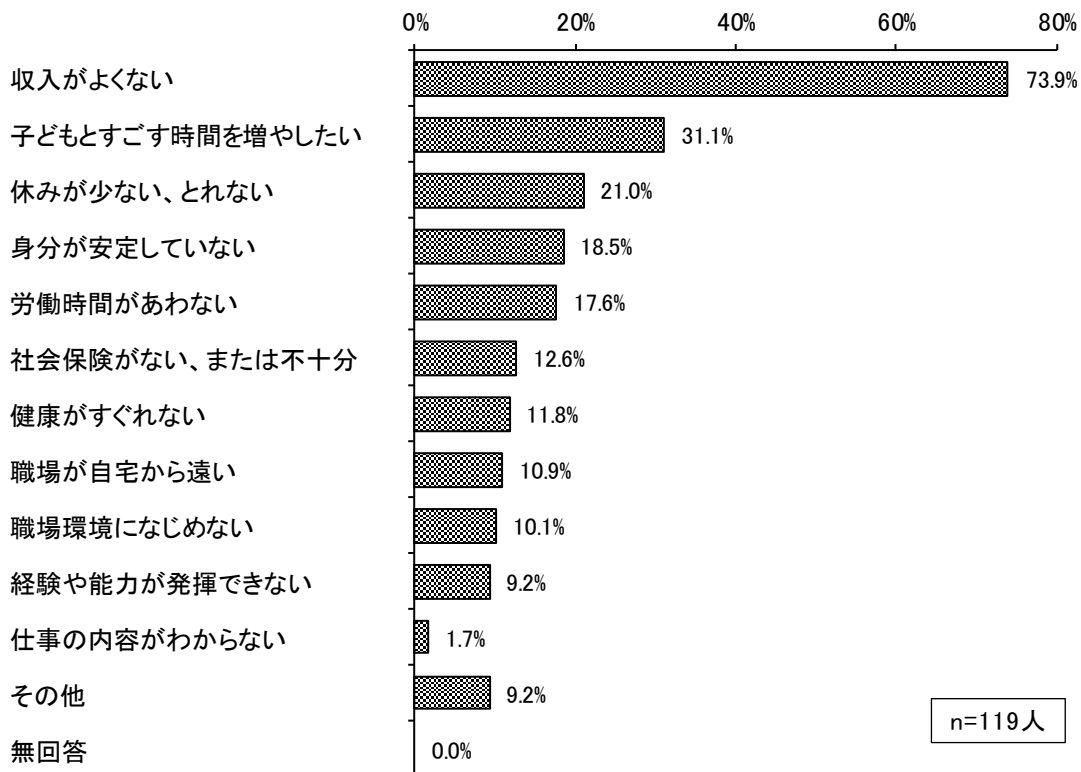
問9 あなたは転職する希望がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

転職希望については、「現在の仕事を続けたい」が59.5%と最も高く、次いで「仕事を変えたい」が27.9%となっています。



問9-1 問9で「2. 仕事を变えたい」、「3. 仕事をやめたい」と回答した方におたずねします。
その理由をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事を变えたい、やめたい理由については、「収入がよくない」が73.9%と突出して高く、次いで「子どもと過ごす時間を増やしたい」が31.1%となっています。



問10 現在就業していない方におたずねします。(それ以外の方は問11にお進みください。)
働いていない理由をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

就業していない理由については、以下の通りとなっています。

n=30人

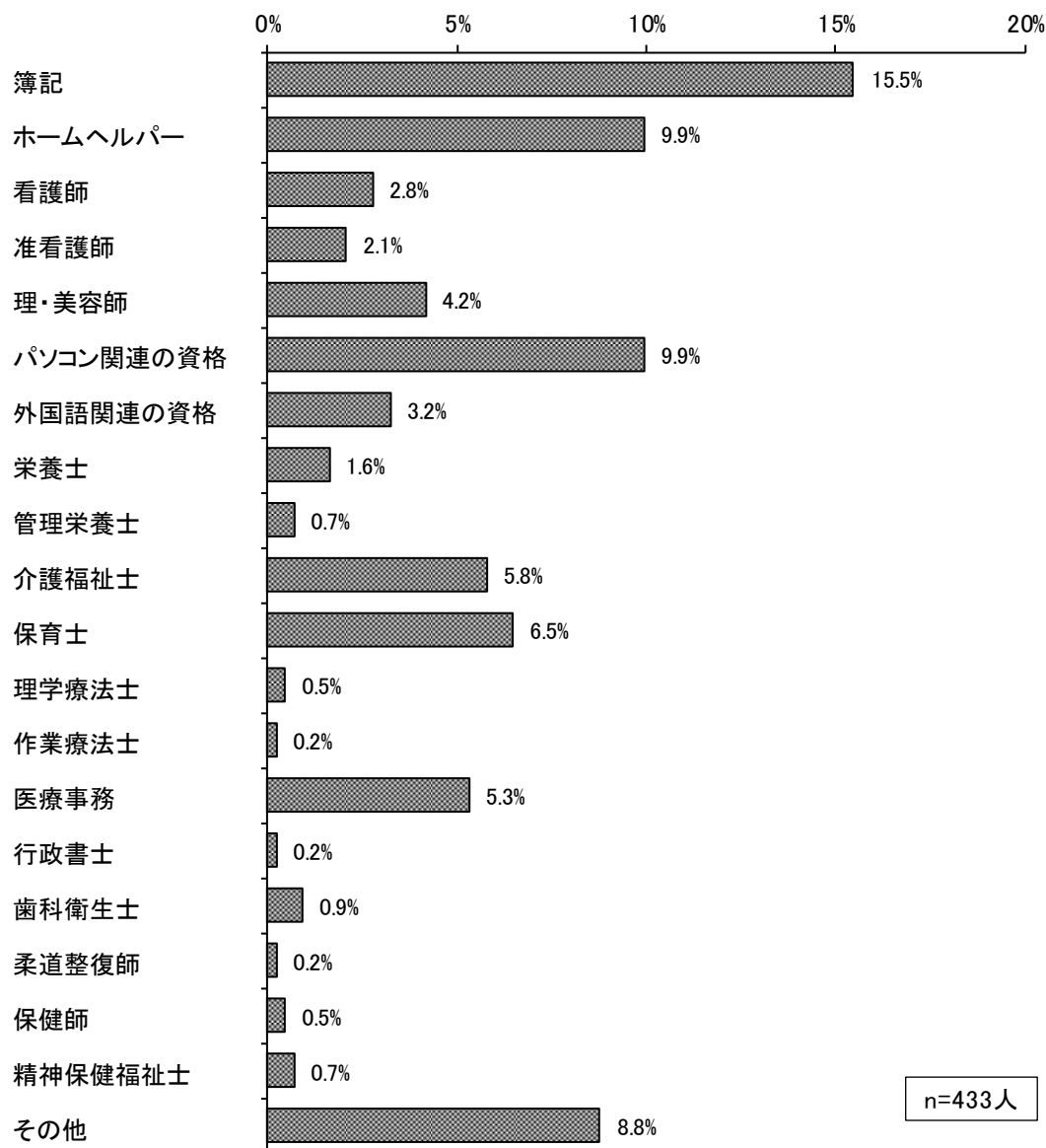
項目	件数	構成比
病気で働けない	12	40.0%
求職中	10	33.3%
子どもを世話してくれる人がいない	4	13.3%
休職中	1	3.3%
技術を習得中、資格を取得中	1	3.3%
収入面であわない	0	0.0%
時間があわない	0	0.0%
その他	2	6.7%

2 資格取得について

問 11 資格についてお伺いします。

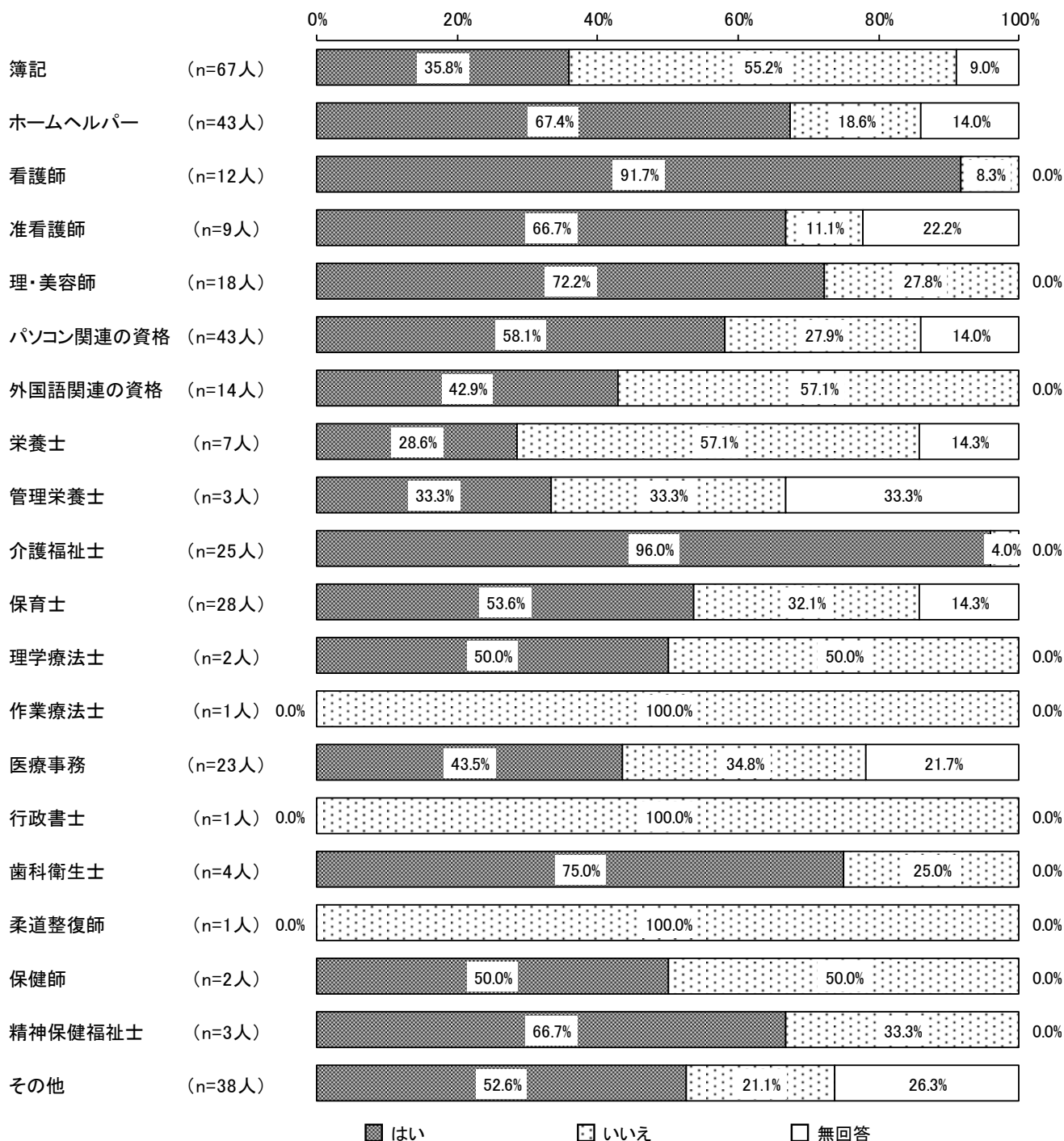
A：1.～20. の資格を取得している場合、「はい」に○をつけてください。

取得している資格については、「簿記」が15.5%と最も高く、次いで「ホームヘルパー」「パソコン関連の資格」が9.9%となっています。



問11 資格についてお伺いします。
 B：1.～20. の資格を取得している場合、その資格が直接仕事に役に立っている（または役に立っていた）か、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

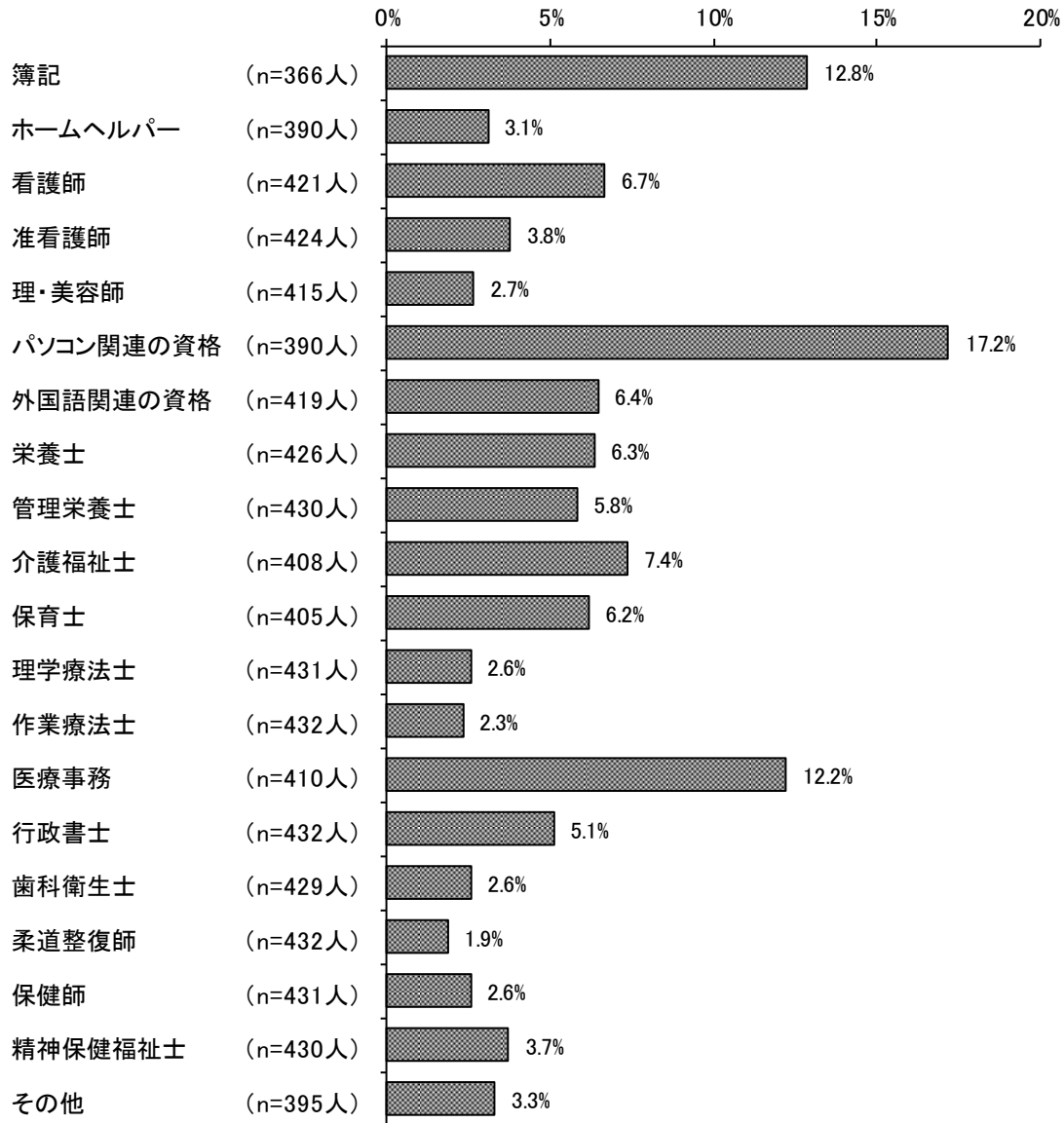
資格が仕事に役立つかについては、取得者が多い「簿記」は「はい」が35.8%、「いいえ」が55.2%、「ホームヘルパー」は「はい」が67.4%、「いいえ」が18.6%、「パソコン関連の資格」は「はい」が58.1%、「いいえ」が27.9%となっています。



問 11 資格についてお伺いします。

C：1.～20. の資格を取得していない場合、資格取得の希望がある場合は「はい」に○をつけてください。

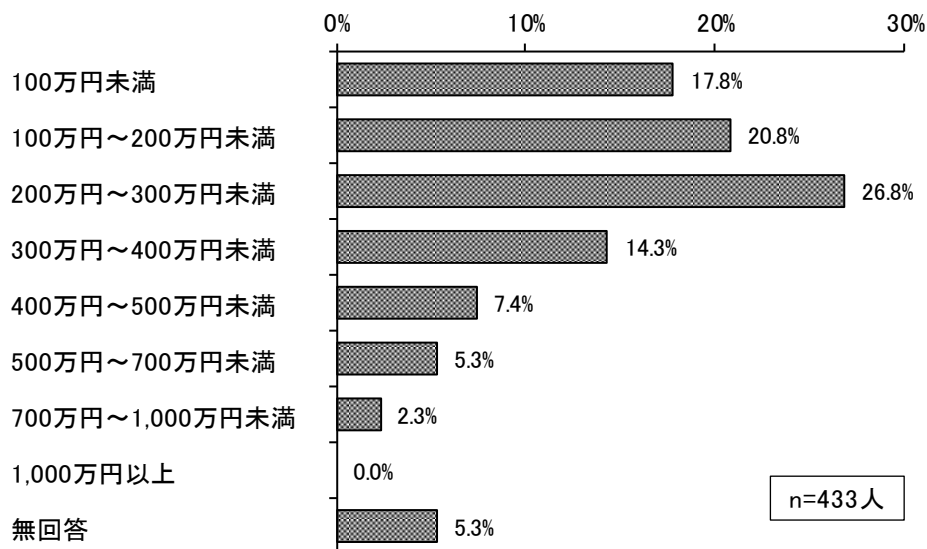
取得を希望する資格については、「パソコン関連の資格」が17.2%と最も高く、次いで「簿記」が12.8%、「医療事務」が12.2%となっています。



3 経済状況、生活状況について

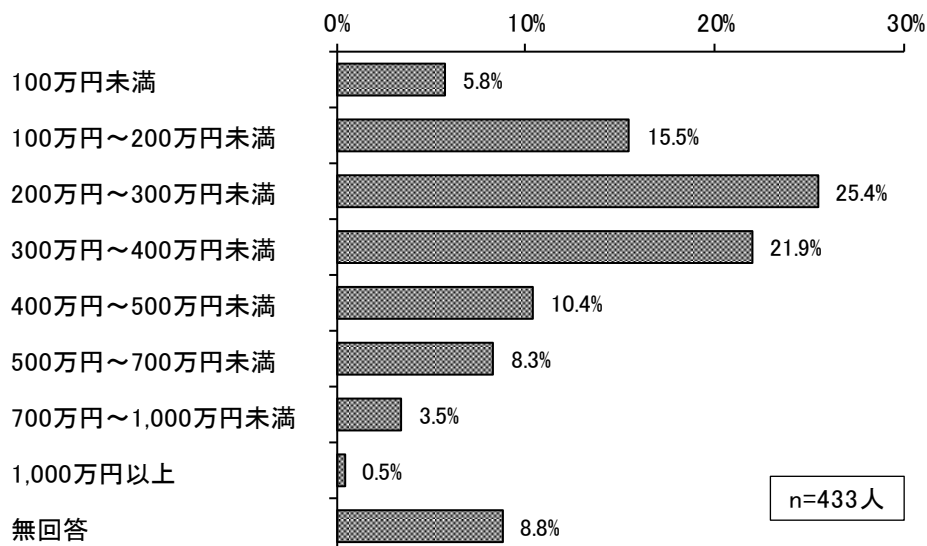
問12 あなたの昨年の1年間の就労によって得た収入は、税込みでおよそいくらでしたか。
 (口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

就労による収入については、「200万円～300万円未満」が26.8%と最も高く、次いで「100万円～200万円未満」が20.8%、「100万円未満」が17.8%となっています。



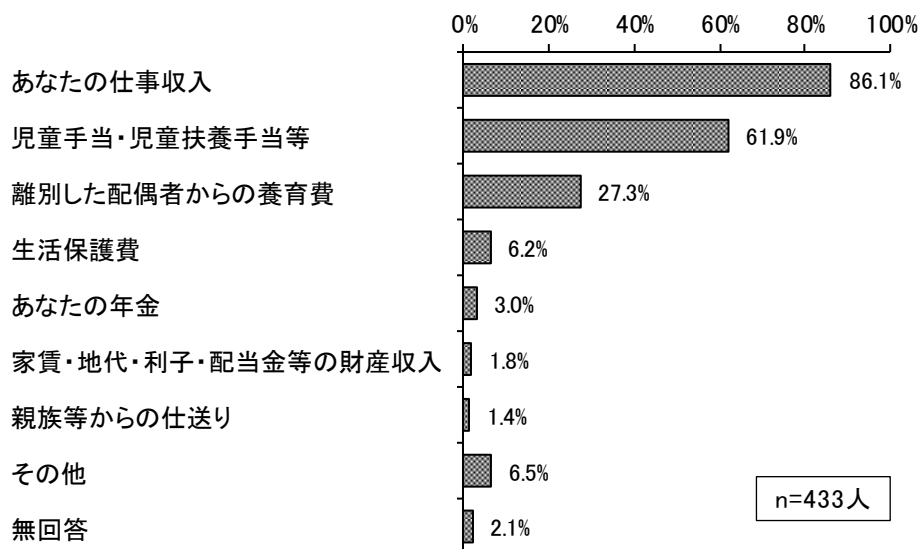
問13(1) あなたの昨年の1年間の総収入は、税込みでおよそいくらでしたか。
 (口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

総収入については、「200万円～300万円未満」が25.4%と最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が21.9%、「100万円～200万円未満」が15.5%となっています。



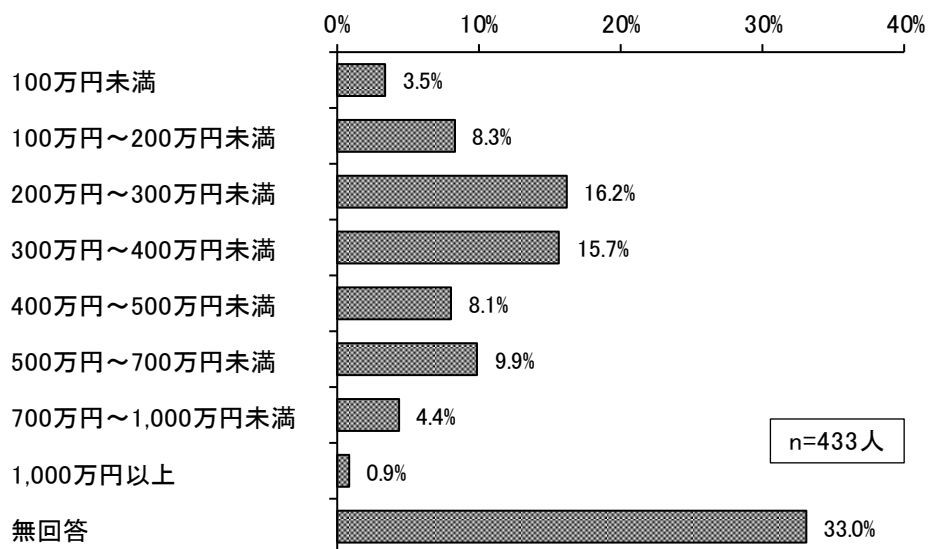
問 13 (2) あなたの昨年の1年間の総収入の収入源は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

総収入における収入源については、「あなたの仕事収入」が 86.1%と最も高く、次いで「児童手当・児童扶養手当等」が 61.9%、「離別した配偶者からの養育費」が 27.3%となっています。



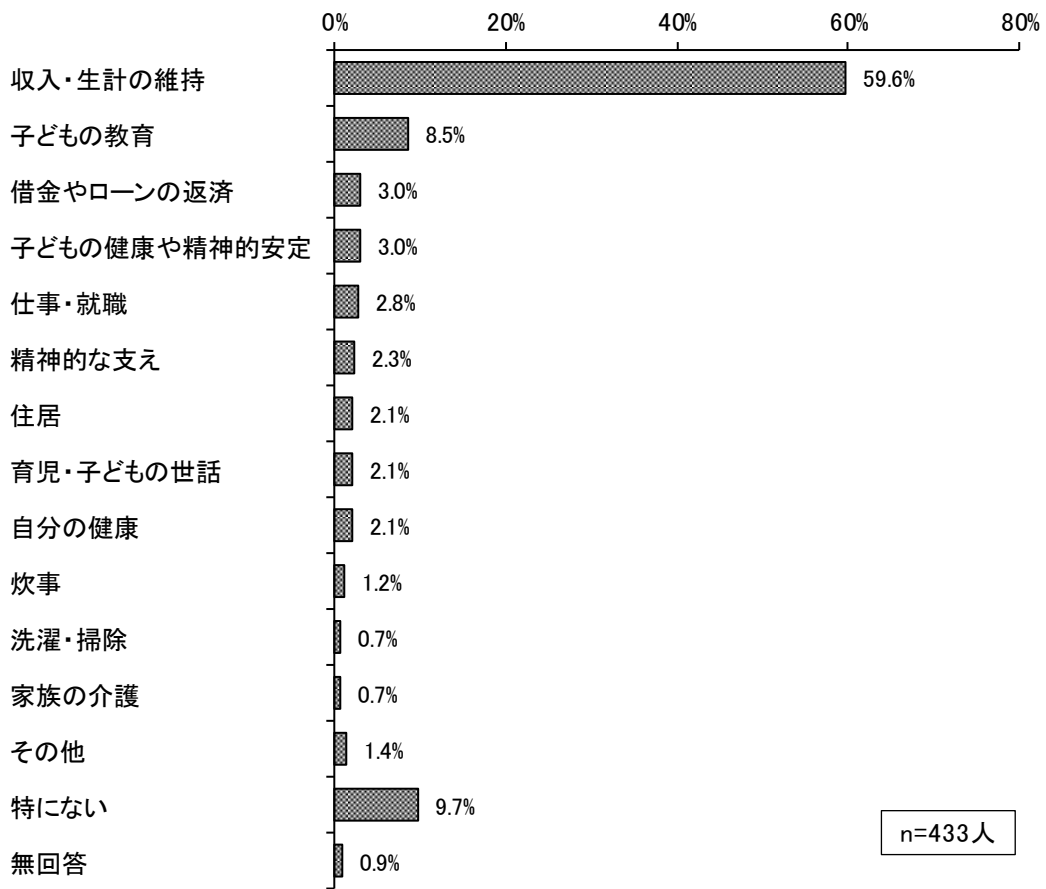
問 14 あなたとあなたの同居親族の昨年の1年間の総収入は、税込みでおよそいくらでしたか。
(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

同居親族を含めた総収入については、「200万円～300万円未満」が 16.2%と最も高く、次いで「300万円～400万円未満」が 15.7%となっています。



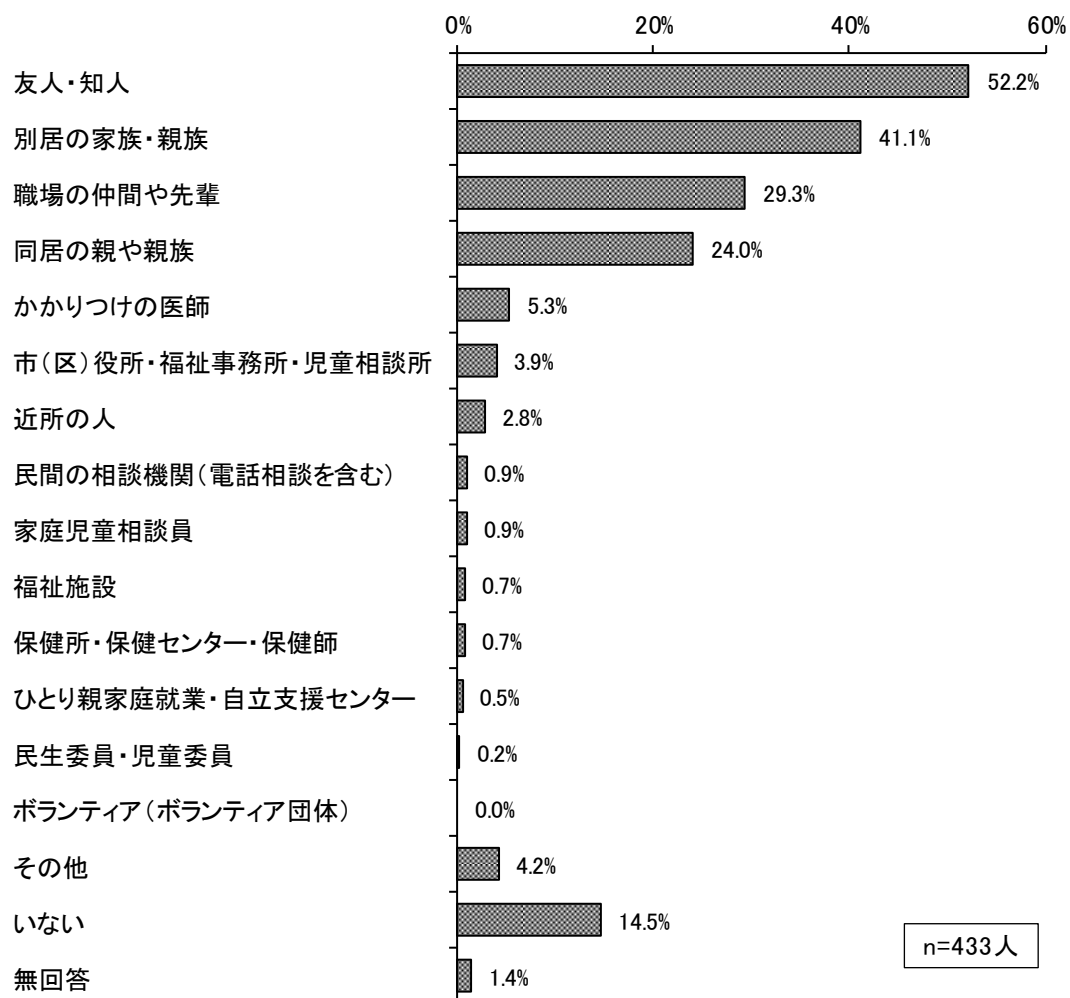
問 15 現在、あなたが特に困っていることがありますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

現在特に困っていることについては、「収入・生計の維持」が59.6%と突出して高くなっています。



問 16 あなたは、育児や子育てなどお子さんのことで困っていることを相談する相手はいますか。また、相談している場合、誰に相談していますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

困りごとを相談する相手としては、「友人・知人」が52.2%と最も高く、次いで「別居の家族・親族」が41.1%、「職場の仲間や先輩」が29.3%となっています。一方、「いない」は14.5%となっています。



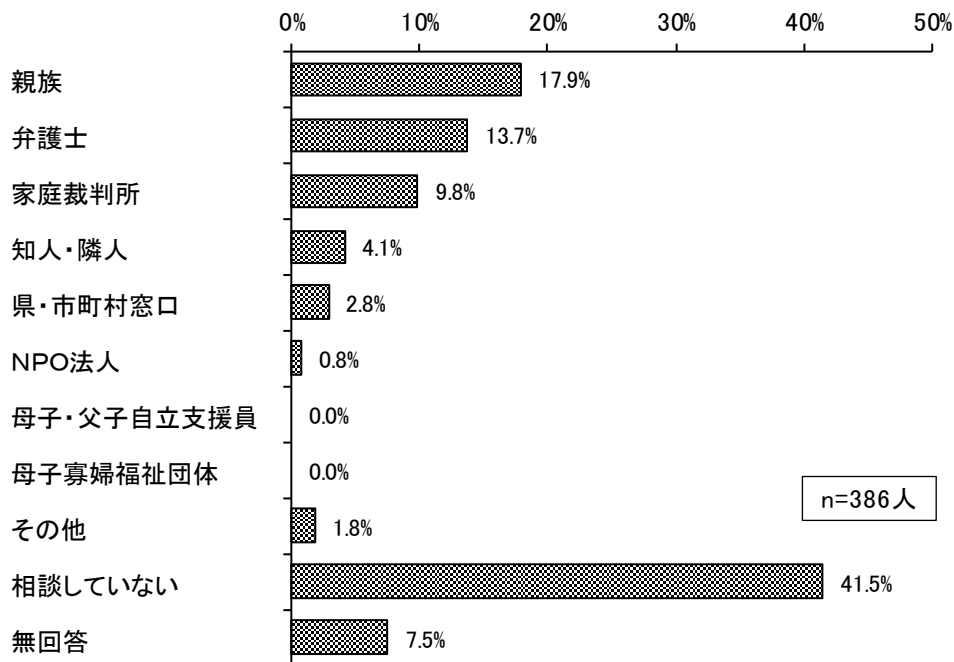
4 養育費について

問 17 あなたが、離婚によりひとり親家庭となった方、または、未婚の母で、お子さんの父から認知を受けている場合のみご回答ください。

あなたは、お子さんの養育費のことで、だれか（どこか）に相談しましたか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

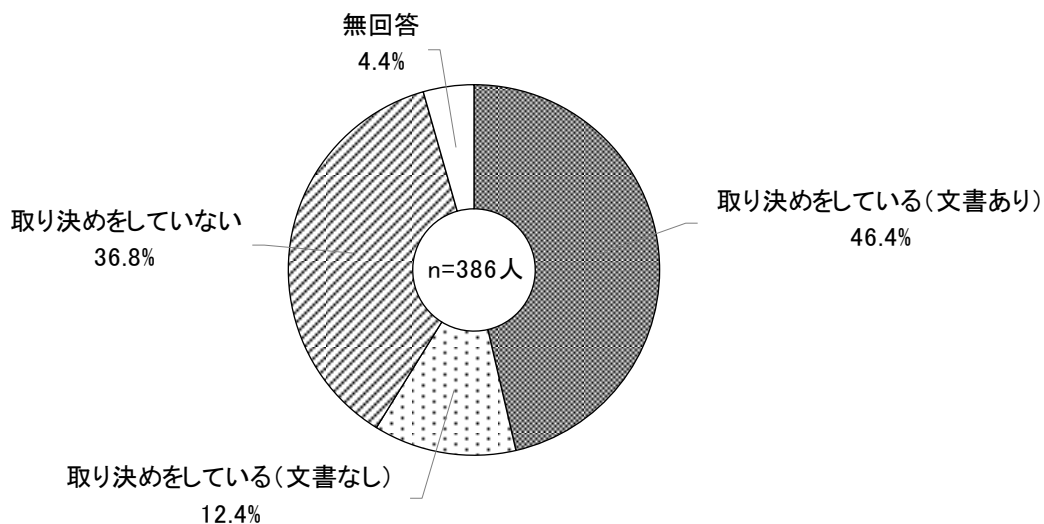
養育費に関する相談相手については、「親族」が17.9%、「弁護士」が13.7%となっています。一方、「相談していない」は41.5%となっています。



問 18 養育費の取り決めの状況についておたずねします。

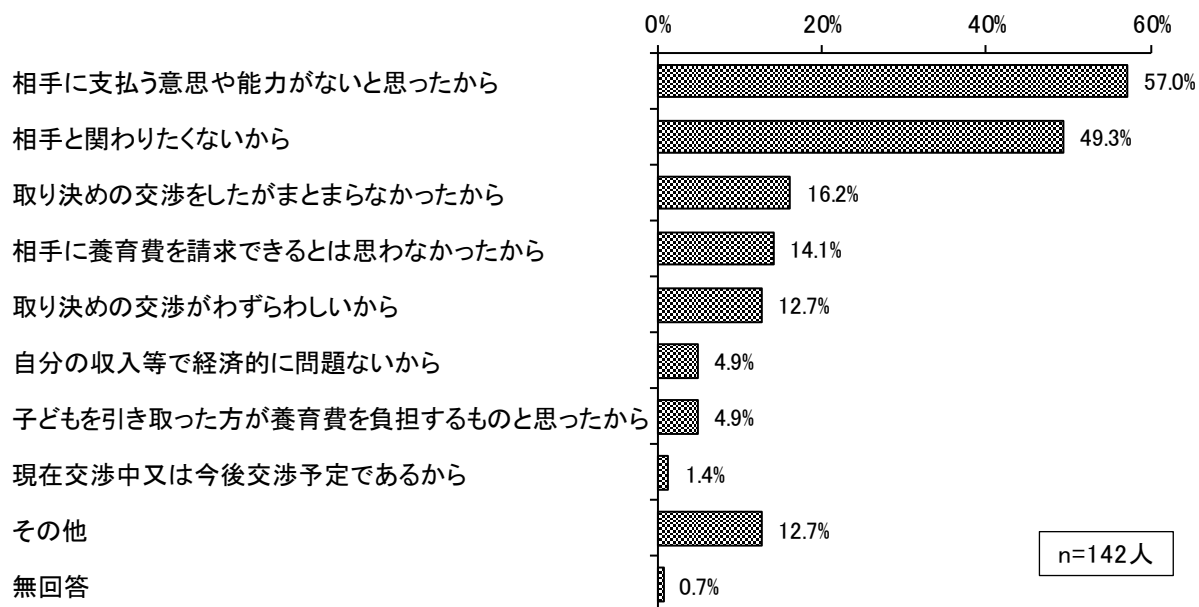
当てはまる番号1つに○をつけてください。

養育費の取り決めについては、「取り決めをしている（文書あり）」(46.4%)と「取り決めをしている（文書なし）」(12.4%)の合計は58.8%となっています。一方、「取り決めをしていない」は36.8%となっています。



問 18-1 「3. 取り決めをしていない」と回答した方におたずねします。
 養育費の取り決めをしていないのはなぜですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

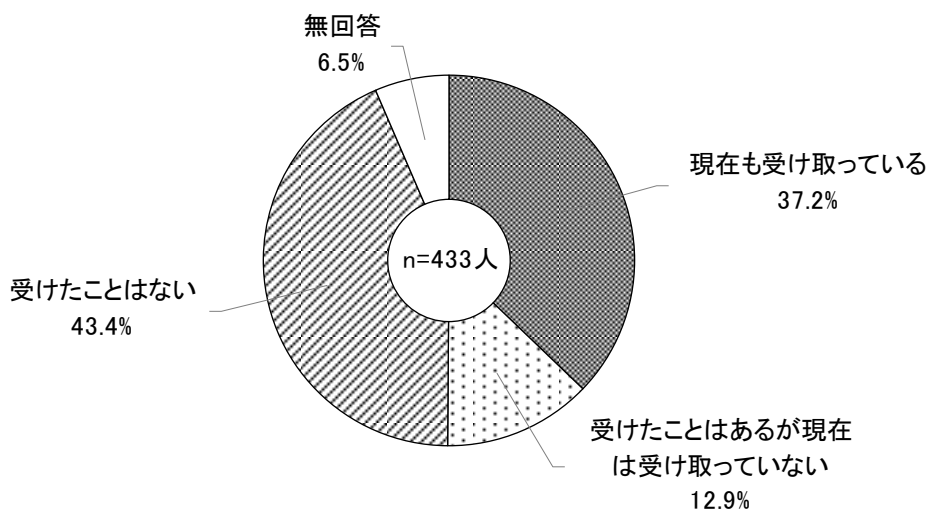
取り決めをしていない理由については、「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」が 57.0%と最も高く、次いで「相手と関わりたくないから」が 49.3%となっています。



問 19 すべての方におたずねします。
 子どもの養育費を受け取っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
 また、「2」または「3」と回答した方はその理由をお書きください。

養育費の受け取り状況については、「受けたことはない」が 43.4%と最も高く、「受けたことはあるが現在は受け取っていない」(12.9%)との合計は 56.3%となっています。一方、「現在も受け取っている」は 37.2%となっています。

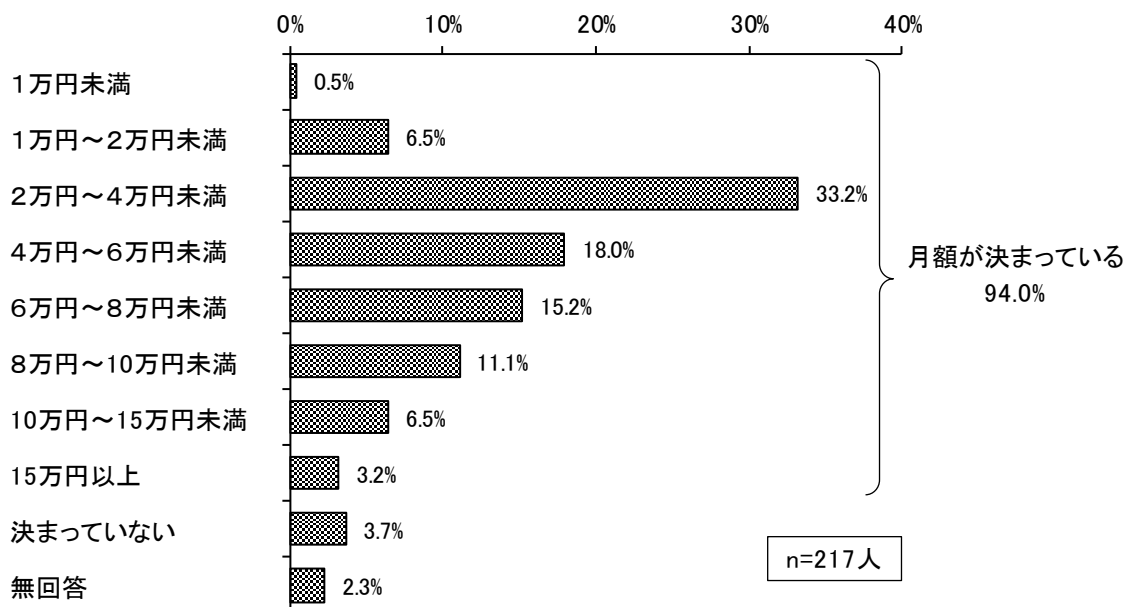
「受けたことはない」「受けたことはあるが現在は受け取っていない」理由としては、「相手が支払いを拒否」(41件)、「相手に支払い能力がない」(27件)、「相手と関わりたくない」(16件)などがあります。



問 19-1 「1. 現在も受け取っている」、「2. 受けたことはあるが現在は受け取っていない」と回答した方におたずねします。

養育費は月額いくらですか（でしたか）。当てはまる番号1つに○をつけ、月額をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

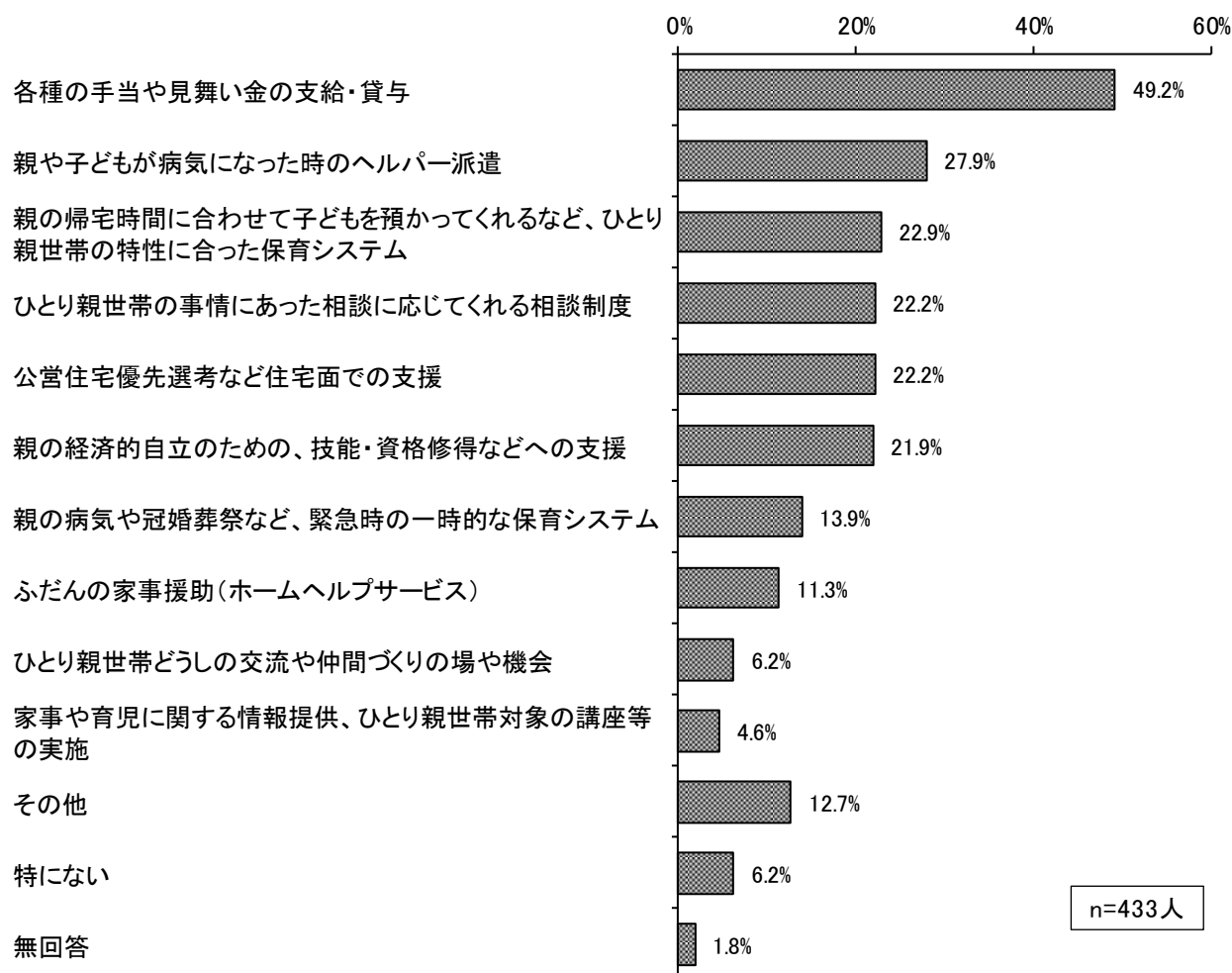
受け取っている（いた）養育費の月額については、「2万円～4万円未満」が33.2%と最も高くなっています。月額が決まっているのは94.0%となっています。



5 必要な支援策について

問 20 ひとり親世帯の方への支援策としては、今後特にどのようなことが必要と思いますか。
 当てはまる主な番号3つまでに○をつけてください。

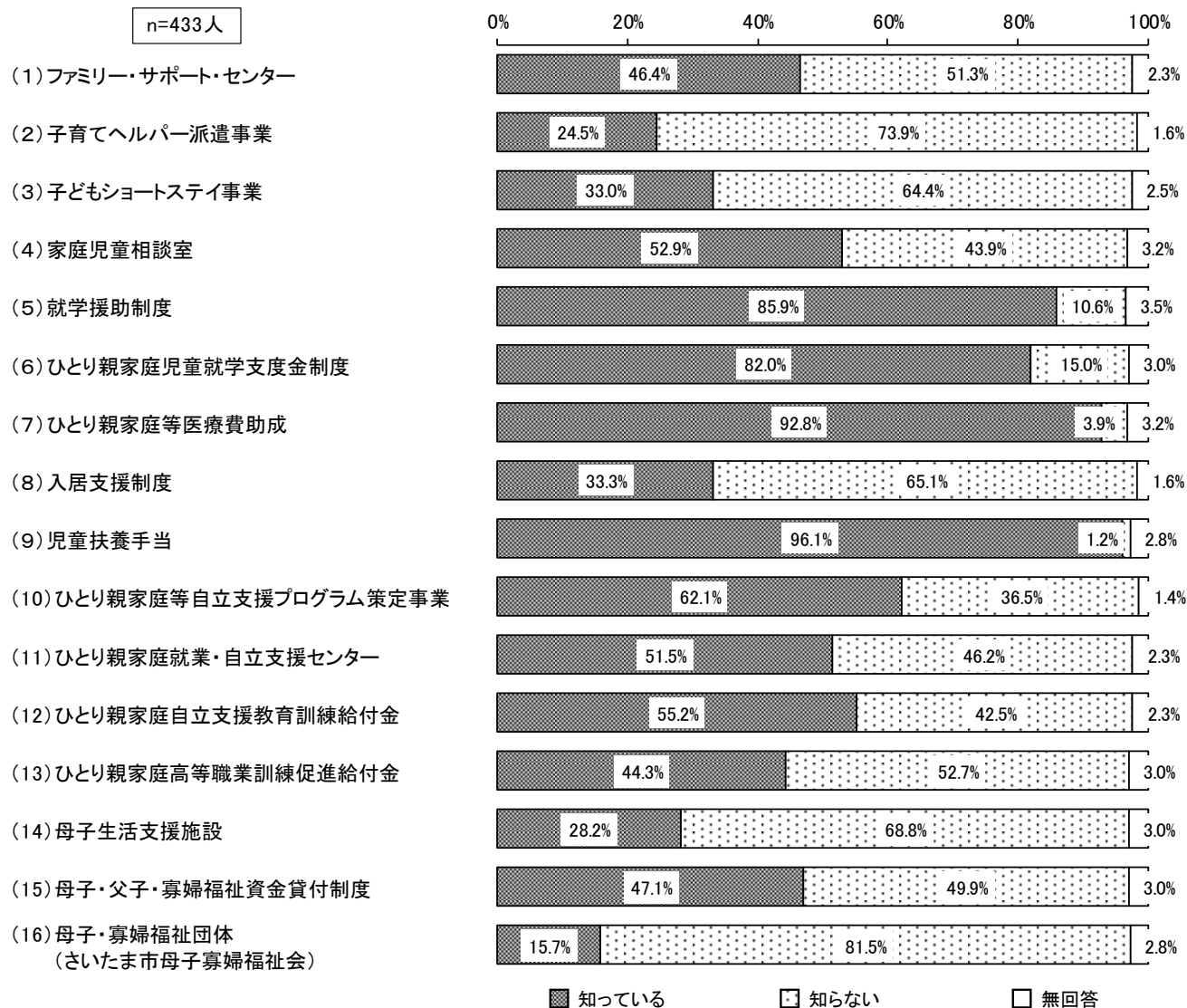
必要な支援策については、「各種の手当や見舞い金の支給・貸与」が 49.2%と最も高く、次いで「親や子どもが病気になった時のヘルパー派遣」が 27.9%、「親の帰宅時間に合わせて子どもを預かってくれるなど、ひとり親世帯の特性に合った保育システム」が 22.9%となっています。



問 21 さいたま市では、ひとり親世帯の方を支援するために次のようなサービス（施策）や施設があります。（1）～（16）のサービスごとに、「認知度」「利用状況」「利用意向」のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

■ 認知度

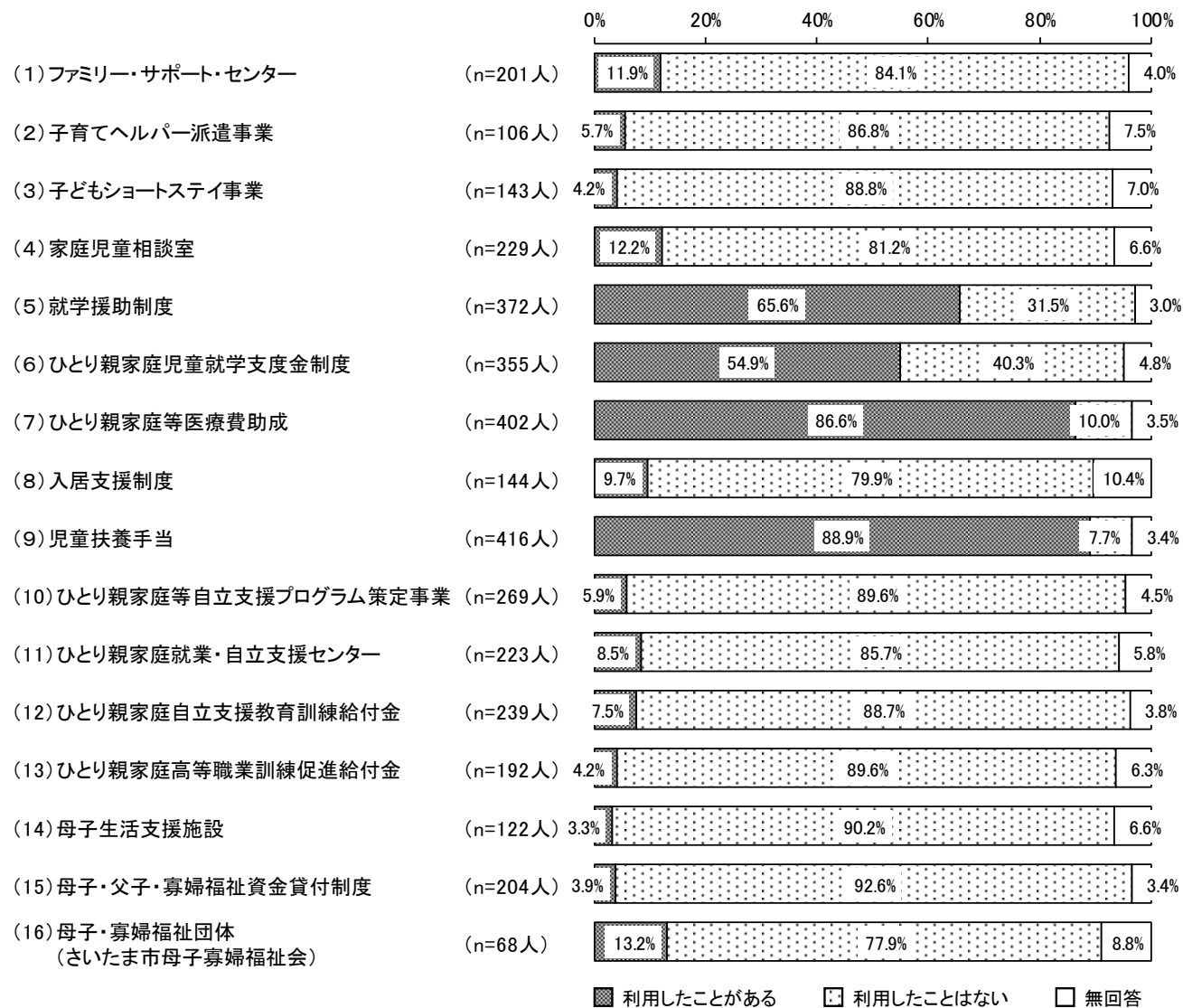
サービス（施策）の認知度については、「（9）児童扶養手当」が96.1%と最も高く、次いで「（7）ひとり親家庭等医療費助成」が92.8%、「（5）就学援助制度」が85.9%、「（6）ひとり親家庭児童就学支度金制度」が82.0%となっています。



■ 利用状況

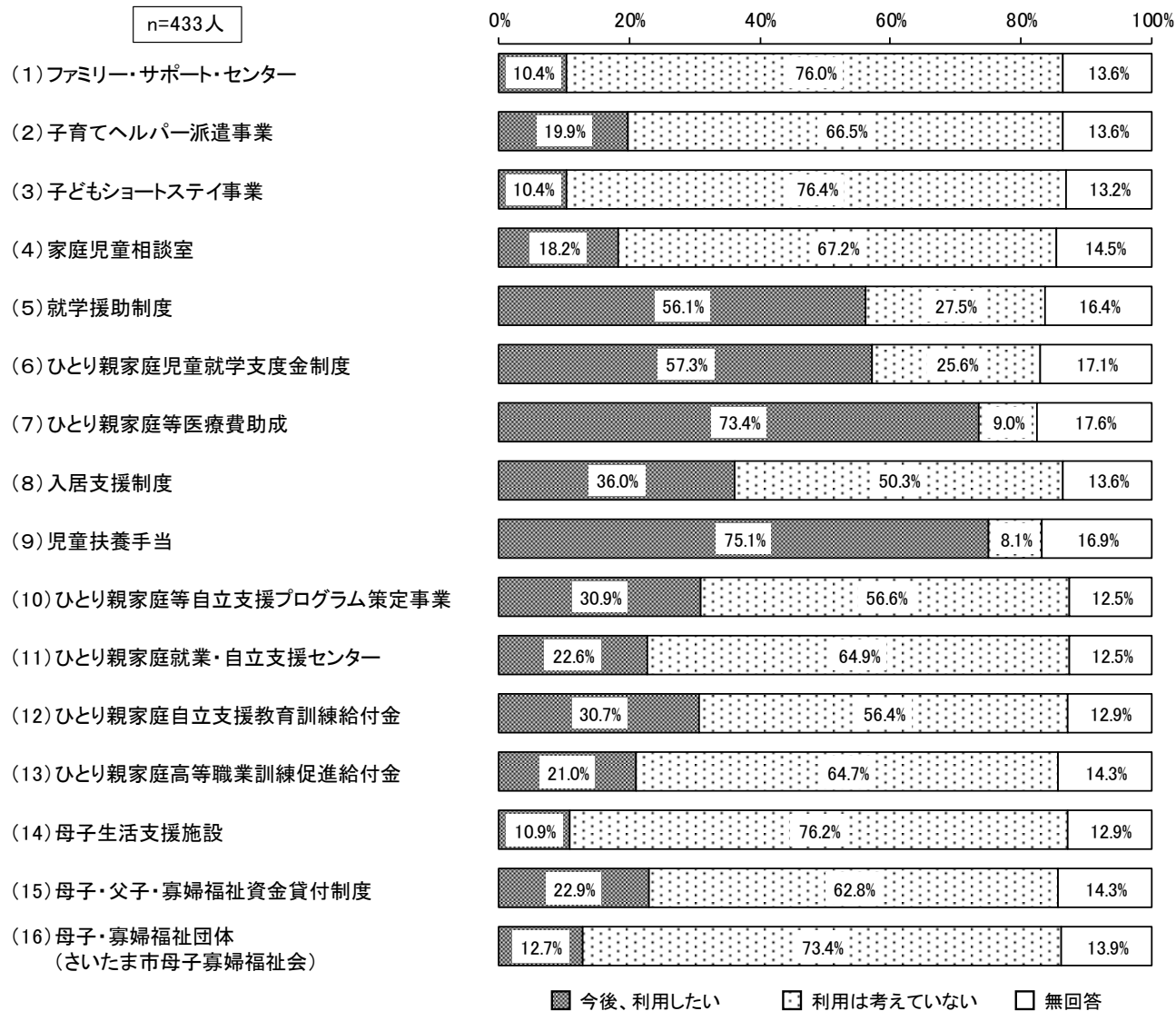
※認知度の設問において、「知っている」と答えた人を母数にしています。

サービス（施策）の利用状況については、「(9) 児童扶養手当」が88.9%、「(7) ひとり親家庭等医療費助成」が86.6%と特に高く、次いで「(5) 就学援助制度」が65.6%、「(6) ひとり親家庭児童就学支度金制度」が54.9%となっています。



■利用意向

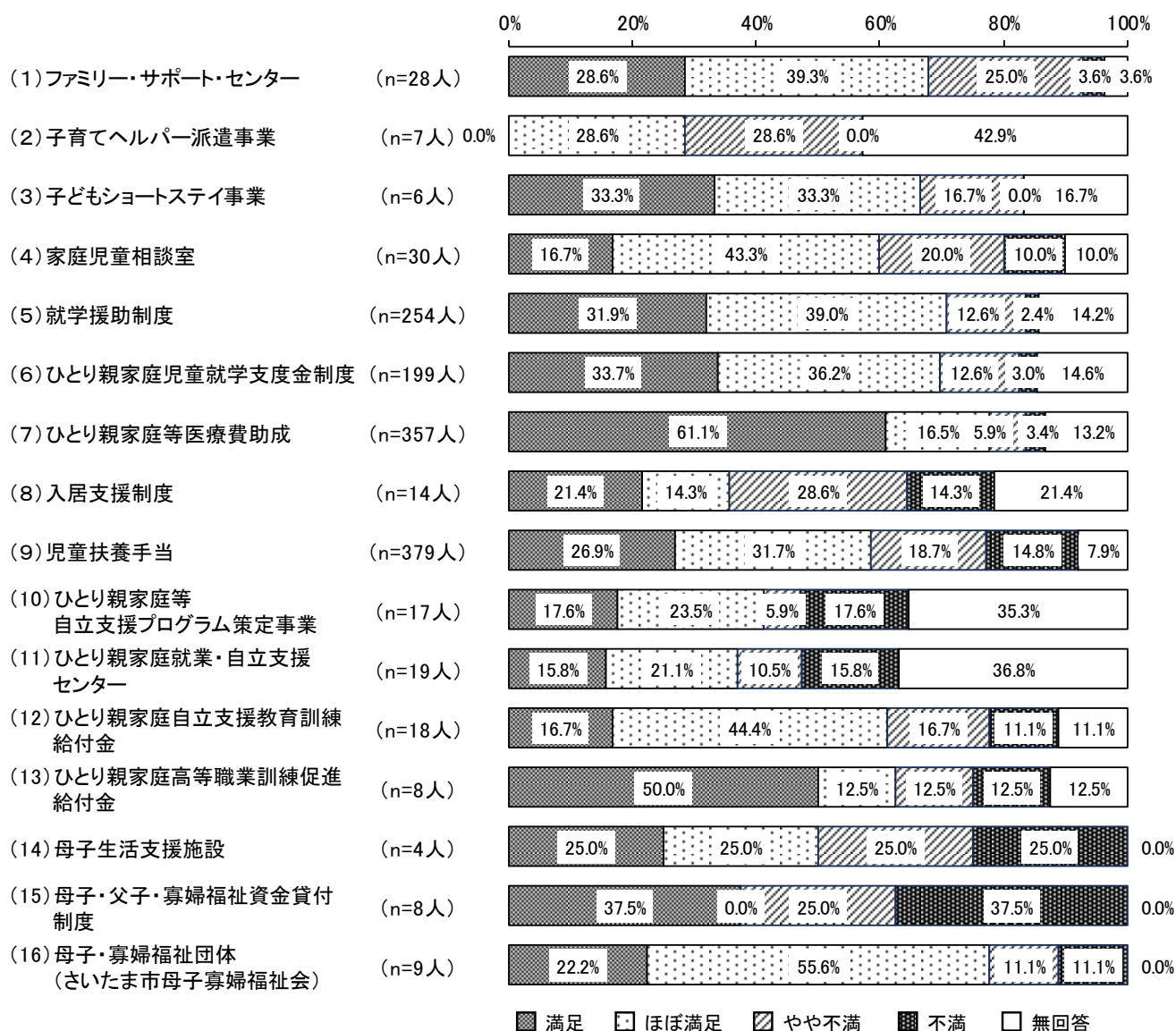
サービス（施策）の利用意向については、「(9) 児童扶養手当」が75.1%、「(7) ひとり親家庭等医療費助成」が73.4%と特に高く、次いで「(6) ひとり親家庭児童就学支度金制度」が57.3%、「(5) 就学援助制度」が56.1%となっています。



問 21-1 問 21 の利用状況で「①利用したことがある」と回答した方におたずねします。

利用したことがあるサービスについて、満足していますか。(1)～(16)のサービスごとに、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「③ やや不満」あるいは「④ 不満」と回答した方はその理由をお書きください。

サービスの満足度について、利用率の高い4項目の「満足」と「ほぼ満足」の合計は、「(7) ひとり親家庭等医療費助成」が77.6%と最も高く、次いで「(5) 就学援助制度」が70.9%、「(6) ひとり親家庭児童就学支度金制度」が69.9%、「(9) 児童扶養手当」が58.6%となっており、いずれも半数以上となっています。



問22 すべての方におたずねします。

子ども・子育てのための施策について、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

ひとり親の回答者に、子ども・子育てのための施策について意見を聞いたところ、219人から320件の回答が寄せられました。その内容をまとめた結果は以下のとおりです。

- 支給額算定基準の見直し
(所得限度額の引き上げ・所得制限の撤廃、同居親族の収入分離など) …… 54件
 - ・離婚前後に伴う状況の変化を踏まえた所得等の認定にしてほしい。
 - ・退職など、収入の激変に手当の認定を対応させてほしい。
- 教育費に関わる経済的支援の充実、教育格差を生まないための支援
(高校・大学までの学費助成・無償化、塾や習い事、学用品費の補助など) …… 51件
 - ・塾や習い事に関する補助があるとよい。
 - ・勉強したい意志のある子に対して、返済不要の奨学金がもっと充実するとよい。
- 保育施設の整備、保育サービスの充実
(公設学童、多様な保育内容、療育、受入体制の拡充と質の向上、母親の負担軽減など) …… 31件
- 各種手当、支援に感謝 …… 31件
- 児童扶養手当・支給対象の拡大 …… 25件
 - ・18歳を超えた子どもに対して手当等がなくなるので支援があるとよい。
- ひとり親世帯への支援・制度の周知徹底・情報提供、各種手続きの簡素化、利便性の向上、支援に関する相談窓口の充実 …… 13件
 - ・離婚後の各種手続きや流れがまとまったものがホームページなどであるとよい。
- 就労支援・資格取得支援、働きやすい社会環境の構築 …… 13件
- 養育費受取のための施策(支払い方法の制度化)、離婚、養育費の法律相談 …… 12件
- 住宅支援の充実(家賃援助、公営住宅の整備、入居優先など) …… 11件
- 精神的サポートの充実
(多様な相談システム、オープンな受入体制、悩みを話し合える交流の場など) …… 9件
- 非課税世帯、生活保護世帯への優遇は不公平、不正受給問題 …… 8件
- 本調査について(インターネット回答、情報公開、調査時期の見直しなど) …… 8件
- 医療費助成の対象年齢引き上げ、医療費無償化 …… 8件
- 生活全般に関わる経済的支援(物価高騰による家計の圧迫、ひとり親限定商品券や必需品購入チケットの支給、食品の配布など) …… 7件
- ひとり親(子ども)支援のあり方、ひとり親が生きやすい社会 …… 7件
- 学校教育の向上と学校行事に関わるひとり親の負担軽減 …… 5件
- 税金面での優遇措置、負担軽減(税金が高い、年少扶養控除の復活など) …… 5件
- 子ども向け施設の整備(児童センター、室内遊戯場、公園など) …… 3件
- 子どもに対する虐待、犯罪防止と情報公開 …… 3件
- その他(意見・要望、感想など) …… 16件

資料編 調査票

次ページより調査票を添付します。

ゆめ
第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン策定に係る基礎調査

・・・ 未就学児保護者 ・・・

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

現在、さいたま市では、子ども・子育てに関する総合計画として、「第2期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」により、子ども・子育てに係る各種施策を展開しております。

令和7年度からの次期プランの策定に向けて、子育て当事者の皆様のニーズなどを把握するため、令和5年12月1日から12月26日までの期間で、0歳～6歳児のお子様がいるご家庭を対象に標記アンケート調査を実施いたします。対象者の抽出にあたりましては、住民基本台帳により8,000世帯を無作為抽出し、ご協力をお願いするものです。

なお、調査結果は市の子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和5年12月

さいたま市長 清水 勇 人

— 回答にあたってのお願い —

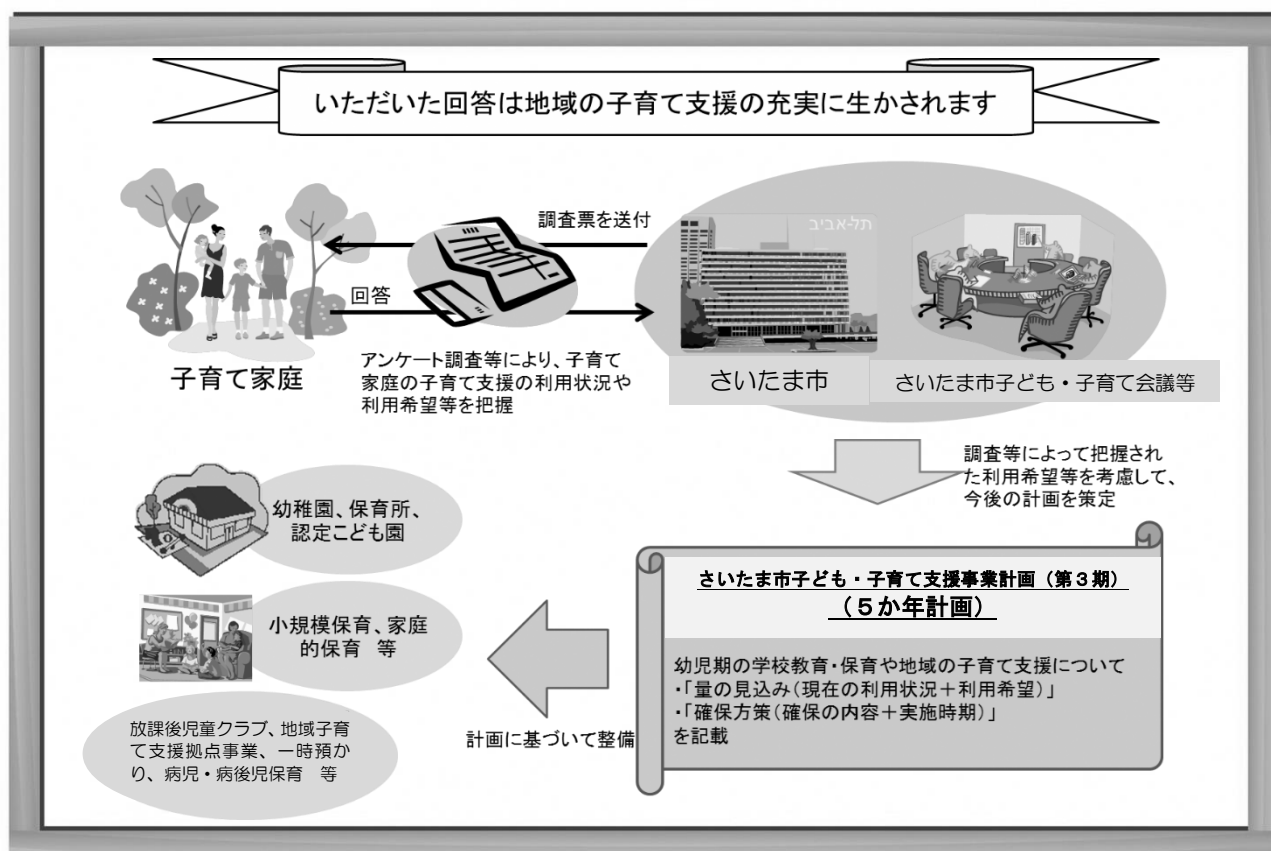
- 封筒の宛名のお子様についてお答えください。
- アンケートは、宛名のお子様の保護者の方がお答えください。「あなた」とは、アンケートに回答される方を表します。
- 回答は、選択肢の番号や記号に○をつけて選ぶ場合と、数字を記入する場合があります。
- 回答数の指示がありますので、よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内の自由意見については、ご自身の考えや意見をご記入ください。
- 設問によって、回答する方が限られている場合がありますので、注意書きに従ってください。
- 調査票や封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は、令和5年12月26日（火）までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。

— お問い合わせ —

さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども政策課 企画係
電話 048(829)1909 (直通) FAX 048(829)1960

回答するにあたってお読みください。

この調査は、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの計画的な整備や、様々な子ども・子育て施策を検討するために、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません。〕



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ **幼稚園**：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ **保育所**：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ **認定こども園**：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ **子育て支援**：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

お住まいについておたずねします。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 西 区	2. 北 区
3. 大宮区	4. 見沼区
5. 中央区	6. 桜 区
7. 浦和区	8. 南 区
9. 緑 区	10. 岩槻区

問2 さいたま市居住年数として当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 0～1年	2. 2～5年
3. 6～10年	4. 11～15年
5. 16～20年	6. 21年以上

お子さんとご家族の状況についておたずねします。

問3 お子さんの生年月月をご記入ください。

(当てはまる番号に○をつけ、口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)

1. 平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
2. 令和						

問4 この調査票に回答いただいている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です。)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親
3. 主に父親	4. 主に祖父母
5. その他 ()	

問7 あなたにとって、理想の子どもの数は何人ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |

問8 あなたは実際に持つ予定の（持った）子どもの数は何人ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |

問9 問7より問8で回答した人数が少ない方におたずねします。

人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかり過ぎるから | 2. 家が狭いから |
| 3. 仕事等に差し支えるから | 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 6. 高年齢で産むのはいやだから |
| 7. これ以上の育児負担に耐えられないから | 8. 健康上の理由から |
| 9. ほしいけどできないから | 10. その他 |
| () | |

子育て環境についておたずねします。

問10 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなたか、あるいはどの施設ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 |
| 3. 祖父母 | 4. 幼稚園 |
| 5. 保育所 | 6. 認定こども園 |
| 7. その他 () | |

問11 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問12 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問12-1へ | 2. いない/ない ⇒ 問13へ |
|-------------------|------------------|

問13-1 問13の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におたずねします。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 問14へ

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 問14へ

問13-2 問13の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方におたずねします。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

<p>ア. フルタイム(週5日・1日8時間程度)</p> <p>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)</p>	→1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
---	-------------------------------	--

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

<p>ア. フルタイム(週5日・1日8時間程度)</p> <p>イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)</p>	→1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
---	-------------------------------	--

お子さんの平日の定期的な教育・保育の利用状況についておたずねします。

※ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用している幼稚園や保育所などを指し、具体的には、問14-1に示したものが含まれます。

問14 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育」を利用されていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|----------|------------|----------|
| 1. 利用している | ⇒ 問14-1へ | 2. 利用していない | ⇒ 問14-6へ |
|-----------|----------|------------|----------|

問14-1 問14で「1. 利用している」に○をつけた方におたずねします。

お子さんは、平日どのような教育・保育を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 2. 幼稚園の預かり保育
（1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕） |
| 3. 認可保育所（都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの） |
| 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 5. 小規模保育施設（市町村の認可を受け、概ね6～19人の0～2歳児を保育する施設） |
| 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） |
| 7. 事業所内保育施設（企業の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを保育する施設） |
| 8. 家庭保育室・ナーサリールーム（市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設） |
| 9. 企業主導型保育施設（企業が事業所内に設置する認可外保育施設） |
| 10. その他の認可外の保育施設 |
| 11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 12. ファミリー・サポート・センター
（保育所への送迎や保育施設終了後に一時的に子どもを預かる事業） |
| 13. その他（ ） |

問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間何分（何時何分から何時何分まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください。（一枠内に数字は一字）時間は、必ず（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分				
	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分	～	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分)

（2）希望

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分				
	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分	～	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分)

問 14-3 現在、利用している教育・保育の実施場所についておたずねします。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

「11. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。

1. 西 区	2. 北 区
3. 大宮区	4. 見沼区
5. 中央区	6. 桜 区
7. 浦和区	8. 南 区
9. 緑 区	10. 岩槻区
11. 他の市区町村 (<input type="text"/> 市・区・町・村)	

問 14-4 平日に定期的に教育・保育を利用されている理由についておたずねします。

主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他 (<input type="text"/>)

問 15 すべての方におたずねします。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育として、「定期的に」利用したいと考えるものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、利用には一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園

(通常の就園時間の利用)

2. 幼稚園の預かり保育

(1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕)

---▶ **問 15-1 へ**

3. 認可保育所

(都道府県等の認可を受けた保育所(定員20人以上))

※所得・児童年齢に応じた利用料設定

4. 認定こども園

(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

〔利用料：1日4時間程度利用…幼稚園と同様 1日8時間程度利用…保育所と同様〕

5. 小規模保育施設

(市町村の認可を受け、概ね6~19人の0~2歳児を保育する施設)〔利用料は認可保育所と同様〕

6. 家庭的保育(保育ママ)

(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)〔利用料は認可保育所と同様〕

7. 事業所内保育施設

(企業の保育施設などで、従業員の子ともと地域の子ともを保育する施設)

※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけてください

8. 居宅訪問型保育

(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)〔利用料は認可保育所と同様〕

9. 家庭保育室・ナーサリールーム

(市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設)

10. 企業主導型保育施設

(国の助成を活用して保育を行う事業所の認可外保育施設)

11. その他の認可外の保育施設

12. ファミリー・サポート・センター

(保育所への送迎や保育施設終了後に一時的に子どもを預かる事業)

13. その他()

---▶ **問 15-2 へ**

14. 利用したいと思わない・わからない・まだ考えていない ⇒ **問 16 へ**

問 15-1 **問 15 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ、3～12にも○をつけた方におたずねします。**

特に幼稚園の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. はい

2. いいえ

問 15-2 **問 15 で「1. 幼稚園」～「13. その他」と回答した方におたずねします。**

問 15 で選択した「定期的に」利用したいと考える教育・保育を利用できていますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用できている ⇒ **問 16** へ

2. 利用できていない ⇒ **問 15-3** へ

3. その他 ()

⇒ **問 16** へ

問 15-3 **問 15-2 で「2. 利用できていない」と回答した方におたずねします。**

利用できていない理由は何ですか。

理由として当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 利用を希望する施設の利用要件に該当しないため

2. 利用を希望する施設が近くにないため

3. 受入れ体制などの理由により、利用可能な施設が近くにないため

4. 利用申込をしたが、不承諾となったため

5. 利用費用が高いため

6. 開園日数・時間が希望と合わないため

7. 保護者の負担が大きいため（お弁当・行事への参加など）

8. その他 ()

問 16 **すべての方におたずねします。**

教育・保育を選択するとき、重視することは何ですか。

当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

教育・保育の選択で重視すること	重視度				
	重視する	やや重視する	普通	あまり重視しない	重視しない
1. 教育・保育理念や内容	1	2	3	4	5
2. 自宅からの距離	1	2	3	4	5
3. 利用料金	1	2	3	4	5
4. 給食の有無	1	2	3	4	5
5. 預かり時間の長さ	1	2	3	4	5
6. 夏休み等の長期休業期間中の預かりの有無	1	2	3	4	5
7. 通園バスなどの送迎の有無	1	2	3	4	5
8. 保育士、教職員等の体制	1	2	3	4	5
9. 施設、設備の充実度	1	2	3	4	5
10. 園庭の有無	1	2	3	4	5
11. 受入れ人数の多さ	1	2	3	4	5
12. 少人数で家庭的な雰囲気	1	2	3	4	5
13. 兄弟姉妹や友人など知り合いの通園有無	1	2	3	4	5
14. その他（ ）	1	2	3	4	5

問 16-1 **問 16 で「2. 自宅からの距離」を「重視する」、「やや重視する」と回答した方におたずねします。**

利用できると考える教育・保育の利用先までの距離はどのくらいですか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 自宅から500m以内（徒歩で6～7分）
2. 自宅から1 km以内（徒歩で約 15 分、自転車約 5 分）
3. 自宅から2 km以内（徒歩で約 30 分、自転車約 10 分）
4. 自宅から4 km以内（自転車約 20 分）
5. 自宅から4 km超でもよい
6. その他（ ）

**お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育の
利用希望についておたずねします。**

問 20 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1 つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)
※教育・保育とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などを指します。(親族・知人による預かりは含みません。)

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 まで
---	-----	--

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 まで
---	-----	--

問 21 「幼稚園」を利用されている方におたずねします。

お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 まで
--	-----	--

問 22-2 問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方におたずねします。

その際、「できれば病児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

なお、病児等のための利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。[利用料：1日2,000円程度]

- | | | | | | | |
|----------------------|---|----------------------|----------------------|---|---|---------|
| 1. できれば病児保育施設等を利用したい | ⇒ | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 日 | ⇒ | 問 22-3へ |
| 2. 利用したいとは思わない | ⇒ | 問 22-4へ | | | | |

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児保育施設等を利用したい」に○をつけた方におたずねします。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 病院や診療所に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方におたずねします。

利用したくない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子どもの負担が大きいため |
| 2. 初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗があるため |
| 3. 家族や親族等で対応できるため |
| 4. 自宅近くにないため |
| 5. 利用料が高いため |
| 6. 利用するための手続き等が煩雑であるため |
| 7. 申込みをしても定員が一杯で断られるため |
| 8. 利用可能時間が合わないため |
| 9. 「病児保育施設」の内容がよくわからないため |
| 10. その他（ ） |

問 22-5 問 22-1 で「ウ.」～「コ.」のいずれかに回答した方におたずねします。

仕事を休んで看ることが難しい理由は何ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない |
| 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない |
| 4. 仕事が忙しくて休めない |
| 5. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった |
| 6. その他（ ） |

子育てなどについておたずねします。

問 25 あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
| 3. どちらともいえない | |

問 26 あなたはお子さんに対して、育てにくさを感じていますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------|
| 1. いつも感じる | 2. ときどき感じる |
| 3. 感じない ⇒ 問 27 へ | ▶ 問 26-1 へ |

問 26-1 問 26 で「1. いつも感じる」、「2. ときどき感じる」に○をつけた方におたずねします。

育てにくさを感じた時に、相談先を知っている、何らかの解決する方法を知っていますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 27 乳児揺さぶられ症候群とは、赤ちゃんがどうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きることです。あなたは乳児揺さぶられ症候群を知っていますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 知っている | 2. 言葉だけは知っている |
| 3. 知らない | |

問 28 法律では、虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役場や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。そのような義務があることを知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 29 お子さんのお母さんは妊娠中、働いていましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 働いていた | 2. 働いていたが、やめた |
| 3. 働いていない ⇒ 問 31 へ | ▶ 問 29-1 へ |

問 29-1 問 29 で「1. 働いていた」、「2. 働いていたが、やめた」に○をつけた方におたずねします。

妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思いますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. はい ⇒ 問 29-2 へ | 2. いいえ ⇒ 問 30 へ |
|------------------|-----------------|

問 29-2 問 29-1 で「1. はい」に○をつけた方におたずねします。

それはどのような配慮でしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. いたわりの声かけなど良い雰囲気があった。 |
| 2. 身体への負担が少ない仕事へ転換してくれた。 |
| 3. 仕事の転換はなかったが、休憩の配慮や残業を減らす配慮をもらった。 |
| 4. 妊婦健康診査受診のための休みをくれた。 |
| 5. 母親学級などに参加するための休みをくれた。 |
| 6. 医師等からの指導事項に対応してくれた。 |
| 7. その他 () |

問 30 お子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1. 取得中 | 2. 取得した | ⇒ 問 30-1 へ |
| 3. 取得していない | 4. 就労していなかった | ⇒ 問 31 へ |

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1. 取得中 | 2. 取得した | ⇒ 問 30-6 へ |
| 3. 取得していない | 4. 就労していなかった | ⇒ 問 31 へ |

問 30-1 問 30 の (1) で「2. 取得した」に○をつけた方におたずねします。

育児休業を取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|------------|---------|------------|
| 1. 復帰した | ⇒ 問 30-2 へ | 2. 退職した | ⇒ 問 30-5 へ |
|---------|------------|---------|------------|

問 30-2 問 30-1 で「1. 復帰した」に○をつけた方におたずねします。育児休業から復帰したタイミングはいつでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 年度初めの保育所入所時 | 2. それ以外 |
|----------------|---------|

問 30-3 お子さんが何歳のときに、職場に復帰しましたか。また、希望としてはお子さんが何歳のときに復帰したかったですか。当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

(1) 復帰した年齢

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 0歳0か月～0歳6か月未満 | 2. 0歳6か月以上～1歳0か月未満 |
| 3. 1歳0か月以上～1歳6か月未満 | 4. 1歳6か月以上～2歳0か月未満 |
| 5. 2歳0か月以上～2歳6か月未満 | 6. 2歳6か月以上～3歳0か月未満 |
| 7. 3歳0か月以上 | |

(2) 復帰を希望する年齢

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 0歳0か月～0歳6か月未満 | 2. 0歳6か月以上～1歳0か月未満 |
| 3. 1歳0か月以上～1歳6か月未満 | 4. 1歳6か月以上～2歳0か月未満 |
| 5. 2歳0か月以上～2歳6か月未満 | 6. 2歳6か月以上～3歳0か月未満 |
| 7. 3歳0か月以上 | |

問 30-4 問 30-3の(1)と(2)が異なる方におたずねします。

希望する年齢のときに職場に復帰できなかった理由は何ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 希望より「早く」復帰した理由

- | |
|-----------------------------|
| 1. 希望する保育施設等に入るため |
| 2. 職場に育児休業を長く取りにくい雰囲気があったため |
| 3. 経済的な理由で、早く復帰する必要があるため |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. 配偶者や家族の希望があったため |
| 6. その他 () |

(2) 希望より「遅く」復帰した理由

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する保育施設等に入れなかったため |
| 2. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 4. 配偶者や家族の希望があったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 6. その他 () |

問 30-5 問 30-1 で「2. 離職した」に○をつけた方におたずねします。

離職した理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった
3. 制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった
4. 配偶者や家族の希望
5. その他（)

問 30-6 問 30 の (2) で「1. 取得中」、「2. 取得した」に○をつけた方におたずねします。取得中(した) 育児休業期間はどのくらいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 1週間未満 | 2. 1週間以上から2週間未満 |
| 3. 2週間以上から4週間未満 | 4. 4週間以上から2か月未満 |
| 5. 2か月以上から6か月未満 | 6. 6か月以上から1年未満 |

問 31 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分の親
2. 配偶者
3. 兄弟姉妹や親戚
4. 友人や知人
5. 近所の人
6. 自治会や民生委員など地域の人
7. 保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生
8. 子育て支援センターや児童センター
9. 行政の窓口、電話相談など
10. 市の子育て関連情報誌
11. その他の冊子、雑誌など
12. 市が運営するWEBサイト
13. その他のインターネットの情報
14. その他（)
15. 特にない

問 34 あなたはどのような子どもの姿が望ましいと考えますか。

当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. やりたいことに向かって心と体を十分にはたらかせる。
2. しなければならないことを諦めずにやり遂げる。
3. 友達と関わる中で工夫したり協力したりする。
4. してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動する。
5. 地域の人と触れ合う中で、地域に親しみをもつ。
6. 身近な事象に積極的に関わり、気付いたり考えたり工夫したりする。
7. 自然の中で一緒に遊んだり、キャンプをしたりするようにする。
8. 身近な動植物に心を動かし生命の不思議さや尊さに気付く。
9. 数量や図形、標識、文字などに興味や関心を持つ。
10. 自分の経験や考えを言葉で伝えたり相手の話を注意して聞いたりする。
11. 感じたことや考えたことを様々な方法で表現する。
12. その他（ ）

**お子さんが来年度小学生になる方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についておたずねします。⇒ その他の方は、問 38 へ**

問 35 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

1. 自宅	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
4. 児童センター（※注1）	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室（※注2）	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（※注3）	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい →下校時から <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> <input style="width: 30px;" type="text"/> 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input style="width: 30px;" type="text"/> 日くらい

※注1：児童センターで行う放課後児童クラブの場合は「6.」に○をつけてください。

※注2：「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※注3：「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

〔平均利用料（月額）：令和5年度で、公設8,000円、民設10,000円程度〕

問 36 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 37 お子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	
	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 から
	<input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分 まで

問 38 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。この調査票を返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ゆめ
第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン策定に係る基礎調査

・・・ 小学生保護者 ・・・

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。現在、さいたま市では、子ども・子育てに関する総合計画として、「第2期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」により、子ども・子育てに係る各種施策を展開しております。

令和7年度からの次期プランの策定に向けて、子育て当事者の皆様のニーズなどを把握するため、令和5年12月1日から12月26日までの期間で、小学生のお子様のいるご家庭を対象に標記アンケート調査を実施いたします。対象者の抽出にあたりましては、各小学校から2クラスを選び、ご協力をお願いするものです。

なお、調査結果は市の子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

※本調査は、さいたま市役所が行うものであり、学校とは一切関係ありません。

令和5年12月

さいたま市長 清水 勇 人

— 回答にあたってのお願い —

- この調査は、封筒を持ち帰ったお子様についてお答えください。
- この調査は、お子様の保護者の方がご記入ください。「あなた」とは、アンケートに回答される方を表します。
- 回答は、選択肢の番号や記号に○をつけて選ぶ場合と、数字を記入する場合があります。
- 回答数の指示がありますので、よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内の自由意見については、ご自身の考えや意見をご記入ください。
- 調査票や封筒に、学年・組・氏名を記入する必要はありません。
- 封筒を持ち帰ったお子様が小学校5、6年生の場合は、お子様にもアンケート調査をお願いしている場合がありますので、お子様が回答した調査票は「小学生回答用封筒」に入れ、封をするようお伝えください。
- ご記入いただいたこの調査票を（お子様も調査対象であれば、お子様の調査票が入った「小学生回答用封筒」も一緒に）、お配りした封筒に入れて封をし、令和6年1月10日（水）までにお子様を通して学校へご提出ください。
- この調査票についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

— お問い合わせ —

さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども政策課 企画係

電話 048(829)1909 (直通) FAX 048(829)1960

お住まいについておたずねします。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. 西 区 | 2. 北 区 |
| 3. 大宮区 | 4. 見沼区 |
| 5. 中央区 | 6. 桜 区 |
| 7. 浦和区 | 8. 南 区 |
| 9. 緑 区 | 10. 岩槻区 |

問2 さいたま市居住年数として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 0～1年 | 2. 2～5年 |
| 3. 6～10年 | 4. 11～15年 |
| 5. 16～20年 | 6. 21年以上 |

お子さんとご家族の状況についておたずねします。

問3 お子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。(問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です。)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | |

問7 あなたにとって、理想の子どもの数は何人ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |

問8 あなたは実際に持つ予定の(持った)子どもの数は何人ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |

問9 問7より問8で回答した人数が少ない方におたずねします。

人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかり過ぎるから | 2. 家が狭いから |
| 3. 仕事等に差し支えるから | 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 6. 高年齢で産むのはいやだから |
| 7. これ以上の育児負担に耐えられないから | 8. 健康上の理由から |
| 9. ほしいけどできないから | |
| 10. その他() | |

お子さんの保護者の就労状況についておたずねします。

問10 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をおたずねします。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------------|
| 1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ 問11へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | } ⇒ 問10-1へ |
| 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問10-2へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|------------|
| 1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、
育休・介護休業中ではない | } ⇒ 問11へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、
育休・介護休業中ではない | } ⇒ 問10-1へ |
| 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、
育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒ 問10-2へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

問10-1 問10の(1)または(2)で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方におたずねします。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 問11へ

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

⇒ 問11へ

問10-2 問10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方におたずねします。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する就労形態

ア. フルタイム(週5日・1日8時間程度)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子ども 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する就労形態

ア. フルタイム(週5日・1日8時間程度)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

放課後の過ごし方についておたずねします。

問11 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時00分のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事・塾・スポーツ少年団など	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター（※注1）	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室（※注2）	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（※注3）	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※注1：児童センターで行う放課後児童クラブの場合は「6.」に○をつけてください。
 ※注2：「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
 ※注3：「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

放課後児童クラブの利用についておたずねします。

問12 お子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	⇒ 問12-1へ
2. 利用していない	⇒ 問12-5へ

問12-1 問12で「1. 利用している」と回答した方におたずねします。

お子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどのくらいですか。口内に数字をご記入ください。また、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

週あたり <input type="text"/> 日	⇒うち、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用は		
<table border="1"> <tr> <td>1. ある</td> <td>2. ない</td> </tr> </table>		1. ある	2. ない
1. ある	2. ない		

問 12-2 利用されている主な理由は何ですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(お子さんの身の回りの世話を主にしている方が)

1. 現在就労しているため
2. 就労予定がある／求職中であるため
3. 家族・親族などを介護しなければならないため
4. 病気や障がいがあるため
5. 学生であるため
6. その他 ()

問 12-3 今後も利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 利用したい ⇒ **問 12-7へ**
2. 利用したくない ⇒ **問 12-4へ**

問 12-4 **問 12-3で、「2. 利用したくない」と回答した方におたずねします。**

利用したくない主な理由は何ですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため
2. 学校の行事（クラブ活動などを含む）が多く、帰りが遅いため
3. 習い事に通うため
4. 他の施設に預けるため
5. 利用料金がかかるため
6. その他 ()

⇒ **問 12-9へ**

問 12-5 **問 12で「2. 利用していない」と回答した方におたずねします。**

現在、利用していない主な理由は何ですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

(お子さんの身の回りの世話を主にしている方が)

1. 現在就労していないため
2. 就労しているが、放課後児童クラブの存在を今まで知らなかったため
3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないため
4. 就労しているが、放課後児童クラブに空きがなく入れないため
5. 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短く利用しにくい
6. 就労しているが、利用料を負担に感じるため
7. 就労しているが、子どもは放課後、習い事に通っているため
8. 就労しているが、放課後の短時間であれば、子どもだけで大丈夫なため
9. 就労しているが、他の施設に預けているため
10. その他 ()

問 12-6 今後は、利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 利用したい | ⇒ 問 12-7へ |
| 2. 今後も利用しない | ⇒ 問 12-9へ |

問 12-7 **問 12-3 または問 12-6 で「1. 利用したい」と回答した方におたずねします。**

利用希望日数はどのくらいですか。□内に数字を記入してください。

また、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望はありますか。

当てはまる番号 1つに○をつけてください。

週 日くらい ⇒うち、土曜・長期休業日（夏休み等）の利用希望は

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 12-8 今後、放課後児童クラブを利用したい主な理由は何ですか。

当てはまる番号 1つに○をつけてください。

（お子さんの身の回りの世話を主にしている方が）

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 現在就労しているため | |
| 2. 就労予定がある／求職中であるため | |
| 3. そのうち就労したいと考えているため | |
| 4. 家族・親族などを介護しなければならないため | |
| 5. 病気や障がいがあるため | |
| 6. 学生である／就学したいため | |
| 7. その他（ | ） |

問 12-9 **すべての方におたずねします。**

月曜日から土曜日まで、定員を設けずに小学校内で過ごすことができる居場所があれば利用したいですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

※ 放課後児童クラブの利用条件に該当しないお子さんは放課後（土曜・長期休業日（夏休み等）は午前8時）から午後5時までの間

※ 放課後児童クラブの利用条件に該当するお子さんは放課後（土曜・長期休業日（夏休み等）は午前8時）から午後7時までの間

- | | |
|------------|------------|
| 1. 利用したい | ⇒ 問 12-10へ |
| 2. 利用したくない | ⇒ 問 12-11へ |

放課後チャレンジスクール(放課後子ども教室)についておたずねします。

問13 お子さんは、現在、放課後チャレンジスクール(放課後子ども教室)に参加していますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 参加している | ⇒ 問13-1へ |
| 2. 参加していない | ⇒ 問13-2へ |

※放課後チャレンジスクール(放課後子ども教室)

放課後チャレンジスクール(放課後子ども教室)とは、放課後等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、スポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等、様々な体験活動や学習活動を実施することにより、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性がはぐくまれる環境づくりを推進するものです。

問13-1 問13で「1. 参加している」と回答した方におたずねします。

お子さんについて、放課後チャレンジスクールの参加日数はどのくらいですか。
また、その放課後チャレンジスクールの開催日数はどのくらいですか。
それぞれ、口内に数字でご記入ください。

参加日数	週当たり	<input type="text"/>	日	開催日数	週当たり	<input type="text"/>	日
------	------	----------------------	---	------	------	----------------------	---

⇒ 問14へ

問13-2 問13で「2. 参加していない」と回答した方におたずねします。

参加していない主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 習い事・学習塾に通うため	2. チャレンジスクール以外で遊ぶため
3. 関心がない	4. 家で過ごすため
5. その他()	

問14 問13で「1. 参加している」、「2. 参加していない」と回答した方、全員におたずねします。

お子さんについて、今後、放課後チャレンジスクールに参加する場合、1週間(月～金)に何日くらい参加したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 週1～2日程度参加したい	2. 週3～4日程度参加したい	⇒ 問15へ
3. 週5日(月～金)すべて参加したい	4. 参加を希望しない	⇒ 問14-1へ

問14-1 問14で「4. 参加を希望しない」と回答した方におたずねします。

今後、参加を希望しない主な理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 習い事・学習塾に通うため	2. チャレンジスクール以外で遊ぶため
3. 関心がない	4. 家で過ごすため
5. その他()	

家庭教育などについておたずねします。

問 15 あなたは、今後の子どもに対する教育方針について、どのように考えますか。
それぞれ当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

	大 切	ま あ ま あ 大 切	あ ま り 大 切 で は な い	大 切 で は な い	わ か ら な い ま だ 考 え て い な い
① 学力を伸ばす	1	2	3	4	5
② コミュニケーション能力を高める	1	2	3	4	5
③ 規範意識を高める	1	2	3	4	5
④ 他人を思いやる心を育む	1	2	3	4	5
⑤ 体力を向上させる	1	2	3	4	5

問 16 子どもの教育やしつけについて、あなたがこころがけている（こころがけたい）ことは何ですか。
当てはまる番号 す べてに ○ をつけてください。

1. 子どもの話を聞くようにする。
2. 毎日、夕食を一緒にとるようにする。
3. 見る時間を決めてテレビ（動画やゲームも含む）を見るようにさせる。
4. 本の読み聞かせをしたり、本の感想を話し合ったりする。
5. 博物館、美術館、図書館、映画、演劇などに連れて行くようにする。
6. スポーツを一緒にするようにする。
7. 自然の中で一緒に遊んだり、キャンプをしたりするようにする。
8. 近所の人たちと家族ぐるみで付き合うようにする。
9. 近所のお祭りや行事に、一緒に参加するようにする。
10. 自分でできることは、出来るだけ任せるようにする。
11. 普段からよくほめるようにする。
12. 子どもの誤った言動については毅然とした態度で対応するようにする。
13. その他（ ）

問 20 法律では、虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、誰でも市町村の役場や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。そのような義務があることを知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 知っている

2. 知らない

問 21 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。

この調査票を（お子様も調査対象であれば、
お子様の調査票が入った「小学生回答用封筒」も一緒に）
お配りした封筒に入れ、封をしてお子さんに持たせてください。
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン策定に係る基礎調査
18歳未満（小・中・高校生年代）

さいたま市では、18歳未満（令和5年4月1日時点）の皆さんに、家庭や家族、学校生活などの様子や意見をお聞きするため、アンケート調査を行うこととしました。

この調査の結果は、青少年が心身ともにすこやかに育まれていくようにするために、どのようなことが必要かを検討する（しらべる）、大切な資料として使います。

この調査には、あなたの名前や住所を書く必要はありません。また、だれがどのように答えたかはわからないようになっていきますので、思ったことを正直に教えてください。

※この調査は、さいたま市役所が行うものであり、学校とは一切関係ありません。

令和5年12月

さいたま市長 清水 勇人

保護者の方へ

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このたび、本市の子ども・子育てに関する総合的な計画であります「第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」の策定にあたり、お子さまにアンケート調査をお願いするものです。

日々お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひ、協力いただきますようお願いいたします。

記入するときのおねがい

- 答えは、濃いえんぴつやボールペンなどを使って、あてはまる番号を○で囲んでください。
「その他」に○をした場合は、（ ）内にくわしく記入してください。
- 質問ごとに答える数が決められていますので、まちがえないようにしてください。
- 質問によっては、答えていただく人が決められている場合がありますので、質問をよく読んで、あてはまる人だけ答えてください。
- 小学校5、6年生は、記入した用紙を「小学生回答用封筒」に入れて封をしてから、保護者の方が回答したアンケート用紙と一緒に学校から配られた封筒に入れて、令和6年1月10日（水）までに学校へ提出してください。
- 中学生は、記入した用紙を配られた封筒に入れて封をし、令和6年1月10日（水）までに学校へ提出してください。
- それ以外の方は、記入した用紙を返信用封筒に入れて、令和5年12月26日（火）までに切手を貼らずにポストに投函してください。
- 調査のことでわからないことなどがあつたら、下に書いてある市役所へおたずねください。

お問い合わせ

さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども政策課 企画係
電話 048(829)1909 (直通) FAX 048(829)1960

あなたのことについておたずねします。

問1 あなたの性別を選んで1つに○をしてください。

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 1. 男 <small>おとこ</small> | 2. 女 <small>おんな</small> | 3. 回答しない <small>かいとう</small> |
|-------------------------|-------------------------|------------------------------|

問2 あなたは、何人きょうだいですか。あなたを含めた人数を選んで1つに○をしてください。
5人以上の場合は「5」に○をして、その人数を書いてください。

- | | |
|---|--------------------------|
| 1. 1人 <small>ひとり</small> | 2. 2人 <small>ふたり</small> |
| 3. 3人 <small>にん</small> | 4. 4人 <small>にん</small> |
| 5. 5人以上 (<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 人)
<small>にんいじょう ばあい にん</small> | |

問3 あなたは何歳ですか。口内に数字で書いてください。(数字は1つの口に1字)

<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	さい 歳
---	---	---------

問4 あなたは、どこに住んでいますか。1つに○をしてください。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 西 区 <small>にし く</small> | 2. 北 区 <small>きた く</small> |
| 3. 大宮区 <small>おおみやく</small> | 4. 見沼区 <small>みぬまく</small> |
| 5. 中央区 <small>ちゅうおうく</small> | 6. 桜 区 <small>さくら く</small> |
| 7. 浦和区 <small>うらわく</small> | 8. 南 区 <small>みなみ く</small> |
| 9. 緑 区 <small>みどり く</small> | 10. 岩槻区 <small>いわつきく</small> |

家庭や家族のことについておたずねします。

問5 あなたは、だれと一緒にくらしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. お父さん <small>とう</small> | 2. お母さん <small>かあ</small> |
| 3. きょうだい | 4. おじいさん |
| 5. おばあさん | 6. その他 (<input style="width: 50px;" type="text"/>) |

問6 あなたは、おうちのひとのしつけについてどう感じていますか。1つに○をしてください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. とてもきびしいと思う <small>おも</small> | 2. どちらかといえば、きびしいと思う <small>おも</small> |
| 3. どちらかといえば、あまいと思う <small>おも</small> | 4. とてもあまいと思う <small>おも</small> |
| 5. よくわからない | |

問7 あなたは、おうちのひとと話をしますか。1つに○をしてください。

1. よく話す	2. どちらかといえば、話す	⇒ 問8へ
3. あまり話さない	4. ほとんど話さない	⇒ 問7-1へ

★ 問7で「3. あまり話さない」または「4. ほとんど話さない」に○をした人が答えてください。

問7-1 あなたがおうちのひととあまり話さなかったり、ほとんど話さなかったりする理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

1. 話しても自分の気持ちをわかってもらえないから	
2. 話しても考え方や話題があわないので、話す気にならないから	
3. 自分の意見や考え方を聞こうとしないから	
4. 話をするのがめんどうだから	
5. 自分がいそがしくて、なかなか話す機会がないから	
6. おうちのひとが仕事などでいそがしくて、なかなか話す機会がないから	
7. その他 ()	
8. 特に理由はない	

★ すべての人が答えてください。

問8 あなたは、おうちのひとと話す機会をもっと持ちたいと思いますか。1つに○をしてください。

1. もっと気軽にどんなことでも話そうようにしたい	
2. 必要なときだけ（大事なことだけ）でも、話そうようにしたい	
3. 話したいけど、どうしたらいいかわからない（きっかけがつかめない）	
4. 今のままで気にならない	
5. その他 ()	

問9 あなたは、家庭や家族のことに満足していますか。①「心や気持ちの面」と②「物の豊かさの面」のそれぞれについて1つに○をしてください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満
① ゆったりしたり、心が落ち着いたりするなど、心や気持ちの面では	1	2	3	4	5
② ほしい物を買ってもらったり、おこづかいをもらったりするなど、物の豊かさの面では	1	2	3	4	5

問10 家いえにいるとき、楽しいたのと感じるかんのはどんなときですか。主おもなもの3つまでに○をしてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 家族 <small>かぞく</small> と会話 <small>かいわ</small> をしているとき | 2. 食事 <small>しょくじ</small> をしているとき |
| 3. 自分 <small>じぶん</small> ひとりでテレビ <small>み</small> を見ているとき | 4. 家族 <small>かぞく</small> みんな <small>み</small> でテレビを見ているとき |
| 5. 自分 <small>じぶん</small> ひとりでテレビゲーム <small>ふく</small> （インターネットゲームを含む）をしているとき | |
| 6. 家族 <small>かぞく</small> みんな <small>ふく</small> でテレビゲーム（インターネットゲームを含む）をしているとき | |
| 7. パソコン <small>けいたいでんわ</small> や携帯電話 <small>ふく</small> （スマートフォンも含む）でインターネット、メールやSNS <small>を</small> しているとき | |
| 8. 自分 <small>じぶん</small> の趣味 <small>しゅみ</small> （読書 <small>どくしょ</small> など）をしているとき | 9. 勉強 <small>べんきょう</small> をしているとき |
| 10. 寝 <small>ね</small> ているとき | 11. 何 <small>なに</small> もしないでいるとき |
| 12. その他 <small>た</small> （ ） | 13. 特 <small>とく</small> にない |

問11 家いえにいて楽しくないたのと思うおもことはどんなことですか。主おもなもの3つまでに○をしてください。

- | |
|---|
| 1. 家族 <small>かぞく</small> と話 <small>はなし</small> をすることがない（少ない <small>すく</small> ）こと |
| 2. 家族 <small>かぞく</small> そろって食事 <small>しょくじ</small> をすることがない（少ない <small>すく</small> ）こと |
| 3. 家 <small>いえ</small> の人 <small>ひと</small> からよく注意 <small>ちゅうい</small> されること（勉強 <small>べんきょう</small> 、服装 <small>ふくそう</small> 、家 <small>いえ</small> の手伝い <small>てつだ</small> のことなどで） |
| 4. テレビ <small>み</small> を見る時間 <small>じかん</small> がない（少ない <small>すく</small> ）こと |
| 5. テレビゲーム <small>ふく</small> （インターネットゲームを含む）を <small>する</small> 時間 <small>じかん</small> がない（少ない <small>すく</small> ）こと |
| 6. パソコン <small>けいたいでんわ</small> や携帯電話 <small>ふく</small> （スマートフォンも含む）でインターネット、メールやSNS <small>を</small> する時間 <small>じかん</small> がない（少ない <small>すく</small> ）こと |
| 7. 自分 <small>じぶん</small> の好き <small>す</small> なことをする自由 <small>じゆう</small> な時間 <small>じかん</small> がない（少ない <small>すく</small> ）こと |
| 8. 勉強 <small>べんきょう</small> すること |
| 9. 決められた時間 <small>き</small> に寝 <small>ね</small> たり起き <small>お</small> たりしなければならないこと |
| 10. その他 <small>た</small> （ ） |
| 11. 特 <small>とく</small> にない |

がっこうせいかつ
学校生活がっこうせいかつについておたずねします。

★ 学校がっこうに通かよっている人ひとにおたずねします。

問12 あなたは、学校がっこうでの生活せいかつについてどのように感じかんていますか。

①～④のそれぞれ1つに○をしてください。

	満足 <small>まんぞく</small> している (よい)	どちらかといえ <small>まんぞく</small> ば満足	どちらかといえ <small>ふまん</small> ば不満	不満 <small>ふまん</small> (わるい)	わからない
① クラスメイトのこと	1	2	3	4	5
② 部 <small>ぶ</small> （クラブ）活動 <small>かつどう</small>	1	2	3	4	5
③ 学校生活 <small>がっこうせいかつ</small> のきまり	1	2	3	4	5
④ 学校 <small>がっこう</small> の建物 <small>たてもの</small> や設備 <small>せつび</small>	1	2	3	4	5

問13 あなたは、「学校に行きたくない」と思ったことがありますか。1つに○をしてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. いつもそう思っている | 2. ときどきそう思うことがある |
| 3. そう思ったことはあるが、今はない | 4. そう思ったことは1度もない ⇒ 問14へ |

★ 問13で「1」～「3」のいずれかに○をした人が答えてください。

問13-1 「学校に行きたくない」と感じた理由は何ですか。

次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 勉強がわからない | 2. 成績や進路のことで |
| 3. 睡眠不足や体の疲れで | 4. 友だち関係で |
| 5. きらい（苦手）な先生がいる | 6. きらい（苦手）な授業や行事がある |
| 7. いじめで | 8. 異性（男友だち、または女友だち）のこと |
| 9. 自分の外見や性格のことで | 10. 家族のことで |
| 11. 部活動（クラブ活動）のことで | 12. その他（ ） |
| 13. 特に理由はない（なんとなく） | |

休日などの過ごし方と、友だちとの関係についておたずねします。

★ すべての人が答えてください。

問14 あなたは、学校（仕事）が終わった後、どこで過ごしていることが多いですか。

主なものを3つまでに○をしてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 自分の家 | 2. 友だちの家 |
| 3. 親戚（おじいさん、おばあさんなど）の家 | 4. 塾や習いごとの教室など |
| 5. 学校（クラブ活動などを含む） | 6. 公共の建物（公民館、図書館など） |
| 7. 公園や広場など | 8. 児童センターで |
| 9. 放課後児童クラブ | 10. ゲームセンター |
| 11. コンビニエンスストア | 12. カラオケボックス |
| 13. ファーストフード店 | 14. ショッピングモールなどの商業施設 |
| 15. その他（ ） | |

問15 あなたは、学校（仕事）が休みの日には、どこにいたることが多いですか。
 おも
 主なものを3つまでに○をしてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 自分の家 | 2. 友だちの家 |
| 3. 親戚（おじいさん、おばあさんなど）の家 | 4. 塾や習いごとの教室など |
| 5. 学校（クラブ活動などを含む） | 6. 公共の建物（公民館、図書館など） |
| 7. 公園や広場など | 8. 児童センターで |
| 9. 放課後児童クラブ | 10. ゲームセンター |
| 11. コンビニエンスストア | 12. カラオケボックス |
| 13. ファーストフード店 | 14. ショッピングモールなどの商業施設 |
| 15. その他（ ） | |

問16 あなたには、なんでも話せるような仲のよい友だちがいますか。1つに○をしてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 1人 | 2. 2～3人 |
| 3. 4～5人 | 4. 6～9人 |
| 5. 10人以上 | 6. とくに決まった友だちはいない |
| 7. その他（ ） | 8. わからない |

問17 あなたは、自分専用の携帯電話（スマートフォンを含む）を持っていますか。
 どちらか1つに○をしてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

問18 あなたは、ふだん友だちとの会話で、携帯電話（スマートフォンを含む）やパソコンをどれくらい使っていますか。1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. メールよりも、家の電話や携帯電話で友だちと直接話すことが多い |
| 2. 話の内容によって、通話とメールを使い分けようとしている |
| 3. 友だちとの会話のほとんどは、携帯電話（スマートフォンを含む）などのメールやSNSを使っている |
| 4. メールをしない |

問19 あなたは、携帯電話（スマートフォンを含む）やパソコンで、インターネットを利用したことがありますか。1つに○をしてください。

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. よく利用する | 2. 時々利用する |
| 3. ほとんど利用しない | 4. 利用したことがない ⇒ 問20へ |

★ 問19で「1」～「3」のいずれかに○をした人が答えてください。

問19-1 あなたは、SNSやインターネットの中だけで付きあっているような“友だち”がいますか。1つに○をしてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 悩みごとなど何でも相談できる「友だち」がいる |
| 2. 話し相手としての「友だち」はいる |
| 3. とくに決まった相手としての「友だち」はいない |
| 4. その他（ ） |

悩みごとや相談相手などについておたずねします。

★ すべての人が答えてください。

問20 あなたには、困りごとや悩みごとがありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 勉強や進路のこと | 2. 就職（仕事に就く）のこと |
| 3. 家族のこと | 4. 友人や仲間のこと |
| 5. 異性（男だち、または、女だち）のこと | 6. お金のこと |
| 7. 性格のこと | 8. 健康のこと |
| 9. 容姿（外見）のこと | 10. その他（ ） |
| 11. 困りごとや悩みごとはない | |

問21 あなたは、困ったり、悩んだりしたとき、だれにもっとも相談しますか。

1つに○をしてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 親（保護者） | 2. きょうだい |
| 3. おじいさん・おばあさん | 4. 友だち |
| 5. 近所のおじいさん・おばあさん | 6. 先輩 |
| 7. 学校の先生（担任の先生） | 8. 担任以外の学校の先生 |
| 9. 塾の先生 | 10. クラブ活動の監督・コーチ・部長・先輩 |
| 11. SNSなどのインターネット上の友だち | 12. その他（ ） |
| 13. だれにも相談しない | 14. だれにも相談できない |

あなたの将来の「ゆめ」や「目標」についておたずねします。

問22 あなたは、将来の「ゆめ」や「目標」をもっていますか。どちらかに○をしてください。

1. もっている

2. もっていない ⇒ 問25へ

★ 問22で「1. もっている」に○をした人だけ答えてください。

問22-1 あなたは、どのような「ゆめ」や「目標」をもっていますか。3つまで○をしてください。

1. 社会に貢献したい（世の中のために役に立つことをしたい）

2. 芸能界やスポーツなどで有名人になりたい

3. お金持ちになって豊かな生活をしたい

4. 他人を思いやることができるやさしい人になりたい

5. 家族やまわりの人たちとなかよく、楽しい生活したい

6. 自分の個性や才能をいかした仕事をしたい

7. 趣味など好きなことをしながら生活したい

8. その他（ ）

問23 あなたは、「ゆめ」や「目標」の実現に向けて努力をしていますか。

どちらかに○をしてください。

1. している

2. していない

問24 将来の「ゆめ」や「目標」を実現していくために、周りの大人にどのような手助けをしてもらいたいと思いますか。1つに○をつけてください。

1. 大人の意見を押しつけないで、自分の考え方をきちんと聞いてほしい

2. 「ゆめ」や「目標」を見つけたり、「ゆめ」の実現に向けて迷いやわからない事があったときにしっかりアドバイスしてほしい

3. お金の援助をしてほしい

4. 静かに見守ってほしい

5. その他（ ）

6. とくに望むことはない

ちいき ちいき かつどう
地域や地域の活動についておたずねします。

★ ^{ひと} ^{こた} **すべての人が答えてください。**

問25 ^{あなた} ^が ^住 ^ん ^で ^い ^る ^地 ^域 (^家 ^の ^ま ^わ ^り ^の ^人 ^や ^自 ^然 ^な ^ど) ^の ^こ ^と ^は ^好 ^き ^で ^す ^か。

1つに○をしてください。

- | | |
|---|--|
| 1. ^好 ^き | 2. ^ど ^ち ^ら ^か ^と ^い ^え ^ば ^好 ^き |
| 3. ^あ ^ま ^り ^好 ^き ^で ^は ^な ^い | 4. ^好 ^き ^で ^は ^な ^い |
| 5. ^何 ^と ^も ^思 ^わ ^な ^い | 6. ^わ ^か ^ら ^な ^い |

問26 ^{あなた} ^は ^最 ^近 ¹ ^年 ^間 ^に ^地 ^域 ^の ^行 ^事 ^や ^活 ^動 (^地 ^域 ^の ^お ^祭 ^り ^や ^清 ^掃 ^な ^ど) ^に ^参 ^加 ^し ^た ^こ ^と ^が ^あ ^り ^ま ^す ^か。1つに○をしてください。

- | | |
|---|--|
| 1. ^積 ^極 ^的 ^に (^自 ^分 ^か ^ら ^進 ^ん ^で) ^参 ^加 ^し ^て ^い ^る | 2. ¹ [、] ² ^回 ^程 ^度 ^参 ^加 ^し ^た |
| 3. ^ま ^っ ^た ^く ^参 ^加 ^し ^て ^い ^な ^い | |

問27 ^{あなた} ^は ^自 ^分 ^の ^住 ^む ^地 ^域 (^家 ^や ^学 ^校 ^以 ^外 ^の ^場) ^に ^対 ^す ^る ^希 ^望 ^や ^要 ^望 ^が ^あ ^り ^ま ^す ^か。
どちらかに○をしてください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------------------|
| 1. ^あ ^る | 2. ^な ^い ⇒ 問29へ |
|------------------------------|-------------------------------------|

問28 ^自 ^分 ^の ^住 ^む ^地 ^域 ^に ^対 ^し ^て [「] ^こ ^う ^あ ^っ ^て ^ほ ^し ^い [」] ^と ^か [、] [「] ^こ ^う ^な ^っ ^た ^ら ^い ^い ^な [」] ^と ^い ^う ^よ ^う ^な ^希 ^望 ^や ^要 ^望 ^が ^あ ^っ ^た ^ら ¹ ^つ ^書 ^い ^て ^く ^だ ^さ ^い。

問29 ^子 ^ど ^も [・] ^青 ^少 ^年 ^に ^関 ^し ^て ^意 ^見 ^が ^あ ^れ ^ば [、] ^自 ^由 ^に ^記 ^入 ^し ^て ^く ^だ ^さ ^い。

^小 ^学 ^生 ^へ ^の ^質 ^問 ^は ^以 ^上 ^で ^す。 ^ご ^協 ^力 ^あ ^り ^が ^と ^う ^ご ^ざ ^い ^ま ^し ^た。

^中 ^学 ^生 ^以 ^上 ^の ^方 ^は ^問 ³⁰ ^へ

★ 問30～36 については、中学生以上の方が答えてください。

健康などについておたずねします。

問30 この1か月の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。

①～⑥のそれぞれ1つに○をしてください。

	いつも	たいてい	時々	少しだけ	まったく
① 神経過敏に感じましたか ※	1	2	3	4	5
② 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
③ それぞれ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
④ 気分が沈み込んで、何が起こっても 気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
⑤ 何をするのも大変だと感じましたか	1	2	3	4	5
⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

※ちょっとしたことに感情を動かされ、イライラしたり、怒ったり、泣いたり、夜眠れなくなったりする状態

問31 自分の将来（たとえば、どんな仕事をしたいか、結婚するかしらないか、子どもを持ちたいか等）について考えたことがありますか。どちらかに○をしてください。

1. ある 2. ない

問32 性やからだのしくみについて、学校や家庭で教えてもらったことはありますか。

1つに○をしてください。

1. ある 2. ない
3. 教えてもらったかおぼえていない 4. 教えてもらったが、わすれた

問33 35歳ごろを過ぎると妊娠のしやすさに変化があることを知っていますか。

どちらかに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らない

ひこう
非行についておたずねします。

問34 次のことを行っている同級生がいたら、あなたはどのように行動しますか。

①～⑨のそれぞれについて1つに○をしてください。

	声をかける やめるように	先生に知らせる	何もしない	わからない	その他
① 学校や授業をさぼる	1	2	3	4	5
② わざと授業の邪魔をしたり、先生に乱暴な口をきく	1	2	3	4	5
③ 人をいじめる	1	2	3	4	5
④ 喫煙（たばこを吸う）・飲酒（お酒を飲む）をする	1	2	3	4	5
⑤ 違法・危険な薬物を使用する	1	2	3	4	5
⑥ 物を盗む、万引きをする	1	2	3	4	5
⑦ 無断で外泊する	1	2	3	4	5
⑧ 深夜遅くまで出歩く	1	2	3	4	5
⑨ 出会い系サイト・アプリなどを利用する	1	2	3	4	5

問35 あなたは、未成年者が非行に走る原因（背景）にはどんなことがあると思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 家庭のぬくもりや家族同士のふれあいが不足（欠如）していること
2. 家庭で過保護、または放任し過ぎること
3. 学校の先生との信頼関係が低下していること
4. 地域や近所に、叱ってくれる大人が少なくなったこと
5. 地域（大人）全体が青少年に対して無関心になっていること
6. 子どもの模範（手本）となるべき大人自身のモラル（道徳意識）や規範意識が低下していること
7. 子ども自身にも、自分を抑制する心のたくましが欠けていること
8. 子どもにとって、将来に向けたゆめや希望、目標を見つけにくくなっていること
9. 非行につながる有害情報や歓楽の場が氾濫するなど社会環境が悪化していること
10. 地域に非行を繰り返さないための仕組みがないこと
11. その他（ ）
12. わからない

問36 下記のサービス（施設）を知っていますか。また、これまでに利用（参加）したことはありますか。それぞれについて1つに○をしてください。

サービス名	内容	にちど 認知度		りよう さんか 利用（参加） 状 況		りよう さんか 利用（参加） 意 向	
		知し 知っている	知ら 知らない	利用 （参加） したことがある	利用 （参加） したことはない	今後、 利用 （参加） したい	利用 （参加） は考 えていない
① 児童センター	児童と保護者が自由に場を共有し、健康を増進し、情操（感動する心）を豊かにする施設	1	2	1	2	1	2
② 教育相談室	児童生徒の学校生活に関わる様々な相談や、幼児のこぼれや発音などに関する相談を行う。	1	2	1	2	1	2
③ こころの健康センター・こころの子ども精神保健相談室	不安を抱えている小学校高学年から中学生の本人及び家族を対象に、相談を行う。	1	2	1	2	1	2
④ さわやか相談室	市立全中学校内にある「さわやか相談室」で、相談員が教育相談を行う。	1	2	1	2	1	2
⑤ 保健所・保健センターによる相談	保健師、栄養士などによる電話・来所相談	1	2	1	2	1	2
⑥ 青少年の主張大会	白々の暮らしの中での思いを、自分の言葉としてまとめ、発表する場として、青少年の主張大会を実施する。	1	2	1	2	1	2
⑦ 猿花キャンプ場	集団野外宿泊、デイキャンプ、レクリエーション、自然体験等を通して、社会性、協調性、ルールや命の大切さなどを学ぶ見沼区にある施設	1	2	1	2	1	2
⑧ 青少年育成巡回活動	青少年の非行防止と安全確保並びに地域環境の整備を図るため、月1回、各地区において巡回活動を実施する。	1	2				
⑨ 非行防止キャンペーン	青少年健全育成強調月間中に、青少年健全育成に関わる団体等が協力し非行防止キャンペーンを各区で展開する。	1	2				
⑩ 広報誌「はばたき」	青少年健全育成に関する団体の活動報告、啓発誌として、「はばたき」を発行している。	1	2				

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ゆめ
第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン策定に係る基礎調査

・・・ 青年調査 ・・・

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

現在、さいたま市では、子ども・子育てに関する総合計画として、「第2期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」により、子ども・子育てに係る各種施策を展開しております。

令和7年度からの次期プランの策定に向けて、市民の皆様の青少年の健全育成に関わるニーズなどを把握するため、令和5年12月1日から12月26日までの期間で、18歳～39歳（令和5年4月1日時点）の方を対象に標記アンケート調査を実施いたします。対象者の抽出にあたりましては、住民基本台帳により2,000人を無作為抽出し、ご協力をお願いするものです。

なお、調査結果は市の青少年健全育成施策や少子化対策等の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございませんので、率直など意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和5年12月

さいたま市長 清水 勇 人

— 回答にあたってのお願い —

- この調査は、宛名の方がお答えください。
- 回答は、選択肢の番号に○をつけて選ぶ場合と、数字を記入する場合があります。
- 回答数の指示がありますので、よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内の自由意見については、ご自身の考えや意見をご記入ください。
- 調査票や封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は返信用封筒に入れて、**令和5年12月26日（火）までに、切手を貼らずにポストに投函**してください。
- この調査票についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

— お問い合わせ —

さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども政策課 企画係
電話 048（829）1909（直通） FAX 048（829）1960

■ はじめに、あなたのことについておたずねします。

問1 あなたの性別を選んで1つに○をつけてください。

- | | | |
|------|------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 回答しない |
|------|------|----------|

問2 あなたの年齢について当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～19歳 | 2. 20歳～24歳 | 3. 25歳～30歳 |
| 4. 31歳～34歳 | 5. 35歳～40歳 | |

問3 あなたは、現在どなたと一緒に住んでいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. きょうだい | 5. 祖父 | 6. 祖母 |
| 7. 配偶者（内縁関係を含む） | 8. あなたの子ども | 9. その他の人（ ） |

問4 あなたは、何人きょうだいですか。あなた自身を含めたきょうだいの人数について、当てはまる番号1つに○をつけてください。5人以上の場合は「5」に○をして、具体的な人数を記入してください。

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人以上（ ） | |

問5 あなたの職業は次のどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 商工業・サービス業の自営業 | 2. 農林漁業の自営業 |
| 3. 会社員（正社員）・公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 契約社員・派遣社員 | 6. 家族従業者（家業を手伝っている） |
| 7. 学生（高校、大学、専門学校等） | 8. 進学浪人中 |
| 9. 専業主婦（夫） | 10. その他の仕事（ ） |
| 11. 働いていないが、求職活動をしている | 12. 働いておらず、求職活動もしていない |

問6 親元から離れて暮らしている方におたずねします。親元を離れて生活している理由を教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 進学・就職のため |
| 2. 結婚したため |
| 3. ひとりで自由に生活したかったから |
| 4. 自立しなければならぬと自分で思ったから |
| 5. 親から「家を出るように」言われたから |
| 6. その他（ ） |
| 7. 特に理由はない |

問7 あなたがお住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------|
| 1. 西 区 | 2. 北 区 |
| 3. 大宮区 | 4. 見沼区 |
| 5. 中央区 | 6. 桜 区 |
| 7. 浦和区 | 8. 南 区 |
| 9. 緑 区 | 10. 岩槻区 |
| 11. 市 外（ ） | |

■ 職場や職業についておたずねします。

問 12 「学生」以外の方におたずねします。

あなたは、転職または就職したいと思っ
ていますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. すぐにでも転職したい	2. 転職したいと思うが、できない	⇒ 問 12-2 へ
3. すぐにでも就職したい	4. いつかは就職したい	
5. 働きたいが、できない	6. 仕事をする必要はない	⇒ 問 13 へ
7. 働きたくない	8. 転職したいと思わない	

問 12-1 問 12 で「1」または「2」に○をつけた方におたずねします。

あなたが転職したいと思う理由は何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 自分の能力をもっと生かせる職場に移りたいため
2. 現在の仕事は自分に向いていないと思うから
3. 労働条件（賃金や就労時間など）に不満があるため
4. 職場での人間関係がうまくいかないため
5. 健康上の問題や心身に障がいがあるため
6. 会社に将来性がないため
7. 職種に将来性がないため
8. 自分の地位や身分が高くなる見込みがないため
9. 家業を継ぐため
10. リストラなどやむを得ない理由から
11. その他（)
12. 特に理由はない

問 12-2 問 12 で「3」～「6」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

あなたが今、就職していない理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 自分にあつた仕事が見つからないため
2. 希望する求人がないため
3. 希望する仕事の資格試験や採用試験に合格できないため
4. 仕事をする気にならないため
5. 定職につく必要性を感じないため
6. 育児や介護などのため
7. 健康上の問題や心身の障がいのため
8. その他（)
9. 特に理由はない

問 13 **すべての方におたずねします。**

あなたは、どのような職場や働き方を望みますか。

当てはまる番号5つまでに○をつけてください。

1. 収入が多い職場
2. 休暇がとれ、残業が少ない職場
3. 人間関係がよい職場
4. 男女差別のない職場
5. 自分の才能が生かせる職場
6. 世の中のためになる仕事をする職場
7. 国際的な仕事をする職場
8. 仕事が楽な職場
9. 将来の不安がなく安定している職場
10. 健康や経済面への支援がある職場
11. 派遣社員やフリーターなど会社に縛られない自由な働き方
12. その他 ()
13. 特にない

■ 余暇の過ごし方や友人関係についておたずねします。

問 15 あなたは、休日をどのように過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 何もしないで一人で家（部屋）にいる | 2. 家族とおしゃべりをする |
| 3. 子どもと遊ぶ | 4. テレビやビデオを見る |
| 5. 読書やマンガ、雑誌を見る | 6. ラジオや音楽を聴く |
| 7. テレビゲーム（インターネットゲームを含む）をする | 8. インターネットや携帯電話（スマートフォンを含む）で友人とSNSやメールをしている |
| 9. 勉強（予備校や学習塾以外）をする | 10. 予備校や学習塾に行く |
| 11. 習い事に行く | 12. 部（クラブ）活動をする |
| 13. 家事や家の仕事の手伝いをする | 14. アルバイトをする |
| 15. ボランティア活動や地域活動をする | 16. 家族でスポーツや運動をする |
| 17. 楽器の演奏、工作などの趣味を楽しむ | 18. ドライブや旅行などを楽しむ |
| 19. 家族と買い物をする | 20. 家族と映画、スポーツなどを見に行く |
| 21. 友人と一緒に遊んだり、スポーツをする | 22. 恋愛関係にある人と過ごす |
| 23. その他（ | ） |

問 16 あなたがふだん一緒に遊んだり、連絡しあったりすることが多い友人（グループ）はだれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 小学校時代やそれ以前からの友人 |
| 2. 中学校時代や高校時代の友人 |
| 3. 大学・短大・専門学校等の友人 |
| 4. 職場やアルバイト先の友人 |
| 5. 共通の趣味をもつ（世代を越えた）友人 |
| 6. 繁華街などで知り合った友人 |
| 7. インターネット上のSNS等で知り合った友人 |
| 8. 一緒に遊んだりする友人はいない |
| 9. その他（ |
| ） |

■ **結婚観や子どもに関する考え方についておたずねします。**

問 17 あなたは現在、結婚していますか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していたが、死別・離別した |
| 3. 結婚はしていない ⇒ 問 17-2 へ | |

問 17-1 **問 17 で「1」または「2」のいずれかに○をつけた方におたずねします。**

あなたが結婚したのは何歳の時ですか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。
(複数回ある場合は、直近のもの)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 |
| 3. 20～21歳 | 4. 22～24歳 |
| 5. 25～30歳 | 6. 31～35歳 |
| 7. 36～40歳 | |

問 17-2 **問 17 で「2」または「3」のいずれかに○をつけた方におたずねします。**

あなたの、今後の結婚に関する希望はどれに近いですか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. まもなく結婚することが決まっている |
| 2. いずれは結婚したい |
| 3. 結婚の予定はない |
| 4. その他 () |

問 17-3 **問 17-2 で「3」に○をつけた方におたずねします。**

「3」とした理由に考え方が近いのはどれですか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 必要性を感じないから | 2. 経済的に余裕がないから |
| 3. 適当な相手にめぐりあわないから | 4. 自由や気楽さを失いたくないから |
| 5. 趣味や娯楽を楽しみたいから | 6. 仕事(学業)に打ち込みたいから |
| 7. まだ若すぎるから | 8. 仕事が忙しすぎるから |
| 9. その他 () | |

問 18 結婚を希望する方が、希望をかなえられるようになるためにはどういった支援があるといいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 雇用環境の改善支援 | 2. 結婚生活や住宅の費用に関する支援 |
| 3. 結婚支援サービスの提供 | 4. 結婚についての意識啓発 |
| 5. その他 (|) |

問 19 結婚後の女性の生き方について、希望する考え方に近いのはどれですか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※男性の方は、結婚相手の女性に対する希望としてお答えください。

- | |
|--|
| 1. 結婚や出産を機に退職し、家事や育児に専念したり、趣味を大切にしたい (してほしい) |
| 2. 結婚や出産を機に一旦退職するが、子育て後には再び復職 (就職) したい (してほしい) |
| 3. 結婚し子どもを持って、仕事を出来る限り続けたい (けてほしい) |
| 4. 結婚するが、仕事を優先し、特に子どもを持つとは思わない |
| 5. その他 (|
| 6. 特に考えていない |

問 20 あなたにとって、理想の子どもの数は何人ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |
| 5. 子どもを持つつもりはない | |

問 21 あなたは実際に持つ予定の (持った) 子どもの数は何人ですか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 |
| 3. 3人 | 4. 4人以上 |
| 5. 子どもを持つつもりはない | |

問 22 問 20 より問 21 で回答した人数が少ない方におたずねします。

人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかり過ぎるから | 2. 家が狭いから |
| 3. 仕事等に差し支えるから | 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 6. 高年齢で産むのはいやだから |
| 7. これ以上の育児負担に耐えられないから | 8. 健康上の理由から |
| 9. ほしいけどできないから | |
| 10. その他 (|) |

■ 地域のことや地域活動、ボランティア活動についておたずねします。

問 26 あなたは、住んでいる地域が好きですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 好きである | 2. どちらかといえば好きである |
| 3. あまり好きではない | 4. 嫌いである |
| 5. 何とも思わない | 6. わからない |

問 27 あなたは、最近1年間で、次のような地域活動に参加した経験がありますか。

当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 地域のお祭り |
| 2. 地域のスポーツやレクリエーションの大会など |
| 3. 地域の清掃や防災などの活動 |
| 4. 地域の声かけ・あいさつ運動 |
| 5. 公民館・青年の家などの講座や催し |
| 6. 外国人との交流・国際交流に関する活動 |
| 7. 募金、献血 |
| 8. 地域の子どもたちの指導や世話 |
| 9. 社会福祉施設などの訪問・交流 |
| 10. その他 () |
| 11. 参加したことがない |

問 28 あなたがこれまでに参加したことのあるボランティア活動は、次のどれですか。

当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 社会福祉に関する活動（高齢者や障がい者などに対する介護、世話、給食サービスなど） |
| 2. 環境・自然保護に関する活動（森林保護やリサイクル運動、地域での清掃活動など） |
| 3. スポーツ・文化に関する活動
（スポーツ指導、スポーツ大会補助、文化財保護・管理、伝統行事の継承など） |
| 4. 青少年健全育成に関する活動（社会奉仕活動、子ども会活動、青少年相談員活動など） |
| 5. 国際交流に関する活動（ホームステイ受入、通訳、難民援助、留学生援助など） |
| 6. 被災地復興に関する活動 |
| 7. その他 () |
| 8. ボランティア活動に参加したことがない |

■ 社会一般のことについておたずねします。

問 32 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。

あなたの考え方に近いものの番号すべてに○をつけてください。

1. 親が年老いたら、子どもが世話をしたり、面倒を見るのは当然だ
2. 今の社会は、高齢者や障がい者に対する配慮が足りないと思う
3. もし外国人が近所に住むことになったら、日本人と同じように親しく交際したい
4. 当人がよければ、結婚の相手はどこの人でもかまわない
5. 男性も女性も同じように家事や育児をするのは当然だ
6. 結婚し、子どもを育てることだけが幸せな人生ではない
7. これからは、男性も女性も仕事以上に家庭や地域を大事にすべきだ
8. 一人ひとり能力は違うのだから、能力によって地位や待遇に差があるのは当然だ
9. 重要なことは、皆の話し合いで決めるよりも優れたリーダーの決断に任せるべきだ
10. 幸せについて自分の考え方と違って、その人が幸せになろうとするのを邪魔するのは良くない
11. どうしてもやりたいことがあるのなら、無理にがまんしてやらないのは間違いだ
12. 重要な新しいことをやり遂げるには、多少、悪いことをするのもやむを得ない
13. 人間としてやっていけないことは、どんな理由があろうとも、やるべきではない
14. 困っている人をみれば、頼まれなくても手助けをする
15. 自分の生活を犠牲にしてまで、社会奉仕活動をする必要はない
16. 自分たちの住む地域だから、美化運動などの自主活動を進んでやるべきだ
17. 地域で平穩に暮らすためには、互いがやりたいことをがまんしあうことが必要だ

問 33 あなたは、今の社会がどのようなことを最も希望しますか。

当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 学歴に左右されない社会になってほしい
2. 介護福祉士や看護師など労働力不足が深刻な分野で国籍を問わず希望する人を受け入れ、だれもが活躍できる社会になってほしい
3. 高齢者や障がい者などが自分らしく生き生きと暮らせる社会になってほしい
4. 子育て支援や少子化対策を最優先とする社会になってほしい
5. 様々な制度や施策づくりにもっと青少年の意見が取り入れられる社会になってほしい
6. 経済活動をもっと活性化し、だれもが希望する仕事に就ける社会になってほしい
7. 経済活動よりも環境対策を優先し、地球にやさしい社会になってほしい
8. 犯罪の防止・災害への備えに努め、安心して暮らせる社会になってほしい
9. その他 ()

問34 下記のサービス（施設）を知っていますか。また、これまでに利用（参加）したことはありますか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービス名	内容	認知度		利用（参加）状況		利用（参加）意向	
		知っている	知らない	利用（参加）したことがある	利用（参加）したことはない	今後、利用（参加）したい	利用（参加）は考えていない
(1) 児童センター	児童と保護者が自由に場を共有し、健康を増進し、情操を豊かにする施設	1	2	1	2	1	2
(2) 教育相談室	児童生徒の学校生活に関わる様々な相談や、幼児のことばや発音などに関する相談を行う。	1	2	1	2	1	2
(3) こころの健康センター	不安を抱えている高校生以上の本人及び家族・関係者を対象に、相談を行う。	1	2	1	2	1	2
(4) 成人式	成人の日に新しい人生の門出を祝福し、成人としての自覚を促すとともに将来の幸せを願うため、成人式を開催する。	1	2	1	2	1	2
(5) 青少年の主張大会	日々の暮らしの中での思いを、自分の言葉としてまとめ、発表する場として、青少年の主張大会を実施する。	1	2	1	2	1	2
(6) 猿花キャンプ場	集団野外宿泊、デイキャンプ、レクリエーション、自然体験等を通して、社会性、協調性、ルールや命の大切さなどを学ぶ施設	1	2	1	2	1	2
(7) 青少年育成巡回活動	青少年の非行防止と安全確保並びに地域環境の整備を図るため、月1回、各地区において巡回活動を実施する。	1	2	1	2	1	2
(8) 非行防止キャンペーン	青少年健全育成強調月間中に、青少年健全育成に関わる団体等が協力し非行防止キャンペーンを各区で展開する。	1	2	1	2	1	2
(9) 広報誌「はばたき」	青少年健全育成に関する団体の活動報告、啓発誌として、「はばたき」を発行している。	1	2				

ゆめ
第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン策定に係る基礎調査

・・・ 妊婦調査 ・・・

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
現在、さいたま市では、子ども・子育てに関する総合計画として、「第2期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」により、子ども・子育てに係る各種施策を展開しております。

令和7年度からの次期プランの策定に向けて、子育て当事者の皆様のニーズなどを把握するため、令和5年12月1日から12月26日までの期間で、妊娠されている方を対象に標記アンケート調査を実施いたします。

なお、調査結果は市の母子保健施策や、子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和5年12月

さいたま市長 清水 勇 人

— 回答にあたってのお願い —

- この調査は、**妊婦であるあなた**がお答えください。
- 初めての妊娠ではない方は、過去の妊娠を含めてお答えください。
- 回答は、選択肢の番号に○をつけて選ぶ場合と、数字を記入する場合があります。
- 回答数の指示がありますので、よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内の自由意見については、ご自身の考えや意見をご記入ください。
- 調査票や封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は返信用封筒に入れて、**令和5年12月26日（火）までに、切手を貼らずにポストに投函**してください。
- この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

— お問い合わせ —

さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども政策課 企画係
電話 048(829)1909 (直通) FAX 048(829)1960

問7 **問5より問6で回答した人数が少ない方におたずねします。**

人数が違う理由に考え方が近いのはどれですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 子育てや教育にお金がかかり過ぎるから | 2. 家が狭いから |
| 3. 仕事等に差し支えるから | 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから | 6. 高年齢で産むのはいやだから |
| 7. これ以上の育児負担に耐えられないから | 8. 健康上の理由から |
| 9. その他 (|) |

問 14 あなたは、今回の妊娠で妊婦健康診査を受ける予定ですか、または、すでに受けていますか。
当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. はい ⇒ 問 15 へ

2. いいえ ⇒ 問 14-1 へ

問 14-1 問 14 で「2. いいえ」と回答した方におたずねします。

理由をお聞かせください。当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 妊娠週数がまだ早いため

2. 時間がない、忙しい

3. 必要性を感じない

4. 健診費用の支払いに不安がある

5. その他 ()

問 15 分娩予約はいつ頃されましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 妊娠判定～妊娠 15 週ころ (妊娠初期)

2. 妊娠 16 週～27 週ころ (妊娠中期)

3. 妊娠 28 週以降 (妊娠後期)

4. まだ決まっていない

5. その他 ()

→ 問 16 へ

問 15-1 問 15 で「1」～「3」と回答した方におたずねします。

分娩予約施設は市内ですか。市外ですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 市内 ⇒ 問 16 へ

2. 市外 ⇒ 問 15-2 へ

問 15-2 問 15-1 で「2. 市外」と回答した方におたずねします。

市外にしたのはなぜですか。当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 里帰り出産のため

2. 市外でも近い病院だから

3. 近くに産院がない・分娩予約が取れない

4. 以前から通っていたから

5. その他 ()

問 16 母親学級や父親学級 (両親学級) などの、出産前教室に参加する予定ですか。または、すでに参加していますか。当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

(1) 初産婦の方

1. 分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定 (している)

2. さいたま市で行う教室に参加予定 (している)

3. まだ決めていないが参加したいと思っている

4. 参加しない

5. その他 ()

(2) 経産婦の方

1. 初産の時に参加済なので参加しない

2. 分娩予約をしている医療機関等での教室に参加予定 (している)

3. まだ決めていないが参加したいと思っている

4. 今まで参加したことはないが、今回も参加しない

5. その他 ()

問17 あなたが妊娠したことで、家族（主に配偶者・パートナー）の対応に変化はありましたか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家事を手伝ってくれるようになった
2. 出産・育児について勉強するようになった
3. 買い物や散歩など外出の際に付き添ってくれるようになった
4. 胎教によいとされることを取り入れるようになった
5. 早く帰宅するようになった
6. 喫煙（タバコ）をやめた、自宅で吸わない、分煙するようになった
7. 上の子どもの世話をしてくれるようになった
8. 話をよく聞いてくれるようになった
9. 今後の出費を考えて、仕事を増やした
10. その他（)
11. 特に何も変化はない

問18 妊娠期間中はどのようなサポートが必要だと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親としての心構え等に関する知識等の提供
2. 出産後の育児に関する知識等の提供
3. 仲間づくりを促進するためのサポート
4. 家事等の代行
5. 経済的支援
6. その他（)

問19 マタニティ・マークをご存じですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



1. 知っている
2. 聞いたことはあるが見たことはない
3. 知らない

※マタニティ・マーク：妊産婦が交通機関などを利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするものです。

問20 マタニティ・マークを使用したいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい ⇒ 問21へ
2. いいえ ⇒ 問20-1へ

問20-1 問20で「2. いいえ」と回答した方におたずねします。

使用したくない理由をお聞かせください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 周囲に気を使われたくないから
2. 邪魔だから
3. 必要性を感じない
4. その他（)

問 24 出産後、家族以外からのどのようなサポートが必要だと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの発育や発達、接し方など子育てのアドバイス
2. 母親の精神的な負担感を受け止める支援
3. 退院直後から、生活・育児支援を受けることのできる場
4. 経済的支援
5. 生活圏内の子育て関連の情報提供
6. 家事代行
7. 先輩ママや地域の子育て支援者と顔見知りになるきっかけ
8. その他 ()
9. 特にない

就労についておたずねします。

問 25 あなたは、現在、働いていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで働いている（または産休中）
2. パートタイムやアルバイトで働いている
3. 今回の妊娠を機に仕事をやめた
4. 妊娠前から仕事はしていない
5. その他 ()

問 26 妊娠中、安心して仕事ができるよう職場の配慮はありますか（した）か。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある（あった）
2. ない（なかった）
3. わからない

問 27 あなたは、出産後も働きたい、または、働き始めたいと思いますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 出産後も（継続して）働きたい
2. 働きたいが、出産（妊娠）を機に仕事はやめる予定
3. 働くつもりがないので、出産（妊娠）を機に仕事はやめる予定
4. 今も働いていないので、これからも働く予定はない
5. 今は働いていないが、出産後の体調をみて働く予定
6. その他 ()

問 28 育児休業を利用する方におたずねします。取得期間はどのくらいを予定していますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1年未満
2. 1～2年
3. 3年以上
4. 未定

お子さんの定期的な教育・保育の利用希望についておたずねします。

※ここでいう「定期的な教育・保育」とは、月単位で定期的に利用している幼稚園や保育所などを指します。

問 29 出産後、幼稚園や保育園などを定期的に利用したいと思いますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園

(通常の就園時間の利用)

2. 幼稚園の預かり保育

(1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕)

3. 認可保育所

(都道府県等の認可を受けた保育所(定員20人以上)) ※所得・児童年齢に応じた利用料設定

4. 認定こども園

(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

〔利用料：1日4時間程度利用…幼稚園と同様 1日8時間程度利用…保育所と同様〕

5. 小規模保育施設

(市町村の認可を受け、概ね6～19人の0～2歳児を保育する施設)〔利用料は認可保育所と同様〕

6. 家庭的保育(保育ママ)

(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)〔利用料は認可保育所と同様〕

7. 事業所内保育施設

(企業の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもを保育する施設)

※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけてください

8. 居宅訪問型保育

(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)〔利用料は認可保育所と同様〕

9. 家庭保育室・ナーサリールーム

(市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) ※利用料補助あり

10. 企業主導型保育施設

(国の助成を活用して保育を行う事業所の認可外保育施設)

11. その他の認可外の保育施設

12. ファミリー・サポート・センター

(保育所への送迎や保育施設終了後に一時的に子どもを預かる事業)

13. その他 ()

14. 利用したいと思わない・わからない・まだ考えていない

母子保健サービスや取組みについておたずねします。

問30 どのような母子保健サービスが行政や民間等であると良いと思いますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 育児不安や悩みに対する相談体制の充実
2. 子育てに関する情報提供や学習機会の充実
3. 妊娠や出産に関する情報提供や学習機会の充実
4. 妊産婦（保護者）・新生児・乳幼児への家庭訪問の充実
5. 多胎児への支援の充実
6. 妊産婦（保護者）・乳幼児への歯科保健の充実
7. 妊産婦（保護者）・乳幼児への栄養や食生活の指導の充実
8. 妊産婦（保護者）の悩みや不安を軽減するための心のケアの充実
9. 医療体制の充実
10. 妊婦健康診査の充実
11. 地域住民が仲間づくりをする場の提供・整備
12. その他（)
13. 特にない

問31 安心・安全に子育てをするためには、地域でどのような取組みが必要だと思えますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て中の人と経験者が交流できる場や仕組みづくり
2. 子育て中の親子が集まる場、遊べる場づくり
3. 子育てサークルなどの自主活動がしやすい仕組みづくり
4. 子育て支援に関わるボランティアが活動しやすい環境づくり
5. ひとり親家庭の子どもへの支援の充実
6. さまざまな施設等での相談機能の充実
7. 行政や地域の団体の連携
8. その他（)
9. 特にない

問32 あなたが今後、地域の中でできることはありますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 自治会などの地区活動への参加 | 2. 先輩ママとしての体験や経験を話す |
| 3. 子育てサークル等の自主活動への参加 | 4. 自主活動の運営 |
| 5. ボランティア活動 | 6. その他（) |
| 7. 考えたことがない、わからない | 8. できることはない |

問 33 乳児揺さぶられ症候群とは、赤ちゃんがどうしても泣き止まない時などに、赤ちゃんの頭を前後にガクガクするほど激しく揺さぶることによって、脳障害が起きる事です。あなたは乳児揺さぶられ症候群を知っていますか。

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 知っている	2. 言葉だけは知っている
3. 知らない	

問 34 母子保健施策や子ども・子育てのための施策について、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

質問は以上です。

この調査票を返信用封筒に入れ、ポストに投函とうかんしてください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ゆめ
第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン策定に係る基礎調査

・・・ ひとり親調査 ・・・

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたり、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

現在、さいたま市では、子ども・子育てに関する総合計画として、「第2期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン」により、子ども・子育てに係る各種施策を展開しております。

令和7年度からの次期プランの策定に向けて、子育て当事者の皆様のニーズなどを把握するため、令和5年12月1日から12月26日までの期間で、ひとり親世帯の方を対象に標記アンケート調査を実施いたします。対象者の抽出にあたりましては、児童扶養手当受給者より無作為抽出した世帯にご協力をお願いするものです。

なお、調査結果は市の子ども・子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり他の目的に利用されたりすることは一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和5年12月

さいたま市長 清水 勇 人

— 回答にあたってのお願い —

- この調査は、宛名の方がお答えください。
- 回答は、選択肢の番号に○をつけて選ぶ場合と、数字を記入する場合があります。
- 回答数の指示がありますので、よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内の自由意見については、ご自身の考えや意見をご記入ください。
- 調査票や封筒に、住所・氏名を記入する必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は返信用封筒に入れて、**令和5年12月26日（火）までに、切手を貼らずにポストに投函**してください。
- この調査票についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

— お問い合わせ —

さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども政策課 企画係
電話 048(829)1909 (直通) FAX 048(829)1960

■ あなたの家族構成・お住まい・仕事の状況などについておたずねします。

問1 あなたの世帯はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1. 母子世帯 | 2. 父子世帯 | 3. その他 |
|---------|---------|--------|

問2 ひとり親世帯になられた理由は何ですか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|---------|-----------------|
| 1. 死別 | 2. 離婚 | 3. 親族遺棄（家出・失踪等） |
| 4. 未婚 | 5. その他（ | ） |

問3 現在同居されているご家族の構成は、次のどれに当てはまりますか。

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 親と子（子どもが1人） |
| 2. 親と子（子どもが2人以上） |
| 3. 祖父母（あるいは祖父、祖母のいずれか）と親と子（子どもが1人） |
| 4. 祖父母（あるいは祖父、祖母のいずれか）と親と子（子どもが2人以上） |
| 5. その他（ |
| ） |

問4 あなたのお子さんの年齢と人数をお答えください。

当てはまる番号すべてに○をつけ、口内に人数を記入してください。

- | | | | |
|----------------|------------------------|----------------|------------------------|
| 1. 0～3歳 | <input type="text"/> 人 | 2. 4～6歳（就学前） | <input type="text"/> 人 |
| 3. 小学低学年（1～3年） | <input type="text"/> 人 | 4. 小学高学年（4～6年） | <input type="text"/> 人 |
| 5. 中学生 | <input type="text"/> 人 | 6. 中学卒業以上 | <input type="text"/> 人 |

問5 あなたは現在、何歳ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 24歳未満 | 2. 25歳～29歳 |
| 3. 30歳～34歳 | 4. 35歳～39歳 |
| 5. 40歳～49歳 | 6. 50歳以上 |

問6 あなたがお住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. 西 区 | 2. 北 区 |
| 3. 大宮区 | 4. 見沼区 |
| 5. 中央区 | 6. 桜 区 |
| 7. 浦和区 | 8. 南 区 |
| 9. 緑 区 | 10. 岩槻区 |

問7 現在お住まいの住宅は、次のどれにあたりますか。

当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 持家・一戸建て	2. 持家・集合住宅
3. 借家・一戸建て	4. 借家・集合住宅
5. 間借・寮など	6. その他 ()

問8 現在就業している方におたずねします。(それ以外の方は問10にお進みください。)

あなたの現在の就業上の地位についてお答えください。

当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 事業主	2. 常勤職員・正社員
3. 臨時・パート	4. 派遣社員・契約社員
5. 自営業	6. 家族従業員
7. その他 ()	

問9 あなたは転職する希望がありますか。

当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 現在の仕事を続けたい	⇒ 問11へ
2. 仕事を変えたい	⇒ 問9-1へ
3. 仕事をやめたい	

問9-1 問9で「2. 仕事を変えたい」、「3. 仕事をやめたい」と回答した方におたずねします。

その理由をお答えください。当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 収入がよくない	2. 職場が自宅から遠い
3. 健康がすぐれない	4. 仕事の内容がわからない
5. 職場環境になじめない	6. 労働時間があわない
7. 社会保険がない、または不十分	8. 休みが少ない、とれない
9. 身分が安定していない	10. 経験や能力が発揮できない
11. 子どもと過ごす時間を増やしたい	12. その他 ()

問10 現在就業していない方におたずねします。(それ以外の方は問11にお進みください。)

働いていない理由をお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 子どもを世話してくれる人がいない	2. 病気で働けない
3. 休職中	4. 技術を習得中、資格を取得中
5. 収入面であわない	6. 時間があわない
7. 求職中	8. その他 ()

■ あなたの資格取得状況についておたずねします。

問 11 資格についてお伺いします。

A : 1.～20. の資格を取得している場合、「はい」に○をつけてください。

B : 1.～20. の資格を取得している場合、その資格が直接仕事に役に立っている
(または役に立っていた) か、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

C : 1.～20. の資格を取得していない場合、資格取得の希望がある場合は「はい」に○をつけてください。

資格の内容	A	B		C
	資格を取得している	資格が直接仕事に役に立っている(立った)		資格を取得したい
1. 簿記	はい	はい	いいえ	はい
2. ホームヘルパー	はい	はい	いいえ	はい
3. 看護師	はい	はい	いいえ	はい
4. 准看護師	はい	はい	いいえ	はい
5. 理・美容師	はい	はい	いいえ	はい
6. パソコン関連の資格	はい	はい	いいえ	はい
7. 外国語関連の資格	はい	はい	いいえ	はい
8. 栄養士	はい	はい	いいえ	はい
9. 管理栄養士	はい	はい	いいえ	はい
10. 介護福祉士	はい	はい	いいえ	はい
11. 保育士	はい	はい	いいえ	はい
12. 理学療法士	はい	はい	いいえ	はい
13. 作業療法士	はい	はい	いいえ	はい
14. 医療事務	はい	はい	いいえ	はい
15. 行政書士	はい	はい	いいえ	はい
16. 歯科衛生士	はい	はい	いいえ	はい
17. 柔道整復師	はい	はい	いいえ	はい
18. 保健師	はい	はい	いいえ	はい
19. 精神保健福祉士	はい	はい	いいえ	はい
20. その他	はい	はい	いいえ	はい

■ あなたの経済や生活の状況についておたずねします。

問12 あなたの昨年の1年間の就労によって得た収入は、税込みでおよそいくらでしたか。

(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	万円
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----

問13(1) あなたの昨年の1年間の総収入は、税込みでおよそいくらでしたか。

(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

※総収入とは、「あなたの就労による収入」に加え、「家賃・地代・利子・配当金等の財産収入」「離別した配偶者からの養育費」「親族等からの仕送り」「児童手当・児童扶養手当等」「あなたの年金」「生活保護費」等をすべて含んだ額をいいます。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	万円
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----

問13(2) あなたの昨年の1年間の総収入の収入源は何ですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. あなたの仕事収入	2. 家賃・地代・利子・配当金等の財産収入
3. 離別した配偶者からの養育費	4. 親族等からの仕送り
5. 児童手当・児童扶養手当等	6. あなたの年金
7. 生活保護費	8. その他

問14 あなたとあなたの同居親族の昨年の1年間の総収入は、税込みでおよそいくらでしたか。

(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

※総収入とは、「あなたとあなたの同居親族の就労による収入」に加え、「家賃・地代・利子・配当金等の財産収入」「離別した配偶者からの養育費」「親族等からの仕送り」「児童手当・児童扶養手当等」「あなたとあなたの同居親族の年金」「生活保護費」等をすべて含んだ額をいいます。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	万円
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----

■ 支援策についておたずねします。

問 20 ひとり親世帯の方への支援策としては、今後特にどのようなことが必要と思いますか。
当てはまる主な番号3つまでに○をつけてください。

1. ひとり親世帯の事情にあった相談に応じてくれる相談制度
2. 親の経済的自立のための、技能・資格修得などへの支援
3. 親や子どもが病気になった時のヘルパー派遣
4. ふだんの家事援助（ホームヘルプサービス）
5. ひとり親世帯どうしの交流や仲間づくりの場や機会
6. 家事や育児に関する情報提供、ひとり親世帯対象の講座等の実施
7. 親の病気や冠婚葬祭など、緊急時の一時的な保育システム
8. 親の帰宅時間に合わせて子どもを預かってくれるなど、ひとり親世帯の特性に合った保育システム
9. 各種の手当や見舞い金の支給・貸与
10. 公営住宅優先選考など住宅面での支援
11. その他（）
12. 特にない

問21 さいたま市では、ひとり親世帯の方を支援するために次のようなサービス（施策）や施設があります。（1）～（16）のサービスごとに、「認知度」「利用状況」「利用意向」のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービス（施設）名及び内容	認知度		利用状況		利用意向	
	① 知っている	② 知らない	① 利用した ことがある	② 利用した ことはない	① 今後、 利用したい	② 利用は 考えていない
(1) ファミリー・サポート・センター 育児の援助を行いたい人と受けたい人の会員組織で、会員相互による育児の援助活動を行う。	1	2	1	2	1	2
(2) 子育てヘルパー派遣事業 保護者が体調不良で、昼間に家事や育児の手伝いをしてくれる方がいない子育て世帯に、ホームヘルパーを派遣し、家事・育児援助を行う。	1	2	1	2	1	2
(3) 子どもショートステイ事業 保護者の疾病、介護等で一時的に家庭での養育が困難な場合に、乳児院及び児童養護施設で子どもを一定期間預かる。	1	2	1	2	1	2
(4) 家庭児童相談室 子どものしつけや性格・生活習慣・言語・学校生活・非行などに関する相談に応じる。	1	2	1	2	1	2
(5) 就学援助制度 経済的な理由で学用品費や給食費の支払いに困っている児童生徒の保護者に対し、その費用の一部を援助する。	1	2	1	2	1	2
(6) ひとり親家庭児童就学支度金制度 一定条件を満たすひとり親家庭を対象とした、入学準備に必要な経費を一部助成する。	1	2	1	2	1	2
(7) ひとり親家庭等医療費助成 ひとり親家庭等に要する医療費の一部を助成する制度。	1	2	1	2	1	2
(8) 入居支援制度 ひとり親家庭の民間賃貸住宅への入居に際し、情報提供等を行う。	1	2	1	2	1	2
(9) 児童扶養手当 ひとり親家庭等に対して手当を支給する。	1	2	1	2	1	2
(10) ひとり親家庭等自立支援プログラム策定事業 児童扶養手当受給者の自立・就業支援のために、個々の実情に応じた自立支援プログラムを策定し、就業支援を行う。	1	2	1	2	1	2

サービス（施設）名及び内容	認知度		利用状況		利用意向	
	① 知っている	② 知らない	① 利用した ことがある	② 利用した ことはない	① 今後、 利用したい	② 利用は 考えていない
(11) ひとり親家庭就業・自立支援センター 相談から情報提供までの一貫した就業支援を行うとともに、生活相談、法律相談、養育費相談を実施し、生活安定のための総合的な支援を行う。	1	2	1	2	1	2
(12) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金 ひとり親家庭等の自立促進を図るため、対象講座を受講した場合に経費の一部を支給する。	1	2	1	2	1	2
(13) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 ひとり親家庭の父又は母が看護師や保育士等の資格取得のため、1年以上養成機関で修業する場合、高等職業訓練促進給付金を支給する。	1	2	1	2	1	2
(14) 母子生活支援施設 母子家庭であって、児童の福祉に欠けるところがある場合に、その保護者及び児童を保護するとともに、自立促進のために生活の支援を行う施設。	1	2	1	2	1	2
(15) 母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度 母子家庭等に対し、資金の貸し付けを行う。	1	2	1	2	1	2
(16) 母子・寡婦福祉団体（さいたま市母子寡婦福祉会） 母子家庭の母や寡婦の方が自主的に集まった団体。母子家庭に関する情報の提供やレクリエーションを実施する。	1	2	1	2	1	2

問21-1 **問21の利用状況で「①利用したことがある」と回答した方におたずねします。**

利用したことがあるサービスについて、満足していますか。

(1)～(16)のサービスごとに、当てはまる番号1つに○をつけてください。

また、「③ やや不満」あるいは「④ 不満」と回答した方はその理由をお書きください。

サービス名	満足度				③ あるいは ④ の理由
	① 満足	② ほぼ満足	③ やや不満	④ 不満	
(1) ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	
(2) 子育てヘルパー派遣事業	1	2	3	4	
(3) 子どもショートステイ事業	1	2	3	4	
(4) 家庭児童相談室	1	2	3	4	
(5) 就学援助制度	1	2	3	4	
(6) ひとり親家庭児童就学支度金制度	1	2	3	4	
(7) ひとり親家庭等医療費助成	1	2	3	4	
(8) 入居支援制度	1	2	3	4	
(9) 児童扶養手当	1	2	3	4	
(10) ひとり親家庭等自立支援プログラム策定事業	1	2	3	4	
(11) ひとり親家庭就業・自立支援センター	1	2	3	4	

サービス名	満足度				③ あるいは ④ の理由
	① 満足	② ほぼ満足	③ やや不満	④ 不満	
(12) ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4	
(13) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	1	2	3	4	
(14) 母子生活支援施設	1	2	3	4	
(15) 母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度	1	2	3	4	
(16) 母子・寡婦福祉団体 (さいたま市母子寡婦福祉会)	1	2	3	4	

問 22 **すべての方におたずねします。**

子ども・子育てのための施策について、ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

質問は以上です。

この調査票を返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

第3期さいたま子ども・青少年のびのび希望プラン策定に係る
基礎調査報告書

発行 さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども政策課

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

電話 048(829)1909 (直通)

FAX 048(829)1960

調査実施 株式会社 物流科学研究所

〒330-0052 さいたま市浦和区本太2-2-36

SUNCREST 302

電話 048(887)3790
